

下 滝 天 水 遺 跡

主要地方道前橋長湩線地方特定道路整備事業
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2004

群 馬 県
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

下 滝 天 水 遺 跡

(遺物観察表・写真図版 編)

主要地方道前橋長湍線地方特定道路整備事業
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2 0 0 4

群 馬 県
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

例 言

本書は「下滝天水遺跡」の遺物観察表および写真図版編である。本編の内容にかかわる凡例については以下に示す。

遺物観察表・遺物一覧表

- 1 遺物は本文に掲載した挿図番号の順に記載した。
- 2 遺物の種類ごとに書式の異なっている部分がある。
- 3 遺物番号は本文および写真図版に掲載した番号と一致している。
- 4 表中には次のような略語を使用した。

土器類計測値 □→口縁外径、頸→頸部最大径、胴→胴部最大径、底→底径、高→器高。

単位はcmである。数値は実測値であるため、挿図から得た値とは必ずしも一致していない。また、復元値には()、残存値は[]をつけて区別した。

石器等一覧表 長→縦横の区別できるものは縦軸長、できないものは長軸長。幅→縦横区別のできるものは横軸長、できないものは短軸長。厚→厚み。以上の単位はcmである。重→重量。単位はgである。

- 5 土器類の胎土表記に用いた記号は以下の基準による。
 - A 粗砂・細礫サイズの結晶片岩・石英・角閃石や赤褐色・黒色・白色の岩片を多く含む土。産地を西毛地域と推定できるものが多い。
 - B 細砂サイズの雲母を多量に含む緻密な素地で、粗砂サイズの石英や岩片を少量含む以外に混入物の少ない土。
 - C Aに類似するが砂質で結晶片岩の混入がなく、産地を推定できない。
 - D Aに類似するが、夾雑鉱物の粒径が粗大となる。
 - E 素地はBに近く雲母を含むが、夾雑鉱物はAに類似する。
 - F ダスト状と表現できるような極めて細かな素地で、手で触れると微粒子が付く。結晶片岩を含む細礫サイズの混入物をやや多量に含む。
 - G その他。
- 6 土器類の色調については「新版標準土色帖」を使用した。
- 7 土器類の石材については飯島静男氏の同定による。

写真図版

- 1 写真図版の掲載順は、遺構と遺物に分け、それぞれ本文記載の順序と同じになるようように努めたが、レイアウトの都合で一部順序の乱れた部分がある。
- 2 遺物写真は残存状態の良いものを中心に掲載したので、小破片を中心に掲載していないものも多い。
- 3 遺物写真の縮率は本文挿図に概ね揃うようにしたが、同じでないものもある。

遺物観察表目次

1	方形周溝墓	1
2	竪穴住居	
	A 1 区	2
	A 2 区	13
	C 区以降	21
3	古墳時代の居館と溝	
	1号溝	24
	2号溝	26
	その他	30
4	中世館と堀	
	4号溝	33
	その他	40
5	その他の溝	42
6	井戸	44
7	土坑	45
8	その他	
	A 1 区	49
	A 2 区	51
	B 区	51
	C 区	52
	取付道	52
9	上滝榎町北Ⅲ遺跡	53

写真目次

PL-1 遺景

- 1 南側から眺めた下滝天水遺跡周辺
- 2 上空から眺めた下滝天水遺跡 (D区)

PL-2 遺景・陥穴状土坑

- 1 北側から眺めた下滝天水遺跡 (A区)
- 2 91号土坑 3 47号土坑
- 4 48号土坑 5 82号土坑

PL-3 方形周溝墓

- 1 1号方形周溝墓 (南から)
- 2 1号方形周溝墓遺物 (2) 出土状態
- 3 2号方形周溝墓 (東から)
- 4 2号方形周溝墓遺物出土状態 (西から)
- 5 2号方形周溝墓立ち上がり状態
- 6 2号方形周溝墓南隅断面 (北から)
- 7 2号方形周溝墓南隅遺物 (5・6・7他) 出土状態

PL-4 A1区の陥穴住居

- 1 1号住居 全景 (南西から)
- 2 1号住居 遺物出土状態 (南から)
- 3 1号住居 カマド断面 (東から)
- 4 1号住居 床下土坑断面 (南から)
- 5 2号住居 全景 (西から)
- 6 2号住居 カマド (西から)
- 7 3号住居 遺物出土状態 (西から)
- 8 3号住居 掘り方 (西から)

PL-5 A1区の陥穴住居

- 1 4号住居 全景 (南東から)
- 2 5号住居 全景 (東から)
- 3 6号住居 全景 (東から)
- 4 6号住居 カマド遺物 (3) 出土状態 (西から)
- 5 7号住居 全景 (東から)
- 6 7号住居 遺物出土状態 (東から)
- 7 7号住居 カマド断面 (南から)
- 8 7号住居 カマド遺物 (7・8・14・16・17) 出土状態 (西から)

PL-6 A1区の陥穴住居

- 1 8号住居 全景 (南から)
- 2 8号住居 カマド遺物 (1~3他) 出土状態 (南から)
- 3 9号住居 全景 (西から)
- 4 9号住居 カマド断面 (南から)
- 5 10号住居 全景 (北から)
- 6 10号住居 遺物出土状態 (北から)
- 7 10号住居 貼床断面 (南西から)
- 8 10号住居 3号ピット断面 (南から)

PL-7 A1区の陥穴住居

- 1 11号住居 全景 (東から)
- 2 11号住居 掘り方 (東から)
- 3 12号住居 全景 (南西から)
- 4 13号住居 全面 (東から)
- 5 13号住居 遺物出土状態 (東から)

- 6 13号住居 断面 (南から)
- 7 14号住居 全景 (北西から)
- 8 14号住居 カマド断面 (西から)

PL-8 A1区の陥穴住居

- 1 15号住居 全景 (西から)
- 2 15号住居 カマド (北から)
- 3 15号住居 断面
- 4 16号住居 全景 (南西から)
- 5 17号住居 遺物出土状態 (北東から)
- 6 17号住居 カマド (南西から)
- 7 18号住居 遺物 (10) 出土状態 (西から)
- 8 18号住居 カマド全景 (西から)

PL-9 A1区の陥穴住居

- 1 20号住居 掘り方全景 (東から)
- 2 20号住居 遺物 (5・8) 出土状態 (南から)
- 3 21号住居 使用面 (北東から)
- 4 21号住居 床下土坑断面 (西から)
- 5 22号住居 全景 (西から)
- 6 23号住居 全景 (南から)
- 7 24号住居 全景 (西から)
- 8 24号住居 カマド断り全景 (南から)

PL-10 A1区の陥穴住居

- 1 25号住居 遺物出土状態 (西から)
- 2 25号住居 掘り方全景 (西から)
- 3 25号住居 カマド断り断面 (西から)
- 4 25号住居 南壁隅出土遺物 (1~5他) (西から)
- 5 26号住居 全景 (西から)
- 6 27号住居 カマド断面 (南から)
- 7 28号住居 全景 (北から)
- 8 28号住居 床下断面 (西から)

PL-11 A1区の陥穴住居

- 1 29号住居 全景 (西から)
- 2 29号住居 カマド遺物 (9) 出土状態 (西から)
- 3 30号住居 全景 (西から)
- 4 30号住居 掘り方全景 (西から)
- 5 31号住居 全景 (西から)
- 6 31号住居 掘り方全景 (西から)
- 7 32号住居 全景 (西から)
- 8 33号住居 全景 (西から)

PL-12 A1区の陥穴住居

- 1 34号住居 全景 (西から)
- 2 34号住居 カマド前遺物 (1~5) 出土状態 (西から)
- 3 35号住居 全景 (南から)
- 4 35号住居 掘り方全景 (東から)
- 5 36号住居 全景 (西から)
- 6 36号住居 カマド掘り方断面 (南から)
- 7 37号住居 遺物出土状態 (南から)
- 8 37号住居 掘り方全景 (北から)

PL-13 A 1区の竪穴住居

- 1 38号住居 全景(西から)
- 2 38号住居 掘り方全景(西から)
- 3 39号住居 床面(南西から)
- 4 39号住居 北西隅床土粘土(北から)
- 5 40号住居 全景(西から)
- 6 40号住居 掘り方全景(西から)
- 7 41号住居 全景(南西から)
- 8 41号住居 掘り方全景(南西から)

PL-14 A 1区の竪穴住居

- 1 42号住居 全景(西から)
- 2 42号住居 掘り方全景(南から)
- 3 42号住居 カマド遺物(3)出土状態(西から)
- 4 43号住居 全景(西から)
- 5 43号住居 掘り方断面(北から)
- 6 43号住居 遺物(4・5・20)出土状態
- 7 44号住居 全景(北から)
- 8 45号住居 全景(北西から)

PL-15 A 2区の竪穴住居

- 1 1号住居 断面と遺物(5)出土状態(南から)
- 2 1号住居 掘り方全景(東から)
- 3 2号住居 遺物出土状態(北東から)
- 4 2号住居 掘り方全景(北東から)
- 5 3号住居 全景(西から)
- 6 3号住居 貯蔵穴遺物(5・6)出土状態(北から)
- 7 4号住居 遺物出土状態(西から)
- 8 4号住居 掘り方全景(西から)

PL-16 A 2区の竪穴住居

- 1 5号住居 炉断面(西から)
- 2 6号住居 掘り方全景(南東から)
- 3 7号住居 全景(南から)
- 4 7号住居 P3(南から)
- 5 8号住居 遺物出土状態(南から)
- 6 8号住居 全景(西から)
- 7 9号住居 遺物出土状態(南から)
- 8 9号住居 全景(南から)

PL-17 A 2区の竪穴住居

- 1 9号住居 掘り方全景(南から)
- 2 10号住居 遺物出土状態(南から)
- 3 10号住居 遺物(1・3他)出土状態
- 4 10号住居 全景(南から)
- 5 10号住居 炉断面
- 6 11号住居 全景(南から)
- 7 11号住居 掘り方断面(東から)
- 8 12号住居 遺物出土状態

PL-18 A 2区の竪穴住居

- 1 12号住居 カマド断面
- 2 12号住居 全景(西から)
- 3 13号住居 P3遺物(1~3)出土状態
- 4 13号住居 掘り方全景(南から)
- 5 14号住居 掘り方全景(南から)
- 6 15号住居 遺物出土状態(東から)
- 7 15号住居 掘り方全景(東から)
- 8 16・17号住居 全景(東から)

PL-19 A 2区の竪穴住居

- 1 18号住居 全景(南から)
- 2 18号住居 掘り方全景(西から)
- 3 18号住居 カマド(西から)
- 4 18号住居 遺物出土状態
- 5 19号住居 全景(南から)
- 6 19号住居 掘り方全景(東から)
- 7 20号住居 全景(東から)
- 8 20号住居 遺物(4・7・11)出土状態

PL-20 A 2区の竪穴住居

- 1 21号住居 遺物出土状態(南から)
- 2 21号住居 掘り方全景(南から)
- 3 22号住居 全景(西から)
- 4 22号住居 遺物(1・3・5)出土状態
- 5 23号住居 掘り方全景(東から)
- 6 25号住居 全景(東から)
- 7 26号住居 全景(西から)
- 8 26号住居 カマド遺物(12~14他)出土状態

PL-21 A 2区の竪穴住居

- 1 27号住居 掘り方全景(北東から)
- 2 28号住居 全景(南から)
- 3 28号住居 掘り方全景(南から)
- 4 29号住居 掘り方全景(東から)
- 5 31号住居 全景(東から)
- 6 32号住居 全景(東から)
- 7 32号住居 掘り方全景(西から)
- 8 33号住居 全景(南から)

PL-22 B区・C区の竪穴住居

- 1 B区1号住居 全景(南から)
- 2 1号住居 掘り方全景(南から)
- 3 1号住居 焼土出土状態(南から)
- 4 1号住居 矢板痕西壁(南から)
- 5 C区1号住居 断面(西から)
- 6 2号住居 全景(西から)
- 7 2号住居 掘り方全景(西から)
- 8 2号住居 カマド(西から)

PL-23 C区・取付道F区の竪穴住居

- 1 C区3号住居 遺物出土状態(西から)
- 2 3号住居 掘り方全景(西から)
- 3 6号住居 掘り方全景(東から)
- 4 7号住居 掘り方(東から)
- 5 取付道F区1号住居 掘り方全景(東から)
- 6 2号住居 全景(南から)
- 7 2号住居 カマド断面(南から)
- 8 3号住居 北壁断面(南から)

PL-24 古墳時代の居館

- 1 1号溝(東から)
- 2 1号溝断面(西から)
- 3 1号溝1区遺物出土状態(西から)
- 4 1号溝3区遺物出土状態(東から)
- 5 1号溝3区刺形石製品出土状態(南東から)
- 6 1号溝5区上層遺物出土状態(南東から)
- 7 1号溝5区下層遺物出土状態(東から)

P L-25 古墳時代の居館

- 1 2号溝（北東から）
- 2 2号溝断面（西から）
- 3 2号溝1区遺物出土状態（東から）
- 4 2号溝2区遺物出土状態（東から）
- 5 2号溝3区遺物出土状態（西から）
- 6 2号溝4区遺物出土状態（南西から）
- 7 2号溝4区（50・51）出土状態（南から）

P L-26 A区古墳時代の溝

- 1 A 2区13号溝（南から）
- 2 13号溝遺物出土状態（北から）
- 3 A 2区16号溝（南東から）
- 4 A 1区16号溝遺物出土状態（南から）
- 5 A 1区111号土坑断面（南から）
- 6 111号土坑（南西から）
- 7 A 2区1号溝（南東から）

P L-27 A 1区中世館の溝

- 1 4号溝（北から）
- 2 4号溝1区（西から）
- 3 4号溝2区（北東から）
- 4 4号溝5区上層遺物出土状態（北から）
- 5 4号溝5区下層遺物出土状態（南から）
- 6 4号溝南隅（西から）

P L-28 A 1区中世館の溝

- 1 4号溝7・8区（北から）
- 2 4号溝C-C'断面（南から）
- 3 4号溝G-G'断面（南から）
- 4 5号溝上層遺物出土状態（南から）
- 5 5号溝下層遺物出土状態（北から）
- 6 5号溝B-B'断面（南から）
- 7 5号溝E-E'断面（西から）

P L-29 その他の溝1 A 1区の溝

- 1 3・8号溝（東から）
- 2 3・8号溝断面（東から）
- 3 6号溝断面（南東から）
- 4 7号溝断面（南西から）
- 5 7号溝（東から）
- 6 9号溝断面（西から）
- 7 14号溝板碑出土状態（西から）

P L-30 その他の溝2 A 1区の溝

- 1 11・12号溝（北から）
- 2 13号溝（西から）
- 3 14号溝断面（西から）
- 4 15号溝断面
- 5 14・15・9号溝（西から）

P L-31 その他の溝3 A 1区・A 2区の溝

- 1 A 1区17号溝（北から）
- 2 18号溝（東から）
- 3 20号溝断面（南から）
- 4 20号溝（南から）
- 5 A 2区2号溝（北西から）
- 6 2号溝西側（東から）
- 7 3号溝（東から）
- 8 3号溝（西から）

P L-32 その他の溝4 A 2区の溝

- 1 4号溝（南東から）
- 2 5号溝（南東から）
- 3 4・5号溝（南東から）
- 4 6号溝断面（南東から）
- 5 6・7号溝（北西から）
- 6 7号溝断面（南東から）
- 7 8号溝（西から）

P L-33 その他の溝5 A 2区・B 1区の溝

- 1 A 2区北隅の溝群断面（南から）
- 2 B 1区3・2号溝（西から）
- 3 5・4・3号溝（南西から）
- 4 12・7・14・13号溝（北から）
- 5 12号溝断面（南から）
- 6 15号溝断面（東から）

P L-34 その他の溝6 B 1区・C区の溝

- 1 B 1区11・16号溝（南東から）
- 2 24号溝（南から）
- 3 C区1号溝（西から）
- 4 2号溝（東から）
- 5 4・6号溝断面（東から）
- 6 5・5'号溝断面（東から）

P L-35 その他の溝7 C区の溝

- 1 11号溝（南東から）
- 2 14号溝断面（西から）
- 3 16・15号溝（南から）
- 4 17号溝（西から）
- 5 19・36号溝（南から）
- 6 34・35号溝断面（南から）
- 7 34・35号溝（北西から）

P L-36 その他の溝8 C区・取付道D区の溝

- 1 C区33号溝（東から）
- 2 38号溝断面（東から）
- 3 大溝（南東から）
- 4 C区・取付道D区の混泥土下溝群（北上空から）

P L-37 その他の溝9 D区の溝

- 1 1～3号溝（西から）
- 2 4号溝断面（東から）
- 3 5号溝（南から）
- 4 7・8号溝（西から）
- 5 14・19号溝（南から）
- 6 24・11・20・12・12B・13号溝（北東から）

P L-38 その他の溝10 D区・E区の溝

- 1 D区29・30・28・27号溝（南上空から）
- 2 31号溝
- 3 32・33号溝（東から）
- 4 34・35号溝（南から）
- 5 E区54～57号溝（東から）

P L-39 その他の溝10 取付道A～C区の溝

- 1 取付道A区2～5号溝（北西から）
- 2 7・9・10・14号溝（北西から）
- 3 11～13号溝（西から）
- 4 23号溝断面（東から）
- 5 取付道B区1号溝（南から）

- 6 2号溝断面 (南から)
- 7 取付道C区1号溝 (西から)
- 8 2号溝 (西から)
- PL-40 その他の溝11 取付道C・E区の溝**
- 1 取付道C区3・5・6号溝 (南から)
- 2 4号溝 (東から)
- 3 取付道E区3・10・12号溝 (南から)
- 4 4号溝 (南から)
- 5 7号溝断面 (北から)
- 6 6号溝 (北から)
- 7 17号溝断面 (南から)
- PL-41 掘立柱建物と柱列**
- 1 A1区1号掘立柱建物 (南から)
- 2 A1区3号掘立柱建物 (南から)
- 3 A1区1号柱列 (南東から)
- 4 A1区875-795グリッド付近 (西から)
- 5 A2区1号掘立柱建物 (南から)
- 6 C区1号掘立柱建物 (東から)
- 7 C区2号掘立柱建物 (南から)
- PL-42 B区1号掘立柱建物**
- 1 B区1号掘立柱建物 (北から)
- 2 P4断面 (南から) 3 P5 (南から)
- 4 P6断面 (南から) 5 P9断面 (南から)
- 6 P14断面 (南から) 7 P15断面 (南から)
- 8 P17 (南から) 9 P18 (南から)
- 10 P22 (南から)
- PL-43 井戸1**
- 1 A1区1号井戸断面 (南東から)
- 2 2号井戸断面 3 2号井戸
- 4 3号井戸露出土状態 (東から)
- 5 3号井戸 (北から)
- 6 4号井戸上層露出土状態 (北から)
- 7 4号井戸下層石組み状態 (北から)
- 8 4号井戸底面 (北から)
- PL-44 井戸2**
- 1 A1区5号井戸断面 2 5号井戸
- 3 6号井戸 4 6号井戸露出土状態
- 5 7号井戸断面 6 7号井戸
- 7 A2区1号井戸下層断面 (南西から)
- 8 1号井戸 (南から)
- PL-45 井戸3**
- 1 A2区2号井戸露出土状態 (西から)
- 2 2号井戸 (西から)
- 3 8号井戸遺物出土状態 (東から)
- 4 4号井戸 (南から)
- 5 5号井戸遺物出土状態 (東から)
- 6 5号井戸 (東から)
- 7 6号井戸 (西から)
- 8 7号井戸 (北から)
- PL-46 井戸4・粘土探掘坑**
- 1 B区1号井戸 (西から)
- 2 2号井戸
- 3 3号井戸 (南から)
- 4 4号井戸断面
- 5 取付道E区1号井戸 (北東から)
- 6 1号井戸上面露出土状態 (北東から)
- 7 A1区粘土探掘坑 (西から)
- 8 粘土探掘坑断面 (南西から)
- PL-47 土坑1 A1区の土坑**
- 1 1号土坑 2 2号土坑
- 3 3号土坑 4 4号土坑
- 5 5号土坑 6 6号土坑
- 7 8・7号土坑 8 9号土坑
- 9 10号土坑 10 11号土坑
- 11 12号土坑 12 13号土坑断面
- 13 14号土坑 14 15号土坑断面
- 15 16号土坑 16 17号土坑断面
- 17 18号土坑 18 19・20号土坑
- PL-48 土坑2 A1区の土坑**
- 1 21号土坑 2 22号土坑
- 3 23号土坑 4 24号土坑
- 5 24・25・26号土坑 6 27号土坑
- 7 28号土坑断面 8 29号土坑
- 9 30号土坑 10 31号土坑
- 11 32号土坑 12 33号土坑
- 13 31・32・33号土坑 14 34号土坑
- 15 35号土坑 16 36号土坑断面
- 17 37号土坑断面 18 38号土坑
- PL-49 土坑3 A1区の土坑**
- 1 39号土坑断面 2 40号土坑
- 3 41号土坑 4 42号土坑
- 5 43号土坑 6 44号土坑
- 7 45号土坑断面 8 46号土坑断面
- 9 50号土坑 10 51号土坑
- 11 52号土坑 12 53号土坑
- 13 54号土坑 14 55号土坑
- 15 56・57・58号土坑 16 59号土坑
- 17 60号土坑 18 61号土坑
- PL-50 土坑4 A1区の土坑**
- 1 62号土坑断面 2 63号土坑
- 3 64・65号土坑 4 66・67号土坑
- 5 68号土坑 6 69号土坑
- 7 71号土坑断面 8 72号土坑断面
- 9 73号土坑断面 10 74号土坑
- 11 75号土坑 12 76号土坑
- 13 77号土坑 14 78号土坑
- 15 79号土坑 16 80号土坑
- 17 81号土坑 18 83・84号土坑
- PL-51 土坑5 A1区の土坑**
- 1 85号土坑断面 2 86号土坑
- 3 87号土坑断面 4 88号土坑
- 5 89号土坑断面 6 90号土坑
- 7 92号土坑 8 93号土坑
- 9 94号土坑 10 95号土坑
- 11 96号土坑 12 97号土坑
- 13 98号土坑 14 99・100号土坑断面
- 15 99・100号土坑 16 101号土坑
- 17 102号土坑断面 18 103号土坑断面

PL-52 土坑6 A1区の土坑

1	104号土坑断面	2	105号土坑断面
3	106号土坑	4	107号土坑
5	108号土坑断面	6	109号土坑
7	110号土坑(墓坑)	8	112号土坑断面
9	113号土坑断面	10	115号土坑
11	116号土坑	12	117号土坑
13	118号土坑断面	14	119号土坑断面
15	121号土坑断面	16	122号土坑断面
17	122・123号土坑	18	125号土坑断面

PL-53 土坑7 A1区の土坑

1	127号土坑	2	128号土坑
3	129号土坑	4	130号土坑断面
5	131号土坑	6	132号土坑
7	133号土坑	8	134号土坑
9	135号土坑	10	136号土坑
11	137号土坑	12	138号土坑
13	139号土坑	14	140号土坑
15	141号土坑	16	143号土坑断面
17	144号土坑	18	145号土坑断面

PL-54 土坑8 A1区・A2区の土坑

1	A1区146号土坑断面	2	147号土坑
3	148号土坑断面	4	149号土坑断面
5	150号土坑断面	6	152号土坑
7	A2区1号土坑	8	2号土坑
9	3号土坑	10	5号土坑
11	6号土坑断面	12	7号土坑
13	8号土坑	14	9号土坑
15	10号土坑	16	11号土坑
17	12号土坑	18	13号土坑・3号ビット断面

PL-55 土坑9 A2区の土坑

1	14号土坑	2	15号土坑断面
3	16号土坑	4	17号土坑断面
5	18号土坑断面	6	19号土坑断面
7	19号土坑	8	20号土坑断面
9	21号土坑	10	22号土坑
11	23号土坑	12	24号土坑
13	25号土坑断面	14	26号土坑
15	27号土坑	16	28・29号土坑
17	29号土坑	18	30号土坑断面

PL-56 土坑10 A2区の土坑

1	31号土坑断面	2	32号土坑
3	33・35号土坑	4	34号土坑
5	36号土坑	6	37号土坑
7	38号土坑断面	8	41・40号土坑
9	42号土坑	10	43号土坑断面
11	44号土坑	12	45号土坑
13	46号土坑断面	14	47号土坑
15	48号土坑	16	49号土坑
17	50号土坑	18	51号土坑断面

PL-57 土坑11 A2区・B区・C区の土坑

1	A2区52号土坑断面	2	53号土坑
3	54号土坑	4	B区1号土坑
5	3号土坑	6	4号土坑断面

7	5号土坑	8	7号土坑断面
9	8号土坑断面	10	C区15号土坑
11	20号土坑	12	21号土坑
13	22号土坑	14	29号土坑断面
15	39号土坑断面	16	40号土坑断面
17	42号土坑	18	44号土坑

PL-58 土坑12 C区・E区・取付道の土坑

1	C区46号土坑断面	2	47号土坑断面
3	49号土坑	4	50号土坑
5	58号土坑断面	6	64号土坑
7	E区67号土坑	8	69号土坑
9	70号土坑	10	71号土坑
11	74号土坑	12	75・76・77号土坑
13	取付道C区1号土坑	14	6・7号土坑
15	8号土坑断面	16	取付道E区1号土坑断面
17	2号土坑	18	5号土坑

PL-59 D区Aa-B下水田

1	D区北側のAa-B下水田(上方が東)
2	D区Aa-B下水田(北側上空から)

PL-60 D区・E区Aa-B下水田

1	D区Aa-B下水田(南側上空から)
2	E区Aa-B下水田(北側上空から)

PL-61 D区Aa-B下水田

1	東隣の畦と田面(北から)
2	第7区画足跡列(西から)
3	畦沿いの足跡列(西から)
4	9号畦と水口(北から)
5	足跡確認状態

PL-62 C区Hr-F A下水田

1	C区Hr-F A下水田(上方が北)
---	-------------------

PL-63 C区Hr-F A下水田

1	C区Hr-F A下水田遠景(南から)
2	C区Hr-F A下水田全景(南から)

PL-64 D区Hr-F A下水田

1	D区Hr-F A下水田(上方が北)
---	-------------------

PL-65 C区Hr-F A下水田

1	C区南側Hr-F A下水田(東から)
2	C区北側Hr-F A下水田(東から)

PL-66 D区Hr-F A下水田

1	D区Hr-F A下水田作業風景(南から)
2	D区Hr-F A下水田と北隣高地(北から)

PL-67 D区Hr-F A下水田

1	D区Hr-F A下水田全景(南から)
2	D区Hr-F A下水田全景(北から)
3	D区Hr-F A下水田降雨後の水没状況(南から)

PL-68 C区・D区Hr-FA下水田

1	C区1号畦と水口(東から)
2	D区2号大畦(北西から)
3	C区畦区画(北から)
4	D区畦区画(北西から)
5	C区畦区画と水口(北西から)
6	D区北西隣高地と水田(北東から)
7	C区畦区画と水口(北西から)
8	C区水口(北西から)

PL-69 C区・D区Hr-F A下水田

- 1 C区140-770グリッド付近土層断面(東から)
- 2 D区285-755グリッド付近断面
- 3 C区耕土断面
- 4 C区足跡確認状態
- 5 C区ヒト足跡確認状態
- 6 D区ヒト足跡
- 7 C区馬跡確認状態
- 8 D区馬跡

PL-70 C区・D区As-C混下水田

- 1 D区As-C混下水田全景(北から)
- 2 C区As-C混下水田(北から)
- 3 C区As-C混下水田(北から)
- 4 D区As-C混下水田とF A下水田(北西から)
- 5 D区As-C混下水田とF A下水田(南東から)

PL-71 B 2区泥流下耕作痕

- 1 B 2区泥流下耕作痕全景(北から)

PL-72 C区泥流下耕作痕

- 1 C区泥流下全景(上方が北)

PL-73 B 2区・C区泥流下耕作痕

- 1 C区南隅泥流下耕作痕(北から)
- 2 B 2区泥流下耕作痕(東から)
- 3 C区耕作痕内の掘削工具痕
- 4 B 2区東壁断面
- 5 C区耕作痕内の掘削工具痕

PL-74 C区・取付道A区泥流下耕作痕

- 1 C区北隅泥流下耕作痕(南から)
- 2 取付道A区泥流下耕作痕(北から)

PL-75 取付道A～C区の復旧痕と水田

- 1 取付道C区275-675グリッド付近As-A復旧痕確認状態(東から)
- 2 同左 復旧痕
- 3 同上 復旧痕跡
- 4 取付道C区245-678グリッド付近As-A復旧痕確認状態(南東から)
- 5 取付道C区As-B下水田(南から)
- 6 取付道C区As-B下水田 ヒト足跡
- 7 取付道B区Hr-F A下水田(西から)
- 8 取付道A区Hr-F A下水田(北から)

PL-76 道跡

- 1 A区道跡側溝(西から)
- 2 A区道跡側溝断面(東から)
- 3 取付道F区道跡(西から)
- 4 取付道F区道跡(東から)

PL-77 1・2号方形形溝遺跡出土遺物

PL-78 A 1区1～4・6・7号住居出土遺物

PL-79 A 1区7・8号住居出土遺物

PL-80 A 1区9・10・13～15・17号住居出土遺物

PL-81 A 1区18・20号住居出土遺物

PL-82 A 1区22・24～26号住居出土遺物

PL-83 A 1区27・29・31号住居出土遺物

PL-84 A 1区34・36・38・39号住居出土遺物

PL-85 A 1区40・42～44号住居出土遺物

PL-86 A 2区1～4号住居出土遺物

PL-87 A 2区4・7・9・10号住居出土遺物

PL-88 A 2区10・12号住居出土遺物

PL-89 A 2区12～14・18号住居出土遺物

PL-90 A 2区18・19号住居出土遺物

PL-91 A 2区20～22号住居出土遺物

PL-92 A 2区25・26号住居出土遺物

PL-93 A 2区28・29・31号住居・B 1区1号住居出土遺物

PL-94 C区・取付道F区住居出土遺物

PL-95 A 1区1号溝出土遺物(1)

PL-96 A 1区1号溝出土遺物(2)

PL-97 A 1区1号溝出土遺物(3)・2号溝出土遺物(1)

PL-98 A 1区2号溝出土遺物(2)

PL-99 A 1区2号溝出土遺物(3)

PL-100 A 1区2号溝出土遺物(4)

PL-101 A 2区13号溝出土遺物(1)

PL-102 A 2区13号溝出土遺物(2)

・A 1・2区16号溝出土遺物

PL-103 A 2区16号溝・1号溝・A 1区111号土坑出土遺物

PL-104 A 1区4号溝出土遺物(1)

PL-105 A 1区4号溝出土遺物(2)

PL-106 A 1区4号溝出土遺物(3)

PL-107 A 1区4号溝出土遺物(4)

PL-108 A 1区4号溝出土遺物(5)

PL-109 A 1区4号溝出土遺物(6)

PL-110 A 1区4・14号溝出土板碑

PL-111 その他の溝出土遺物

PL-112 井戸出土遺物

PL-113 土坑出土遺物(1)

PL-114 土坑出土遺物(2)

PL-115 縄文時代の石器(1)

PL-116 縄文時代の石器(2)

PL-117 縄文土器

PL-118 中近世の瓦

PL-119 その他の遺物(1)

PL-120 その他の遺物(2)

PL-121 櫻町北直道跡(1)

1 As-A下およびAs-A混土面(西から)

2 As-B下面(西から)

PL-122 櫻町北直道跡(2)

1 3号溝の新古状態(北東から)

2 As-B下水田畦と9・10号溝(東から)

3 池跡(北西から)

4 池跡(南から)

5 Hr-F A下水田(西から)

PL-123 櫻町北直道跡(3)

1 Hr-F A下水田(北から)

2 Hr-F A下面14号溝(南東から)

3 Hr-F A下面14号溝(東から)

4 15・16(右)号溝(北西から)

5 15号溝土層断面(西から)

6 出土遺物

出土遺物観察表

1 方形周溝墓

1号方形周溝墓

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 壺	口[13.4] 高[4.6]	口縁部小片	口縁折り返しの上に外面刷毛目。その上に内外面幅太で雄なへら磨き。口縁上端にもへら磨きを加える。	①C。②酸化焙、普通。③にぶい貫粒10YR6/3。口縁上端は赤色味、断面は灰色味をおびる。
2	土師器 台付甕	口17.3 台F9.3 高29.1	約50片。 3/4個体	ハケ目は丁寧。内面も比較的平滑に仕上げ。胴部と台部の接合部分は大きく歪む。	①B。素地緻密だが台付甕としては混入物は大量。②酸化焙、普通。③浅黄2.5Y7/3。下半に黒豆状のムラあり。断面は黒色味をおびる。

2号方形周溝墓

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 器台	口[16.8] 高[5.2]	受部3/4	外面幅広いハケ目の上になぞ。細かい縦痕が残る。内外面赤色塗彩。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焙、やや硬質。③にぶい貫粒10YR7/4。赤彩部は赤橙10R6/6。
2	土師器 器台	高[5.0]	胴部ほぼ完存	3ヶ所穿孔。丁寧に仕上げ。外面は丁寧なへら磨き。内面下半は幅広いハケ目。外面赤色塗彩。	①B。厚石肌、赤褐色気味やや含む。②酸化焙、普通。③にぶい貫粒10YR7/3。内面は明度低い。赤彩部は赤橙10R6/6。
3	土師器 器台	口19.0 脚F10.9 高10.3	受部1/2、脚部ほぼ完存	脚部に3ヶ所穿孔。外面ハケ目上になぞ。内面杯部へら工具の痕跡。脚部指図汪痕残り、器面の凹凸顯著。脚部内面を除いて赤色塗彩。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焙、やや硬質。③にぶい貫粒7.5YR7/4。赤彩部は赤橙10R6/6。
4	土師器 器台	口14.0 脚F12.8 高11.0	受部ほぼ完存、脚部3/4	外面杯部ハケ目。脚部幅広いへら削りの上になぞ。内面脚部下半ハケ目。最後にナゲ調整を全体に施すが、雄なつくり。脚部内面を除き赤色塗彩。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焙、やや硬質。③にぶい貫粒10YR7/4。赤彩部は赤橙10R6/6。
5	土師器 小型壺	底4.2 高[8.7]	胴部部の3/4	外面ハケ目上になぞ。内面へら工具によるナゲ。一部削りに近い。底部焼成前穿孔。外面赤色塗彩。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焙、やや硬質。③にぶい貫粒7.5YR7/4。赤彩部は赤橙10R6/6。
6	土師器 壺	口11.2 底(6.3) 高18.8	胴部部の3/4	外面ハケ目の上になぞ。口縁部の折り返しやや含む。内面胴部指図汪痕、輪縁很明瞭。底部焼成前穿孔。外面赤色塗彩。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焙、やや硬質。③にぶい貫粒7.5YR7/4。外面胴部に黒豆あり。赤彩部は赤橙10R6/6。
7	土師器 壺	底5.4 高[7.1]	底部完存	外面ハケ目の上になぞ。細かい縦痕が残る。内面はへら工具によるナゲで、平滑。底部焼成前穿孔。外面赤色塗彩。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焙、やや硬質。③にぶい貫粒10YR7/4。赤彩部は赤橙10R6/6。
8	土師器 壺	口[16.3] 高[6.8]	胴部部の1/6	口縁ナぞ。粗い縦痕が見られる。胴部外面丁寧なナゲ。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焙、やや硬質。③赤橙5YR4/6。
9	土師器 台付甕	口13.1 高[11.0]	口縁3/4、胴部上半1/2	S字状口縁。外面胴部のハケ目は滑い。内面胴部指図汪痕によるナゲだが、器面の凹凸目立つ。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焙、やや硬質。③にぶい貫粒10YR6/3。
10	鉄器 刀子か	長[3.6] 幅[1.3]厚[0.15]	床面直上 身部小破片	縁に相当する部分は細く屈曲している。刃部不明瞭で刀子とは確定できない。	①酸化すすびがメクレ等はなく、地金は良好。②欠損は旧時。

2 整穴住居

A1区に住居

1号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口(14.0) 底4.4 高3.0	北西横寄りの床直上および覆土上の5片。 胴示部の1/2	右回転ロタローター天井部幅広の回転ヘラ削り・ロタロ利用納み取り付。口ロ痕明確。	①G。黒色磁物多数。器面滑らか。②還元焰、やや硬調。③灰白S15/1。内面は灰白S18/1。
2	須恵器 高杯	高[3.0]	覆土上。 胴示部の1/4	右回転ロタロ、外面回転ヘラ削り。脚部に浅かしの痕跡。内面凹凸顯著。	①G。赤褐色系。混入物は少ない。②還元焰、やや硬調。③灰白S3/0。
3	土師器 杯	口(12.7) 高3.2	北隅付近の床直上5cm。 胴示部の1/4	器面磨滅し、整形痕不明瞭。口縁ナデの磨痕明確。外底丁寧なヘラ削り。内外面とも比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい焼7.518/4。
4	土師器 杯	口(14.0) 底(7.4) 高[3.4]	カマド北端直前の床直上17cm。胴示部の1/8	やや厚手。外面ナデに近い丁寧なヘラ削り。内面やや不整な放射状珞文。	①A。赤褐色磁物の混入多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤焼S125/5。
5	土師器 杯	口14.4 底9.2 高4.4	カマド内及びカマド前面の床直上の5片。 胴示部の3/4	器面磨滅し、整形痕不明瞭。口縁割いナデ。外底丁寧なヘラ削り。内面放射状珞文。器面は比較的平滑。	①E。やや大粒の赤褐色磁物を含む。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③焼7.518/5。
6	須恵器 長頸瓶	高[4.7]	住居中央南東横寄りの床直上19cm。	右回転ロタロ。胴部に2条(一部3条)の辻線走る。外面降灰軸付着。内面ロタロ痕の擦痕顯著。	①G。石炭屑じりの片岩削り。②還元焰、やや硬調。③灰白2.517/1。
7	土師器 甕	口(21.0) 高[7.8]	カマド内とカマド前面の床直上から床直上5cmの8片。口縁1/2	薄手。胴部外面やや強いヘラ削り。内面ヘラ状工具によるナデで平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤焼S125/5。
8	土師器 甕	口(22.2) 高[5.7]	中央付近の床直上から床直上19cmまでの4片。口縁1/2	器面磨滅し、整形痕不明瞭。胴部外面ヘラ削り。内面ヘラ状工具の圧痕が残る。比較的平滑。	①A。赤褐色磁物多い。②酸化焰、やや硬調。③焼7.518/5。

2号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 杯	口(12.0) 底(7.4) 高4.3	覆土上。 胴示部の1/4個体	右回転ロタロ。外底はヘラ切り履しの上をナデで、平滑に仕上げる。	①F。黒色磁物数見。赤褐色系。混入物は少なく器面は滑らか。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰S16/1。
2	須恵器 杯	口(13.8) 底(8.1) 高3.6	覆土上。 胴示部の1/5	器面磨滅。右回転ロタロ。口ロ痕の凹凸顯著。	①A。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。③灰白S18/1。
3	須恵器 高台付杯	口(15.0) 底(8.9) 高3.6	覆土上。 胴示部の1/5	右回転ロタロ。高台削り出し。口ロ痕は鋭く、比較的平滑。	①F。赤褐色系。混入物は少なく器面滑らか。②還元焰、やや硬調。③灰白S17/1。
4	土師器 杯	口12.4 高3.6	床下(1号溝内) 1/2個体	口縁小さく波状に重む。外底のヘラ削りは丁寧。内面同心円状にナデの磨痕が高。比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③焼7.518/5。
5	土師器 甕	口(20.2) 高[11.1]	カマド内の6片。 胴示部の1/4	薄手。口縁のナデは鈍。胴部外面やや強いヘラ削り。内面はヘラ状工具のナデで、比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤焼S125/5。一様でない。④胴部外面にスス付着。
6	土師器 甕	口(18.5) 高[8.8]	床下(1号溝内) 口縁小破片	薄手。口縁歪む。胴部ヘラ削り丁寧。胴部にヘラ傷が軸調整で残る。内面丁寧なヘラ状工具ナデ。比較的平滑。	①A。石、砂粒の混入多い。②酸化焰、普通。③にぶい焼7.518/4。

3号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口16.4 底5.2 高2.8	カマド前面から南東隅付近の床直上4片。ほぼ完全	右回転ロタローター天井部幅広の回転ヘラ削り・ロタロ利用納み取り付。口ロ痕明確。縦線・カエリ鋭い。	①G。白色砂子。赤褐色系。混入物は少ない。②還元焰、硬調。③灰2.516/1。
2	土師器 杯	口(11.8) 高[3.1]	覆土上。 胴示部の1/4	器面磨滅し、整形痕不明瞭。外底にヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③焼7.518/5。
3	土師器 杯	口15.0 高3.8	カマド前面および覆土上の11片。 胴示部の3/4	器面磨滅し、整形痕やや不明瞭。口縁のナデやや強。外底のヘラ削り強いが、周辺に凹溝痕を残す。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③焼7.518/5。
4	土師器 甕	口(18.9) 高4.7	覆土上。 口縁1/4	口縁ナデ。胴部外面やや強いヘラ削り。内面平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③焼7.518/5。
5	土師器 甕	口(18.3) 高3.8	覆り方理の戻し土。 口縁1/4	口縁やや割いナデ。内面ヘラ状工具による強いナデ。口縁内面を待つ。	①C。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③焼7.518/5。

4号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 台付甕	底8.6 高[7.0]	住居中央の床直上と覆土上の10片。台座1/2	器面の磨滅著しく、整形痕不明。台座内面削り高しは丁寧。	①E。赤褐色系。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、やや軟調。③黒黒10182/2。

5号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	高2.5	東壁部床直上。 天井部1/4	右回転ロクロ。外壁の降次輪多く整形痕 不明だが強い曲面に回転ヘラ割りか。内 面はロクロ歯留り、比較的平滑。	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他 ①G。質地強い。黒色炭物、石英粒多い。②還元 焰、やや硬質。③灰白2.5Y7/1。

6号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 杯	口[12.8] 高[3.7]	埋没土。 胴部1/5	右回転ロクロ。外底手持ちヘラ削り。ロ タロ歯留り、比較的平滑。	①G。黒色炭物散見。器面滑らか。②還元焰、やや 硬質。③灰白6/1。一様でない。
2	土師器 甕	口[22.0] 高[10.2]	埋没土。 胴部1/3	口縁は弦状に至む。胴部外面非常に強い ヘラ削り。内面ヘラ状工具の丁寧なナデ で、比較的平滑。	①D。質地粗く、砂粒の混入が多い。②酸化焰、普通。 ③明赤褐5Y5/5。一様でない。
3	土師器 甕	口21.2 高[32.4]	カマド内や前面・輪上 に散在する5片。 胴部2/3	器面の磨滅著しく、整形痕不明瞭。口縁 強いナデ。胴部外面やや強いヘラ削り。 内面ヘラ状工具ナデ。	①A。赤褐色炭物含み、小粒の混入物が多い。②酸化 焰、普通。③にぶい黄褐色10Y5/4。④胴部外面に スス付着。

7号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口[13.0] 高[3.2]	カマド前面の床土10cm。 口縁若干、体部1/4	右回転ロクロか。外底天井部細かい手持 ちヘラ削り。天井内面のロクロ歯の輪は 狭く鋭い。	①G。質地硬質。混入物は少なく砂質。②還元焰、 硬質で焼き締まる。③灰白4/0。
2	須恵器 蓋	口[12.0] 高[4.3]	住居中央の床土9cm。 口縁若干、体部1/4	右回転ロクロか。外底天井部細かい手持 ちヘラ削り。ロクロナデの擦痕明瞭。	①G。質地硬質。混入物は少なく砂質。②還元焰、 硬質で焼き締まる。③灰白5Y6/1。
3	須恵器 蓋	口[12.0] 高[4.6]	埋没土。 胴部1/8	右回転ロクロ強い回転ヘラ削り。天井 部厚手。内面平滑。	①G。質地硬質。混入物は少なく砂質。②還元焰、 硬質で焼き締まる。③灰白5Y6/1。
4	須恵器 杯	口12.0 高3.1	南東隅の床直上。 ほぼ完全	器面磨滅し、整形痕不明瞭。右回転ロク ロ外底回転ヘラ削り。	①G。やや粉っぽく、黒色炭物、雲母粒が目立つ。 ②還元焰、やや軟質。③灰白7.5Y5/1。口縁は黒色 味強い。
5	須恵器 杯	口13.1 高3.1	カマド南壁の床土17cm。 胴部1/3	右回転ロクロ外底回転ヘラ削り。内底 ロクロ歯の凹凸明瞭。	①G。質地粗く、片石、石英目立つ。②還元焰、やや 硬質。③灰7.5Y5/1。
6	須恵器 杯	口[12.6] 高4.0	埋没土。 口縁1/2、体部2/3	右回転ロクロ。外底ナデに近い手持ちヘ ラ削り。	①G。質地硬質。混入物は少ない。黒色炭物散見。 ②還元焰、硬質で焼き締まる。③灰5Y6/1。一様で ない。
7	土師器 杯	口11.8 高3.8	カマド火床北寄り直上。 完全	口縁滑らかなナデ。磨滅痕が見られる。外底 のヘラ削りは細かく強い。内面平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬質で焼 き締まる。③明赤褐5Y5/5。一様でない。
8	土師器 杯	口10.9 高3.5	カマド燃焼部内3片とカ マド前面の1片。 3/4個体	器面磨滅し、整形痕不明瞭。外底ヘラ削 りの痕跡。内底に工具の圧痕明瞭。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬質で焼 き締まる。④明赤褐5Y5/5。
9	土師器 杯	口12.0 高3.9	南壁直下の床土8cm。 2/3個体	外面は器面磨滅し、整形痕やや不明瞭。 外底ヘラ削りの痕跡。内面はナデの磨痕 が同心円状に混り、比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬 質。③明赤褐5Y5/5。一様でない。
10	土師器 杯	口[12.2] 高3.6	南壁直下の床土4cm。 胴部1/3	口縁やや強いナデ。外底幅の広いヘラ削 り。内底にヘラ状工具による圧痕残り、 凹凸顯著。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬質で焼 き締まる。④明赤褐5Y5/5。
11	土師器 杯	口[11.5] 高[3.2]	埋没土。 胴部1/3	器面磨滅し、整形痕やや不明瞭。口縁強 いナデ。外底強いナデ。磨滅痕が明瞭に 残る。内面は器面の剥落が混む。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬質で焼 き締まる。④明赤褐5Y5/5。
12	土師器 杯	口[11.6~13.0] 高[4.2]	南壁直下の床土ほぼ直上。 胴部1/4	口縁のナデは強く、磨滅明瞭。外底やや強 いヘラ削り。内面平滑。歪み著しい。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬質で焼 き締まる。④明赤褐5Y5/5。一様でない。
13	土師器 埴	高[3.3]	埋没土。 底部1/2	外面ヘラ削り。一部ヘラ割りか。内面 かいたナデで、器面の平滑が混む。	①A。赤褐色炭物、小粒の混入物が多い。②酸化 焰、やや軟質。③にぶい黄褐色10Y5/4。内面は黒色 味強い。
14	土師器 甕	高[22.9]	カマド火床土およびカマ ド周辺9片。胴部2/3	外面ヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。輪 縁明瞭で、器面の凹凸顯著。	①A。赤褐色炭物含み、小粒の混入物が多い。②酸化 焰、普通。③にぶい黄褐色10Y5/4。④二次焼成。
15	土師器 甕	口17.2 底4.4 高36.4	カマド南壁埋没部の床直 上。完全	器面磨滅し整形痕不明瞭。胴部外底丁寧 なナデ削り。内面は丁寧なナデ。磨痕明瞭。 外底に木重痕。	①A。赤褐色炭物含み、小粒の混入物が多い。②酸化 焰、普通。③灰5Y6/6。④二次焼成。
16	土師器 甕	口17.3 底7.7 高23.5	カマド火床直上に側置さ れた9片。 完全	厚手。器面磨滅し整形痕不明瞭。胴部外 面強いヘラ削り。上半は削りの上に丁寧 なナデか。内面丁寧なナデ。輪縁明瞭。 外底に木重痕。	①A。赤褐色炭物含み、小粒の混入物が多い。②酸化 焰、普通。③にぶい黄褐色10Y5/4。④胴部下部スス付 着。
17	土師器 甕	底(4.5) 高[7.4]	カマド燃焼部内およびカ マド周辺の9片。 胴部ほぼ完全	外面強いヘラ削り。内面ヘラ状工具の圧 痕が見られる。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶ い黄褐色5Y5/4。一様でない。④外面スス付着。

8号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口11.8 高3.4	カマド燃焼部突き口側の 床直上の4片。胴部1/3	器面の磨滅著しく、整形痕不明瞭。外底 はヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。	①F。混入物は少ない。②酸化焰、やや軟質。③明 赤5Y6/6。内面黒色。

A1区の堅穴住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
2	土師器 杯	口11.7 高4.1	カマド裡り方内の3片。 図示部②/3	器面の磨滅著しく、整形痕不明瞭。外底へく前りの痕跡。やや縮み。	①F。混入物は少ない。②酸化磁、やや軟質。③橙5YR6/6。
3	土師器 杯	口(11.0) 高[3.3]	カマド南面床直上の2片。図示部の1/4	器面の磨滅著しく、整形痕不明瞭。へく前りの単位は不明。	①F。混入物は少ない。②酸化磁、やや軟質。③橙5YR7/6。
4	土師器 杯	口(13.0) 高[3.7]	埋没土。 図示部の1/4	器面の磨滅著しく、整形痕不明瞭。外底にへく前りの痕跡。	①A。白色粒状物を含む。②酸化磁、普通。③橙5YR7/6。
5	土師器 杯	口(11.6) 高[3.4]	埋没土。 図示部の1/4	器面の磨滅著しく、整形痕不明瞭。口縁はナダの擦痕が見られる。外底へく前りの痕跡。	①F。混入物は少ない。②酸化磁、やや軟質。③橙5YR6/6。
6	土師器 壺	口21.2 高32.4	カマド地道寄り熱焼部内に散乱する20数片。 図示部の②/3	厚手。器面磨滅し、整形痕不明瞭。胴部外面強いへく前り。内面へく杖工具ナダ。	①A。赤褐色底物を含み、小粒の混入物が多い。②酸化磁、普通。③橙7.5YR6/6。
7	土師器 壺	口(19.2) 高[7.6]	カマド熱焼部焚き口側に散乱する8片。 口縁完存	胴部外面強いへく前り。内面はへく杖工具ナダで、比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化磁、普通。③橙5YR6/6。
8	土師器 壺	口20.6 高[16.8]	カマド内と一層住居外側の破片を含む14片。 図示部の②/2	口縁下半だけいナダ。胴部外面は強いへく前り。内面はへく杖工具によるナダで、比較的平滑。	①D。やや大粒の混入物が極めて多い。②酸化磁、普通。③橙5YR6/6。一様でない。
9	土師器 壺	口(20.0) 高[11.0]	埋没土。 図示部1/8	厚手。胴部外面強いへく前り。内面へく杖工具ナダ。平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化磁、普通。③橙7.5YR6/6。一様でない。
10	石製品 勾玉	長3.75 幅1.55 厚0.50 重6.7	埋没土。 ほぼ完存	扁平で一面は比較的平滑。穿孔は片側から。表面の擦痕は少ない。	①純軟岩。

9号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	かわらけ	口8.2 底4.6 高1.6	ピット1西端の床直上1片。完存	右回転クワ。底部回転水切り難し。内底のクワ痕強い。	①G。混入物は少ない。②還元磁、やや軟質。③橙7.5YR7/6。
2	須恵器 杯	口(14.0) 底7.3 高3.7	カマド南面床直上およびカマド内の5片。 口縁2/3、底部ほぼ完存	やや厚手。右回転クワ。底部回転水切り難し。クワの凹凸跡着。擦痕明瞭。	①A。小粒の混入物が極めて多い。②還元磁、やや軟質。③にぶい黄褐色10YR6/3。
3	須恵器 杯	口(14.4) 底5.8 高3.9	南壁下寄りの床直上5片。 口縁若干、底部完存	器面の磨滅著しい。右回転クワ。底部回転水切り難し。高台欠損。	①E。やや砂質。②還元磁、やや軟質。③にぶい橙7.5YR6/4。
4	須恵器 杯	口(14.2) 高[3.4]	埋没土。 図示部の1/4	器面磨滅し、整形痕不明瞭。右回転クワ。クワ痕強い。	①G。やや砂質、混入物は少ない。②還元磁、やや軟質。③90G/0。内面は灰白色。
5	土師器 壺	口(28.0) 高[6.4]	カマド内・ピット2内等南側に散乱する5片。 図示部の②/2	口縁指摺り残存。胴部外面丁寧なへく前り。内面へく杖工具ナダ。口縁端部に弱い沈線通る。	①E。やや大粒の混入物が多い。②酸化磁、普通。③橙7.5YR4/4。一様でない。④外面と口縁内面にスス付着。
6	土師器 壺	口(17.4) 高[15.4]	カマド内およびピット2内。図示部の1/8	胴部外面強いへく前り。上半ナダ。内面丁寧なナダで、比較的平滑。小片からの復元で、径・傾き不安。	①D。やや大粒の混入物が多い。②酸化磁、普通。③明赤黄5YR5/6。一様でない。
7	磁石	長14.8 幅7.0-3.9 厚2.7	南壁にほぼ密着。 一端を欠く	両端を除く4面使用だが、側面の使用に限り顕著。	①純軟岩。

10号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 杯	口(9.4) 底(6.4) 高3.5	ピット1の北西端床直上。図示部の1/2	右回転クワ。底部回転水切り難し。外面隅角付着。クワ痕は弱い。	①G。白色粒子極めて多い。②還元磁、やや硬質。③橙7.5YR6/1。
2	土師器 杯	口(10.0) 高[3.2]	ピット1内床下32cm。1/4個体	やや厚手。外底強いへく前り。内面は比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②還元磁、普通。③にぶい橙5YR6/4。一様でない。
3	土師器 杯	口9.8 高3.0	ピット1内床下6cm。完存	器面磨滅し、整形痕不明瞭。外底へく前りは縦線が強く、周辺に無調整部分広く残る。	①E。小粒の混入物が多い。②還元磁、普通。③橙5YR6/6。
4	土師器 杯	口9.8 高3.2	ピット4の南端床直上6片。ほぼ完存	外底のへく前りは丁寧。内底はナダの擦痕が同心円状に通る。	①A。小粒の混入物が多い。②還元磁、普通。③橙5YR6/6。
5	土師器 杯	口(12.9) 高3.9	ピット3の北端床直上5片。 1/2個体	口縁ナダの擦痕明瞭。外底強いへく前り。内底に工具の圧痕があり、器面の平滑を損なう。	①B。小粒の混入物が多い。②還元磁、普通。③橙5YR6/6。一様でない。
6	土師器 壺	口(18.2) 高[8.5]	住居中央西寄りの床直上。口縁1/5	器面磨滅し、整形痕不明瞭。胴部外面強いへく前り。胴部にへく杖が無調整で残る。内面へく杖工具ナダの痕跡。	①A。やや大粒の混入物が多い。②還元磁、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。一様でない。
7	土師器 壺	底(5.4) 高[7.6]	埋没土。 底部1/2	外底やや強いへく前り。内面丁寧なへく杖工具ナダ。圧痕明瞭。	①A。やや大粒の混入物が多い。②還元磁、普通。③にぶい黄褐色10YR5/3。④外面胴部下端から底部にスス付着。

11号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 壺	口(22.4) 高[5.3]	埋没土。 口縁小破片	口縁ナダ。胴部外面強いへく前り。内面へく杖工具ナダ。	①A。小粒の混入物が多い。②還元磁、やや軟質。③橙7.5YR6/6。一様でない。④内面胴部にスス付着。

13号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 氏原直	高[12.4]	北壁下床土6cm。 断面4/5	右回転ロクロ。ロクロ痕は弱く、器面は比較的平滑。内面巻上げ状の輪痕が明瞭。	①G。荒地産物。混入物は少ない。器面非常に滑らか。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰白10YR7/1。黒色味強いムラあり。
2	土師器 小型壺	高[5.1]	埋没土。 断面部の1/4	器面の磨滅著しく、調整痕不明瞭。内底は指痕の凹凸凸凹。	①C。赤褐色土物含む。②還元焰、やや軟調。③赤褐色10YR5/4。底面は黒色のムラあり。
3	石製品 紡錘車か	径(3.1) 厚0.7 重4.1	埋没土。 1/3個体	厚手。断面中段に稜が残る。孔部分は残存していない。細かく低い稜痕が全面に見られる。	①かんらん岩。

14号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 杯	高[2.7]	住居ほぼ中央の床直上。 断面部の1/3	左回転ロクロ。外底手持ちヘラ削り。ロクロ痕は弱い。	①G。白色土物多い。②還元焰、やや硬調。③黄灰2.5YR6/1。ほぼ一律。
2	羽釜	口[17.8] 高[15.9]	カマド内およびカマド前面の14片。口縁はほぼ完存。断面部と重2/3	器面の磨滅著しく、調整痕不明瞭。銚貼り付け。断面外面細かいヘラ削りの痕跡。内面ヘラ状工具ナデ。	①A。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。③明赤黄10YR5/8。一律でない。
3	羽釜	口[22.0] 高[13.1]	カマド内大床土。 断面部の1/8	銚貼り付け。断面外面強いヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。小片からの復元で、様々編み不安。	①E。角閃石多。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。③明焼7.5YR5/6。口縁は赤色味が強い。

15号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口[11.2] 高[4.0]	中央隅り方内。 断面部の3/4	器面磨滅し、整形痕不明瞭。外底はヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。	①F。混入物は小粒で少ない。②還元焰、やや軟調。③橙7.5YR7/6。外底は黒色味強い。
2	土師器 杯	口[11.0] 高2.9	埋没土。 1/2個体	器面磨滅し、整形痕不明瞭。外底はヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。内面はナデの排成が高。	①F。混入物は小粒で少ない。②還元焰、やや軟調。③橙5YR7/6。
3	土師器 杯	口[11.8] 高3.6	中央床直上の4片。 2/3個体	器面磨滅し、整形痕不明瞭。外底はヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。	①F。混入物は小粒で少ない。②還元焰、やや軟調。③赤い橙7.5YR6/4。
4	土師器 碗	口[14.3] 高[5.8]	中央床土15cmの13片。 断面部の1/2	器面磨滅し、整形痕不明瞭。口縁のナデはやや強い。外底強いヘラ削りで、器面の凹凸顯著。内面は比較的平滑。	①F。赤褐色土物や砂を含む。混入物は小粒で少ない。②還元焰、やや軟調。③赤い橙5YR7/4。

16号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	高[3.2]	東隅床直上。 断面部1/4	器面の磨滅著しく、整形痕不明瞭。外底やや強いヘラ削り。	①A。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。③橙5YR5/6。
2	土師器 杯	口[12.4] 高[3.0]	埋没土。 断面部の1/6	器面の磨滅著しく、整形痕不明瞭。外底にヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。	①F。混入物は小粒で少ない。②還元焰、やや軟調。③橙7.5YR6/6。
3	土師器 器台	高[4.8]	埋没土。 断面1/3	3ヶ所穿孔。内底はヘラ磨きで平滑。断面外面へら磨きの痕跡が見られる。内面裏にしぼり目残る。	①B。混入物は小粒で少ない。②還元焰、普通。③赤い黄灰10YR7/4。一律でない。
4	土師器 高杯	脚下[10.2] 高[2.8]	埋没土。 断面部の1/4	裾部子足の磨損明瞭。外面ヘラ削り。内面磨滅ナデ。	①C。荒地産物。混入物は少ない。②還元焰、普通。③橙5YR5/6。断面は黒色味強い。
5	須恵器 壺	高[3.6]	埋没土。 肩部小破片	右回転ロクロ。内面断面に調整のしぼり目残る。	①G。荒地産物。混入物は少ない。器面やや滑らかに仕上がる。②還元焰、やや軟調。③黄灰2.5YR6/1。一律でない。
6	土師器 壺	高[3.3]	埋没土。 肩部小破片	厚手の大形品。断面に凸帯が通り、刺突文を加えている。	①B。混入物は小粒で少ない。②還元焰、普通。③赤い黄灰10YR5/4。外面は黒色味強い。

17号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 壺	口[20.4] 径(6.0) 高3.5	カマド前の床直上。断面部の1/2。口縁若干	右回転ロクロ→天井部は強い回転ヘラ削り→ロクロ利用積み取り付け。リング組みでロクロ痕は強い。	①G。荒地産物。混入物は少ない。器面非常に滑らか。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰白2.5Y7/1。④軟調産物。
2	須恵器 壺	径(3.7) 高[1.6]	東隅の壁際床土26cm。 径はほぼ完存。天井部若干	右回転ロクロ→天井部回転ヘラ削り→ロクロ利用積み取り付け。天井内部はロクロ利用をナデで磨き滑す。	①G。白色土物多い。②還元焰、やや硬調。③灰白M4.0。
3	須恵器 杯	口[13.0] 底7.0 高4.6	東隅の壁際床土27cm。 径はほぼ完存	厚手。右回転ロクロ。外底回転ヘラ削り→強い回転ヘラ削り。ロクロ痕は比較的弱い。	①G。0.5～2mm次の混入物多い。器面滑らか。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰白5YR7/1。
4	土師器 杯	口[13.0] 高4.1	カマド前面の床直上～床土5cm。1/4個体	器面磨滅し、整形痕不明瞭。外底強いヘラ削り。内底にはヘラ状工具の圧痕が見られる。	①B。角閃石。小粒の混入物が極めて多い。②還元焰、やや硬調。③黄灰黄10YR5/2。
5	土師器 杯	口[13.6] 高[4.0]	南東寄り床土5cm。 1/3個体	器面磨滅し、整形痕不明瞭。外底はヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。内底は指痕の凹凸凸凹。	①B。荒地産物。混入物は少ない。②還元焰、普通。③橙7.5YR6/6。

A1区の整穴住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
6	土師器 杯	口(12.6) 高[2.8]	南東壁跡床土33cm。 図示部の1/3	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底はやや浅いへう割りの痕跡が見られる。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化塩、普通。③にぶい。④7.5YR5/4。
7	土師器 杯	口(19.0) 高5.4	南東壁跡床土上3～30cmに 散見。1/3個体	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底はへう割りの痕跡が見られる。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化塩、普通。③燻7.5YR7/6。一様でない。
8	土師器 杯	口(17.2) 高5.4	南東寄りの床直上に散見。1/4個体	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底はへう割りの痕跡が見られる。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化塩、普通。③燻7.5YR7/6。
9	土師器 甕	口(15.5) 高[7.6]	北西壁跡の床土9cm。 口縁小破片	口縁ナデ。胴部外面やや浅いへう割り。内面へう状工具ナデ。	①E。角閃石、小粒の混入物が極めて多い。②酸化塩、やや軟調。③にぶい。④黄褐色10YR5/3。
10	土師器 沓付甕	高[3.5]	埋没土。 図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面へう割りの痕跡が見られる。胴部と台部の境は緩なナデ。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化塩、普通。③燻7.5YR6/6。

18号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 甕	口(14.0) (4.6) 高1.9	東壁直下の床下。1/4個体	天井部厚手。右回転クローロー天井部回転へう割り→ロタロ利用組み取り付け。器面は比較的平滑。	①G。黒色鉱物、器面滑らか。②還元塩、硬調。③灰白2.5Y7/1。
2	須恵器 甕	径(8.2) 高[3.3]	西寄り床土17cm。 図示1/2、体部1/3	右回転クローロー天井部回転へう割り→ロタロ利用組み取り付け。総はリング状。天井内面と組みのロクロ痕明瞭。	①G。混入物は小粒で少ない。器面滑らか。②還元塩、硬調。③灰7.5Y6/1。
3	須恵器 甕	口(13.2) 高[2.4]	南東隅の床土14cm。口縁1/6、天井部1/8	右回転クローロー割り回転へう割り。ロタロ底は強く、器面は平滑。カエリは摩滅している。	①G。黒色鉱物、器面滑らか。②還元塩、やや軟調。③灰5Y6/1。
4	須恵器 甕	径2.7 高[2.1]	埋没土。胴部ほぼ完存。天井部1/6	内外面摩滅。右回転クローロー天井部回転へう割り→ロタロ利用組み取り付け。	①F。混入物は小粒で少ない。②還元塩、③灰2.5Y7/1。
5	須恵器 甕	口(11.4) 高[2.5]	埋没土。 口縁1/5	右回転クロー。内面はロクロ痕強く平滑。	①G。素地緻密、混入物は少ない。②還元塩、硬調で焼き締まる。③灰7.5Y6/1。
6	須恵器 杯	口(13.0) 高[3.8]	南西隅直上。 図示部の1/5	右回転クロー。外面中位にへう割り「×」が「十」。ロクロ痕強い。	①G。黒色鉱物、器面滑らか。②還元塩、硬調で焼き締まる。③黄灰2.5Y6/1。
7	須恵器 杯	口(14.4) 高[3.7]	口縁一体部1/2、底部は完存	右回転クロー。底部へう割り摩し。内底はロクロ風の凹凸明瞭。	①G。素地緻密、混入物は少ない。器面やや滑らか。②還元塩、硬調で焼き締まる。③黄灰2.5Y6/1。
8	土師器 杯	口(12.0) 高[3.0]	北西隅付近の床下。図示部の1/4	器面摩滅し整形痕不明瞭。外底のへう割りの単位は不明。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③燻5YR6/6。一様でない。
9	土師器 杯	口(14.1) 高[3.1]	南東寄り床土4cm。 図示部の1/4	口縁ナデ。口縁下の無調整部分やや浅い。内面比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③にぶい。④7.5YR6/4。
10	土師器 杯	口(14.6) 高3.5	カマド内。 3/4個体	口縁やや浅くなデ。型痕僅かが残る。外底幅広いへう割り。内底周辺部強いナデ。口縁の歪み著しい。	①B。大粒の角閃石、小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③燻7.5YR6/6。④口縁内面にスス付着。
11	土師器 杯	口(13.8) 高[3.8]	埋没土。 図示部の1/5	器面摩滅し整形痕不明瞭。口縁ナデ。口縁内面に強い沈線。口縁下に無調整部分残る。内面比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③燻7.5YR6/6。
12	土師器 杯	口(16.0) 高5.0	西壁跡床土6～13cm。 ほぼ完存。口縁一部欠	器面摩滅し整形痕不明瞭。外底へう割りの痕跡。口縁下に無調整部分広く残る。	①B。大粒の角閃石、小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③燻5YR6/6。一様でない。
13	須恵器 長頸甕	高[15.2]	カマド北壁の床下。胴部ほぼ完存。胴部1/2	右回転クロー。胴部の巻き上げ状の輪痕痕明瞭。	①G。片状鉄、小粒の混入物含む。②還元塩、硬調で焼き締まる。③灰5Y6/1。
14	須恵器 甕	高[3.2]	カマド前の床下。 胴部1/4	右回転クロー。外面に沈線が1本通る。	①G。石灰、片岩混入。②還元塩、やや軟調。③灰7.5Y5/1。内面は明度高い。
15	土師器 甕	高4.3 高[29.3]	カマド内に散見。 図示部は完存	外面やや浅く丁寧なへう割り。内面へう状工具の圧痕明瞭で、器面の平滑な積上。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③燻7.5YR6/6。一様でない。④外面胴部スス付着。
16	土師器 甕	口(21.8) 高8.8	カマド前から住居西寄りの床直上から床土13cmに散見。図示部の2/3	口縁外面は指輪圧痕残る。胴部外面丁寧なへう割り。内面へう状工具ナデで、平滑な積上。器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。胴部外面へう割りやや浅い。胴部にへう割りが残る。内面比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③明赤系5YR5/6。④口縁内面にスス付着。
17	土師器 甕	口(23.3) 高[7.3]	埋没土。 口縁1/3	断面垂直状の4面使用。上面の威張り線が顕著。目録に近い寛延。欠損は10時。図上方は転石面。中央は研削中凹み。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③にぶい。④7.5YR6/4。
18	転石	長(6.7) 厚3.5 幅4.4	中央床土8cm。 半欠片		①流紋岩質凝灰岩。採集転石。

20号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(12.4) 高3.8	中央床土15cm。 図示部の1/3	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底へう割りの痕跡。内面はナデの染漬が同心円状に高る。	①F。赤褐色鉱物やや多い。②還元塩、やや軟調。③燻5YR7/3。
2	土師器 杯	口(13.2) 高3.8	北壁下掘り内。 1/4個体	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底にへう割りの痕跡僅かに見られる。	①F。赤褐色鉱物多い。②還元塩、やや軟調。③燻5YR6/6。
3	土師器 杯	口(11.6) 高[3.9]	北寄り床ほぼ直上。 図示部の1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底へう割りの痕跡が僅かに見られる。	①F。赤褐色鉱物多い。②還元塩、やや軟調。③燻5YR6/6。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
4	土師器 高杯	口18.5 高[5.1]	東壁下床土上8cm。 杯底4/5	杯部内外面に縦い放射状指文を蓋す。器面は比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、硬調で焼き締まる。③灰層7.5YR4/2。一様でない。
5	土師器 高杯	口17.4 高[6.1]	北壁下西寄り床土上12cm。 杯底はほぼ完存	内外面ナデ。口縁はナデの擦痕が明瞭。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、硬調で焼き締まる。③灰7.5YR6/6。黒色味おびたムラあり。
6	土師器 高杯	高[4.3]	北寄り床土は直上。 杯底1/4	口縁はナデの細かい擦痕が明瞭。内面の一部器面削面。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③明赤褐色5YR5/6。ほぼ一様。
7	土師器 小型甕	底[3.0] 高[3.1]	北壁下の床土は直上。 底部1/2	外面細かくいへう削り。内面指痕ナデの凹凸が明瞭。	①B。質地硬質、混入物は少ない。②酸化塩、やや軟調。③にぶい層7.5YR5/4。黒黒あり。
8	土師器 台付甕	口14.1 台下11.0 高17.8	北壁下西寄り床土上14cm。 ほぼ完存	胴部外面横位のへう削りの上にナデ。台部外面と口縁部内面強いへう磨き。先沢持つ。内面胴部上半指痕圧成。下半はナデ。台部内面へう状工具のナデ。しぼり目残る。	①E。質地硬質、混入物は少ない。②酸化塩、硬調で焼き締まる。③焼2.5YR6/6。外面は若干よいぶした様に見える。
9	土師器 甕	口[16.4] 高[17.6]	西壁下床土上10cm。 胴示部の1/3	口縁細かなナデ。頸部を強いへう削りで仕上げる。内面は輪痕強いが明瞭で、器面の凹凸顯著。	①D。やや大粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③にぶい層7.5YR5/4。一様でない。
10	土師器 甕	口[18.0] 高[4.2]	ビッド6の北壁床土上7cm。 口縁1/5	口縁ナデ。胴部外面強いへう削り。頸部にへう磨きが無調整で残る。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③明赤褐色5YR5/6。一様でない。
11	土師器 甕	口[20.5] 高[11.2]	北壁下床土上 胴示部の1/3	口縁強いナデで、擦痕明瞭。胴部外面強いへう削り。頸部にへう磨き残る。内面丁寧なへう状工具ナデで、比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③明赤褐色5YR5/6。④胴部外面にスス付着。

22号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口[10.6] 高4.1	南壁付床土上7cm。 1/3個体	口縁ナデの擦痕が明瞭。外底強いへう削り。内面は器面の凹凸顯著。	①B。質地硬質、混入物は少ない。②酸化塩、普通。③明赤褐色5YR5/6。一様でない。
2	土師器 ミニチュア	高[4.0]	埋没土。 胴示部の1/6	外面へう削りか。内面強い指痕ナデ。頸部の接合痕明瞭。	①E。赤褐色灰質を含む。②酸化塩、普通。③にぶい層7.5YR5/4。

23号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口[11.6] 高[3.7]	掘り方内。 胴示部の1/4	器面の磨減著しく、整形痕不明瞭。外底にへう削りの痕跡が見られる。	①F。赤褐色灰質物やや含む。混入物は小粒で少ない。②還元塩、やや軟調。③焼5YR5/6。
2	土師器 杯	口[11.8] 高4.0	掘り方内。 口縁若干。底部1/4	器面の磨減著しく、整形痕不明瞭。外底にへう削りの痕跡僅かに見られる。	①F。赤褐色灰質物やや含む。混入物は小粒で少ない。②還元塩、やや軟調。③焼5YR7/6。ほぼ一様。

24号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 甕	口[12.0] 高[2.8]	南寄り床下10cmと8号住居埋没土。胴示部の1/4	右回転ロタロー天昇器回転へう削り。ロタロ痕やや弱い。	①G。小粒の白色灰質物が多い。器面滑らか。②還元塩、やや硬調。③JG/6/0。一様でない。
2	須恵器 杯	口[11.6] 高[2.9]	埋没土。 1/4個体	左回転ロタロー。外底手持ちのやや強いへう削り。内底ロタロ痕の凹凸明瞭。	①G。白色灰質物多い。②還元塩、やや硬調。③灰5Y5/1。
3	土師器 杯	口10.6 高3.7	カマド前床土上と広い範圍の床土下に散乱。 ほぼ完存	器面磨減し、整形痕不明瞭。外底に丁寧なへう削りの痕跡。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③明赤褐色5YR5/6。一様でない。
4	土師器 杯	口10.6 高3.3	南壁床土上6cm。 胴示部の3/4	器面磨減し、整形痕やや不明瞭。口縁ナデの擦痕が明瞭。外面やや強いへう削り。内面比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③焼5YR5/6。一様でない。
5	土師器 杯	口[11.0] 高[2.8]	中央床下8cm。 1/4個体	器面磨減し、整形痕不明瞭。外底へう削りの痕跡が見られる。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③焼7.5YR5/6。
6	土師器 杯	口11.8 高4.1	南東壁下床土上10cm。 3/4個体	口縁強いナデ。外底強いへう削りで、器面の凹凸顯著。口縁下に無調整部分残す。器面は比較的平滑。	①G。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③明赤褐色5YR5/6。
7	土師器 杯	口[11.6] 高[3.8]	中央床下15cm。 胴示部の1/4	器面の磨減著しく、整形痕不明瞭。外底へう削りの痕跡が僅かに見られる。内面は比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③明赤褐色5YR5/6。一様でない。
8	土師器 杯	口[12.0] 高[3.4]	中央床下25cm。 胴示部の1/5	器面磨減し、整形痕不明瞭。口縁ナデ。外底やや強いへう削り。口縁下に無調整部分残る。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③にぶい層5YR5/4。
9	土師器 杯	口[13.0] 高[4.1]	埋没土。 胴示部の1/3	外底強く丁寧なへう削り。内面強い指痕が同心円状に幅広く高る。平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③にぶい層7.5YR5/4。一様でない。
10	土師器 杯	口13.3 高4.1	床下10cmに散在。 1/2個体	口縁やや強いナデ。外面強いへう削り。内面は比較的平滑。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③明赤褐色5YR5/6。一様でない。
11	土師器 杯	口[15.0] 高[3.6]	中央床土上17cm。 胴示部の1/5	厚手。口縁ナデの擦痕が明瞭。外底細かくいへう削り。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、硬調で焼き締まる。③にぶい層10YR5/4。一様でない。
12	土師器 杯	口[18.0] 高[6.0]	北西壁下床土下5cm。 1/4個体	器面磨減し、整形痕不明瞭。外底弱く磨減へう削り。口縁下に無調整部分が広く残る。内面比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③焼5YR5/6。一様でない。

A1区の壁欠住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
13	土師器 杯	口(13.0) 高[3.4]	埋没土。 図示部の1/4	口縁丁寧なナデ。外面磨いへう削り。内面放射状付枚文。内外面とも器面は比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、硬質で焼き締まる。③明赤褐色5Y6/8。
14	土師器 器台	高[7.4]	埋没土。 図示部完全	外面は細かなナデ。上下両面にへう磨き。内面上半しぼり目の上にへう状工具による削りに近いナデ。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、硬質で焼き締まる。③にぶい橙7.5YR7/4。
15	須恵器 甗	口(14.6) 高[13.3]	カマド前の床直上と南壁下床20cmに散乱。 口縁小破片	厚手。右面転口クロ。外面中位に8本1条の縦指痕状文を施す。披状文の下に沈線。口クロは弱く、器面は平滑。	①G。素地細密。混入物は少ない。②還元塩、硬質で焼き締まる。③灰5Y6/8。
16	土師器 甗	口(17.2) 高[5.1]	西寄り床下10~24cm。 口縁1/3	外底はハゲ目の上にナデ。内面へう状工具の痕跡。接合明瞭。	①B。肉内石、混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。
17	土師器 小甗	高[9.4]	南壁下床下13cm。 胴部1/3	厚手。外面磨かなく丁寧なへう削り。内面へう状工具ナデ。内面平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、やや硬質。③にぶい黄橙10YR6/4。一様でない。
18	土師器 甗	口(21.2) 高[6.6]	カマド内床直上。 口縁1/5	器面磨減し、整形痕不明瞭。内面はやや強いへう状工具のナデ。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③橙5YR6/8。
19	土師器 土師	長さ(3.2) 幅1.1	埋没土。 一端を欠く	器面の磨減すむ。端部には使用時の摩滅痕あり。	①G。輝石等のやや粗い混入物目立つ。②酸化塩、やや軟質。③灰質2.5Y6/2。断面に黒色皮をおびるようあり。

25号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 甗	口(12.9) 高[3.4]	埋没土。 器底部の1/8	右面転口クロ。天井部手持ちへう削り。器面は平滑。	①B。混入物は小粒で少なく、器面滑らか。②還元塩、硬質で焼き締まる。③外灰質5Y7/1。内面は黄白色味が強い。
2	土師器 杯	口10.2 高3.3	南壁中央下の床直上と床下5cm。完全	外底はやや強く丁寧なへう削り。内面のナデは丁寧だが、若干の凹凸がある。	①B。素地細密。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、やや硬質。③橙5YR6/8。一様でない。
3	土師器 杯	口10.0 高3.0	南壁中央直下の床直上。完全	口縁のナデ強く、縦指痕明瞭。外底はやや強いへう削り。内面は同心円状のナデの縦指痕明瞭。指痕強度が強い、凹凸顯著。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③橙5YR6/6。
4	土師器 杯	口10.8 高3.4	南壁中央直下の床直上へ床下5cm。完全	口縁はナデの縦指痕明瞭。外底の削りは強い。内底に指痕が現れ、凹凸顯著。	①B。素地細密。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、やや硬質。④橙7.5YR6/8。
5	土師器 杯	口11.5 高3.2	南壁中央直下床直上。 ほぼ完全	口縁のナデ丁寧。外底強いへう削り。内面に工具の指痕。内底に指痕強度が弱く残るが比較的平滑。	①B。素地細密。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、やや硬質。③にぶい橙5YR6/4。
6	土師器 杯	口10.6 高3.7	埋没土。 ほぼ完全	口縁のナデは強い。外底の削りはやや強く磨かぬ。内面は器面の磨減が著しい。	①B。素地細密。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、やや硬質。④橙7.5YR6/6。黒皮が多い。
7	土師器 杯	口10.2 高2.9	中央付近の床直上。 完全	器面磨減し整形痕は不明瞭。口縁はナデの指痕が一部に残る。外底の削りはやや強く、無調整部分は残っていない。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。④橙5YR6/8。
8	土師器 杯	口10.2 高3.2	南壁下床下12cm。 ほぼ完全	口縁のナデは強く、縦指痕強い。外底のへう削りは強いが強く、無調整部分を広く残す。内面はナデの磨減強い。	①B。素地細密。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、やや硬質。③橙5YR6/8。一様でない。
9	土師器 杯	口10.3 高3.0	南壁側部床直上。39号住居出土片とも接合。ほぼ完全	口縁のナデは強く、強い指痕。外底のへう削りはやや強い。口縁下半の無調整部分分広い。内面のナデは丁寧で平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③橙5YR6/8。
10	土師器 杯	口(11.6) 高[3.7]	埋没土。 図示部の1/5	口縁のナデは丁寧。外底のへう削りはやや強い。内面のナデは丁寧で平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。④橙5YR6/8。一様でない。
11	土師器 杯	口(10.6) 高4.0	カマド南端床直上。 図示部の2/3	外底磨かなくやや強いへう削り。内面は平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。④橙7.5YR6/8。一様でない。
12	土師器 杯	口14.4 高4.3	南壁下床下8cm。 完全	口縁のナデは丁寧で、強い指痕が残る。外底は強く息の長いへう削り。内面のナデは丁寧で平滑に住上げらる。	①B。素地細密。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、やや硬質。④橙7.5YR6/8。
13	土師器 杯	口(13.8) 高4.2	カマド北端床下6cmと南壁下床下5cm。 図示部の2/3	口縁のナデ丁寧。外底広範囲工具で一様に削る。内面のナデは丁寧で縦指痕明瞭。内底は不定方向のナデ。器面平滑。	①B。素地細密。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、やや硬質。④明赤褐色5Y5/6。一様でない。
14	土師器 杯	口(12.5) 高3.7	中央付近床直上に散乱。 図示部の2/3	器面の磨減進む。口縁は僅かに内側に磨減する。外底はやや強いへう削り。内面のナデは強く、凹凸顯著。	①B。素地細密。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、やや硬質。④橙5YR6/8。一様でない。
15	土師器 杯	口(18.4) 高[5.0]	埋没土。 図示部の1/5	口縁僅かに内側に磨減する。外底へう削りは丁寧で、無調整部分を残さない。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③橙5YR6/6。
16	土師器 甗	口(25.8) 高[13.4]	中央床直上。 図示部の1/5	口縁のナデ丁寧。外底のへう削りは弱い丁寧。内面平滑。	①B。素地細密。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。④明赤褐色5Y5/6。
17	須恵器 平瓶	径28.8 高[16.0]	径28.8 高[16.0]	胴部にカキ目文。肩部に浅い沈線あり。頸部→胴部接合は三段。接合。	①軟質。白色顔料子が入る。②硬質。③灰質5Y6/1。
18	須恵器 甗	高[10.6]	南壁中央直下床下10cm。 口縁小破片	右面転口クロ。外面8本3条の披状文を施し、間に一条の沈線を巡らす。披状文は部分的に不明瞭。	①G。混入物は少ない。②還元塩、硬質で焼き締まる。③灰7.5Y7/1。一様でない。
19	土師器 甗	口(12.4) 高[5.0]	埋没土。 口縁1/8	口縁のナデは丁寧。端部に沈線が1条走る。外面中位に明瞭な紋を持つ。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。一様でない。
20	土師器 甗	口(20.0) 高[8.9]	北西隅直下の床直上から床下8cm。 床→胴直上半小破片	口縁はナデの縦指痕明瞭。胴部外面強いへう削り。内面へう状工具によるナデ。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。④橙5YR6/6。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
21	土師器 甕	口(21.0) 高[12.3]	埋没土。 口縁1/2、胴部1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁ナデ。 胴部外面のへう削り強い。内面へう状工具ナデ。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③焼7.5YR6/6。
22	土師器 甕	口(22.0) 高[5.2]	南壁下床土12cm。 口縁1/5	口縁ナデ。輪縁直明瞭。胴部外面の器面は磨削しているが、強いへう削りの痕跡。 内面へう状工具のナデ。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③焼5YR6/6。
23	土師器 甕	口(24.6) 高[4.4]	カマド南壁床直上。38号住居出土土片とも整合。口縁1/3	器面摩滅。口縁、ナデの強い擦痕明瞭。 胴部外面強いへう削り。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③焼7.5YR7/6。

26号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(13.0) 高4.9	ビッド7東廊床ほほ直上。図示部の1/3	外底やや窪なへう削りで、唇縁が残る。内面細い放射状の暗文。平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい赤褐色5YR5/4。一様でない。
2	土師器 杯	口(13.0)	北隅床直上。4の下。図示部の1/3	器面の磨滅著しく、整形痕不明瞭。外底幅広いへう削りか。	①A。赤褐色底物多い。②酸化焰、やや軟調。③焼7.5YR6/6。一様でない。
3	土師器 器台	口(9.6) 高[2.8]	埋没土。 胴部1/3	口縁ナデの擦痕明瞭。外面細かく丁寧なへう削り。内面へう抜きで、光沢を持つ。	①C。やや砂質。②酸化焰、やや硬調。③にぶい焼7.5YR6/3。一様でない。
4	土師器 高杯	口(17.5) 高[5.6]	北隅床直上。2とは入り口。杯部はほぼ完存	外面は下手に近いハケ目が残る。椀下に彫りに近いへう状工具によるナデ。内面ナデの擦痕が同心円状に落ちる。	①C。やや砂質。②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄緑10YR7/4。口縁に混入物あり。
5	土師器 盞	高[3.0]	埋没土。 胴部小破片	外面は不規則で細かくへう削る。胴部に凸帯が走り、へうによる刻み目あり。内面は窪なナデ。小片からの復元で、径・傾き不安。	①D。ややナデの混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。③焼7.5YR7/6。
6	土師器 台付甕	口(11.0) 高[5.1]	埋没土。 図示部の1/5	S字状口縁。外面はやや鋭いハケ目。沈積が1ヶ所ある。内面はへう状工具ナデ。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③にぶい黄緑10YR7/3。

27号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 甕	口(16.6) 総3.0 高3.8	中央床ほほ直上。 口縁1/3、天井部完存	右回転クロコロー天井部近い回転へう削り→口口利用掘み取り付け。ロコロ直は弱く、比較的平滑。	①G。石灰、黒色底物、片岩混入。②還元焰、普通。③灰白5YR6/1。
2	須恵器 甕	口(17.0) 高[2.5]	埋没土。 図示部の1/6	右回転クロコロー。底部回転へう削り。高台の取り付けは丁寧。	①G。黒色底物数見。器面滑らか。②還元焰、やや硬調。③灰白2.5YR7/1。内底は褐色味強い。
3	須恵器 高台付杯	口(11.8) 高[2.8]	埋没土。 底部1/5	右回転クロコロー。底部へう切り難し。ロコロ直弱く、器面は比較的平滑。	①G。混入物は小粒で少ない。器面滑らか。②還元焰、やや硬調。③灰白2.5YR7/1。内底は褐色味強い。
4	須恵器 杯	口(13.4) 高[3.7]	埋没土。 図示部の1/6	右回転クロコロー。ロコロ直は弱く、器面は比較的平滑。	①G。混入物は小粒で少ない。器面滑らか。②還元焰、普通。③灰白2.5YR7/1。一様でない。
5	須恵器 杯	口(13.0) 高[2.8]	埋没土。 図示部の1/4	薄手。右回転クロコロー。ロコロ直は弱く、器面は平滑。	①G。石灰、黒色底物、片岩混入。②還元焰、普通。③灰白2.5YR7/1。一様でない。
6	土師器 杯	口(13.0) 高4.1	南壁下床土4cm。 ほぼ完存	口縁ナデ。外底の長いへう削り。口縁下に無調整部分広く残る。内面凹凸顯著。	①B。角閃石、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③明赤褐色5YR5/6。一様でない。
7	土師器 杯	口(12.2) 高3.2	南壁下床土4cm。 口縁1/3、底部2/3	薄手。口縁小さく波状に歪む。外底やや丁寧なへう削り。内面器面の凹凸顯著。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③にぶい焼7.5YR5/4。ほぼ一様。
8	土師器 杯	口(11.0) 高[2.6]	南壁下床土5cm。 口縁1/4	薄手。器面摩滅し整形痕不明瞭。口縁下に無調整部分広く残る。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③にぶい焼7.5YR5/6。一様でない。
9	土師器 杯	口(11.8) 高[2.8]	南壁下床土5cm。 口縁1/4	口縁下の無調整部分広く残る。外底へう削りの痕跡が僅かに見られる。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③にぶい焼7.5YR5/4。
10	土師器 杯	口(13.4) 高[3.0]	南寄り床下20cm。 図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁はナデの擦痕が見られる。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③にぶい焼5YR6/4。
11	土師器 杯	口(16.0) 高[4.2]	中央床下5cm。 図示部の1/4	口縁小さく波状に歪む。外底丁寧なへう削り。内面幅広いナデの擦痕が高まる。	①B。角閃石、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③焼5YR5/6。
12	須恵器 長頸甕	口(8.8) 高[6.2]	埋没土。 図示部の1/8	右回転クロコロー。やや薄手。内面のロコロ直弱く、凹凸顯著。	①G。黒色底物欠出す。器面非常に滑らか。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰5Y5/1。
13	土師器 小甕	口(13.8) 高[4.6]	南壁下床土5cm。口縁1/4	薄手。口縁に指頭圧痕。胴部外面やや強いへう削り。胴部にへうが無調整で残る。	①A。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③焼7.5YR6/4。
14	土師器 甕	口(22.4) 高[7.6]	埋没土。 口縁小破片	薄手。胴部外壁丁寧なへう削り。内面に指頭圧痕。小片からの復元で、径・傾き不安。	①A。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③明赤褐色5YR5/6。
15	土師	径3.6 幅2.3 孔0.4	南東寄り床直上。 完形	籠玉状で丸みが強い。側面は指頭付近に指頭痕状の窪みがあるが全体は平滑。	①G。黒褐色面でも混入物も少ない。②酸化焰、普通。③灰黄緑10YR5/2。黒点顯著。④両端部に使用痕である磨滅痕。

A1区の整々住居

28号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	□(11.1) 高3.4	西壁下両寄り床面はほぼ直上。図示部の1/2	口縁肩部の内張り強い。器面磨滅し、整形痕不明瞭。外底丁寧なヘラ削り。口縁下に無調整部分やや広く残る。	①E。角四石、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR5/6。
2	土師器 杯	□(9.6) 高[3.0]	北壁下床直上。 図示部の1/4	器面磨滅し、整形痕不明瞭。外底やや鋭いヘラ削り。口縁下に無調整部分残す。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。
3	土師器 杯	□(14.1) 高[2.8]	中央西寄り床はほぼ直上。 図示部の1/4	器面磨滅し、整形痕不明瞭。外底やや鋭いヘラ削り。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。④橙7.5YR5/6。
4	土師器 甕	□(12.0) 高[5.1]	北西隅床直上。 口縁小破片	小型品としては厚手。器面磨滅し、整形痕不明瞭。口縁強いナデ。胴部外面ヘラ削りの痕跡。	①D。やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR5/6。一様でない。

29号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 壺	□(16.0) 総高3.0 高[3.3]	北寄り床直上。 天井部完存、口縁1/2	右側転口ローラー天井部強い傾斜ヘラ削り。口縁口用細網み取り付け。紐溝部と口縁溝部磨滅欠く。	①B。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。③灰5Y1/1。
2	須恵器 杯	□(12.3) 底6.9 高[3.5]	北寄り床直上。口縁一休部1/3、底部完存	右側転口ローラー。底部回転糸切り履し。器面の磨滅進む。口縁に重ね巻痕。	①B。混入物は小粒で少ない。②還元焰、硬調で焼き締まる。③橙黄2.5Y7/3。口縁は灰色。
3	須恵器 杯	□11.6 底5.6 高3.8	南東隅壁直下床面はほぼ直上。口縁一休部1/2、底部完存	右側転口ローラー。底部回転糸切り履し。口縁やや鋭く、平滑さ欠く。	①B。混入物は小粒で少ない。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰5Y1/1。
4	土師器 杯	□(11.7) 底(8.5) 高[3.2]	埋没土。 口縁一休部1/4、底部1/8	外底は強いヘラ削り。口縁・内面のナデは強い擦痕明瞭。内底に鋭い指痕残るが残る。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。④橙7.5YR5/6。
5	土師器 杯	□(13.7) 底(11.2) 高[3.4]	埋没土。 図示部の1/4	外底のヘラ削りは弱い。口縁下平の無調整部分広く残る。内面のナデはやや強く、器面に凹凸が見られる。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい焼7.5YR5/4。
6	土師器 杯	□(12.9) 高[3.1]	埋没土。 口縁1/4	口縁のナデは強い。外底のヘラ削りは丁寧。無調整部分広い。内底は凹凸が若干目立つ。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい焼7.5YR5/4。
7	土師器 杯	□(14.0) 高[3.1]	埋没土。 図示部小破片	口縁のナデは強い。外底のヘラ削りはやや鋭い。内面はナデの擦痕明瞭。	①C。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい焼5YR6/4。
8	土師器 甕	□(22.0) 高[8.6]	中央床下5cm。 図示部の1/2	口縁のナデはやや強く、凹凸明瞭。胴部外面のヘラ削りはやや鋭い。内面ヘラ状工具のナデ。口縁に輪痕。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
9	土師器 甕	□21.0 底4.0 高27.4	カマド床直上に北東隅床はほぼ直上と中央床下の破片を含む。3/4個体	厚手。胴部外面丁寧なヘラ削り。内面はヘラ状工具ナデで、擦痕明瞭。内外面とも比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR5/6。黒色味強いムラあり。④外面にス付着。

30号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	□(12.6) 高4.2	重積する155土坑階の住居床直上。図示部の1/4	外底強く鋭いヘラ削り。未調整部分を残さない。内面平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明褐7.5YR5/6。
2	土師器 杯	□(12.6) 高[3.5]	埋没土。 図示部の1/8	器面の磨滅著しく、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい焼7.5YR6/4。ムラあり。
3	土師器 杯	□(12.0) 高[3.3]	埋没土。 図示部の1/5	器面磨滅し、整形痕不明瞭。外底丁寧なヘラ削り。内面比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
4	土師器 高杯	□(17.1) 高[4.4]	埋没土。 図示部1/8	器面磨滅し、整形痕不明瞭。杯部内外面放射状の線らなヘラ磨き。内面に接合痕が残る。	①A。赤褐色産物目立つ。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。

31号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	□12.4 高5.1	カマド前面の床はほぼ直上。完存	厚手。口縁直状に歪む。外底緩なヘラ削り。周辺に無調整部分広く残す。内面ナデの擦痕が同心円状に落ちる。底部は工具の圧痕を一部ナデ消す。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR5/6。
2	土師器 杯	□11.8 高4.1	南壁下床はほぼ直上。 口縁3/4、体部完存	底部厚手。口縁ナデの擦痕明瞭。外底鋭い丁寧なヘラ削り。内底ヘラ状工具の圧痕。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。
3	土師器 杯	□11.3 高3.8	口縁下床直上。 口縁1/3、底部2/3	底部厚手。外底鋭いヘラ削り。指痕が若干残る。内面ヘラ磨き状のやや不規則な放射状擦痕。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。④橙7.5YR6/4。一様でない。
4	土師器 杯	□12.7 高3.9	カマド床直上5cm。 ほぼ完存	やや厚手。口縁直状に歪む。外底幅広い緩なヘラ削り。内底にヘラ状工具の圧痕。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。④橙5YR6/4。一様でない。
5	土師器 杯	□(13.2) 高4.2	カマド床直上7cm。 図示部の1/3	ナデの細かい擦痕明瞭。外底鋭いヘラ削り。周辺部に擦痕が残る。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③にぶい焼7.5YR6/4。一様でない。
7	土師器 杯	□(13.0) 高[3.0]	埋没土。 図示部の1/4	器面の磨滅著しく、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。④橙7.5YR6/4。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
8	須恵器 甕	脚上11.9 高[4.8]	中央床は直上。 胴部完存	右回転ロクロ。ロクロ直削り、器面比較的 平滑。内面に巻き上げ状の輪痕が残る。	①G。石英、片岩等を混入。②還元焰、やや硬質。 ③RNS。一様でない。
9	土師器 甕	口[13.1] 高[12.8]	実蓋りの床土13cm。 胴部小破片	器面の剥落落ち。胴部外面強いヘラ削り。 内面幅広いヘラ状工具ナデ。小片から の復元で、径・傾き不定。	①E。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。 ③にぶい焼7.5YR5/4。
10	石製 カマド軸材	長31.7 幅19.2 厚9.6	カマド熱機部内、約10cm が床下になる。完存か カマド左軸	両正面側部は寛削り面。右側部は精整 形もしくは切出し、表面は削り、小口面は 不明。被熱は上部部で赤褐色。	①半面結核状石。②カマド粘土の付着と被熱痕著。

32号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口[13.5] 高[4.0]	10号住居床下遺物として 取り上げ。胴部1/4	口縁の立ち上がり極薄い。器面摩滅し、整 形痕不明瞭。外底強いヘラ削り。	①A。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。 ③にぶい黄緑10YR5/3。
2	土師器 杯	口[14.0] 高[2.5]	西側床は直上。	外底丁寧なヘラ削り。内底比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。 ③にぶい赤褐5YR5/3。一様でない。
3	土師器 甕	口[21.6] 高[5.3]	西側床は直上。 胴部1/6	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。口縁 厚手で、難かなデ。	①A。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。 ③明赤褐5YR5/6。

33号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口[11.4] 高[3.0]	掘り方内。 胴部1/8	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底ヘラ削 りの痕跡。	①A。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。 ③明赤褐5YR5/6。

34号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 甕	口11.4 径2.7 高3.4	カマド両輪先床土10cm。 ほぼ完存	右回転ロクロー天井部削り回転ヘラ削り →ロクロ利用組み取り付け。カエリ鋭い。 内面のロクロ直削り。	①G。石英、片岩混入。②還元焰、やや硬質。 ③黄灰2.5Y5/1。
2	須恵器 甕	口[13.8] 高[3.2]	カマド奥壁に密着。 胴部1/5	右回転ロクロー天井部削り回転ヘラ削り。 ロクロ直削りやや鋭い。	①G。黒灰色物散見。器面滑らか。②還元焰、やや 硬質。③灰白10Y7/1。
3	土師器 杯	口[13.0] 高[4.0]	カマド床下。 1/4胴体	ナデの擦痕明瞭。外底丁寧なヘラ削り。 口縁下に無調整部分残る。内底に指痕圧 痕が見られるが、比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。 ③にぶい赤褐5YR5/4。一様でない。
4	土師器 甕	口23.0 径2.9 高31.9	カマド内大床直上から前 面にかけて散乱。 ほぼ完存	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外面 の削りは強い。内面はヘラ状工具の丁寧 なナデ。	①C。混入物は小粒で少ない。②還元焰、普通。 ③明赤褐5YR5/6。
5	土師器 甕	口22.2 高[20.0]	カマド北輪先床直上。 胴部1/4	胴部外面強いヘラ削り。内面ヘラ状工具 のナデ。比較的平滑。	①C。混入物は小粒で少ない。②還元焰、普通。 ③明赤褐5YR7/6。

35号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 甕	径6.8 高[6.0]	ビット1内床下5cm。 表面完存	外面はハケ目の上に幅広いヘラ書き。光 沢を持つ。内面は粗いハケ目の上にナデ。	①B。高粒細密。混入物は少ない。②還元焰、硬質 で焼き締まる。③明赤褐5YR5/6。外周に黒炭あり。
2	土師器 合付甕	台下[5.0] 高[6.3]	東壁下床は直上。右部 1/3	外面強いハケ目。内面のナデは強く、指 痕痕の凹みが顕著。内底と右部天井に砂 粒を多く含む粘土貼り付け。	①A。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。③浅 黄2.5Y7/3。赤色味強いムラあり。④二次焼熟。

36号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口[12.7] 高3.1	掘り方内。 1/3胴体	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底 ヘラ削りの痕跡。	①A。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。 ③明赤褐5YR5/6。
2	土師器 杯	口[13.4] 高[3.0]	掘り方内。 1/4胴体	外底丁寧なヘラ削り。口縁下に無調整部分 が残る。内底は比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。 ③明赤褐5YR5/6。一様でない。
3	土師器 杯	口[19.0] 高[4.0]	掘り方内。 胴部1/6	小破片からの復元で口径不安。外底強く の長いヘラ削り。内面比較的平滑。	②B。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。 ③明赤褐5YR5/6。
4	土師器 甕	口[15.5] 高[4.2]	掘り方内。 口縁1/6	小形品としては厚手。口縁ナデの擦痕が 見られる。	①E。小粒の混入物が多い。②還元焰、やや硬質。 ③明赤褐2.5YR5/6。

37号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口[12.6] 高[5.6]	南東壁下床直上。 胴部1/4	口縁丁寧なナデ。外底削りヘラ削り。内 外面とも器面は比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。 ③明赤褐5YR5/6。
2	土師器 杯	口[13.6] 高[4.8]	埋没土。 胴部1/8	厚手。外面削りヘラ削り。内面ヘラ状工 具のナデ。細かい擦痕が見られる。	①E。混入物は小粒で少ない。②還元焰、やや硬 質。③明赤褐5YR5/6。

38号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 甕	□11.4 紐2.5 高2.9	カマド前面床直上。 完存	右回転クローラ-天井部は深い回転ヘラ削り→クローラ利用用機み取り付け。カオリ質。内面のクローラの凹凸明確。	①G。白色粘土。裏地黒褐色。混入物は少ない。②還元焰。硬質。③灰NS/0。
2	土師器 杯	□(10.6) 高(2.5)	カマド前面床下7cm。 1/3個体	ナデの擦痕明確。外底深いヘラ削り。口縁下に無調整部分広く残す。	①A。混入物は小粒で少ない。②還元焰、普通。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
3	土師器 杯	□(10.4) 高3.0	1/4個体	外底細いヘラ削り。内面は器面が一部剥落しているが、平滑に整形。	①A。混入物は小粒で少ない。②還元焰、普通。③赤褐5YR4/6。一様でない。
4	土師器 鉢	□(21.2) 高(8.6)	カマド北西端床直上。 図示部の1/5	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁強いナデ。外部外面強いヘラ削り。口縁下に無調整部分広く残す。内面比較的平滑。	①A。混入物は小粒で少ない。②還元焰、普通。④橙5YR6/8。
5	土師器 甕	□(13.8) 高(8.4)	カマド前面床下12cm。 図示部の1/3	厚手。口縁ナデの擦痕明確。胴部外面強いヘラ削り。内面ヘラ状工具のナデで、器面は比較的平滑。	①E。小粒の混入物が多い。②還元焰。やや軟質。③明赤褐5YR5/6。黒色味強いムラあり。

39号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 甕	□(20.0) 高(2.7)	ビッド跡床ほぼ直上。 図示部小破片	右回転クローラ-天井部深い回転ヘラ削り。クローラ質は弱い。	①G。石灰、黒色底物混入。②還元焰。やや軟質。③灰5YR5/1。
2	土師器 杯	□(11.4) 高(2.9)	ビッド跡床ほぼ直上。 図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡が見られる。口縁下に無調整部分広く残す。	①B。混入物は小粒で少ない。②還元焰、普通。③赤褐5YR4/6。一様でない。
3	土師器 高杯	高(6.6)	埋没上。 脚部2/3	器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部上端にハケ目。内面ヘラ状工具の強いナデ。	①C。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。③赤褐5YR4/6。一様でない。
4	土師器 甕	□(20.3) 高(14.9)	埋没北東壁下床直上とカマド掘り方内。 図示部の1/2	口縁はナデの擦痕明確。胴部外面丁寧なヘラ削り。内面も丁寧なヘラ状工具ナデ。比較的平滑。	①C。混入物は小粒で少ない。②還元焰、普通。④橙7.5YR6/6。一様でない。
5	土師器 甕	高さ5.8 高(12.5)	東隅付近床直上付近から床下5cmにかけて。 図示部の3/4	外面やや強いヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。	①A。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。③赤褐5YR5/6。黒色味強いムラあり。④外面にススが若干付着。

40号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	□(12.0) 高2.5	カマド前面の床直上6cm。 図示部の1/4	やや厚手。口縁強いナデ。外底強いヘラ削り。	①B。混入物は小粒で少ない。②還元焰、普通。③橙5YR6/6。ほぼ一様。
2	土師器 甕	□(21.2) 高(22.8)	カマド前面床直上。 図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面強いヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。一部に擦痕が明確に見られる。	①A。小粒の混入物が多い。②還元焰。やや軟質。③橙7.5YR6/6。一様でない。④内面にススが若干付着。
3	土師器 甕	□(22.4) 高(10.1)	床下ビッド内底面から6cm。図示部の1/5	器面摩滅し。口縁やや強いナデ。胴部外面丁寧なヘラ削り。内面ヘラ状工具のナデで、比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。④橙5YR6/6。

42号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	□(10.8) 高3.9	埋没上。 1/4個体	外底強いヘラ削り。口縁下に無調整部分残る。内面はナデの擦痕が同心円状に残るが、比較的平滑。	①A。ややよもろい。②還元焰。やや軟質。③赤褐5YR5/6。一様でない。
2	土師器 甕	底7.8 高(3.2)	南隅床直上14cm。 底部完存	外面ハナ目状の工具痕。外底無調整。底部に焼成後穿孔。内面は器面の摩滅著しい。	①D。裏地粗く重量感がある。②還元焰。やや軟質。③赤褐5YR5/6。一様でない。
3	土師器 甕	□(24.0) 高(30.7)	カマド内火床直上。 図示部の1/3	口縁横ナデの擦痕明確。胴部外面強いヘラ削り。内面は器面の剥落著しい。ヘラ状工具の痕跡が僅かに残る。	①A。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。③赤褐5YR6/6。

43号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 甕	□(21.4) 高(2.5)	重積する134号土坑内。 住居床直上16cm。 口縁若干。天井部1/5	厚手。右回転クローラ-天井部回転ヘラ削り。クローラ質は弱い。	①G。石灰、片岩混入。②還元焰。③灰7.5YR/1。口縁黒褐色は黒色味強い。
2	須恵器 杯	□(15.2) 高4.7	中央床直上9cm。 口縁-底部若干。底部1/3	厚手。右回転クローラ-底部ヘラ切り磨し。	①B。裏地粗褐色。混入物は少ない。②還元焰。硬質で焼き締まる。③灰床10YR5/6。
3	土師器 杯	□12.8 底7.6 高3.7	北西隅床直上15cm。 1/2個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外面幅広いヘラ削り。内面底部粗皮状。外部放射状擦痕。	①F。赤褐色底物含む。②還元焰。やや軟質。③橙7.5YR6/6。黒色味強いムラあり。
4	土師器 杯	□13.2 高3.6	北寄り床直上。入れ子状で5の下。 3/4個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底丁寧なヘラ削り。裾辺部に無調整部分を残す。内外面比較的平滑。	①B。角石。小粒の混入物が少ない。②還元焰、普通。③明赤褐5YR5/6。口縁に黒色のムラあり。
5	土師器 杯	□13.4 高3.7	北寄り床直上。 完存	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底丁寧なヘラ削り。裾辺部に無調整部分を残す。内外面比較的平滑。	①B。角石。小粒の混入物が少ない。②還元焰、普通。④橙5YR6/6。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
6	土師器 杯	口径12.0 底9.2 高3.3	特定カマド北牆上と南西 側床面、1/2個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底丁字で 割いへう割り。	①B。角四石、小粒の混入物が少ない。②酸化焙、 普通。③にぶい質7.5YR6/4。一様でない。
7	土師器 杯	口径10.0 高13.2	埋没土。 1/3個体	薄手。器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁 丁字ナデ。外底強いへう割り。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焙、普通。 ③赤褐色5YR5/6。ムラあり。
8	土師器 杯	口径12.4 高3.5	埋没土。 1/4個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底丁字な へう割り。内面は比較的平滑。	①B。角四石、小粒の混入物が少ない。②酸化焙、普通。 ③にぶい質7.5YR5/4。黒色のムラあり。
9	土師器 杯	口径12.0 高12.7	埋没土。 図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底丁字な へう割り。内面比較的平滑。	①B。角四石、小粒の混入物が少ない。②酸化焙、 普通。③にぶい質7.5YR5/4。
10	土師器 杯	口径12.2 高12.1	中央床上8cm。 口縁1/4、底部1/8	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底へう割 りの痕跡。口縁下に無調整部分を広く残 す。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焙、普通。 ③焼7.5YR5/6。
11	土師器 杯	口径12.6 底13.5	北西隅付近床上13cm。 1/2個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底丁字な へう割り。内底に工具の圧痕。	①B。角四石、小粒の混入物が少ない。②酸化焙、普通。 ③焼7.5YR6/6。口縁に黒色のムラあり。
12	土師器 杯	口径19.4 高4.8	中央床上20cm。 高4.8	厚手。器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底 幅広い丁字なへう割り。内面ナデの擦痕 が同心状に広がる。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焙、普通。 ③焼7.5YR5/6。一様でない。
13	土師器 鉢	口径15.4 高4.5	特定カマド北牆上。床面 上13cm。完存	器面摩滅。ナデの擦痕明瞭。外底幅広い 丁字なへう割り。周辺部に無調整部分を 広く残す。内外面とも縁面平滑。	①B。角四石、小粒の混入物が少ない。②酸化焙、普通。 ③焼5YR5/6。褐色のムラあり。
14	土師器 鉢	口径14.2 高15.4	埋没土。 口縁小破片	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁強いナ デ。肩部に沈みが深る。胴部外面へう割 り。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焙、普通。 ③焼5YR6/6。
15	土師器 鉢	口径20.2 高17.6	南寄り。 図示部の1/8	器面摩滅。ナデの擦痕明瞭。体部外面や や強いへう割り。内面比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焙、普通。 ③明赤褐色5YR5/6。
16	土師器 甕	口径22.2 高19.0	東置下。 口縁小破片	口縁ナデの擦痕明瞭。胴部外面強いへう 割り。内面へう割り工具の丁字なナデ。内 外面とも比較的平滑。	①E。小粒の混入物が多い。②酸化焙、普通。 ③にぶい質橙10YR7/3。外面に褐色のムラあり。
17	土師器 甕	口径29.0 高18.2	東置下床上4cm。 口縁1/5	口縁ナデの擦痕明瞭。胴部外面強いへう 割り。内面幅広いへう割り工具ナデ。	①A。角四石、小粒の混入物が多い。②酸化焙、普通。 ③焼7.5YR6/6。
18	土師器 甕	口径22.2 高15.1	埋没土。 口縁1/6	口縁強いナデ。外面に指調圧痕。肩部に へう割が無調整が残る。	①E。小粒の混入物が多い。②酸化焙、普通。 ③明赤褐色5YR5/6。
19	土師器 甕	口径24.0 高16.7	埋没土。 口縁1/5	口縁ナデの擦痕明瞭。胴部内面へう割 り工具の強い圧痕見られる。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焙、普通。 ③にぶい質7.5YR6/4。ほぼ一様。
20	土師器 甕	底15.1 高17.3	北寄り床面上で、一部床 面にのり込む。 図示部は完存	口縁ナデ。胴部外面丁字なへう割り。内 面丁字なへう割り工具ナデ。内外面とも比 較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焙、普通。 ③焼7.5YR4/1。胴部下半黒味強い。

44号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 甕	口径16.0 底2.3 高6.5	南寄り床上9cm。 鎌定存、天部一→口縁 1/3	左回転クロー・天井部回転へう割り→ロ ク利用組み取り付け。釜はリング状。 外面に降灰軸付着。	①G。黒色鉱物散見。器面清らか。②還元焙、硬調 で焼き締まる。③焼7.5YR6/1。
2	須恵器 甕	口径20.6 高11.8	埋没土。 器示部の1/3	器面摩滅し、整形痕不明瞭。右回転ク ロカ。口縁は割れ。右回転ク ロカ。口縁は割れ。	①G。やや粘質。②還元焙、やや軟調。③赤褐色、 外面上平灰白色。
3	須恵器 杯	口径11.5 底(7.8) 高[3.3]	南寄り床上11cm。 器示部の1/4	右回転クロー。底部へう割り、その上 に平持へう割り。	①C。赤褐色散見。素地緻密。混入物は少ない。 ②還元焙、硬調で焼き締まる。③赤褐色、黒色味 強いムラあり。
4	土師器 杯	口径16.0 高13.2	埋没土。 器示部の1/5	ナデの擦痕明瞭。外底のへう割り丁字。 内外面とも比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焙、普通。 ③焼5YR6/6。
5	須恵器 甕	口径18.5 高15.2	埋没土。 口縁1/6	左回転クローカ。口縁は割れ。外面は 口縁ナデの上強いへう割り。	①G。黒色鉱物散見。やや緻密で器面清らか。 ②還元焙、硬調で焼き締まる。③赤褐色5Y7/1。

45号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 杯	底6.3 高[2.0]	西壁下床直上。 底部完存	右回転クロー。底部回転率切り無し無調 整。口縁はやや割れ。	①A。片砂岩、石英粒等含む。②還元焙、普通。 ③赤5YR5/1。
2	土師器 甕	口径18.2 高[6.8]	埋没土。 口縁1/5	薄手。器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁 外面に段を持つ。胴部外面幅広い斜位へ う割り。	①B。角四石、小粒の混入物が多い。②酸化焙、普通。 ③焼7.5YR6/6。

A2区の住居

1号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 甕	口径21.0 高[7.9]	南壁下床直上。 口縁1/4	口縁外面は薄な折り返し。内外面ハゲ目 の上へう割り。	①A。パミス、赤褐色鉱物多くやや粗粒。②酸化焙、 普通。③にぶい質橙10YR7/4。外面に赤色味おびたム ラあり。
2	土師器 鉢	口径19.3 高8.0	北壁下西寄り床上4cmの 22片。 3/4個体	薄手。外面強いへう割り。内面は丁字な ナデ。	①A。パミス、赤褐色鉱物多くやや粗粒。②酸化焙、 普通。③赤褐色2.5YR4/6。一様でない。

A 2 区の堅穴住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
3	土師器 甕	底6.4 高[7.7]	北壁下西寄り床上4cmおよび埋没土の8片。器示部の2/3、底部完存	外面丁寧なヘラ削り。内面は丁寧なナテ。輪痕復明瞭。底部はドーナツ状の上げ底。	①A。パミス、赤褐色産物多しやや粗粒。②酸化塩、普通。③にぶい質7.5YR/4。内面は赤色味強い。
4	土師器 台付甕	口[13.4] 高[19.3]	埋没土。 口縁完存、胴部1/2	S字状口縁。外面やや滑いハゲ目。ハゲ目の下にヘラ削りの痕跡。口縁内面に磨い状痕あり。内面胴部上半指輪ナテの凹凸明瞭。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、硬質で焼き締まる。③にぶい質硬10YR/3。一様でない。断面は黒色味強い。④外面胴部中にスス付着。
5	土師器 台付甕	口9.6 台下6.7 高16.4	南壁下中央床直上の20片。ほぼ完存	S字状口縁。胴部外面滑いハゲ目。内面比較的平滑。台部下端に指環痕。内底と台面天井に砂粒多い粘土貼り付け。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、硬質で焼き締まる。③にぶい質7.5YR/3。台部は赤色味強い。④外面胴部中にスス付着。

2号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 埴	口[11.4] 高[5.5]	中央床上12cm。器示部の1/4	器面の摩滅著しく整形痕不明瞭。内面ヘラ状工具ナテの擦痕が僅かに見られる。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③洗質硬7.5YR/4。内面は黒色味強い。
2	土師器 台付甕	口[16.8] 高[17.5]	中央から北壁下の床上30cm前後の25片。器示部の1/2	S字状口縁。胴部外面滑いハゲ目。内面胴部縮小工具のナテ。上半指輪ナテの凹凸明瞭。口縁内面に沈着あり。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、硬質で焼き締まる。③灰質硬10YR/4。断面は黒色味強い。④外面胴部中にスス付着。

3号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口13.0 高4.5	貯蔵穴底面から18cmの6片が4住居定片と接合。1/2個体	口縁ナテの擦痕明瞭。外底のヘラ削りは強いが、周辺に無調整部分を残す。内底にヘラ状工具の圧痕。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③明赤焼5YR/6。
2	土師器 杯	口[12.0] 高[3.9]	ピット1西壁床直上の破片が4住居定片と接合。口縁1/4	口縁ナテの擦痕弱い。外底のヘラ削り強い。黒色処理。内面平滑。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、やや硬質。③にぶい質硬7.5YR/4。赤部は赤色味強い。
3	土師器 杯	口[13.1] 高[3.5]	埋没土。 口縁若干、底部1/4	器面摩滅。口縁ナテの擦痕明瞭。外底は周辺部を残す。内面平滑。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、やや硬質。③焼7.5YR/3。
4	土師器 器台	脚上[10.8] 高[7.7]	南東隅床直上。 脚部1/2	外面ハゲ目の上に方向不定のヘラ磨き。内面下半ハゲ目。脚内面を磨いて赤色産物。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、硬質で焼き締まる。③洗質2.5YR/4。赤部は赤色味強い。
5	土師器 甕	底[5.8] 高[12.9]	貯蔵穴内床下11cmの5片。器示部の1/2	厚手。被熱し器面の剥落著しく、整形痕不明瞭。内面のヘラ状工具ナテは丁寧。輪痕復明瞭に残り凹凸顯著。	①C。混入物小粒で少ない。②酸化塩、普通。③にぶい質硬7.5YR/4。④外面にスス付着。
6	土師器 甕	口[15.6] 高[19.6]	貯蔵穴内床下30cm。口縁～胴部上半完存	厚手。胴部外面ヘラ削り。頸部はケズリの上に強い指痕ナテ。下端の接合部に丁寧なヘラナテ。内面ヘラ状工具のナテ。	①C。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③にぶい質2.5YR/3。

4号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口13.0 高3.9	南東壁下東寄りの床直上～床上8cmの8片。ほぼ完存、口縁一部欠	口縁強いナテ。擦痕明瞭。外底強いヘラ削り。内底ヘラ状工具の圧痕が顯著で、器面の平滑さ損なう。	①A。赤褐色産物多、混入物やや多い。②酸化塩、普通。③明赤焼5YR/6。外底に黒斑。
2	土師器 杯	口[14.2] 高[3.8]	埋没土。 1/4個体	器面摩滅し、整形痕やや不明瞭。外底ヘラ削りだが、周辺部に型磨痕残す。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③にぶい質焼7.5YR/4。
3	土師器 杯	口[12.8] 高4.0	ピット4東壁床直上6cmの4片、1/4個体	口縁強いナテ。擦痕明瞭。外底強きヘラ削り。内底ヘラ状工具の圧痕が顯著で、器面の平滑さ損なう。	①A。赤褐色産物多、混入物やや多い。②酸化塩、普通。③明赤焼5YR/4。一様でない。
4	土師器 杯	口[12.2] 高4.5	南東壁寄り床直上の3片。1/4個体	口縁のナテは強く、擦痕明瞭。外底は息の長いヘラ削り。内底は器面の摩滅が進む。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③灰質硬10YR/4。一様でない。断面は赤色味強い。
5	土師器 杯	口[17.6] 高7.1	南東壁寄り床直上～床上2片。ほぼ完存	底部厚手。口縁のナテ強い。外底強いヘラ削りで、削り残りあり。内面は擦痕が深いが、比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③焼7.5YR/3。一様でない。
6	土師器 鉢	口[14.3] 高[7.2]	南西壁寄り床上9cmの2片。器示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面強いナテで、凹凸顯著。	①D。5～8mm大の片岩粒、パミス含まれ地粗い。②酸化塩、普通。③灰質10YR/5/6。
7	土師器 鉢	口[18.6] 高[10.4]	カマ下内からピット3西壁床直上に散見する7片。1/3個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面ヘラ削りの痕跡が僅かに見える。内面は平滑。	①D。5～8mm大の片岩粒、パミス含まれ地粗い。②酸化塩、普通。③にぶい質7.5YR/4。黒斑あり。
8	土師器 甕	口[17.7] 高[12.3]	カマ下南端床直上4cmの2片。ほぼ完存	厚手。内外面にナテの細かい擦痕が見られる。胴部外面息が長く弱い削り。	①D。高地やや粗い。②酸化塩、普通。③にぶい質硬10YR/4。一様でない。
9	土師器 甕	口[18.1] 高[21.2]	カマ下南端完存。器示部ほぼ完存	厚手。口縁ナテの擦痕明瞭。胴部外面滑いヘラ削り。内面ヘラ状工具のナテだが、輪痕復明瞭。器面の凹凸顯著。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③硬5YR/6。一様でない。④胴部外面にスス付着。
10	土師器 甕	口[18.6] 底[7.4] 高[33.7]	カマ下内およびカマ下南面床直上に散見する13片。器示部の3/4	厚手。口縁ナテの細かい擦痕明瞭。胴部外面息なヘラ削り。内面ヘラ状工具のナテだが、器面の凹凸顯著。	①D。高地やや粗い。②酸化塩、普通。④焼7.5YR/6。一様でない。④外面胴部スス付着。
11	白土	長0.6 径1.1 孔0.25 重1.2	カマ下南端。完形	側面の磨痕は方向不定。	⑤滑石。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
12	白玉	長0.8 径1.0 孔0.3 重1.3	カマド南輪軸。	片割が欠損の可能性。断面の研磨痕は方向不定。	①滑石。
13	菅玉未製品	長2.3 径0.95 重2.9	南輪軸り方。完存	穿孔の痕跡なし。断面は筒の方向の研磨痕。現状で八角柱状。	①蛇紋岩。②灰黒色味をおびている。

5号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 埴	口(10.7) 高[5.4]	床直上。 図示部の1/3	器面の磨食著しく、整形痕不可視。内面粗いヘラ磨きの痕跡。	①A。赤褐色灰物多い。②酸化塩。普通。③にぶい貫粒10YR7/4。外面黒色のムラあり。
2	土師器 鉢	口(14.5) 高[6.2]	床直上。 図示部の1/4	ナデの研磨明瞭。底部丁寧なヘラ磨りだが若干の削り残し。内外ともに比較的平滑。	①A。赤褐色灰物。小粒の混入物多い。器面滑らか。②酸化塩。やや硬質。③明赤褐5YR5/6。

6号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	灰輪軸器 轆	底7.5 高[1.6]	覆り方内。 底部完存	右回転クワ口。底部回転ヘラ磨り。高台の取り付けはやや雑。底輪は刷毛塗りで、内底に一線。重ね焼き痕あり。	①G。石英。黄褐色。器面やや滑らか。②還元塩。やや硬質。③灰白2.5Y7/1。④尾北地方。黒径90号錠式。

7号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 高杯	口(13.4) 高[8.1]	埋没土ま片 口縁若干。底部完存。胴部断面はほぼ完形。	胴部には4ヶづつ2段の孔を穿つ。器面は平滑に仕上げ。胴内面を除き赤色塗彩。	①G。粗砂を散見する。②還元塩。やや軟質。③割け口はにぶい貫粒10YR5/3。赤彩部分は暗赤褐色。
2	土師器 器台	脚下方10.0 高[5.5]	北壁直下床直上13cmおよび 遺没土の6片。 胴部1/4、胴部2/3	胴部に3ヶ所丁寧に穿孔。外面ハケ目の上にヘラ磨り。杯部内面器面割き磨きの単位は不明。基部内面磨らなハケ目。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化塩。普通。③にぶい貫粒10YR7/4。
3	土師器 台付壺	口(11.0) 高[3.3]	埋没土。 口縁1/4	S字状口縁。外面細いハケ目。内面は若干凹凸あり。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩。硬質で焼き締まる。③灰黄褐10YR5/2。内面は明度高い。断面は黒色味強い。

8号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(13.0) 高[3.5]	南壁埋没土。 口縁1/4、底部1/6	外底ヘラ磨り。肩道に無調整部分残す。口縁端部に鋭い凹みあり。内面比較的平滑。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化塩。やや軟質。③硬7.5YR6/6。一様でない。

9号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 器台	脚下方(10.0) 高[4.3]	ほぼ中央の床直上4cmの2 片。 胴部下半1/3	胴部に3ヶ所穿孔。1ヶ所残存で丁寧。外面は細いヘラ磨き。内面指頭ナデ。丁寧なつくり。	①B。混入物は小さく赤褐色。②酸化塩。硬質で焼き締まる。③改黄褐10YR8/4。断面は黒色味強い。
2	土師器 壺	口10.6 高[4.8]	南壁床直上4cmおよび埋没 土の6片。口縁はほぼ完存	外面粗いハケ目の上にナデ。内面指頭圧痕。胴部に削りに近いナデ。輪軸明瞭。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化塩。やや軟質。③灰黄2.5Y8/3。
3	土師器 台付壺	口(10.0) 高[7.7]	中央床直上6cmの3片。 図示部の1/4	S字状口縁。口縁外縁に削り沈線が走る。胴部鋭いハケ目。内面胴部は輪軸工具によるナデ。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩。硬質で焼き締まる。③暗黄2.5Y4/2。内面の明度高い。
4	土師器 台付壺	口(13.0) 高[5.9]	埋没土。 図示部の1/3	S字状口縁。外面胴部やや鋭いハケ目。口縁内縁に削り沈線走る。内面胴部はヘラ状工具によるナデで、若干凹凸。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩。硬質で焼き締まる。③黄2.5Y4/7。内面はやや明度高い。④外面スス付着か。
5	土師器 台付壺	口(13.2) 高[5.8]	ビット3内床下16cmの4 片。 胴部部の1/2	S字状口縁。外面胴部丁寧なハケ目。内面輪軸工具によるナデ。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩。硬質で焼き締まる。③にぶい貫粒10YR7/4。黒味あり。断面は黒色味強い。
6	土師器 台付壺	口12.5 高[8.7]	南壁周辺床直上〜床直上9 cmの20片。 口縁完存。胴部上半2/3	S字状口縁。外面胴部やや鋭いハケ目。口縁内縁に削り沈線走る。内面胴部指頭ナデによる凹凸明瞭。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩。硬質で焼き締まる。③にぶい貫粒10YR4/4。断面は明度高い。
7	土師器 台付壺	口11.5 高[18.4]	ビット2南壁の床直上〜 床直上10cmの約60片。図示 部の3/4。台部欠く	S字状口縁。外面胴部やや鋭いハケ目。内面ヘラ状工具による強いナデ。台部内面指頭痕の凹凸明瞭。内底と台部天井に磨粒を多く含む粘土貼り付け。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩。硬質で焼き締まる。③にぶい貫粒10YR5/4。褐色のムラあり。
8	土師器 台付壺	口(16.5) 高[5.9]	埋没土。 図示部の1/4	S字状口縁。外面胴部やや鋭いハケ目。口縁内縁に削り沈線走る。内面胴部指頭ナデの凹凸明瞭。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩。硬質で焼き締まる。③にぶい貫粒10YR7/3。赤色味をおびたムラあり。④外面スス付着。
9	土師器 台付壺	口(20.2) 高[7.2]	埋没土。 口縁1/8	口縁外縁に削り凹み。胴部外面にハケ目が僅かにみえる。口縁は比較的平滑。小片からの復元で、径・高さ不定。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化塩。硬質で焼き締まる。③灰黄褐10YR4/2。一様でない。

10号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 甕	口17.8 底5.8 高9.9	北壁東寄り直下床直上13片。ほぼ完全	外面縞いハゲ目の上へヘラ磨き。口縁部に指痕残存。内面上半ハゲ目、下半縞いへラ磨き。	①C。赤褐色鉱物含有みや砂質、混入物は少ない。②酸化焙、やや硬調。③にぶい黄褐色10YR6/3。内面は明度高い。
2	土師器 甕	底5.0 高[9.9]	東壁寄り床直上8片。天井部1/4	外面縞いハゲ目。内面削りに近い、ヘラ状工具によるナデ。底部の穿孔は中心から外れている。	①C。赤褐色鉱物含有みや砂質、混入物は少ない。②酸化焙、やや硬調。③にぶい黄褐色10YR7/3。
3	土師器 甕	口19.9 底4.8 高15.5	北壁寄り床直上5片。ほぼ完全	外面縞いハゲ目。内面削りの調整は完全のたね観察できず詳細は不明。	①C。赤褐色鉱物含有みや砂質、混入物は少ない。②酸化焙。③にぶい黄褐色10YR7/4。
4	土師器 甕	高[16.8]	北壁寄り床直上47片。図示部完全	外面ヘラ削りの上へハゲ目、その上に規則的なヘラ磨き。内面ヘラ状工具によるナデ。器面の凹凸顯著。	①C。赤褐色鉱物含有みや砂質、混入物は少ない。②酸化焙、やや硬調。③にぶい黄2.5Y6/3。下半は明度低い。
5	土師器 甕	底7.1 高[12.4]	中央北西寄り床直上33片、図示部はほぼ完全	外面ハゲ目の上に方向不定の粗いヘラ磨き。胴部下端には横位のヘラ削りが残る。内面はハゲ目の上に粗いヘラ磨き。器面の凹凸著し。	①C。やや砂質、混入物は少ない。②酸化焙、やや硬調。③灰黄緑10YR5/2。黒色味・赤色味強いムラあり。④二次焼成。
6	土師器 甕	口9.1 高[4.0]	北東隅付近の床直上～床直上5cmの8片、口縁3/4	口縁ナデ。粗い指痕明瞭。胴部内面は指痕圧痕の凹凸顯著。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焙、硬調で焼き締まる。③灰黄2.5YR/3。
7	土師器 甕	口16.8 高[4.3]	北壁寄り床直上2片。口縁完全	厚手。内外面ハゲ目の上に粗い指痕いへラ磨きで、尤沢を持つ。器面の凹凸著し。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焙、硬調で焼き締まる。③にぶい黄褐色10Y7/3。
8	土師器 付冴	口12.4 高[15.7]	中央東寄りから東壁下床直上の約60片。図示部の3/4	S字状口縁。外面胴部やや粗いハゲ目。内面縞いハゲ目によるナデ。上半は工具の圧痕で、赤味を帯びる。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焙、硬調で焼き締まる。③にぶい黄褐色10Y7/3。一面でない、断面は黒色味強い。④外面胴部下位にスス付着。
9	土師器 付冴	口12.8 高[21.5]	中央東寄り床直上～東壁床直上20cmの23片。図示部の1/2、右側欠く	S字状口縁。外面胴部やや粗いハゲ目。内面縞いハゲ目によるナデ。台部内面指痕による凹凸明瞭。内底と台部天井に砂粒を多く含む粘土貼り付け。胴部と台部の中心が大きすぎる。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焙、硬調で焼き締まる。③にぶい黄褐色10YR5/2。外面はムラあり。④外面口縁部と胴部中にスス付着。
10	土師器 付冴	口15.2 高[6.6]	中央床直上5cmの13片に8住居改土片接合。口縁2/4、胴部上半1/2	S字状口縁。外面胴部縞いハゲ目。胴部に横位の強いナデ。内面胴部指痕による凹凸明瞭。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焙、硬調で焼き締まる。③灰黄緑10YR5/2。外面胴部黒色味強い。
11	土師器 付冴	口17.4 台下10.3 高28.8	住居東寄の広範囲に広がる土壌上の約100片に14土塊接合片接合。図示部の3/4	S字状口縁。外面胴部やや粗いハゲ目。内面口縁に指痕残存。胴部にハゲ目によるナデ。胴部指痕による凹凸明瞭。内底と台部天井に砂粒を多く含む粘土貼り付け。胴部と台部の中心が大きすぎる。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焙、硬調で焼き締まる。③にぶい黄褐色10YR7/4。外面胴部は黒色味強い。
12	土師器 付冴	高[20.6]	貯蔵穴西側の床直上約60片。図示部の3/4	外面やや粗いハゲ目。内面ヘラ状工具によるナデ。台部内面指痕による凹凸明瞭。内底と台部天井に砂粒を多く含む粘土貼り付け。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焙、硬調で焼き締まる。③灰黄緑10YR5/2。④胴部内外面にスス付着。
13	土師器 付冴	台下9.1 高[7.1]	北東隅床直上6cm。台部完全	外面縞いハゲ目。内底にヘラ状工具の圧痕残存。砂粒を多く含む粘土貼り付け。台部内面指痕による凹凸明瞭。端部の折り返し跡。	①C。やや砂質、混入物は少ない。②酸化焙、やや硬調。③にぶい黄褐色10YR7/4。内面は赤色味、断面は黒色味が強い。
14	土師器 付冴	台下(6.1) 高[4.4]	台部2/3	外面のハゲ目は弱い。台部の折り返し跡。天井部に砂粒の多い粘土貼り付け。胴部との接合部の指痕圧痕明瞭。	①C。やや砂質、混入物は少ない。②酸化焙、やや硬調。③灰黄2.5Y6/2。内面はやや明度高い。

12号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	模範器 甕	口(14.1) 高4.9	ほぼ中央床直上8cmおよび埋没土の2片。天井部完全。口縁1/3	右面転口クロー天井部鋭い回転ヘラ削り。口口縁は明瞭で、器面の凹凸顯著。	①B。3mm以下の混入物少量。黒色鉱物散見。②還元焙、硬調で焼き締まる。③灰黄緑10YR5/2。ムラあり。
2	土師器 杯	口12.1 高4.0	中央北東寄り床直上25cmの5片。4個体	やや厚手。ナデの指痕明瞭。外底はやや強く横位のヘラ削り。内底にヘラ状工具の圧痕。	①B。パミス。小粒の混入物が多い。②酸化焙、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。一律でない。
3	土師器 杯	口12.8 高4.2	カマ下南と東寄り床直上～床直上5cmの6片。ほぼ完全	ナデの指痕明瞭。外底は丁寧でやや強いヘラ削り。内底は平滑に仕上げられている。	①F。紫地織帯。混入物は少ない。②酸化焙、やや硬調。③黄5YR5/6。
4	土師器 杯	口11.8 高4.9	中央東寄り床直上13～17cmの5片。ほぼ完全	ナデは強く、指痕明瞭。外底は丁寧なヘラ削り。小径径大の圧痕が残る。内底にヘラ状工具の圧痕。	①B。紫地織帯。混入物は少ない。②酸化焙、やや硬調。③黄7.5YR5/6。黒色味強いムラあり。
5	土師器 杯	口13.0 高5.3	ほぼ中央床直上20cm。完全	厚手。口縁のナデは強く、指痕明瞭。外面ヘラ削りは、指痕部分に無調整部分を若干残す。内面工具の痕跡。	①B。黄石縞。赤褐色鉱物やや含む。②酸化焙、硬調で焼き締まる。③明赤褐5YR5/6。黒色味強いムラあり。
6	土師器 杯	口13.1 高[4.4]	中央から東壁床直上13cmの7片に22住片接合。3/4個体	口縁のナデは強く指痕明瞭。外底へラ削りは粗く、無調整部分が残る。内外面黒色処理か。	①B。黄石縞。赤褐色鉱物やや含む。②酸化焙、硬調で焼き締まる。③黒10YR2/1。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
7	土師器 杯	□(12.4) 高[3.9]	中央北寄り床上22cm前後の7片。1/2胴体	外面は華威が進み、整形痕やや不明瞭。口縁下部に深い沈線通る。内底は平滑。	①B。バミス、赤褐色底物、小粒の混入物が多い。②酸化塩、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。④B。小粒の混入物が多い。⑤還元塩、やや軟調。⑥暗灰7.5YR7/4。一種でない。④内外面にスス付着。
8	土師器 杯	□(12.0) 高[3.1]	北西寄り床上13cmおよび埋没土の8片。1/4胴体	口縁のナデ強い。外底は強いヘラ削り。内面は器面の剥落著しく整形痕不明瞭。	①A。やや砂質、小粒の混入物が多い。②還元塩、やや軟調。③にぶい暗7.5YR7/4。外底は赤色味をおびたムラ。内面は褐色。④内外面にスス付着。
9	土師器 杯	□(13.0) 高[3.2]	ほぼ中央床上17cmの4片。指示部の1/5	外底ヘラ削りは弱で、周辺部に無調整部分広く残る。内面は比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②還元塩、普通。③赤褐5YR4/6。一種でない。
10	土師器 小型壺	□(10.8) 高11.1	中央東寄り床上9cmおよび埋没土の8片。1/2胴体	器面の華威著しく、整形痕不明瞭。	①A。やや砂質、小粒の混入物が多い。②還元塩、やや軟調。③にぶい暗7.5YR7/4。外底は赤色味をおびたムラ。内面は褐色。④内外面にスス付着。
11	土師器 鉢	□(13.1) 高10.4	中央から北寄り床上18～30cmの20片。2/3胴体	器面の華威著しく、整形痕不明瞭。外面は蹴位のナデか。内面ヘラ状工具のナデ。比較的平滑。	①E。赤褐色底物多い。②還元塩、やや軟調。③暗7.5YR7/6。外底に黒斑。
12	土師器 小型壺	□(15.9) 高[16.7]	北西寄り床上15～25cmの16片。指示部の2/3	外面強いヘラ削りの上に丁寧なナデ。内面は丁寧なヘラ状工具ナデで、比較的平滑。底部付近沈線。	①A。バミス、小粒の混入物が極めて多い。②還元塩、やや軟調。③にぶい黄褐10YR6/4。一種でない。④胴部外面にスス付着。
13	土師器 壺	□(13.0) 高[14.6]	ほぼ中央付近床上9～24cmの21片。指示部の1/3	口縁ナデは強い。胴部外面強いヘラ削り。内面のヘラ状工具ナデは強く、削りに近い。口縁に接合痕。	①A。バミス、小粒の混入物が極めて多い。②還元塩、やや軟調。③明赤褐2.5YR5/6。一種でない。④口縁内外面にスス付着。
14	土師器 瓶	□(19.4) 高[23.9]	中央南寄り。口縁～胴部1/4	口縁強いナデ。外面強いヘラ削り。内面幅広く強いヘラ磨き。輪痕復明部。器面の凹凸顯著。	①B。赤褐色底物多く、小粒の混入物が多い。②還元塩、硬調で焼き締まる。③暗5YR6/6。一種でない。④15と同一個体。
15	土師器 瓶	底10.2 高[10.4]	ほぼ中央。指示部の3/4	外面強いヘラ削り。内面幅広く強いヘラ磨き。肩部に横位のヘラ削り。輪痕復明部。	①B。赤褐色底物多く、小粒の混入物が多い。②還元塩、硬調で焼き締まる。③暗5YR6/6。一種でない。④14と同一個体。

13号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	□(14.0) 高3.4	ビッド1内床下14cm。入れ子状の最上段。完存	器面華威し、整形痕不明瞭。口縁強いナデ。外底丁寧なヘラ削り。器面は比較的平滑。	①F。黄地紅褐色、赤褐色底物、角閃石混入。②還元塩、やや軟調。③暗5YR6/6。一種でない。
2	土師器 杯	□(13.0) 高3.8	ビッド1内。入れ子状の中段。完存	器面華威し、整形痕不明瞭。口縁強いナデ。外底は丁寧なヘラ削り。器面平滑。	①A。赤褐色底物、赤褐色底物、角閃石混入。②還元塩、やや軟調。③暗5YR6/6。一種でない。
3	土師器 杯	□(11.6) 高3.9	ビッド1内床下19cm。入れ子状の最下段。ほぼ完存	器面華威し、整形痕不明瞭。底部削り。ナデの痕復明部。内面は同心円状に通る。外底は丁寧なヘラ削り。	①F。黄地紅褐色、赤褐色底物、角閃石混入。②還元塩、やや軟調。③暗5YR6/6。一種でない。

14号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 ミニチュア	底2.7 高[3.2]	埋没土4片。底部完存	外面強いハゲ目。内面ヘラ状工具の圧痕残る。	①A。混入物が小粒で少ない。②還元塩、やや軟調。③暗灰黄2.5Y4/2。

15号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	□(12.0) 高4.0	埋没土。1/3胴体	器面華威し、整形痕不明瞭。外底強いヘラ削りの痕跡。内面平滑。	①A。赤褐色底物多い。②還元塩、普通。③にぶい赤褐色5YR5/6。一種でない。
2	土師器 台付壺	高[8.9]	南隣付定床直上～床上6cmの13片に14片接合。口縁1/3、胴部上半1/2	S字状口縁。外面胴部強いハゲ目。内面胴部指痕による凹凸明顯。頸部はヘラ状工具によるやや強いナデ。	①B。混入物が小粒で少ない。②還元塩、硬調で焼き締まる。③灰黄褐10YR4/2。内面は明度高い。

17号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 埴	□(10.0) 高[4.8]	埋没土。口縁1/2	器面華威し整形痕不明瞭。内外面ヘラ磨きか。	①A。小粒の混入物が多く砂質。②還元塩、普通。③暗7.5YR7/6。黒色味強いムラあり。

18号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	□(12.5) 高[3.9]	北東隅床上14cm。1/3胴体	左回転ロクロ～天井部回転ヘラ削り。外面中位と口縁内端に沈線通る。天井部内面のロクロ痕の凹凸明顯。	①G。小粒の混入物が多い。②還元塩、やや硬調。③灰黄2.5Y5/1。天井部は明度高く、内面は黒色味強い。
2	土師器 杯	□(13.4) 高4.1	カマド火床直上。1/2胴体	口縁強いナデ。痕復明部。板状に小さく歪む。外底丁寧なヘラ削り。	①A。黄地紅褐色、混入物は少ない。②還元塩、やや軟調。③赤褐5YR5/6。一種でない。
3	土師器 杯	□(12.9) 高4.3	北西寄り床直上～床上5cmの2片。ほぼ完存	ナデの痕復明部。内面は同心円状に通る。外底丁寧なヘラ削り。	①A。黄地紅褐色、混入物は少ない。②還元塩、やや軟調。③暗7.5YR6/6。内面黒色。
4	土師器 杯	□(14.4) 高[4.7]	1/4胴体	ナデの痕復明部。外底やや強いヘラ削り。内底凹凸若干。黒色処理か。	①A。混入物が小粒で少ない。②還元塩、普通。③黒褐10YR3/1。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
5	土師器 鉢	口(22.0) 高[12.5]	カマド前縁部に散乱する10片で復元片と兼合、1/3個体	厚手。口縁ナデ。外面麻織し整形痕不明。ヘラ削りの痕跡が僅かに残る。内面平滑。	①A。赤褐色底物多く粗織。②酸化焙、やや軟質。③焼成5YR6/5。胴部下半は紋地により、明赤陶。④二次被焼。
6	土師器 甌	口(20.0) 底(15.2) 高22.4	北東寄り床直上～床上9cmと礎石上の12片。口縁1/3、胴部1/5	口縁ナデ。胴部外面丁寧なヘラ削り。内面胴部丁寧なヘラ磨き。下端削りに近いヘラ状工具の圧痕が残る。輪襷痕不明。	①A。小粒の混入物が多く砂質。②酸化焙、普通。③黒褐色10YR3/3。一部灰質。
7	土師器 甕	口14.9 底7.1 高14.9	北東寄り床直上に散乱する32片。3/4個体	厚手。器面麻織し、整形痕不明。外面胴部ヘラ削りの痕跡が見られる。内面にヘラ状工具の圧痕が残る。輪襷痕不明。	①E。石英、片岩混入。質地粗い。②酸化焙、やや軟質。③洗灰復元10YR8/4。一様でない。④内面にスス付。
8	土師器 甕	口(18.4) 高[25.4]	北東隅床上10cmの35片。口縁1/3、胴部2/3	口縁割いナデ。胴部外面丁寧なヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデで、磨痕不明。器面の凹凸顯著。	①A。石英、片岩混入。質地粗い。②酸化焙、普通。④明赤陶5YR5/5。一様でない。④外面胴部スス付着。
9	土師器 甕	口(23.0) 底5.6 高33.4	ビッド4 西側床直上の48片。口縁1/3、胴部～底部1/2	厚手。胴部外面丁寧な磨きかヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焙、普通。③灰質陶10YR4/2。黒色のムラあり。④二次被焼。
10	土師器 小型甕	口16.1 底5.9 高17.5	中央北東寄り床直上～床上4cmの23片。3/4、底部完全	厚手。口縁ナデの磨痕不明。外面は息の長い鋭いヘラ削り。内面はヘラ状工具のナデ。比較的平滑。	①E。質地細い。②酸化焙、普通。③黒陶7.5YR3/1。一様でない。④外面全面にスス付着。
11	土師器 小型甕	口(10.7) 底7.3 高15.6	ビッド4 内床下6cmおよび周辺の22片。ほぼ完全	厚手。器面麻織し、整形痕不明。胴部弱いヘラ削り。内面丁寧なヘラ状工具ナデ。	①D。石英、片岩混入。質地粗い。②酸化焙、普通。③明赤陶5YR5/5。一様でない。
12	土師器 甕	口(14.7) 高[17.0]	北側の床上4～7cmに散乱する5片。器示部の1/3	厚手。口縁のナデは強く擦痕痕跡に残る。胴部外面下半鋭いヘラ磨き。輪襷が明確に残り、器面の凹凸顯著。	①A。赤褐色底物多く粗織。②酸化焙、やや軟質。③におい復7.5YR6/4。

19号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 器台	口(7.9) 脚上11.1 高7.1	焼土北側床上4cmおよび礎石上の3片。胴部完全	胴部に3ヶ所丁寧な穿孔。坏部は器面麻織のため調整不明。胴部外面は鋭いハゲ目。内面裾部にハゲ目。丁寧なつくり。	①B。混入物に小粒が少ない。②酸化焙、普通。③におい復元10YR5/4。内面は黒色味強い。
2	土師器 器台	口8.0 脚上(12.0) 高7.9	中央やや東寄りの床直上2片。受部完全、胴部1/2	胴部に3ヶ所穿孔。2ヶ所残存で、丁寧。外面鋭いハゲ目の上に強いナデ。内面杯部ナデで、平滑。胴部下半ハゲ目の上にナデ。丁寧なつくり。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焙、普通。③におい復元10YR6/4。受部内面赤色味強い。
3	土師器 器台	脚上11.3 高[4.2]	北側直下の床直上および礎石上の4片。胴部1/2	4ヶ所穿孔。2ヶ所残存、丁寧。外面ハゲ目の上に幅広いヘラ磨き。内面ヘラ状工具の丁寧なナデ。裾部にハゲ目が残る。外面赤色地影。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焙、普通。③におい復元10YR7/3。赤彩部は赤黒2.5YR4/5。
4	土師器 手取皿	口4.8 底4.5 高7.5	北側直下の床上4cm。ほぼ完全	外面と内面口縁は幅広いヘラ磨き。縁なくつくりで、器面の凹凸著しい。	①B。混入物は少ない。②酸化焙、やや軟質。③灰白2.5YR8/1。一様でない。

20号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 器台	口(7.9) 脚上11.1 高8.1	貯蔵穴内床下17～29cmおよび西西隅床直上の8片。ほぼ完全	胴部に3ヶ所穿孔。外面器面やや麻織。ハゲ目の上に鋭いヘラ磨き。内面受部方向不定のヘラ磨き。胴部内面を磨いて赤色地影。	①A。赤褐色底物多い。②酸化焙、やや硬質。③におい復元10YR7/4。胴部内面やや黒色味あり。赤彩部は明赤陶5/5。
2	土師器 器台	口8.7 高[4.8]	東壁下。受部3/4	胴部に3ヶ所穿孔。受部と胴部外面ヘラ磨き。におい光沢を持つ。胴部内面ヘラ状工具によるナデ。胴部内面を磨き赤色地影。	①A。混入物に小粒が少ない。②酸化焙、硬質で焼き締まる。③におい復元10YR7/4。内面は黒色味強い。赤彩部は赤10R5/6。
3	土師器 鉢	底3.3 高[6.8]	西壁下床ほぼ直上。胴部完全	外面丁寧なヘラ磨き。内面丁寧なナデ。器面は比較的平滑だが、磨痕通む。	①A。赤褐色底物多い。②酸化焙、硬質で焼き締まる。③におい復元10YR7/3。
4	土師器 甕	口11.6 底5.3 高16.7	貯蔵穴西と貯蔵穴内。口縁1/2。胴部～底部完全	外面ハゲ目の上に風間的なヘラ磨き。胴部ヘラによる細かい割みあり。内面両方向のヘラ磨き。胴部は完全のため磨きの単位は不明。	①C。赤褐色底物多い。やや砂質。②酸化焙、普通。③におい復元10YR7/4。外面に黒底あり。
5	土師器 甕	口(18.0) 高[6.8]	南西隅床直上～床上8cm。口縁小破片	外面の折り返し縁。指痕圧痕不明。底部にハゲ目を施し平坦に仕上げる。下部はハゲ目の上にヘラ磨き。内面ヘラ磨き。小片からの復元で、径・傾き不安。	①A。赤褐色底物、粗砂の混入。②酸化焙、やや軟質。③におい復元10YR7/3。
6	土師器 甕	口(16.0) 高[5.6]	貯蔵穴北の床ほぼ直上。口縁1/4	厚手。外面下半鋭いハゲ目。内面鋭いヘラ磨き。下にナデの痕跡が残る。	①A。混入物に小粒が少ない。②酸化焙、普通。③復7.5YR7/3。
7	土師器 甕	口(8.9) 高[13.9]	貯蔵穴内床上8cmおよび貯蔵穴内の27片。器示部の1/2	外面ハゲ目の上に風間的なヘラ磨き。内面ハゲ目の上にヘラ状工具ナデ。内面にハゲ目残る。	①A。赤褐色底物多い。②酸化焙、硬質で焼き締まる。③黄灰2.5Y4/1。内面は明灰色。
8	土師器 鉢	口9.5 底3.5 高8.0	貯蔵穴北の床直上。ほぼ完全	S字状口縁。上げ縁。外面胴部ヘラ削りにハゲ目。全体ヘラ削りの上にナデ。内面に砂粒を多く含む粘土貼付付け。丁寧なつくり。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焙、硬質で焼き締まる。③洗灰復元10YR8/5。外面はやや黒色味強い。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
9	土師器 鉢	口10.0 高4.2	埋没土。 顯示部の1/4	S字状口縁。胴部外面面いナデ。下部は横位のへら削り。内外面とも比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、硯調で焼き締まる。③灰黄2.5Y7/3。
10	土師器 台付甕	口15.0 高17.5	貯蔵穴北西縁の床直上5cm。中心に一部貯蔵穴内約60%。 顯示部の1/2	S字状口縁。外面は厚面磨き。面いハケ目。内面胴部上指頭痕による凹凸磨。下半幅広工具によるナデ。口縁内端に縦い沈線が走る。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、硯調で焼き締まる。③にぶい黄褐色10YR6/3。④外面胴部中にスス付着。
11	土師器 台付甕	口16.8 高25.6	南西隅直下床直上の約70%。 顯示部ほぼ全存	S字状口縁。外面面い種々なハケ目。内面胴部粗粒工具によるナデ。胴部全存のため観察できず単位は不明。胴部指頭痕。上部内面指頭痕の凹凸磨。内底と台部天井に砂粒の多い粘土貼り付け。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、硯調で焼き締まる。③にぶい黄褐色10YR7/3。胴部は褐色味が多い。④外面口縁部と胴部中心、内面胴部下半にスス付着。

21号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 埴	口11.0 高6.0	中央北寄り床直上12~14cmの5片。 顯示部の2/3	全面極めて面いへら磨き。外部外面は磨きの下にへら削りが若干残る。器面の割落痕あり。	①A。赤褐色底物多く、小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③橙5YR6/6。
2	土師器 特殊器台	口19.2 高4.4	埋没土片が1号溝出土片と整合。受部1/2。 埋没土	上下4ヶ所ずつ、計8ヶ所の穿孔。外面中に凸部。刺状状の痕みあり。ハケ目の上になデ。その上にへら磨き。内面へら磨き。内外面赤色磨。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、硯調で焼き締まる。③割れ口は黄褐色10YR6/4。赤部部分は赤10R5/6で面い光沢あり。
3	菅玉	長1.75 径0.45 孔口.25 重0.8	埋没土。 完形	両端に旧時のわずかな欠けあり。表面は丁寧に磨ききれ平滑。	①純粘岩。②やや黒色味をおびる。

22号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 埴	口10.2 高5.0	北壁東寄り直下の床直上5cm。全存	内外面へら磨き。光沢を持つ。内底は指頭痕の凹凸が若干見られる。	①B。赤褐色底物、混入物は少ない。②酸化塩、普通。③橙5YR6/6。
2	土師器 埴	口10.3 高5.3	埋没土。 口縁2/3、体部3/4	外面と内面口縁部丁寧なへら磨き。口縁端部にナデの擦痕残る。内外面とも比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多く赤褐色、角閃石や多い。②酸化塩、普通。③にぶい黄褐色10YR6/4。内面はやや黒色味強い。
3	土師器 器台	脚下12.0 高8.7	北壁東寄り直下床直上5cmの5片。受部1/2、脚部2/3	内外面に3ヶ所丁寧に穿孔。脚部外面面い種々なへら磨き。内面杯部と外面の磨き。脚部上端は指頭痕痕み残る。	①B。赤褐色底物、混入物は少ない。②酸化塩、普通。③橙5.5YR7/6。脚部と断面は黒色味強い。
4	土師器 高坏	脚下11.4 高9.9	南壁中央直下の床直上および埋没土の13片。 脚部4/5	脚部下に3ヶ所丁寧に穿孔。2ヶ所残存。杯部へら磨き。脚部外面磨きに近い丁寧なへらナデ。上端にへら削りが残る。内面上半は無調整のしぼり目残る	①A。赤褐色底物多く、小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③橙7.5YR7/6。
5	土師器 高坏	脚下10.8 高9.8	北壁下床直上5cmとピット3南壁床直上の3片。脚部ほぼ全存	外面縦位のへら削りの上に種々なへら磨き。内面杯部はへら磨きで、平滑。脚部は無調整のしぼり目残る。	①B。赤褐色底物、混入物は少ない。②酸化塩、普通。③にぶい黄褐色10YR7/3。断面は黒色味強い。

25号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 甕	口16.8 高13.1	北壁側の床ほぼ直上に散在。 口縁1/2	内外面やや横いへら磨き。磨きの下にナデの擦痕。内面下部に指頭痕。	①C。赤褐色底物含みや砂質。混入物は少ない。②酸化塩、やや硬質。③橙5YR7/6。内面下部は黒色味強い。
2	土師器 埴	高6.3	埋没土。 口縁1/4	内外面とも丁寧なへら磨きを施す。磨きの下に擦痕。	①C。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、硯調で焼き締まる。③にぶい黄褐色10YR7/5。ムラあり。
3	土師器 台付甕	口15.0 高4.2	埋没土。 顯示部の1/4	S字状口縁。胴部外面やや面いハケ目。内面へら状工具によるナデ。やや凹凸目立つ。	①C。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、普通。③にぶい黄褐色10YR7/3。断面は黒色味強い。
4	土師器 瓶	底9.8 高4.3	埋没土。 顯示部の1/3	外面やや横いへら削り。内面は丁寧なへら磨きで、光沢を持つ。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③にぶい黄褐色10YR7/3。一様でない。
5	菅玉未製品	長2.6 径0.95 重4.4	埋没土。 完形	研ぎ途中の段階で、側面の磨きかなり弱くなっている。穿孔の痕跡なし。側面に旧時の欠けあり。	①純粘岩。

26号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口13.0 高3.6	カマド内大床直上3片。全存	底部厚手。口縁ナデ強く、粗い歯痕が明確。外底斜いへら削り。内底凹凸。	①A。赤褐色底物。②酸化塩、普通。③橙5YR6/6。
2	土師器 杯	口15.8 高5.2	2/3個体	ナデの擦痕明確。外底丁寧で横いへら削り。内底に布目痕。有段口縁。	①C。赤褐色底物、角閃石含む。②酸化塩、普通。③黄緑2.5YR3/2。
3	土師器 杯	口12.8 高4.1	中央西寄り床直上5cm。1/3個体	器面縦減し、整形痕不明瞭。口縁は強く丁寧なナデ。外底やや横いへら削り。内外面とも比較的平滑。	①A。赤褐色底物。②酸化塩、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。

A 2 区の整穴住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
4	土師器 高杯	脚上[16.4] 高[11.4]	中央東席上16cm。 脚部3/4	厚手。脚部外面やや強いへう削り。内面指痕ナダ。縁なくつり。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③浅黄緑10YR7/3。広い範囲に黒染。
5	土師器 埴	口[14.0] 高[4.3]	埋没土。 図示部の1/5	厚手。ナダの指痕明確。	①C。裏地緻密。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR7/4。一様でない。
6	土師器 甕	口[14.8] 高[7.5]	中央西寄り床上32cm。 図示部1/4	厚手。口縁部器底に沈み込る。外面強いへう削り。内面へう状工具の丁寧なナダで、平滑。	①E。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③灰褐色5YR5/2。一様でない。
7	土師器 鉢	口16.0 底(5.0)高[15.6]	カマド北袖先端に逆位で埋える。 ははは完存	口縁は小さく意状に歪む。外面のへう削りは強く丁寧。内面丁寧なへう状工具のナダで、平滑。外底割傷。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③浅黄2.5Y7/4。赤色味強いムラ。④二次被焼。
8	土師器 甕	口[18.6] 高[12.9]	南壁東寄り直下床土上18cm。 図示部の1/4	口縁はナダの粗い指痕が見られる。外面のへう削りは強い。内面はへう状工具の圧痕が目立つ。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄緑10YR7/3。一様でない。
9	土師器 小型甕	底6.9 高[12.0]	西寄り床上24~27cmの3片。図示部の1/2	外面は丁寧で弱いへう削り。内面は丁寧なナダで、凹凸顯著。	①E。やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明黄緑10YR7/5。赤色・黒色のムラあり。
10	土師器 甕	口[17.9] 高[12.7]	中央北寄り床上8cm。 中央欠片	厚手。内外面粗いハケ目上にナダ。指痕不明瞭。小片からの復元のため、縁・傾き不安。	①A。角閃石多く、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄緑10YR7/3。
11	土師器 甕	口[20.0] 高[11.1]	中央西寄り床上32cmおよび埋没土の4片。 図示部の1/5	厚手。口縁丁寧なナダ。脚部外面器底に丁寧なへう削り。内面へう状工具のナダ。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄緑10YR6/3。脚部外面黒色味おびる。
12	土師器 甕	口17.0 高[21.7]	カマド南袖先端に埋える。 図示部の4/5	厚手。器面摩滅し、整形痕不明瞭。脚部外面強いへう削り。器面の凹凸著しい。内面粗いへう状工具のナダ。	①E。裏地粗い。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、やや軟弱。③にぶい黄緑10YR7/2。赤色味強いムラあり。④二次被焼。
13	土師器 甕	口[21.1] 底6.0 高37.4	カマド火床上。 図示部の2/3	厚手。器面摩滅し、整形痕不明瞭。脚部外面強いへう削り。輪縁痕不明瞭で、器面の凹凸著しい。	①E。裏地粗い。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、やや軟弱。③にぶい黄緑10YR5/2。赤色味強いムラあり。④二次被焼。
14	土師器 甕	口18.5 高[33.0]	カマド火床上。	厚手。器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。脚部外面強いへう削り。輪縁痕不明瞭。内面丁寧なナダ。指痕不明瞭。	①E。裏地粗い。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、やや軟弱。③明黄7.5YR5/6。赤色味強いムラあり。④二次被焼。
15	白玉	長0.6 径1.0 孔0.25 重0.9	カマド北袖上(外側) 一揃え欠く。	側面の仕上げは層で、縁がおろかに残っている。	①滑石。16・17に類似した石材。
16	白玉	長0.6 径0.9 孔0.25 重0.6	カマド北袖上(カマド内) 一揃え欠く。	側面の研磨痕は縦と斜め方向で、仕上げは層で、縁が部分的に残っている。	①滑石。
17	白玉	長0.45 径0.95 孔0.3 重0.6	カマド内。 一揃え欠く。	側面の研磨痕は縦方向。	①滑石。

27号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口[12.6] 高[3.9]	南壁中央直下床土上17cmの2片。 図示部の1/5	口縁強いナダ。指痕不明瞭。外底のへう削りは、逆位部を削り残す。内底器面は比較的平滑。	①C。裏地緻密。②酸化焰、普通。③にぶい赤褐5YR5/4。一様でない。
2	土師器 鉢	口(12.4) 底(6.7) 高8.3	南壁直下の床土上17cmおよび埋没土の4片。 口縁1/4、胴・底部1/3	厚手。口縁ナダ。外面体部下半強いへう削り。上半に無調整部分広く残す。内面はナダによる凹凸明確。	①D。裏地粗い。②酸化焰、普通。③にぶい黄緑10YR7/4。黒色味おびるムラあり。
3	土師器 高杯	口17.4 高[4.0]	南壁直下と付近の床土上17cmの5片。 図示部完存	口縁は意状に歪む。外面下半へう削り。内面の平滑さにやや欠く。	①A。パイス、角閃石含む。②酸化焰、普通。③にぶい黄緑10YR6/4。黒色のムラあり。
4	土師器 甕	口[18.4] 高[8.3]	中央床上12cm。 口縁小破片	口縁ナダ。脚部外面弱いへう削り。	①B。裏地緻密。混入物は少ない。②酸化焰、普通。③浅黄2.5YR7/4。

28号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 高杯	口16.6 高[6.4]	西壁下床直上の13片。 杯部4/5	杯部内外面へう磨き。口縁内面に器底に沈み込る。脚部内面しばり目が無調整で残る。	①A。赤褐色藍物多く、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③5YR5/6。
2	土師器 埴	口11.2 高6.2	中央から西壁下床直上床土上5cmの9片。 口縁2/3、体部はは完存	内外面へう磨き。口縁と体部の接合痕明確。やや傾きつり。歪みあり。	①A。赤褐色藍物多く、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄緑10YR7/4。
3	土師器 甕	口[16.4] 高[5.6]	南壁脚部直下床土上11cmの3片。口縁小破片	口縁に明瞭な縁を持つ。ナダの指痕不明瞭。小片で歪みがあるため縁・傾き不安。	①B。やや砂質。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。一様でない。

29号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口14.3 高4.3	南面埋没床直上。 口縁1/2、底部完存	口縁強いナダ。指痕不明瞭。外底のへう削りは丁寧。内面器面の割傷進む。	①A。赤褐色藍物多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄緑10YR5/4。一様でない。

30号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 高杯	口[16.2] 高[4.2]	埋没土。 図示部の1/8	口縁部内外面とも弱く凹む。内外面松葉状文。	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他 ①B。裏地緻密、混入物は少ない。②酸化焙、普通。③明赤褐色5YR5/6。一樣でない。
2	土師器 台付壺	台下(12.0) 高[4.6]	埋没土。 図示部の1/4	外面にハケ目が僅かに見える。台部の折り返しは輪。	①B。やや砂質。②酸化焙、普通。③にぶい黄褐色10YR7/4。

31号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 高杯	脚下(12.0) 高[12.2]	北西隅付近床上4cm。 脚部3/4	外面細く規則的なヘラ磨き。光沢を持つ。上端に縦位のヘラ削りの痕跡。内面上半しぼり目の上に指ナす。指痕の凹凸明瞭。奥はしぼり目が無調整で残る。	①B。裏地緻密、混入物は少ない。②酸化焙、普通。③褐色5YR5/6。

32号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 埴	口[12.0] 高[4.7]	埋没土。 口縁小破片	外面は雑なハケ目状擦痕。無調整部分が広く残る。内面は器面平滑。小片からの復元で、怪不安。	①B。やや砂質。②酸化焙、普通。③にぶい黄褐色10YR7/4。
2	土師器 壺	口[22.0] 高[6.0]	西隅付近床上9cmの5片。口縁小破片	厚手。口縁外面に明瞭な稜を持つ。ナアの擦痕明瞭。	①E。粗砂の混入多い。②酸化焙、やや硬質。③にぶい褐色7.5YR5/3。

B区の住居

1号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 埴	口[11.9] 底3.5 高6.9	北東壁直下床上11cmの片。完存	口縁やや強いナア。外面丁寧なヘラ削り。内面ヘラ状工具ナアの擦痕明瞭。底部弱い上げ底。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焙、普通。③褐色5YR6/8。一樣でない。
2	土師器 高杯	高[9.6]	東隅付近床の直上～床上9cmおよび埋没土の5片。脚部1/2	脚部4ヶ所ずつ計8ヶ所の丁寧な穿孔。脚部内面を除いて赤色塗彩。外面ヘラ磨きは赤彩が弱くやや不明瞭。内底ヘラ磨き。脚部内面ヘラ状工具の圧痕が残り。天井に粘土貼り付け。	①A。やや砂質。混入物は小粒で少ない。②酸化焙、硬質で焼き締まる。③淡黄2.5YR/2。内面に赤色味強いムラあり。赤彩部は赤彩10R5/6。
3	土師器 壺	口[12.5] 高[6.8]	埋没土。 図示部の1/4	口縁部外面の折り返しは丁寧。細かいかげ目の上にヘラ磨き。内面ヘラ磨き。光沢を持つ。外面と内面口縁部に赤色塗彩。	①B。混入物は小粒で少ない。やや砂質。②酸化焙、やや硬質。③灰白2.5YR/2。赤彩部は赤彩10R5/6。
4	土師器 壺	底[7.0] 高[10.0]	南東壁中央下床直上の2片。脚部下半1/4、底部3/4	脚部横位のヘラ削りの上に縦位のヘラ磨き。内面横位のヘラ磨き。	①C。赤褐色色物多い。やや砂質。②酸化焙、普通。③にぶい黄褐色10YR7/3。内面は明度高い。
5	土師器 大壺	底20.0 高[61.6]	住居中央を中心に東側に散乱する床直上～床上20cmの約90片。脚部上1/2、下半1/4	外面脚部ハケ目。脚部丁寧なヘラ磨き。ハケ目とヘラ磨きの境に13本1具の輪漉波状文を施す。内面前後著しく無調整不明。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焙、普通。③にぶい黄褐色10YR5/3。
6	土師器 台付壺	口[16.7] 高[24.7]	中央北寄り床上20cmの約90片。図示部の3/4、台部下半欠く	S字状口縁。外面脚部やや鋭いハケ目。内面脚部ヘラ状工具によるナア。台部指痕の凹凸明瞭。口縁内面に線引沈線高る。内底と台部天井に砂粒を多く含む粘土貼り付け。	①C。赤褐色色物多い。やや砂質。②酸化焙、普通。③にぶい黄褐色10YR7/4。外面脚部下位は赤味が強い。④脚部外面にススが若干付着。
7	土師器 台付壺	口[17.6] 高[6.2]	2号北西脇床上15cm。図示部の1/3	S字状口縁。外面脚部弱く細かいかげ目。ハケ目の下に横位のヘラ削りが残る。指痕圧痕残る。	①B。小粒の混入物が極めて多い。やや砂質。②酸化焙、やや硬質。③暗灰黄2.5YR/2。
8	土師器 台付壺	口[14.3] 高[5.2]	埋没土。 図示部の1/4	S字状口縁。外面脚部弱いかげ目。内面指痕圧痕明瞭に残る。	①B。小粒の混入物が極めて多い。やや砂質。②酸化焙、やや硬質。③淡黄褐色10YR8/3。一樣でない。断面は黒色味強い。④口縁にススが若干付着。
9	土師器 台付壺	口[18.7] 高[6.3]	南西壁下床上16cm 図示部の1/4	S字状口縁。外面脚部やや鋭いハケ目。上体に横位のヘラ削りが見られる。内面脚部指痕の凹凸明瞭。	①B。小粒の混入物が極めて多い。やや砂質。②酸化焙、やや硬質。③にぶい黄褐色5YR6/4。内面は黄色味が強い。断面は黒色味が強い。
10	土師器 台付壺	台下(9.0) 高[6.3]	南隅と北寄り床上19～27cmの2片。台部1/2	外面鋭いかげ目。台部内面指痕の凹凸が明瞭。端部の折り返しは丁寧。内底と台部天井に砂粒の多い粘土貼り付け。	①B。裏地緻密、やや砂質。②酸化焙、やや硬質。③にぶい黄褐色10YR7/3。

C区の住居

2号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口[15.0] 径3.9 高1.8	西壁形床直上～床上12cmの4片。2/3個体	右回転クローター天井部回転ヘラ削り一口クローリング取り付け。口口縁は弱く比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焙、普通。③褐色7.5YR4/4。一樣でない。

C区の整え住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
2	須恵器 蓋	口15.4 高[2.0]	西壁下北寄り床直上4~8cmの3片。 図示部の1/2。継ぎ欠	右回転ロタロ→天昇部回転ヘラ削り。ロコ口縁は弱く比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化縮、普通。③橙5YR5/8。一様でない。
3	須恵器 杯	口(12.0) 底(7.4) 高3.1	中央北西寄りの床直上14cm。1/2個体	右回転ロタロ。底部回転ヘラ削り難し。外面のロコ口縁はやや鋭い。外面に降灰跡付着。歪み大きい。	①G。黒色鉱物多く含む。②還元縮、やや硬調。③F0R5/0。一様でない。
4	須恵器 杯	口(12.9) 高[3.5]	埋没土。 1/6個体	器面の磨減著しく、ロコ口縁は不明。外底手持ちヘラ削りの痕跡。	①G。黒色鉱物多く含む。②還元縮、やや硬調。③浅黄褐色10YR8/3。口縁は赤色味強い。
5	須恵器 杯	口14.0 底9.8 高3.9	南東隅壁下床直上に倒置される。 ほぼ完全	底縁厚手。右回転ロタロ。底部回転ヘラ削り難し。ロコ口縁面いが、擦痕明瞭。	①G。黒色鉱物、石英多く含む。器面は滑らか。②還元縮、硬調で焼き締まる。③灰白2.5Y7/1。一様でない。
6	須恵器 杯	口13.9 底7.8高3.9~4.1	中央北東寄り床直上15cm前後の5片。 ほぼ完全	底縁厚手。右回転ロタロ。底部回転糸切り難し。ロコ口縁面いが、擦痕明瞭。	①G。黒色鉱物、器面は滑らか。②一部酸化縮、還元縮。硬調で焼き締まる。③灰白2.5Y7/1。外底赤色味強い。
7	須恵器 高台付杯	口12.6 底7.4 高4.8	中央床直上7cm前後の3片。3/4個体	右回転ロタロ。底部回転ヘラ削り。高台の取り付けは丁寧。ロコ口縁は弱く比較的平滑。	①G。黒色鉱物多く含む。②還元縮、やや硬調。③F0R5/0。一様でない。
8	須恵器 杯	口(13.0) 高3.0	中央西寄り床直上~床直上9cmの10片。1/4個体	器面の磨減著しく、整形痕は不明瞭。外底やや鋭いヘラ削りの痕跡。	①E。角内石含む。②酸化縮、普通。③橙5YR5/6。
9	土師器 杯	口(13.2) 高[3.2]	カマド全面の床直上9cmおよび埋没土の4片。 1/3個体	器面磨減し、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。内面の器面は比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化縮、普通。③橙7.5YR5/6。一様でない。
10	土師器 杯	口(14.5) 高[3.6]	1/4個体	器面やや磨減し、整形痕不明瞭。外底ヘラ削り。内面は比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化縮、普通。③におい橙7.5YR5/4。一様でない。
11	土師器 杯	口13.2 高3.3	1号カマド内火床直上21cmと埋没土内の6片接合。 ほぼ完全	器面が磨減し、整形痕不明瞭。口縁は小さく歪状に歪む。外底ヘラ削り。内面凹凸顕著。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化縮、普通。③橙5YR5/8。一様でない。
12	土師器 杯	口12.6 高3.5	中央南西寄り床直上~床直上6cmの2片。 2/3個体	口線ナデ。外底のヘラ削りの範囲は狭い。口線下手に指距痕が残る。内面凹凸の擦痕明瞭。器面の凹凸顕著。	①B。小粒の混入物が極めて多い。②酸化縮、普通。③橙7.5YR5/6。一様でない。
13	土師器 杯	口(13.7) 高3.2	中央南東寄り床直上の2片。 1/3個体	外底のヘラ削りは強いが、口線下手の無調整部分広い。内面ナデの擦痕明瞭。器面凹凸。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化縮、普通。③橙5YR5/6。一様でない。
14	土師器 杯	口(12.6) 高3.0	埋没土。 1/4個体	口線ナデ。外底ヘラ削り。内面磨減により整形痕不明瞭。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化縮、普通。③におい橙7.5YR5/4。一様でない。
15	土師器 杯	口(14.0) 高3.9	中央付近床直上5cm前後の3片。1/4個体	底縁厚手。器面磨減著しく、整形痕不明瞭。外底にヘラ削りの痕跡が僅かに残る。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化縮、普通。③橙5YR5/6。
16	土師器 杯	口(14.2) 高3.5	中央西寄りの床直上。口縁若干、底部1/6	器面磨減し、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。内面は比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化縮、普通。③橙5YR5/6。
17	土師器 杯	口14.0 高4.4	中央西寄り床直上の2片。 1/2個体	外底のヘラ削りは丁寧。口線下半の無調整部分はやや広く残る。内面のナデは丁寧だが凹凸目立つ。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化縮、普通。③橙5YR5/8。
18	土師器 杯	口16.0 高4.7	南壁下西寄り床直上の7片。3/4個体	内外面磨減し、整形痕不明瞭。口線下半の無調整部分広く残る。	①B。小粒の混入物が極めて多い。②酸化縮、普通。③橙5YR5/8。
19	土師器 杯	口(20.0) 高9.6 底10.2	北西隅壁際床直上の9片。1/4個体	口線ナデ。外面のヘラ削りは拙く丁寧。内面調整は丁寧なナデで、器面は平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化縮、普通。③橙5YR5/6。
20	土師器 甕	口(22.1) 高[7.8]	2号カマド南隅周辺床直上と中央床直上の9片。図示部の1/6	外面のヘラ削り丁寧。内面のヘラ削り工具ナデはやや鋭い。口縁の接合痕明瞭。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化縮、普通。③明赤焼5YR5/6。一様でない。④内面スチ付着。
21	土師器 甕	口(20.6) 高[11.8]	北西隅床直上の12片。図示部の3/4	外面調整の削りは丁寧で削り残し部分がない。内面のナデも比較的丁寧。	①G。赤褐色鉱物の混じる粗砂の混入が多い。②酸化縮。③におい橙5YR5/4で断面までは一様。
22	土師器 甕	口(21.0) 高[18.5]	1号カマド火床直上20cmの破片に2号カマド内破片接合。図示部の1/2	厚手。器面の磨減著しく。口縁のナデは拙く丁寧。側面外面丁寧なナデ削り。内面ヘラ削り工具のナデ。内外面とも平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化縮、普通。③におい橙7.5YR7/4。
23	既石	長(8.6) 幅5.4 厚4.3	北東隅の床直上5cm。	前面赤褐色の平欠基か。上面の破ぎ減りが顕著。	①流紋岩

3号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 杯	口13.2 底7.7 高3.9	東壁下南隅の床直上3片。ほぼ完全	厚手。右回転ロタロ。底部回転糸切り難し。ロコ口縁弱く平滑だが、内底は凹凸が見られる。	①G。黄地麻割。器面滑らか。②還元縮、硬調で焼き締まる。③橙7.5Y7/1。
2	土師器 杯	口(12.0) 高2.9	北東隅壁直下の床直上2片。1/4個体	器面の磨減著しく。外底ヘラ削りの痕跡。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化縮、普通。③におい橙7.5YR5/4。
3	土師器 杯	口(12.0) 高2.8	1/4個体	口縁調整は僅かに内側に屈曲。外底ヘラ削り。内面は器面平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化縮、普通。④明赤焼5YR5/6。内面は明度高い。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
4	土師器 杯	口(14.0) 高3.0	中央床直上～床上15cmの4片。 1/3割体	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底へラ削りの痕跡。内面ナアの擦痕見られる。器面の凹凸顯著。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③澄5YR5/8。一様でない。
5	土師器 杯	口(13.1) 高[3.3]	中央～カマド前の床直上2片。 図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底にへラ削りの痕跡。内面は器面の凹凸が一部で見られる。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③澄5YR5/6。
6	土師器 杯	口(16.2) 高5.0	南東隅直下の床直上3片。 ほぼ完存	器面摩滅し整形痕不明瞭。外底丁寧なへラ削り。口縁下半の無調整部分やややい。内面は器面平滑。	①C。素地緻密、混入物は少ない。②酸化塩、普通。②明赤褐5YR5/6。褐色のみあり。
7	土師器 葉	口(20.1) 高[12.3]	カマド前など住居東平の床直上～床上4cmの3片。口縁小破片	薄手。胴部外面へラ削り。内面は摩滅。へラ状工具のナア。内外面とも比較的平滑。小片からの復元で径・傾き不安。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③明赤褐2.5YR5/8。一様でない。

6号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(13.2) 高3.3	2/3割体	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。口縁は小さく波状に歪む。外底へラ削りの痕跡。内面、器面の凹凸顯著。	①A。角閃石、小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③澄5YR5/8。

7号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(11.4) 高[3.2]	掘り方内。 図示部の1/4	口縁端部の内傾き強い。外底は比較的丁寧なへラ削り。	①素地やや密。白・黒色粒多く含む。②酸化塩、普通。③澄7.5YR5/6。

取付道F区の住居

1号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(13.6) 高6.4	南西隅直下床直上。 口縁1/4、底部2/3	底部非常に厚手。器面の剥落著しい。口縁ナアの擦痕が僅かに見える。有段口縁。	①B。輝石類、赤褐色鉱物やや含む。②酸化塩、普通。③黒褐5YR2/1。

2号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(10.0) 高3.0	中央床上 8cm。 1/3割体	器面摩滅著しく整形痕不明瞭。外底にへラ削りの痕跡。内面はナアの擦痕が僅かに見える。有段口縁。	①F。混入物は少ない。器壁はぎっしり。②酸化塩、やや軟弱。③澄5YR6/8。
2	土師器 杯	口(13.3) 高[4.6]	東壁附床直上26cm。 ほぼ完存	口縁はやや緩なナア。外底のへラ削りやや強い。内面器面の凹凸目立つ。有段口縁。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③灰黄褐10YR5/2。外面赤味の強いムラあり。

3 古墳時代の居館と溝

A1区 1号溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 鉢	口(13.4) 底3.4 高さ5.6	5区 口縁若干、底部完存	外面へうりの上に施すへう磨き。内面粗い不定方向のへう磨き。	①A.赤褐色鉱物、小粒の混入物が多い。②酸化塩、やや軟調。③赤褐色5YR5/6。一様でない。
2	土師器 杯	口(12.0) 高(3.5)	3区・底面から28cm。 口縁1/3	口縁ナデの細かい指痕が走る。体部は器面の削り過ぎ。	①A.パミス、石灰粒多い。②酸化塩、普通。③明赤褐色5YR5/6。
3	土師器 杯	口(12.2) 高(3.9)	3区・底面から60cmの2片。図示部の1/5	器面削滅し、整形痕不明瞭。口縁ナデ、外底はやや強いへう磨り。内面指痕状に削磨。	①C.やや砂質。②酸化塩、普通。③明赤褐色5YR5/6。
4	土師器 杯	口(13.2) 高(3.2)	2区・底面から42cmの2片。図示部の1/4	器面削滅し、整形痕不明瞭。口縁はナデの指痕が僅かに見られる。外底へう磨りの痕跡。	①B.赤褐色鉱物を含む。②酸化塩、やや軟調。③焼7.5YR5/6。
5	土師器 杯	口(13.2) 高(3.1)	2区・底面から42cmの4片。1/2個体	器面削滅。口縁はナデの指痕明瞭。外底は丁寧なへう磨り。内底指痕圧痕。	①A.小粒の混入物が極めて多い。②酸化塩、普通。③にぶい黄褐色10YR6/4。一様でない。
6	土師器 杯	口(16.0) 高(2.5)	5区・底面から58cm。 図示部の1/3	口縁強いナデ。外底はやや強いへう磨り。内面器面の凹凸が見られる。	①C.混入物は小粒で少ない。②酸化塩、やや軟調。③器5YR6/6。
7	土師器 高杯	口(17.4) 脚7.12.7 高さ15.2	口(17.4) 脚部1/2、脚部完存	器面は器面が摩滅し、へう磨きの単位は不明瞭。脚部外面へう磨りの上に幅広い指痕の強いへう磨り。内面はしり目の上にへう状工具のナデ。	①B.黄地磁器、やや砂質。②酸化塩、硬調で焼き締まる。③器5YR6/6。杯部内面・脚部に黒炭あり。
8	土師器 高杯	脚7.16.3 高(12.0)	3区・底面から53cmおよび埋没土内の6片。 杯部下半1/4、脚部4/5	杯部外面へう磨り。上半へう磨き。内面放射状へう磨き。脚部外部細かへう磨り。脚部は厚文状のへう磨き。内面はしり目の上に強いへう状工具ナデ。脚部に指痕圧痕残る。	①B.黄地磁器、混入物は少ない。②酸化塩、硬調で焼き締まる。③にぶい黄7.5YR7/4。
9	土師器 高杯	口(16.7) 脚7.12.0 高さ14.2	3区・底面から24~45cmの5片。図示部の2/3	杯部ナデの指痕明瞭。脚部外面丁寧なナデ。内面へう状工具の削りに近いナデ。	①B.黄地磁器、黒色鉱物散見。②酸化塩、硬調で焼き締まる。④器7.5YR6/6。一様でない。
10	土師器 高杯	口(21.8) 高(7.9)	3区・底面より32~47cmの12片。 杯部3/4	杯部外面の擦明瞭。内外面幅広くやや強いへう磨き。磨きの下にナデの指痕が見られる。外面下半は丁寧なナデ。	①B.やや砂質。②酸化塩、やや軟調。③器5YR6/6。外面の一部黒色味強い。内面は褐色のよみあり。
11	土師器 高杯	口(20.5) 高(7.4)	3区・底面から46~48cmの12片。杯部1/4	器面削滅し、整形痕不明瞭。口縁にナデの指痕残る。杯部と脚部の接合面は丁寧。	①B.やや砂質。②酸化塩、やや軟調。③器2.5YR6/6。
12	土師器 高杯	口(15.6) 高(3.8)	1区 杯部口縁1/3	内外面丁寧なナデ。器面は比較的平滑。	①B.黄地磁器、赤褐色鉱物多い。②酸化塩、普通。③にぶい黄7.5YR5/4。断面は黒色味強い。
13	土師器 高杯	高(2.7)	5区・底面ほぼ直上。 図示部完存	外面下半はハゲ目の上にナデ、その上にへう磨き。脚部との接合面は丁寧。内外面に赤色塗彩。	①B.黄地磁器、混入物は少ない。②酸化塩、硬調で焼き締まる。④器10YR7/4。断面は黒色味強い。赤砂部は明赤褐色2.5YR5/6。
14	土師器 器台	口(16.0) 高(3.9)	1区 杯部小破片	外面粗いへう磨き。ナデの指痕が見られる。	①B.黄地磁器、混入物は少ない。②酸化塩、硬調で焼き締まる。④器明赤褐色2.5YR5/6。一様でない。
15	土師器 高杯	脚7.13.3 高(9.5)	1区・底面から26cm。 脚部完存	外面のへう磨きは丁寧。内面指痕ナデ。上半はしり目が残る。丁寧なナデ。	①B.黄地磁器。混入物は少ない。②酸化塩、硬調で焼き締まる。③洗黄2.5Y7/3。
16	土師器 高杯	脚7.13.4 高(8.5)	1区・底面から22cmの10片。 脚部はほぼ完	器面削滅し、整形痕不明瞭。外面丁寧なナデの痕跡。内面ナデ。接合面が残る。	①A.赤褐色鉱物多い。②酸化塩、普通。⑤にぶい黄褐色10YR6/3。黒色味おびたムあり。
17	土師器 高杯	脚7.(10.0) 高(7.3)	1区・底面から46cm。 脚部2/3	脚部外面丁寧なナデ。脚部内面へう状工具の強いナデ。杯部との接合面は丁寧なナデ。	①A.混入物は小粒で少ない。②酸化塩、やや軟調。③にぶい黄7.5YR5/3。
18	土師器 高杯	脚7.(12.8) 高(9.3)	3区・底面から40cmおよび埋没土の4片。 脚部はほぼ完存	器面削滅し、整形痕不明瞭。脚部外面磨り方向のナデ。内面上半指痕ナデ。しり目。接合面明瞭。	①C.やや砂質。②酸化塩、普通。③明赤褐色5YR5/6。
19	土師器 高杯	脚7.(12.2) 高(9.3)	1区・底面から26cmの2片。 脚部1/2	脚部外面丁寧なへうナデ。内面指痕ナデ。	①A.粗砂の混入物が多いが粘り高い。②酸化塩、やや軟調。③にぶい黄褐色10YR4/3。
20	土師器 埴	口(8.1) 高(6.4)	3区・底面から9cmと下層埋没土の4片。 図示部の2/3	口縁下半へう磨り。体部のへう磨りは丁寧だが、肩部は削り残す。内面丁寧なへう状工具のナデで、比較的平滑。	①A.赤褐色鉱物多。黄地磁器。混入物は少ない。②酸化塩、普通。③にぶい黄褐色10YR6/4。一様でない。
21	土師器 埴	口(10.1) 底3.6 高さ7.5	1区・底面から25cmと下層埋没土の6片。 図示部の4/5	脚部外面丁寧なナデ。底面はやや強いナデ。指痕圧痕明瞭に残る。脚部内面指痕ナデ。凹凸磁器。	①B.黄地磁器、赤褐色鉱物多い。②酸化塩、普通。⑤にぶい黄褐色10YR7/3。
22	土師器 埴	口(8.2) 高(7.0)	1区・底面から32cm。 図示部の1/3	脚部外面指痕ナデに近いへう磨り。内面は指痕の凹凸明瞭。	①B.黄地磁器、赤褐色鉱物多い。②酸化塩、普通。⑤にぶい黄7.5YR6/4。内面は黒色。
23	土師器 埴	口(9.4) 高(7.0)	1区・底面から5cmと下層埋没土の8片。 図示部の3/4	口縁強いナデ。粗い指痕明瞭。脚部外面強いへう磨り。内面へう状工具の指痕が見られる。比較的雑なナデ。	①A.赤褐色鉱物多い。②酸化塩、普通。③にぶい黄7.5YR6/4。外底に黒炭。
24	土師器 埴	高(6.2)	3区・底面直上。 体部完存	外面は丁寧なナデ。内底にハゲ目状の指痕。内外面とも比較的平滑。	①A.赤褐色鉱物多。黄地磁器。混入物は少ない。②酸化塩、普通。③にぶい黄褐色10YR7/4。外面に黒炭あり。
25	土師器 埴	高(6.6)	2区・底面から14cm。 図示部完存	外面粗か丁寧なへう磨り。内面丁寧なナデで平滑。	①B.黄地磁器、赤褐色鉱物多い。②酸化塩、普通。③器7.5YR6/6。
26	土師器 埴	高(7.0)	5区・底面から28cmと下層を含む埋没土の7片。 体部3/4	内面ハゲ目の上にナデ。脚部へう磨りの上に列点文。内面上半指痕圧痕残る。下半ハゲ目の上に強いナデ。	①B.黄地磁器、赤褐色鉱物多い。②酸化塩、普通。⑤洗黄7.5YR3/3。上部は黒色味強い。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
27	土師器 埴	高[4.8]	1区 部示部完存	外周丁寧なナデ。内面丁寧な指痕ナデ。胴部に接合痕。	①A.赤褐色胎土多く、黒地磁器。混入物は少ない。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐色10YR6/4。外面に黒色あり。
28	土師器 鉢	口[8.0] 高[5.2]	5区・底面から17cm。 部示部の1/3	器面摩滅著しく、整形痕は不明瞭。口縁ナデ。外面へつ削りの痕跡。	①B.黒地磁器、赤褐色胎土多い。②酸化焰、普通。③焼5YR6/5。
29	土師器 杯	口[9.0] 底[5.3] 高[5.3]	3区・底面から34cm。 部示部の1/2	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外周部下半へ底面は鋭いへつ削りで、磨痕を残す。口縁内面へつ削り工具の痕跡。	①B.黒地磁器、赤褐色胎土多い。②酸化焰、普通。③焼7.5YR6/5。
30	土師器 埴	口[9.8] 高[11.2]	1区・底面より34~38cmの2片。 口縁完存、体部2/3	外面鋭いへつ削りで、捺痕目立つ。内面口縁ナデの捺痕明瞭。	①B.黒地磁器、混入物は少ない。②酸化焰、やや軟調。③黒焼2.5Y3/1。
31	土師器 鉢	口[13.4] 高[7.0]	1区・底面から4cmおよび埋没土の3片。 口縁2/3、体部完存	外面はへつ削りの上にハケ目状のナデ。内面体部はへつ削り工具のナデで、比較的平滑。	①B.黒地磁器、赤褐色胎土多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐色10YR7/4。断面は黒色味強い。
32	土師器 鉢	口[6.0] 高[6.9]	5区 部示部の1/2	外面は磨滅し、へつ削りの単位は不明瞭。内面へつ削り工具のナデ。	①F.黒地磁器、混入物は少ない。②酸化焰、やや軟調。③にぶい焼7.5YR5/3。④内外面底部ス付着。
33	土師器 甕	口[13.1] 高[15.7]	1区 口縁1/2	器面摩滅。胴部外面鋭いへつ削り。口縁内面に僅かな凹み。	①A.角閃石、赤褐色胎土多い。②酸化焰、普通。③明赤焼2.5YR5/6。
34	土師器 甕	口[15.4] 高[8.0]	2区・底面から26cmの2片。 部示部の1/4	胴部外面はへつ削りの上に粗いハケ目。内面口縁部にへつ削り工具の痕跡。肩部に指痕を残す。	①A.やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい赤焼5YR5/4。口縁部の一部黒色味強い。
35	土師器 小型甕	口[12.0] 底[7.0] 高[11.0]	1区 1/3甕体	厚手。口縁ナデの捺痕は小さな点状。外面胴部のへつ削りは粗く鋭い。内面胴部に指痕を残す凹み顕著。	①A.小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい焼7.5YR5/3。一様でない。内面明成高い。
36	土師器 甕	口[23.2] 高[7.4]	1区・底面より8~12cmの2片。口縁1/4	厚手。口縁上半と内面細かいハケ目。外面口縁下半はへつ削り。	①B.小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐色10YR7/3。黒色味おびたムラあり。
37	土師器 甕	口[20.0] 高[15.1]	1区・底面から37cm。 口縁1/5	ナデの捺痕明瞭。内面は器面が顕著。	①B.小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐色10YR6/3。黒色味おびたムラあり。
38	土師器 甕	口[18.1] 高[11.0]	1区 部示部の1/3	器面の磨滅著しく、整形痕不明瞭。口縁外周鋭い沈線。胴部外面へつ削り工具の痕跡。胴部内面へつ削り工具ナデ。	①C.黒地磁器。②酸化焰、やや軟調。③焼7.5YR4/4。
39	土師器 甕	口[17.6] 高[17.7]	1区・底面より31~33cmの23片。 部示部の1/3	口縁ナデ。細かい捺痕が見られる。胴部外面丁寧なへつ削り。内面へつ削り工具ナデ。内外面とも比較的平滑。	①B.黒地磁器、混入物は少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄褐色10YR5/4。
40	土師器 甕	口[27.0] 底[6.2]	1区 部示部の2/3	胴部外面丁寧なへつ削り。内面へつ削り工具の丁寧なナデ。外底は高台状。内底に接合痕。	①B.黒地磁器。②酸化焰、やや軟調。③焼7.5YR6/6。外面下半に黒色あり。
41	土師器 甕	口[12.5] 胴[19.2] 高[12.4]	3区・底面より20~23cmと埋没土の15片。 口縁2/3、胴部上半1/3	口縁ナデ。胴部外面細かいへつ削り。内面へつ削り工具ナデ。捺痕が残るが、内外面とも比較的平滑。	①B.黒地磁器、赤褐色胎土多い。②酸化焰、普通。③黒焼5YR2/1。一様でない。
42	土師器 甕	口[16.4] 高[4.7]	3区・底面から47cm。 口縁1/3	器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面ハケ目状の捺痕が僅かに見られる。	①A.赤褐色胎土多く、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③焼7.5YR7/6。
43	土師器 甕	口[23.6] 高[7.0]	3区・底面から26cmおよび埋没土の3片。 口縁小破片	器面摩滅し調整痕不明瞭。内外面にナデの捺痕。	①A.赤褐色胎土多い。②酸化焰、普通。③にぶい焼7.5YR6/4。
44	土師器 甕	口[20.8] 高[7.6]	5区 口縁小破片	器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面鋭いへつ削り。内面丁寧なへつ削り工具ナデ。	①A.小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③焼5YR6/6。
45	土師器 甕	口[32.8] 高[8.4]	2区・底面より37~44cmおよび埋没土の4片。口縁1/4	胴部外面鋭いへつ削り。内面はへつ削り工具ナデで、比較的平滑。	①A.やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③焼5YR6/6。
46	土師器 小型甕	口[7.0] 高[3.7]	2区・底面から7cmと埋没土の2片。 部示部の1/2	S字状口縁。胴部外面丁寧なへつ削り。内面指痕。内面指痕を残す。	①E.小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい赤焼5YR5/4。
47	土師器 付付甕	口[10.4] 高[3.5]	1区 部示部の1/4	S字状口縁。ハケ目粗く鋭い。内面は器面の凹凸が顕著。	①A.角閃石、赤褐色胎土を含む。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐色10YR7/3。
48	土師器 鉢	口[9.0] 高[13.9]	2区 部示部の1/5	S字状口縁。外面胴部下半へつ削り。内面にナデの粗く鋭い捺痕が見られる。	①C.混入物は少ない。②酸化焰、普通。③焼10YR5/3。
49	土師器 付付甕	口[11.6] 高[6.3]	5区・底面より15~26cmの2片。 部示部の1/4	S字状口縁。外面胴部は縦位、胴部横位にへつ削りの上に鋭いハケ目。内面は鋭い指痕を残す。口縁内面に鋭い沈線が走る。	①B.小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐色10YR7/3。下部と前面の明度やや低い。
50	土師器 甕	口[18.0] 高[3.2]	2区・底面から41cmと埋没土の3片。 部示部の1/8	S字状口縁。口縁端部やや厚手する。胴部外面鋭いへつ削り。内面ナデによる凹凸。小片からの復元で、様不安。	①A.小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい赤焼5YR4/3。一様でない。
51-1	土師器 付付甕	口[16.3] 高[5.7]	3区 口縁1/5	胴部外面鋭いへつ削り。捺痕目立つ。内面に輪捺痕が残る。	①A.小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐色10YR6/4。赤色・黒色味おびたムラあり。④S1-2と同一個体。
51-2	土師器 付付甕	底[8.8] 高[25.8]	3区 胴部1/3、台部完存	胴部外面鋭いへつ削り。捺痕目立つ。内面幅広くへつ削り工具ナデ。台部指痕ナデの凹凸明瞭。肩部の折り返しやや丁寧。	①A.小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐色10YR6/4。一様でない。④S1-1と同一個体。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
52	土師器 甕	口(16.9) 高(17.7)	2区・底面から19cmと覆 役土の4片。 図示部の1/4	口縁は小さく液状に歪む。胴部外面はヘ ラ削りの上になす。胴部はハゲ目の上 になす。内面ハゲ目。径・傾き不安。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③濁 7.5YR4/3。胴部外面は黒色。
53	土師器 台付甕	底11.4 高(10.5)	2区・底面から7cmの3 片。図示部はほぼ完 存	台部内外面指頭圧痕が明確に残る。胴部 の折し直しはやや歪。胴部内底へラ状工 具の強いナダ。粘土貼り付け。平滑。	①B。黒地磁器、赤褐色鉱物多い。②酸化塩、普通。③ にぶい赤褐5YR5/4。内面は黒色味強い。
54	土師器 手取ね	台下4.5 高(2.2)	2区・底面から10cm。 台部はほぼ完存	胴部外歪へラ削り。複合復元明確。	①B。黒地磁器、赤褐色鉱物多い。②酸化塩、普通。③ にぶい黄褐色10YR7/4。黒色味の強いムラあり。
55	管玉	長2.3 重1.5 径0.6 孔0.3	1区北側縁部。 完存	上下両端に使用痕。その他にも旧時の備 多。	①紅柱岩
56	網形石製品	長10.45 刃長9.1 幅3.1 刃厚0.17 高さ1.35 重28.6	3区 完存	きわめて丁寧な造りと研磨。刃先から基 までしっかりと表現する。基部の孔は中心 をやや歪れて目釘穴状である。鋼は表裏 でわずかにズレている。	①紅柱岩否か。

A1区 2号溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(11.6) 高3.8	1区A・底面から17cmの 2片。 完存	器面の磨滅著しく、整形痕不明瞭。外底 へラ削りの痕跡。内底に、強いナダの 擦痕が透っている。型腐状の亀裂面著。	①F。黒地磁器、混入物は少ない。②酸化塩、やや 軟調。③濁7.5YR6/8。
2	土師器 杯	口(11.3) 高(3.6)	1区B・表層の2片。 ほぼ完存、口縁一部欠	器面の磨滅著しく、整形痕不明瞭。口縁 ナダ。工具の痕跡残る。外底強いへラ削 り。内面比較的平滑。	①F。黒地磁器、混入物は少ない。②酸化塩、やや 軟調。③濁7.5YR6/5。
3	土師器 杯	口(14.0) 高(5.7)	1区B・表層の2片。 1/3断片	器面磨滅し、整形痕不明瞭。口縁ナダの 擦痕。外底へラ削りの痕跡。	①F。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、やや軟調。 ③濁2.5YR6/3。
4	土師器 杯	口(12.0) 高(3.4)	1区B・表層の2片。 口縁若干、体部1/3	内外面にナダの細かい擦痕残る。外底風 いへラ削り。内底は比較的平滑。黒色 処理。	①A。粗砂の混入多い。②酸化塩、普通。 ③濁5YR6/6。一様でない。
5	土師器 杯	口(11.5) 高3.4	2区 1/3断片	薄手。器面磨滅し、整形痕不明瞭。外底 へラ削りの痕跡。	①F。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、やや軟調。③ 明赤褐5YR5/6。
6	土師器 杯	口(12.0) 高3.7	2区B・底面より21cm上 の4片。図示部の2/3	器面の磨滅著しく、整形痕不明。外底に へラ削りの痕跡が見られる。	①F。黒地磁器、混入物は少ない。②酸化塩、やや 軟調。③濁5YR6/8。
7	土師器 杯	口(12.4) 高(3.1)	2区A・底面より22cm 口縁1/3。底部3/4	厚手。器面の磨滅著しく、整形痕不明 瞭。外底へラ削りの痕跡。	①F。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、やや軟 調。③明赤褐5YR5/5。
8	土師器 杯	口(11.1) 高(4.7)	3区・4号溝下。 ほぼ完存	器面の磨滅著しく、整形痕不明瞭。底部や や厚手。口縁のナダは強く、擦痕明瞭。外底 強いへラ削りの痕跡。	①F。黒地磁器、赤褐色鉱物多い。②酸化塩、やや 軟調。③濁7.5YR6/8。焼ムラあり。
9	土師器 杯	口(13.2) 高(4.1)	3区 図示部の1/5	口縁ナダ。粗い擦痕が高。外底へラ削 りや強い。内面平滑だが、器面の剥落 が著しい。	①A。粗砂の混入多い。②酸化塩、普通。③にぶい 濁7.5YR5/4。内面は赤色味強い。
10	土師器 杯	口(11.4) 高4.1	4区B・底面より38cm上 の3片。 2/3断片	器面磨滅し、整形痕不明瞭。口縁はナダ の擦痕が僅かに見られる。外底やや強い へラ削り。	①C。赤褐色鉱物含む。②酸化塩、やや軟調。 ③濁5YR6/6。
11	土師器 杯	口(12.6) 高(3.7)	4区 図示部の1/4	口縁やや強いナダ。外底のへラ削りは丁 準。内底は平滑。	①B。赤褐色鉱物含む。②酸化塩、普通。 ③濁7.5YR6/6。
12	土師器 杯	口(11.0) 高(4.1)	4区 図示部の3/4	器面の磨滅著しく、整形痕不明瞭。外底 へラ削りの痕跡。	①F。砂質。②酸化塩、やや軟調。③濁5YR6/8。
13	土師器 杯	口(13.8 高3.9	3区 図示部の2/3	体部やや厚手。ナダの擦痕明瞭。外底強 いへラ削り。歪みあり。	①C。やや砂質。②酸化塩、普通。③にぶい黄褐 10YR5/4。一様でない。
14	土師器 杯	口(13.9 高5.1)	3区A・底面より28cm。ほ ぼ完存、口縁一部欠損	厚手。口縁はナダの細かい擦痕が高。外 底やや強いへラ削り。内面丁準な放射 状暗文。内面の一部剥落。	①C。小粒の混入物が多い。②酸化塩、硬調で焼 き締まる。③明赤褐5YR4/6。
15	土師器 杯	口(12.0) 高(5.4)	1区 図示部の1/3	外周口縁はナダの細かい擦痕が高。体 部強いへラ削り。内面放射状暗文。	①A。赤褐色鉱物多く、粗砂の混入多い。②酸化塩、や や軟調。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
16	土師器 杯	口(13.0) 高(4.4)	1区 図示部の1/4	やや厚手。口縁丁寧なナダ。外底やや強 いへラ削り。内面に暗文。内外面とも器 面は比較的平滑。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、硬調で焼 き締まる。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
17	土師器 杯	口(14.0) 高(4.8)	4区 1/4断片	外底のへラ削りは強いが弱。内面に放射 状暗文。	①D。やや大粒の混入物が多い。②酸化塩、やや軟 調。③明赤褐5YR5/6。
18	土師器 杯	口(12.0) 高(4.9)	1区 図示部の1/5	口縁端部に深い凹み。外面体部強いへ ラ削り。内面斑点状に剥落。暗文の痕跡 が僅かに残る。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化塩、硬調で焼 き締まる。③赤褐5YR4/6。
19	土師器 杯	口(12.6) 高(5.3)	1区 図示部の1/4	口縁は丁寧なナダ。外面体部強いへ ラ削り。内面不定方向のナダで、器面の凹凸 はやや目立つ。	①C。小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③ 濁5YR6/6。一様でない。
20	土師器 鉢	口(13.2) 底(6.0) 高6.5	1区 口縁若干、胴部～底部 2/3	口縁丁寧なナダ。外面磨滅著しく、整形 痕不明瞭。へラ削りの痕跡が僅かに残 る。内面斑点状の剥落が著しい。	①A。赤褐色鉱物多く、粗砂の混入多い。②酸化塩、 やや軟調。③明赤褐5YR5/6。
21	土師器 杯	口(12.0) 高4.5	1区 図示部の1/4	体部のへラ削りは強い。内面やや強いナ ダで、器面の平滑さ損なう。外面赤色 磨滅。	①A。粗砂の混入多い。②酸化塩、普通。 ③濁5YR6/6。赤形部はにぶい赤褐2.5YR5/4。
22	土師器 杯	口(16.0) 高(4.9)	1区A・底面より37cm上 の2片。図示部の1/2	体部外面強いへラ削り。内面に細かい放 射状暗文を施す。	①B。黒地磁器、混入物は少ない。②酸化塩、硬調 で焼き締まる。③明赤褐5YR5/5。

No	品種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
23	土師器 杯	口[14.0] 高5.3	3区A・底面より40cm上の3片。図示部の1/2	口縁はナデの痕が深。外底は固く丁寧なヘラ削り。内面は放射状暗文。	①C。混入物や小粒が少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③燈7.5YR7/6。
24	土師器 杯	口[14.0] 高[3.6]	4区 図示1/5	口縁丁寧なナデ。断面鋭い。外面器部のヘラ削り鋭い。内面器面の剥落著しく、暗文の痕跡不明瞭。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤帯5YR5/6。ほぼ一様。
25	土師器 鉢	口[5.5] 高[4.9]	2区 図示部小破片	口縁ナデ。外部ヘラ状工具ナデ。小片からの復元で、径・傾き不安。	①E。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい燈7.5YR5/4。黒色のムラあり。
26	土師器 鉢	口[12.3] 高5.8	1区A・底面より36-41cm上の7片。 ほぼは完存	口縁丁寧なナデ。外面の削りは丁寧。器面は凹凸状に剥落。内面は同心円状にナデの痕が深。	①C。混入物や小粒が少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③明赤帯2.5YR5/6。黒色味おびたムラあり。④内外面にスス付着。
27	土師器 杯	口[12.8] 底3.1 高6.3	3区表面の5片。 2/3解体	僅かに上げ底。口縁丁寧なナデ。外面底部鋭いヘラ削り。内底にヘラ状工具の圧痕。	①A。5mm大の片岩粒目立つ。赤地粗い。②酸化焰、普通。③燈5YR5/6。
28	土師器 鉢	口[11.6] 高[4.8]	5区・5号溝下底面直上の3片。図示部の1/4	外部外面縁なへ削り。内面ハケ目状の痕が能かに見られる。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい燈7.5YR6/4。
29	土師器 杯	口[14.0] 高[3.6]	1区 口縁1/8	厚手。口縁ナデの粗い痕が深。外面縁なへ削りで、口縁下の無調整部分幅広く残る。内面は比較的平滑。	①A。粗砂の混入物多い。②酸化焰、やや軟調。③にぶい黄緑10YR7/3。
30	土師器 鉢	口[10.0] 高[3.6]	2区A・底面より23cm上の2片。口縁小破片	口縁はナデの粗い痕が深。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明黄緑10YR6/0。④外面にスス付着。
31	土師器 鉢	口[18.0] 高[6.5]	4区 図示部の1/5	口縁は丁寧なナデ。外面丁寧でやや強いヘラ削り。内面口縁ナデの痕が深。内外面とも器面は平滑。	①A。5mm大の片岩粒目立つ。赤地粗い。②酸化焰、普通。③明赤帯5YR5/6。
32	須恵器 甕鉢	底10.2 高[11.0]	2区A・底面より26cm上の4片。 図示部の1/2	厚手。右側転口。外面に沈着が3本流る。外底手持ちヘラ削り。口縁鋭い。	①G。赤地粗帯、黒色灰物、白色小粒多い。②還元焰、硬調で焼き締まる。③R5Y6/1。
33	土師器 高杯	口[19.6] 脚14.0 高14.2	1区B・底面より20cm上の33片。 杯部1/4、脚部2/3	器面磨滅し、整形痕不明瞭。杯部外面ヘラ削り。脚部外面は一息に削る。脚部内面下半はヘラ状工具ナデ。巻き上げ状の接合痕の凹凸顯著。	①C。赤地粗帯、混入物は少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③燈5YR6/8。杯部に黒色味強いムラあり。
34	土師器 高杯	口[19.3] 高[6.5]	2区A・底面より28cm上の2片。 杯部2/3	ナデの粗い痕が深。杯部外面丁寧なヘラ削り。内外面とも器面は比較的平滑。	①C。赤褐色灰物やや多い。②酸化焰、普通。③にぶい燈7.5YR6/4。一様でない。
35	土師器 砂台	口[21.2] 高[5.7]	3区A・底面より23cm上の3片。杯部はは完存	4ヶ所丁寧に穿孔。外面杯底部鋭いヘラ削り。杯部と底部の接合部は丁寧にナデ。	①A。赤地粗帯、小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③明赤帯5YR5/6。
36	土師器 高杯	口[17.5] 底[14.0] 高13.5	3区A・底面より16-38cm上の2片。 図示部の1/3	口縁丁寧なナデ。断面縁らなへ削り。脚部内面ヘラ状工具の強いナデ。上半にしばり目が無調整で残る。比較的平滑。	①E。赤褐色灰物多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤帯5YR5/6。
37	土師器 高杯	底[14.0] 高[12.1]	3区 杯部下半1/4、脚部1/2	外面丁寧なナデ。内面脚部削りに近い強いヘラ状工具のナデ。杯部と脚部の接合部は丁寧に仕上げられている。	①E。赤褐色灰物多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤帯5YR5/6。脚部内面黒味あり。
38	土師器 高杯	口[20.6] 底16.3 高16.2	3区A・底面より20-32cm上の14片。 図示部の3/4	杯部内外面と断面外面に粗いヘラ磨き。内底は器面の剥落著しい。脚部外面ヘラ削り。内面上半にしばり目が残る。	①E。赤褐色灰物多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤帯5YR5/6。一様。
39	土師器 高杯	口[20.7] 底[15.0] 高14.8	3区A・底面より20-28cm上の9片。 杯部1/2、脚部3/4	器面磨滅し整形痕不明瞭。外面杯部下半、脚部ヘラ削り。内面杯部にヘラ磨きの痕跡。脚部は楕円のヘラ状工具ナデ。しばり目が無調整で残る。	①A。赤褐色灰物、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。③燈2.5YR6/8。一様でない。
40	土師器 高杯	口[18.8] 高[6.5]	3区A・底面より33cm上の2片。 杯部2/3	外面上半ナデ。下半鋭いヘラ削り。内面は丁寧なナデで、比較的平滑に仕上げられている。	①E。赤褐色灰物多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤帯5YR5/6。
41	土師器 高杯	口[20.0] 高[6.1]	3区A・底面より40cm上の2片。図示部の1/4	内外面縁らなへ削り。外面下半磨きの下にはヘラ削り。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤帯5YR5/6。黒色味おびたムラあり。
42	土師器 高杯	高[7.4]	1区 脚部1/3	脚部に外面から3ヶ所穿孔。2ヶ所残存。外面は丁寧なヘラ磨き。内面上半に無調整のしばり目残る。	①B。赤地粗帯、混入物は少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③燈7.5YR7/6。断面の明度やや低い。
43	土師器 高杯	脚11.6 高[7.2]	1区A・底面より17cm上の4片。脚部3/4	3ヶ所外方より穿孔。外面は丁寧なナデ。一部光沢持つ。内面はしばり目残る。	①B。赤地粗帯、混入物は少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③燈7.5YR6/6。
44	土師器 高杯	高[9.1]	1区 脚部4/5	脚部外面楕円いへ削り。内面ヘラ状工具ナデ。巻き上げ状の輪縁痕が明瞭に残る。	①B。赤地粗帯、混入物は少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい赤帯2.5YR4/4。一様でない。④転用凹口。
45	土師器 高杯	脚11.8 高[8.6]	2区・底面ほぼ直上の11片。 脚部3/4	外面は細く丁寧なヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。しばり目・巻き上げ状の輪縁痕明瞭。	①E。赤褐色灰物多い。②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄緑10YR6/4。黒色のムラあり。
46	土師器 高杯	高[9.6]	3区B・底面より38cm 図示部完存	断面中に1ヶ所丁寧に穿孔。内面はヘラ状工具のナデ。上半にしばり目が無調整で残る。外面は比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③赤帯5YR4/6。
47	土師器 高杯	高[10.1]	2区・底面ほぼ直上。	外面丁寧なへ削り。内面無調整のしばり目残る。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③明赤帯5YR5/6。黒色のムラあり。
48	土師器 高杯	脚11.2 高[6.6]	5区・5号溝下の底面直上。 脚部3/4	器面磨滅し、整形痕不明瞭。脚部外面縦方向のナデ。内面ヘラ状工具のナデ。しばり目・巻き上げ状の輪縁痕残る。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄緑10YR4/6。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
49	土師器 埴	口(7.1) 高7.7	1区 口縁1/5、胴縁3/4	胴部外面細かく強いヘラ削り。内面口縁にハケ目。内底は指痕ナダの凹凸明瞭。	①A。赤褐色胎土多い。②酸化焙、普通。③にぶい程7.5YR6/4。一様でない。
50	土師器 埴	口19.2 高7.6	4区B・底面直上。 底面	厚手。器面磨減し、整形痕不明瞭。外底緩なヘラ削り。内面磨合痕が残る。	①A。赤褐色胎土含む。混入物が小粒で少ない。②酸化焙、やや硬調。③にぶい黄褐色10YR7/4。
51	土師器 埴	口8.8 高8.4	4区B・底面直上。 ほぼ底面	口縁ナダ。外底強いヘラ削り。内面ヘラ状工具ナダ。接合痕残る。	①A。混入物小粒で少ない。②酸化焙、やや硬調。③にぶい程7.5YR6/4。褐色のムラあり。
52	土師器 埴	口9.0 高6.4	3区上層 口縁4/5、胴部上半完存	口縁ナダ。胴部外面細かくヘラ削り。口縁内面工具痕が残る。器面は指痕ナダの凹凸明瞭。	①B。混入物小粒で少ない。②酸化焙、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
53	土師器 埴	高[4.1]	3区A・底面より42cm上。 口縁3/4	外面下平ハケ目の上にナダ。内面は削りに近いヘラ状工具の強いナダ。外面赤色塗彩。	①E。混入物小粒で少ない。②酸化焙、やや軟調。③にぶい程7.5YR7/4。内面に黒痕あり。赤彩部は明赤褐2.5YR5/6。
54	土師器 埴	口8.4 高3.6	1区A・底面直上の4片。 口縁はほぼ完存	口縁ナダ。細かい擦痕が見られる。	①A。混入物小粒で少ない。②酸化焙、普通。③明赤褐5YR5/6。
55	土師器 壺	口11.2 高[11.6]	3区A・表層～中層の17片。 胴部断面はほぼ完存	口縁ナダ。外面胴部にハケ目の痕跡。胴部下平ヘラ削り。内面ヘラ状工具の圧痕残る。	①B。赤褐色胎土。混入物は少ない。②酸化焙、硬調で焼き締まる。③明赤7.5YR5/6。
56	須恵器 甗	高[10.6]	2区A・底面より34cm上 胴部断面の2/3	右回転クワコ。胴部上位に塗彩。器面は幅広い沈線の間に薄帯文が流す。胴部中に1ヶ所穿孔。胴部磨痕明瞭。	①G。白色粒石。表地磨減。混入物は少ない。②還元焙。硬調。③灰褐10YR6/1。
57	須恵器 甗	高[13.8]	1区A・底面より11cm上。 ほぼほぼ完存、口縁欠損	口縁部器面に2条、下平に1条の沈線。胴部は上2条、下1条の沈線区区内に薄帯文2条。中位に1ヶ所外方より穿孔。降灰輪付着。	①G。表地やや緻密。黒色胎土。白色粒石多い。②還元焙。硬調で焼き締まる。③黒灰2/0。
58	須恵器 壺	口8.1 高[5.0]	1区 口縁1/2	右回転クワコか。外面のクワコ痕は弱く、平滑。降灰輪付着。	①G。表地磨減。黒色胎土。混入物は少ない。②還元焙。硬調で焼き締まる。③灰5YR1/1。
59	土師器 甗	口[16.0] 高[8.6]	4区B・底面より39cm上 胴部断面の1/2	口縁ナダの擦痕明瞭。胴部外面やや強いヘラ削りだが、口縁下に無調整部分広く残す。上半にハケ目状の擦痕。内面は平滑に仕上げる。	①C。赤褐色胎土。混入物は少ない。5mm大の片岩粒。②酸化焙、普通。③にぶい程7.5YR5/4。④胴部外面スス付着。
60	土師器 小型甗	口8.4 底4.6高9.1～9.6	2区A・底面より23cm上の3片。 ほぼほぼ完存	口縁ナダの擦痕明瞭。胴部外面下平なヘラ削り。一部ヘラ磨き。内面ヘラ状工具の圧痕。	①C。表地磨減。混入物は砂質。②酸化焙、普通。③程5YR6/4。
61	土師器 鉢	口14.1 底2.5 高15.8	1区B・上層の30片。 ほぼほぼ完存	器面磨減し、整形痕不明瞭。口縁やや厚手。外面胴部強いヘラ削り。内面は強く丁寧なヘラ状工具ナダ。擦痕明瞭。	①D。やや大粒の石質。片岩。混入物が極めて多い。②酸化焙、普通。③灰褐10YR4/2。
62	土師器 甗	口(11.2) 高[4.9]	1区 口縁1/3	厚手。胴部外面細かくヘラ削り。強い。内面指痕圧痕の凹凸顕著。	①A。砂含む。②酸化焙、やや硬調。③灰褐7.5YR4/2。赤味の強いムラあり。
63	土師器 甗	口(14.0) 高[6.0]	3区・底面より38cm上の3片。 口縁1/4	器面磨減し、整形痕不明瞭。胴部外面のヘラ削りは弱い。内外面とも比較的平滑。	①F。やや砂質。小粒の混入物が多い。②酸化焙、やや軟調。③程5YR6/6。外面に黒痕あり。
64	土師器 小型甗	口12.3 高15.5	1区B・底面より25～45cm上の27片。 ほぼほぼ完存	器面の磨減著しく、整形痕不明瞭。口縁強いナダ。胴部のヘラ削りは丁寧。内面にヘラ状工具による圧痕。	①C。表地磨減。混入物は少ない。②酸化焙、普通。③程5YR6/6。外面底面に黒痕。
65	土師器 甗	口(15.4) 高[5.2]	1区 口縁3/5	口縁内面工具の痕跡。内底胴部に擦痕が残る。器面の凹凸顕著。	①B。表地磨減。②酸化焙、やや軟調。③灰黄褐10YR4/2。一様でない。
66	土師器 甗	口(15.4) 高[5.8]	2区A・底面より25cm上の6片。 胴部断面の1/2	やや厚手。器面の磨減著しく、整形痕不明瞭。胴部外面ヘラ削りの痕跡。内面指痕明瞭。	①D。赤褐色胎土多くやや大粒の混入物が多い。②酸化焙、やや軟調。③灰褐5YR2/2。赤味強いムラあり。④一次焼熱。
67	土師器 壺	口(15.9) 高[4.8]	1区 胴部断面の1/4	口縁部内外面ハケ目の上にナダ。胴部内面やや強いヘラ状工具ナダ。内面指痕明瞭。	①B。表地緻密。②酸化焙、やや硬調。③にぶい程5YR5/4。口縁部に黒色のムラあり。
68	土師器 甗	口16.7 高[20.0]	3区A・中層の15片。 口縁はほぼ完存、胴部胴部断面の2/4	口縁ナダの擦痕明瞭。胴部内外面ハケ目状工具のナダ。ハケ目状の擦痕。輪縁明瞭。	①A。表地緻密。赤褐色胎土多い。②酸化焙、やや硬調。③にぶい黄褐10YR6/4。④外面胴部下平スス付着。
69	土師器 甗	口(15.0) 高[8.2]	4区B・底面より20cm上。 胴部断面の1/3	器面の磨減著しく、整形痕不明瞭。口縁外端に強い沈線が残る。胴部外面下平なヘラ削り。内面は強いヘラ状工具ナダ。	①A。表地磨減。小粒の混入物が多い。②酸化焙、普通。③程5YR6/6。
70	土師器 壺	口(16.0) 高[6.3]	5区中層。 胴部断面の1/4	外面胴部底位のヘラケズリの上に削りハケ目。内面口縁部ハケ目の上にナダ。胴部はハケ目の下に指痕圧痕の凹凸が明瞭に残る。	①C。赤褐色胎土含む。②酸化焙、やや硬調。③明赤褐2.5YR5/6。胴部外面は黄色味が強い。
71	土師器 甗	口(20.0) 高[5.0]	3区B・上層4片。 口縁1/3	やや厚手。口縁は粗い擦痕が流る。胴部外面のヘラ削りは弱い。内面比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焙、普通。③にぶい程7.5YR6/4。
72	土師器 甗	口(22.4) 高[8.5]	1区B・底面より29cm上。 口縁小破片、胴部上半1/4	口縁ナダ。胴部外面強いヘラ削りで、器面の凹凸顕著。内面ヘラ状工具ナダ。接合痕が残る。	①C。5mm大の片岩、やや大粒の混入物が多い。②還元焙、普通。③程5YR6/6。一様でない。④外面胴部下平スス付着。
73	土師器 大形甗	口(44.0) 高[6.5]	2区A・底面より21cm上の2片。 口縁小破片	内外面大形器としてはきわめて丁寧なヘラ磨き。小片からの復元のため径、幅き不安。	①A。角閃石が多い。②酸化焙、極めて硬調で焼き締まる。③程7.5YR6/6で光沢あり。内面は黒色のムラあり。
74	土師器 甗	口(14.0) 高[8.6]	1区 胴部断面の1/4	胴部外面ナダに近い弱いヘラ削り。内面ヘラ状工具のやや強いナダ。	①A。混入物小粒で少ない。②酸化焙、普通。③明赤褐5YR4/6。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
75	土師器 甕	口(15.6) 高(10.2)	1区・中層の8片。 図示部の1/2	外面口縁下半部強いナデ。胴部弱いナデで、ナデ残し部分が目立つ。胴部内面へう状工具ナデ。	①A。胎土の混入多い。②酸化塩、普通。③にぶい黄褐色10YR5/4。
76	土師器 甕	口(16.2) 高(7.9)	3区 図示部の1/6	胴部内外面丁寧なへう状工具ナデ。ハケ目状の細かい擦痕が見られる。輪轆痕明確。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化塩、やや硬質。③内面にふいね7.5YR5/4。外面7.5YR4/3。一様でない。④外面にスス付着。
77	土師器 甕	口14.2 高24.0	2区 4/5個体	器面摩滅し、変形很不明瞭。口縁ナデ。外面のへう割りは弱く丁寧。内面丁寧なへう状工具ナデ。	①A。赤褐色密着。赤褐色鉱物多い。②酸化塩、やや硬質。③赤褐色5YR5/6。一様でない。
78	土師器 甕	口(18.0) 高(7.5)	2区B・底面より23cm上、口縁1/4	厚手。胴部内外面ハケ目状の擦痕。輪轆痕明確。	①D。やや大粒の混入物が多い。②酸化塩、硬質で焼き締まる。③明赤褐色5YR5/6。
79	土師器 甕	口(14.0) 高(11.4)	2区・底面ほぼ直上の5片。図示部の1/5	器面の摩滅著しい。胴部外面へう割りの痕跡。内面へう状工具ナデ。	①C。やや砂質。②酸化塩、やや軟質。③橙7.5YR5/6。一様でない。④外面にスス付着。
80	土師器 甕	口(15.3) 高19.2	2区 口縁小破片、胴部1/4	器面摩滅し、変形很不明瞭。胴部外面へう割りの痕跡。輪轆痕が残る。	①C。赤褐色鉱物含む。②酸化塩、普通。③橙5YR5/6。一様でない。
81	土師器 台付甕	口(12.0) 高(5.4)	2区A・底面ほぼ直上。図示部の1/4	S字状口縁。外面やや鋭いハケ目。内面は器面の凹凸目立つ。	①A。砂質含む。②酸化塩、やや硬質。③にぶい橙7.5YR7/4。外面に黒炭あり。
82	土師器 台付甕	口(15.0) 高(4.1)	3区A・底面より15-39cmの2片。 口縁1/4	S字状口縁。口縁は細かい擦痕が見られる。胴部外面強いへう割り。	①B。角閃石、小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③黒褐色10YR3/2。一様でない。
83	土師器 台付甕	台下11.0 高(6.0)	3区A・底面より40cm上。 高台部完存	器面摩滅。台部内面上部に指頭圧痕が弱く残る。	①C。やや砂質。赤褐色密着。混入物は少ない。②酸化塩、普通。③明赤褐色5YR5/6。
84	土師器 台付甕	台下(10.8) 高(7.4)	5区・5号清下3片。 台部1/2	内底にへう状工具の圧痕。台部内面は指頭による押圧とナデ。台部の折り返しは薄。内底と台部天井に粘土貼り付け。	①A。石灰、小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③にぶい橙7.5YR5/4。
85	土師器 甕	口() 高(14.7)	1区表層の4片。 図示部の1/3	やや厚手。外面の割りは意長くきわめて強い。内面は弱いナデだが器面は平滑。	①D。混入物の粒径は最大4mm。②酸化塩、硬質としてはやや硬質。③にぶい黄褐色10YR5/3。断面までほぼ一様。
86	土師器 甕	口(19.4) 高(13.0)	1区上層。 図示部の1/5	やや厚手。口縁ナデの擦痕が明確。胴部外面は丁寧なへう割り。内面へう状工具による強いナデ。	①E。やや大粒の混入物が多い。②酸化塩、硬質で焼き締まる。③にぶい橙7.5YR5/4。
87	土師器 甕	口(22.0) 高(11.6)	2区 図示部の1/4	口縁のナデは強く、段を持つ。口縁内面に沈着が高。胴部外面へう割り。内面強いへう状工具ナデ。	①A。礫石やや多い。②酸化塩、やや硬質。③にぶい黄褐色10YR6/4。一様でない。
88	土師器 甕	口(20.4) 高(11.9)	3区B・底面より42cm上。 図示部の1/4	口縁はナデの強い擦痕が明確。胴部外面強いへう割り。内面やや強いへう状工具のナデで、平滑。	①A。礫石やや多い。②酸化塩、やや硬質。③橙5YR5/6。
89	土師器 甕	口(28.6) 底(11.0) 高29.3	1区B・上層の9片。 口縁若干、胴部・底部1/4	器面摩滅し、変形很不明瞭。胴部外面のへう割りは強く、擦痕目立つ。内面島の長いへう状工具ナデ。底部へう割り。	①D。當地産く5mm大の片岩が目立つ。②酸化塩、やや硬質。③明赤褐色5YR5/6。一様でない。
90	土師器 甕	口20.8 底7.0 高12.2	1区B・上層の30片。 ほぼ完存	外面のへう割りは強く、器面凹凸。内面はへう状工具の強いナデ。圧痕明確。底部は外方より穿孔。口縁は小さく波状に重む。	①E。當地や粗い。雲母多く、パミス、石英多く含む。②酸化塩、普通。③にぶい黄褐色10YR5/4。一様でない。
91	須恵器 甕	高(6.5)	5区 口縁小破片	8x2x2本の板状文。間に2x1x1のみの沈着が混る。内面に焼成前のへう記号。	①G。白色砂子、やや砂質含む。②還元塩、普通。③暗灰3/0。一様でない。
92	磁石か	長(9.6) 幅5.1 厚3.7	1区埋没土	自然石を利用。1面の二ヶ所に金属の頭部を潰すために使用したような鋭い磁打の痕跡。	④近世以前の混入品か。
93	磁石	長6.9 幅5.3 厚4.0	1区埋没土 完形	自然石を6面研削後、3面にある条痕は方部痕のような深さはない。	①角閃石山石(二ヶ岳)
94	磁石	長(4.3) 幅3.0 厚1.3	1区埋没土	表面両側の4面使用。中砥級であるが目は細かい。	①砥石(砥石)
95	磁石	長(5.6) 幅2.8 厚1.1	2区埋没土	使用は正面の1面のみ。裏面と両側面は削面。中砥級であるが目は細かい。	①砥石。黑色小炭あり。
96	土師器 手捏ね	口15.3 底4.8 高3.6	1区B・底面直上。 ほぼ完存	厚手。指頭圧痕が明確に残る。	①B。赤褐色密着。②酸化塩、やや軟質。③にぶい黄褐色10YR7/4。一様でない。
97	土師器 手捏ね	口15.6 底4.7 高4.0	1区下層。 ほぼ完存	厚手。指頭圧痕の凹凸明確。やや雑なつくり。	①B。赤褐色密着。②酸化塩、やや軟質。③にぶい黄褐色10YR7/4。
98	土師器 手捏ね	底(4.0) 高(5.7)	3区A・底面ほぼ直上。図示部の1/3	外面上半にハケ目の痕跡。内面指頭痕明確。	①A。白色鉱物多い。②酸化塩、やや軟質。③黒褐色2.5Y3/1。内面の明度高い。
99	土師器 手捏ね	口6.3 底5.6 高3.4	2区B・底面ほぼ直上。ほぼ完存	厚手。指頭圧痕の凹凸明確。	①B。赤褐色密着。②酸化塩、やや軟質。③明黄褐色10YR7/4。外底に黒炭あり。
100	土師器 手捏ね	底(6.5) 高3.1	4区 1/4個体	指頭圧痕の凹凸明確。	①C。赤褐色鉱物、パミス、砂粒。②酸化塩、やや軟質。③にぶい黄褐色10YR7/3。一様でない。
101	銅形石製品	長(5.4) 重10.6 幅2.7 厚0.6	1区B・中層。 身部のみ	錆は明確。1号清56の石製品に類似した造りか。	①磁石か。

A1・2区2号溝、A1・2区16号溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
102	石製紡車	径3.45 孔0.65 高1.7 重15.7	2区A 1/2	側面の面取りが残る。	①滑石。
103	不明石製品	長さ[5.9]重6.2 幅1.1 厚0.35	2区	網状の製品か。片面はやや平出でもう一面は丸みがある。	①凝灰岩。

A2区2号溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土製器 杯	口[14.0] 高[6.6]	底面より41~45cm上の13片。 口縁1/6、体部3/4	口縁丁寧なナデ。外底やや強いヘラ削り。内底ヘラ状工具の爪痕が見られるが、比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焙、硬調で焼き締まる。③赤褐色S194/6。
2	土製器 高杯	口16.1 脚F12.5 高14.3	底面より32cm上の14片。 杯部3/4、脚部完存	外面杯部上半と脚部に離かく丁寧なヘラ磨き。杯部下半指頭圧痕による凹凸明確。内面杯部へラ磨き。脚部上半削りに近いヘラナデ。	①C。黒色鉱物散見。素地緻密だが、パミスなどの混入物多い。②酸化焙、硬調で焼き締まる。③焼S196/6。黒質あり。
3	土製器 高杯	口15.3 脚F11.7 高13.2	底面より28cm上の4片。 ほぼ完存	杯部外面ハケ目状のナデ。内底もハケ目状の擦痕。脚部内面、幅広工具で削りに近いナデ。しばり目若干残る。杯部と脚部の接合部に指頭圧痕。	①C。赤褐色鉱物多い。②酸化焙、普通。③焼S195/6。杯部外面は黒色味がやや強い。④杯部内外面に黒色の付着物。
4	土製器 高杯	口16.8 高4.9	底面より24~41cm上の12片。 杯部3/4	器面磨減し、整形痕不明瞭。内外面強いヘラ磨き。外面下半ヘラ削り。	①E。小粒の混入物が多い。②酸化焙、普通。③焼S196/6。黒質。
5	土製器 高杯	底[12.0] 高[7.3]	底面より19cm上。 脚部1/3	外面脚部ナデ。裾部に強いヘラ磨き。内面、削りに近いヘラ状工具の強いナデ。上半にしばり目の痕跡。	①D。8cm大の片岩粒目立つ。①やや軟調。③明赤褐色S195/5。
6	土製器 瓶	口[27.0] 底9.4 高29.0	底面直上から底面より38cm上までの12片。 図示部の1/2	脚部外面、強いヘラ削りの上に丁寧なナデ。内面削りに近いヘラ状工具ナデ。内外面とも比較的平滑に仕上げる。	①A。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焙、普通。③焼S196/6。
7	土製器 甕	口[20.0] 高[22.7]	口縁~脚部	口縁内面に強い凹み。脚部外面上半は丁寧なナデ。内面削りに近いナデ。被熱による器面の剥落著しい。	①A。混入物は極めて多い。②酸化焙、やや軟調。③焼S195/6。④二次被熱。
8	土製器 甕	口[28.8] 高[11.5]	底面ほぼ直上の4片。 口縁小破片	口縁やや窪なナデ。脚部外面へラ削りの上に丁寧なナデ。内面丁寧なナデ。内外面平滑。小片からの復元で、極不安。	①D。5~8cm大の片岩粒目立つ。②酸化焙、普通。③にぶい黄褐色S195/4。
9	土製器 甕	口[17.4] 底4.7 高[35.0]	口縁1/3、脚部~底部3/4	外面丁寧で強いヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデで、比較的平滑に仕上げる。	①A。8cm大の片岩粒、赤褐色鉱物目立つ。②酸化焙、普通。③にぶい黄7.S195/3。
10	土製器 甕	口18.6 高[7.1]	底面直上から底面より45cm上までの8片。 口縁1/2	外面口縁下端は指頭圧痕の凹凸顯著。脚部へラ削り。内面口縁に強いハケ目。脚部削りに近い強いナデ。	①C。赤褐色鉱物やや目立ち、素地やや緻密。②酸化焙、普通。③にぶい黄褐色10195/5。
11	土製器 甕	口15.7 高[6.3]	底面より10~27cm上の10片。 口縁1/2	口縁強いナデ。指痕明確。脚部外面、ヘラ削りの上に丁寧なナデ。内面はヘラ状工具のナデ。	①C。赤褐色鉱物やや目立ち、素地やや緻密。②酸化焙、普通。③にぶい黄褐色10195/5。
12	土製器 甕	口[17.0] 底6.3 高28.4	底面より17cm上の93片。 口縁一部欠損	外面器面の剥落著しい。強いヘラ削り。内面はヘラ状工具のナデで、器面は比較的平滑。	①D。5~8cm大の片岩粒目立つ。素地粗い。③酸化焙、普通。③にぶい黄褐色10195/4。
13	土製器 甕	口[20.8] 底6.8 高27.7	底面より21~27cm上の20片。図示部の1/3	内面のヘラ削りは単位が短く鋭い。内面は丁寧なナデで、平滑。	①A。混入物は極めて多い。②酸化焙、やや軟調。③にぶい黄褐色10194/3。
14	碧玉	長1.75 重0.8 径0.5 孔0.3	中央埋没土。	上・下端にやや丸み。指痕痕の残らない丁寧な仕上げ。	①凝灰岩。

A1・2区 16号溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	銅器 蓋	口[11.0] 径2.1 高3.1	2区 図示部の1/4	右回転クロー-天井部回転ヘラ削り→ロケット利用の丁寧な組み取り付け。外面降伏軸付着。	①G。石炭、砂粒、小粒の混入物が多い。②還元焙、やや軟調。③MS195/1。一様でない。
2	土製器 鉢	口[20.3] 高[6.4]	2区 口縁1/4、脚部上半1/3	厚手。口縁ナデの粗い指痕残る。体部外面強いヘラ削り前で、口縁下の無調整部分広く残る。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焙、やや軟調。③にぶい黄褐色10197/3。一様でない。
3	土製器 甕	口11.3 高8.2	1区 ほぼ完存	口縁ナデ。小さな底状の歪みあり。外底強いヘラ削り。体部の無調整部分広く残る。内面平滑。	①B。輝石類やや多い。②酸化焙、やや軟調。③焼S196/6。一様でない。④外面底部に黒質。
4	土製器 台付甕	台F9.6 高[6.3]	1区 図示部の2/3	台部外面強いヘラ削り前で、無調整部分残る。台部内面指痕の凹凸明確。折り歪し丁寧。	①D。5~8cm大の片岩粒目立つ。素地粗い。②酸化焙、普通。③明焼7.S195/4。一様でない。
5	土製器 甕	口[20.0] 高[13.0]	2区 図示部の1/2	口縁のナデはやや窪。脚部外面はナデに近いヘラ削り。輪縁痕明確。	①D。5~8cm大の片岩粒目立つ。素地粗い。②酸化焙、普通。③にぶい黄褐色10197/3。一様でない。
6	土製器 甕	口[21.6] 高[7.4]	2区 口縁1/3	丁寧なナデ。口縁内面に強い凹み。外面中に段を持つ。内面は器面の剥落著しい。	①A。赤褐色鉱物多く、小粒の混入物が多い。②酸化焙、やや軟調。③焼7.S195/6。一様でない。
7	土製器 甕	口[20.5] 高[6.3]	1区 図示部の1/4	口縁やや強いナデ。口縁内面に強い凹み。内面平滑。外面のヘラ削りは強い。内面平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焙、やや軟調。③焼7.S195/6。
8	土製器 手捻ね	口7.0~7.4 底4.7 高4.2~4.7	1区 ほぼ完存	口縁底状に大きく歪む。内面は放射状の指痕ナデで、凹凸顯著。外底に焼成時の数回の痕跡。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焙、やや軟調。③にぶい黄褐色10196/4。一様でない。

No	器種	計画値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
9	土師器 手挽ね	底径5.5 高4.3	1区 胴部底の1/2	厚手。内面放射状の指痕ナデで、凹凸顯著。離れなく。3。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬質で焼き締まる。③焼7.5YR6/6。
10	土師器 手挽ね	口径(6.0) 高(4.8)	2区 口縁若干、体部3/4、底部1/4	非常に厚手で壁なつくり。外面は摩滅し、整形痕不明。内面指痕圧痕明瞭。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟質。③黄褐色10YR3/3。一様でない。
11	土師器 杯	口径11.9 高5.7	ほぼ完存	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底強いヘラ削りの痕跡。口縁下に沈線。	①F。実地磁質、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟質。③焼5YR6/8。
12	土師器 杯	口径11.3 高4.2	ほぼ完存	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。	①F。実地磁質、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟質。③焼5YR6/8。一様でない。
13	土師器 杯	口径(11.6) 高(3.9)	口縁1/2、体部1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。	①F。実地磁質、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟質。③焼5YR6/6。
14	土師器 杯	口径(12.2) 高(5.1)	胴部底の2/3	器面摩滅し、整形痕不明瞭。底部ヘラ削りの痕跡。	①F。実地磁質、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟質。③焼5YR6/6。
15	土師器 杯	口径(13.3) 高(3.9)	胴部底の1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底強いヘラ削りの痕跡。内底ヘラ状工具の圧痕。	①F。実地磁質、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟質。③焼5YR6/8。外底黒色のムラあり。
16	土師器 杯	口径11.9 高3.7	ほぼ完存	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底強いヘラ削りの痕跡。口縁下に沈線。	①F。実地磁質、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟質。③焼5YR6/8。
17	土師器 杯	口径(12.8) 高4.7	1/2	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。口縁ナデの擦痕残る。外底ヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。	①F。実地磁質、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟質。③焼5YR6/8。
18	土師器 杯	口径(11.6) 高3.7	胴部底の2/3	器面の摩滅著しく、整形痕不明。外底ヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。	①F。実地磁質、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟質。③焼5YR6/8。
19	土師器 杯	口径11.5 高3.8	胴部底の1/2	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。口縁ナデの擦痕が混る。外底ヘラ削りの痕跡。	①F。実地磁質、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟質。③焼5YR6/8。
20	土師器 杯	口径(12.2) 高(3.1)	胴部底の1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底ヘラ削り。	①F。混入物は少ない。器壁は粉っぽい。②酸化焰、やや軟質。③焼5YR6/6。外底に黒色のムラあり。
21	土師器 埴	口径(12.8) 高(3.2)	胴部底の1/4	外面口縁下に沈線。底部鋭いヘラ削り。内面放射状の指痕。	①C。実地磁質、混入物は少ない。②酸化焰、硬質で焼き締まる。③にぶい焼7.5YR6/4。
22	土師器 高杯	脚径(12.6) 高(9.0)	脚部3/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外面指痕強いヘラ磨き。内面強いヘラ状工具ナデ。上手無調整のしぼり目残る。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬質。③焼5YR6/6。
23	土師器 壺	口径(29.4) 高(12.7)	口縁1/4	外面鋭いハケ目。内面丁寧なヘラ磨き。胴部ヘラ状工具の痕跡。	①D。実地磁質、黒色灰物多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐色10YR7/4。内面は黒色味強い。
24	土師器 甕	口径(16.0) 高(9.0)	胴部小破片	口縁ナデの擦痕明瞭。ナデ、胴部外面強いヘラ削り。胴部内部ヘラ状工具の強いナデ。	①E。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟質。④オリーブ黒5Y3/1。
25	土師器 甕	口径20.4 高(28.5)	胴部底の4/5	外底強いヘラ削りで、器面の凹凸顯著。内面胴部幅広いヘラ状工具のナデ。圧痕明瞭。	①A。やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい赤黒5YR5/4。
26	土師器 甕	口径(21.2) 高(9.3)	口縁若干、胴部1/4	外面口縁に花曇りが1本通る。胴部のヘラ削りは強い。内面はヘラ状工具の圧痕が見られるが、比較的平滑。	①A。粗砂の混入多い。②酸化焰、普通。③赤黒5YR4/6。
27	土師器 甕	口径(17.2) 高(6.8)	口縁1/5	口縁ナデ。胴部外面丁寧なヘラ削り。内面ヘラ状工具の圧痕が見られるが、比較的平滑。	①D。石炭、片岩较多く、実地磁質。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐色10YR5/4。一様でない。
28	須恵器 高杯	底径(12.3) 高(3.6)	脚部1/4	右回転クロコ。方形通しの痕跡。外縁に沈線が混る。外面上手は、クロコ痕の上に丁寧なナデ。器面は平滑。	①G。黒色磁質、白色粒を含む。②還元焰、やや硬質。③9Y5Y/1。
29	土師器 甕	底径(9.0) 高(15.2)	胴部底の1/4	器面の剥落混み。調整不明瞭。外面はヘラ削りの痕跡が見られる。ヘラ状工具ナデ。	①D。5mm大の片岩が目立ち実地磁質。②酸化焰、やや硬質。③焼7.5YR4/6。一様でない。

A2区1号溝

No	器種	計画値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 埴	口径(12.0) 高(5.6)	胴部底の1/4	外面器面の摩滅が著しく調整不明瞭。ヘラ磨きか。口縁部と体部の境にハケ目が僅かに残る。内面ヘラ磨き。	①C。実地磁質、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬質で焼き締まる。③焼5YR6/6。断面は黒色味強い。
2	土師器 埴	口径(13.0) 高(4.6)	口縁1/4	内外面磨きなヘラ磨き。	①C。実地磁質、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬質で焼き締まる。③にぶい黄褐色10YR7/3。
3	土師器 埴	底径(4.6) 高(5.0)	胴部底の1/4	底部やや上げ気味。外面ヘラ削りの上にナデを施し、平滑に仕上げる。内面丁寧なヘラ状工具ナデ。	①C。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。④焼7.5YR4/3。
4	土師器 杯	口径12.9 高4.0	口縁1/3、体部～底部2/3	厚手。口縁のナデはやや弱い。外底丁寧なヘラ削り。内外面比較的平滑。弱い有底口縁。	①C。実地磁質、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬質で焼き締まる。③焼5YR6/6。断面は黒色味強い。
5	土師器 高杯	底径(15.8) 高(13.0)	底面より30cm上の2片、胴部には完存、幅縁若干	厚手。胴部外面はナデに近いヘラ削り。内面ヘラ状工具の圧痕明瞭。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい赤黒5YR4/4。一様でない。④内外面スス付着。
6	土師器 高杯	底径15.6 高(12.5)	底面より38cm上の3片、脚部3/4	厚手。胴部外面やや粗なヘラ削り。胴部ナデ。外面巻き上げ状の接合痕の凹凸顯著。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐色10YR6/4。一様でない。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
7	土師器 甕	口(19.0) 底6.1 高36.9	底面より23cm上の30片。 図示部の1/2	胴部外面強いヘラ削り。下高槽方向の削り。内面丁寧な指痕ナデ。内外面とも器面の凹凸顯著。	①A.パミス、やや大粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③にぶい黄緑10YR7/3。
8	土師器 甕	口(20.0) 高[9.4]	口縁小破片	口縁のナデは強く、外面に強い段を持つ。胴部外面は磨滅しヘラ削りの単位はやや不明瞭。内面ヘラ状工具ナデ。	①A.パミス、やや大粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③黄緑5YR7/6。
9	土師器 甕	口(23.6) 高[6.8]	底面より32cm上。 口縁1/5	口縁部厚し丸い。ナデの指痕明確。胴部外面やや強いヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。	①A.小粒の混入物が多い。②酸化塩、普通。③黄緑2.5Y7/3。

A1区 111号土坑

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(13.0) 底[3.5]	埋没土中の6片。 図示部の1/4	外面の削りは幅広く丁寧。削り残しがない。内面平滑。	①G.黒石混じりの粗砂やや多い。②酸化塩。③黄緑5YR6/6で断面までほぼ一様。
2	土師器 高杯	胴下(19.6) 高[3.7]	埋没土。 図示部小片	外面ナデの上にヘラ磨き。裏縁が粗いが比較的丁寧で、細く鋭い。内面は比較的平滑。	①Bに近い。混入物はやや少ない。②酸化塩。③にぶい黄7.5YR5/4。内面は彩度低い。
3	土師器 高杯	胴上2.1 高[5.7]	埋没土。 図示部の2/3	外面のヘラ磨きは幅広く。胴部内面にヘラ状工具の鋭いナデの痕。	①G.黒地磁器で赤褐色磁物含む。②酸化塩、視測。③にぶい黄5YR5/4。外面に帯状の黒斑あり。内面は灰色味をおびる。
4	須恵器 平瓶	胴(15.8) 高[6.0]	南より底面付近出土破片が4号溝2区中層出土破片と符合。 図示部の1/3	天井部の丸みが強い。外面に弱い回転ヘラ削り痕が残るが不明瞭。胴部下端に残り1本洗線がある。胴部の接合に内側からのナデの痕跡見られない。	①G.黒色磁物、白色破片を含む。②還元塩、普通。③灰7.5YR/1。内面は明度高い。④胴部内面下側にのみ降伏付着し、口縁部の径が広いことが想定される。
5	土師器 台付甕	台上(4.8) 高[5.7]	埋没土。 図示部1/2	縁毛目は深い。右部外面のナデ削り部分は狭い。内面の指痕庄痕は等間隔。	①G.やや砂質で混入物は少ない。②酸化塩。③にぶい黄緑10YR6/4。断面はやや灰色味をおびる。
6	土師器 甕	口(14.8) 底6.2 高18.0	中央底面からやや上の11片。 1/2個体	外面の削りは括弧のように鋭い。内面は幅広く工具の丁寧なナデで平滑に仕上げる。	①G.砂質で混入物少ない。②酸化塩、普通。③黄7.5YR6/6。黒色・赤色味強いムラあり一様でない。④外面下半は二次焼成により脆弱。
7	土師器 甕	口(20.0) 高[7.8]	南寄り底面付近2片。図示部の1/6	器面やや磨滅し整形痕不明瞭。外面の削りはやや細かい。一部無調整部分が残る。内面は平滑。	①F。②酸化塩。③黄7.5YR7/6で内外面一様。断面は灰色味をおびる。
8	不明確石製品	長8.3 幅7.6 厚4.5	埋没土。 ほぼ完形	最大6mmの深い溝を切っている。溝上面と下層の幅は少なく、先端はあまり鋭利ではない。	①二フ岳石。
9	手捏ね	口(7.2) 底(4.8) 高[5.4]	埋没土2片。 口縁1/2。底部若干	丸底気味か。底部はきわめて厚く、口縁部も厚手。内外面ともナデを加えるのか指痕痕は不明瞭。	①G.実地やや粗く泥状や塊多量な磁物を含む。②酸化塩、やや軟弱。③にぶい黄緑10YR6/3。外底は黒色味強い。
10	手捏ね	口(6.2) 底(4.8) 高[4.5]	埋没土下層。 図示部の1/3	丸底気味か。底部きわめて厚いが、口縁部がつまみ出している部分が多い。内面平滑さ欠く。	①②③9にはほぼ同じ。
11	管玉	長3.6 重4.2 径0.8 孔0.4	埋没土。 ほぼ完形	孔は中央を逃れている。上・下層とも平坦でわずかに縦磨痕が残る。	①デイクイト質黒灰岩。本遺跡内に同じ石材の製品は出土していない。

4 中世館跡と堀

A1区4号溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③釉調 ④その他
1	磁器 小杯	口(7.9) 底3.3 高4.5	3区・底面より31cm上、 口縁1/5、底部完存	製作き部輪ハズ。砂粒付着。染付は周縁 り文。体部下端に一重、高台部に二重 輪。細かい気泡が見られる。	①釉調は僅かに青色味をおびた乳白色。呉須は薄く 明るい藍色に発色。④肥前。
2	磁器 小杯	口7.1 底3.0 高3.6	4区 ほぼ完存	製作き部は露胎。染付は外面に藍文。	①釉調は僅かに青色味をおびた乳白色。呉須はくす んだ藍色に発色。露胎部分は緑味が強い。④肥前。
3	磁器 小杯	口7.3 底3.0 高3.6	4区・底面より60cm上、 口縁3/4、底部完存。	製作き部は露胎。染付は外面に藍文。	①釉調は僅かに青色味をおびた乳白色。呉須はくす んだ藍色に発色。露胎部分は橙色が強い。④肥前。
4	陶器 小杯	口6.5 底3.0 高3.7	2区 口縁3/4、底部完存	高台部露胎。内外面灰輪。細かい貫入が 見られる。	①G。砂質。黒色粒子含む。②やや硬調。③釉調は 青色味をおびた透明釉。光沢強い。④瀬戸・美濃。
5	陶器 小杯	口(7.2) 高(3.4)	4区・底面より60cm上。 顯示部の1/3	内外面灰輪。染付は山水文か。重い貫入 が見られる。	①G。質地やや粗い。砂粒多い。②やや硬調。③釉 調は緑色味をおびた透明釉。呉須は極薄くやや。④ 瀬戸・美濃。
6	磁器 小碗	底3.5 高(2.8)	3区・底面より33cm上。 底部完存	製作き部輪ハズ。砂粒付着。染付は草花 文。高台部に二重輪。細かな気泡が見 られる。	①釉調は青色味がかかった乳白色。呉須はややくす んだ藍色に発色。④肥前。
7	磁器 碗	口9.6 底3.8 高5.3	2区 ほぼ完存	製作き部露胎。砂粒付着。染付は宮の輪 輪菊文。高台部二重輪。高台内に染有 り。細かい気泡が見られる。	①釉調は青色味をおびた乳白色。呉須はややくす んだ藍色。一部褐色。④肥前。
8	磁器 碗	口9.6 底3.7 高5.3	2区 ほぼ完存	製作き部露胎。染付は宮の輪輪菊文。高 台部二重輪。高台内に染有り。細かい 気泡が見られる。	①釉調は青色味をおびた乳白色。呉須はややくす んだ藍色に発色。④肥前。
9	磁器 碗	口9.9 底3.5 高5.5	3区・底面より38cm上、 1/3露胎	製作き部輪ハズ。染付は草花文。体部下 端に一重、高台部に二重輪。細かな気 泡が見られる。	①釉調は青色味をおびた乳白色。呉須はくすんだ藍 色に発色。④肥前。
10	磁器 碗	口(10.8) 底3.4 高5.2	4区・底面より60cm上、 口縁1/2、底部完存	製作き部露胎。砂粒付着。見込は蛇ノ目 状に輪ハズ。染付は外面吹染菊文・藍 文。高台部二重輪。粗い貫入。	①釉調は青色味をおびた乳白色。呉須は淡くくす んだ藍色に発色。④肥前。
11	磁器 碗	口9.9 底3.9 高4.9	4区・底面より35cm上、 1/2露胎	製作き部は輪ハズ。染付は草花文。細か い気泡が見られる。	①釉調は僅かに青色味をおびた乳白色。呉須は明 り藍色に発色。④肥前。
12	磁器 碗	口(10.2) 底4.0 高5.0	4区・底面より40cm上、 口縁1/4、底部完存	製作き部輪ハズ。砂粒付着。外面コンニ ャク印刷文。高台二重輪。粗い貫入・ 気泡が見られる。	①釉調は青色味をおびた乳白色。呉須はくすんだ藍 色に発色。④肥前。
13	磁器 碗	口(8.6) 底3.6 高5.0	4区・底面より50cm上の 2片。 口縁若干、底部完存	製作き部は輪ハズ。染付は草花文。口縁 内端二重輪。見込は一重輪。花弁 文。高台部二重輪。	①釉調は僅かに青色味をおびた乳白色。呉須はや やくすんだ藍色に発色。④肥前。
14	磁器 碗	底4.3 高3.0	2区・底面より64cm上の 2片。 底部完存	製作き部輪ハズ。染付の意匠不明。高台 外面三重、内面一重輪。見込蛇ノ目 状に輪ハズ。製作き部と見込に砂粒付 着。	①釉調は僅かに青色味をおびた乳白色。呉須はや やくすんだ藍色。④肥前。
15	磁器 碗	口8.8 底3.6 高4.4	2区 ほぼ完存	製作き部輪ハズ。染付は矢羽文。細か い気泡が見られる。	①釉調は青色味をおびた乳白色。呉須はややくす んだ藍色に発色。製作き部は橙色が強い。④肥前。
16	磁器 碗	口(10.1) 底4.0 高5.7	3区・底面より34cm上の 2片。 1/2露胎	製作き部露胎。外面にコンニャク印刷の 鶴文と若松文。体部下端に一重、高台 部に二重輪。細かな貫入が見られる。	①釉調は僅かに青色味がかかった乳白色。呉須はや やくすんだ藍色に発色。露胎部分は橙味が強い。④ 肥前。
17	磁器 碗	口(10.4) 底3.8 高5.9	3区・底面より35cm上の 3片。 口縁1/4、底部完存	製作き部露胎。砂粒付着。外面コンニ ャク印刷の鶴文と若松文が各3ヶ所。体 部下端に一重、高台部に二重輪。細かな 貫入が見られる。	①釉調は僅かに青色味がかかった乳白色。呉須はや やくすんだ藍色に発色。高台部の内縁は褐色。露胎部 分は橙色が強い。④肥前。
18	磁器 碗	口10.2 底4.0 高5.8	4区・底面より35cm上、 口縁1/5、底部完存	製作き部は輪ハズ。砂粒付着。外面にコ ンニャク印刷の鶴文と若松文が各3ヶ所。外 底に一重、高台部に二重輪。細かな貫 入が見られる。	①釉調は僅かに青色味をおびた乳白色。呉須はくす んだ藍色に発色。高台部の内縁は褐色に発色。断面 はやや硬味が強い。④肥前。
19	磁器 碗	口10.8 高(4.6)	4区・底面より33cm上。 顯示部の1/2	外面にコンニャク印刷の鶴文と若松文。 細かな貫入が見られる。	①釉調は僅かに青色味がかかった乳白色。呉須はや やくすんだ藍色に発色。④肥前。
20	陶器 碗	口(11.0) 底4.8 高7.4	3区・底面より36cm上、 口縁1/3、底部完存	内外面やや厚い灰輪。外面の染付は松竹 梅と山水文か。細かい貫入・気泡が見 られる。	①G。砂粒。きめ細かい。②硬調。③釉調は僅かに緑 色味をおびた透明釉。呉須はくすんだ藍色に発色。製 作き部は褐色。断面は灰白色。④肥前。
21	陶器 碗	口(11.0) 底4.6 高6.6	1区上層。 1/3露胎	製作き部露胎。内外面灰輪。外面の染付 は草花文・口縁部に四方嚔文。高台部 に二重輪。細かい貫入が見られる。	①G。砂質。きめ細かい。②硬調。③釉調は僅かに 緑色味をおびた透明釉。呉須は薄くくすんだ藍色 に発色。断面灰白色。④肥前。
22	陶器 碗	高(3.6) 底5.0	1区・底面より40cm上。 底部ほぼ完存	製作き部露胎。砂粒付着。灰輪。染付は 草花文。高台部に三重輪。細かい貫入 が見られる。	①G。砂質。きめ細かい。白色粒少量。②硬調。③ 釉調は緑色味をおびた透明釉。呉須はくすんだ藍色 に発色。④肥前。
23	陶器 碗	口(11.8) 高(5.6)	4区・底面より47cm上。 顯示部の1/3	内外面やや厚い灰輪。外面の染付は松竹 梅と山水文か。貫入・気泡は細かく、全 面に 見られる。	①G。砂質。きめ細かい。②硬調。③釉調は僅かに 緑色味をおびた透明釉。呉須は淡い藍色に発色。断 面は灰白色。一部褐色。④肥前。
24	陶器 碗	底4.9 高(4.6)	3区と4区・底面より40 -50cm上の2片。 口縁部の3/4	製作き部露胎。内外面厚い灰輪。染付は 山水文。高台部に二重輪。細かい貫入・ 気泡が見られる。	①G。砂質。黒色鉱物粒少量。②硬調。③釉調は青 色味をおびた乳白色。呉須はくすんだ藍色に発色。 ④肥前。

No	部種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
25	陶器 甕	口(11.0) 底4.4 高8.0	4区・底面より34cm上、 1/2個体	足付き部露出。砂粒付着。具部手、極細 かい買入が見られる。	①G。砂質、きめの細かい、黒色鉱物粒少量。②硬質。③ 胎調は僅かに紫色味をおびた透明釉。断面は赤褐色。 ④肥前。
26	陶器 甕	口11.4 底4.6 高7.8	3区・底面より40cm上の 3片、口縁1/3、底部完全	足付き部露出。砂粒付着。具部手、極細 かい買入が見られる。	①G。砂質、白色鉱物粒少量。②硬質。③胎調は僅 かに緑色味をおびた透明釉。断面は赤褐色。④肥前。 接合しない同一個体を使った復元。
27	陶器 甕	底4.8 高[3.4]	3区・底面より38cm上、 底部完全	足付き部露出。砂粒付着。具部手、極細 かい買入が見られる。	①G。砂質、白色鉱物粒少量。②硬質。③胎調は僅 かに紫色味をおびた透明釉。断面は赤褐色。④肥前。
28	陶器 甕	口(10.8) 底5.5 高7.65	4区・底面より34cm上、 1/2個体	高台部に砂粒付着。白泥斑毛目文。細か い買入が見られる。	①G。きめの細かい、白色粒少量。②硬質。③胎調は 僅かに緑色をおびた透明釉。白泥は赤褐色。断面は赤 褐色。④肥前。
29	陶器 甕	口(11.2) 高[5.1]	4区 口縁1/3	内外面胎筋。外面は白泥斑状刷毛目。	①G。裏地緻密。②硬質。③胎調は灰味をおびた透 明釉。断面は赤褐色。④肥前。
30	陶器 甕	底4.7 高[2.6]	7区内壁面上層。 底部完全	足付き部は胎筋。内外面白泥斑毛目。	①G。きめの細かい、黒色鉱物粒。②やや硬質。③胎 調は黄味をおびた透明釉。断面は赤褐色。④肥前。
31	陶器 甕	口(10.0) 底4.2 高5.9	3区・底面より41cm上、 1/3個体	足付き部は胎八片。外面下半は胎筋。外 面上半と内面は胎筋。やや細かい買入が 見られる。磨鏡小皿。	①G。砂質、黒色鉱物粒少量。②やや硬質。③胎調は 胎筋は胎筋が褐色。胎筋は緑色をおびた透明釉。断面灰 白色。④瀬戸・美濃。
32	陶器 甕	口(10.0) 底(4.5) 高5.8	3区 1/4個体	足付き部は胎八片。外面下半は胎筋。外 面上半と内面は胎筋。やや粗い買入が見 られる。磨鏡小皿。	①G。細かい砂粒。②やや硬質。③胎調は胎筋が褐色。 胎筋は緑色をおびた透明釉。断面灰白色。④瀬 戸・美濃。
33	陶器 甕	口(9.8) 底4.6 高6.0	1区 口縁1/2、底部完全	足付き部は胎八片。外面下半は胎筋。外 面上半と内面は胎筋。やや粗い買入が 見られる。磨鏡小皿。	①G。砂質、黒色粒少量。②やや硬質。③胎調は胎 筋が褐色。胎筋は緑色をおびた透明釉。断面灰白色。 ④瀬戸・美濃。
34	陶器 甕	底5.0 高[3.8]	4区・底面より45cm上、 胎筋1/2、底部完全	足付き部は胎八片。外面は胎筋。内面は 胎筋。やや細かい買入が見られる。磨 鏡小皿。	①G。細かい砂粒、白色粒目混入。②普通。③胎調は 胎筋は胎筋が褐色。胎筋は緑色をおびた透明釉。断面灰 白色。④瀬戸・美濃。
35	陶器 甕	口(9.4) 底3.6 高6.0	4区 1/3個体	足付き部は胎八片。外面下半は胎筋。外 面上半と内面は胎筋で、やや細かい買入 が見られる。磨鏡小皿。	①G。細かい砂粒。②やや硬質。③胎調は胎筋が褐色。 胎筋は緑色をおびた透明釉。断面灰白色。④瀬 戸・美濃。
36	陶器 甕	口9.9 底4.7 高6.4	4区・底面より43cm上の 2片。 2/3個体	足付き部は胎八片。外面下半は胎筋。外 面上半と内面は胎筋。細かい買入が見 られる。磨鏡小皿。	①G。細かい砂粒。②やや硬質。③胎調は胎筋が褐色。 胎筋は緑色をおびた透明釉。断面灰白色。④瀬 戸・美濃。
37	陶器 甕	口10.2 底5.0 高5.6	4区・底面より43~47cm 口縁1/2、底部完全	足付き部は胎八片。外面下半は胎筋。外 面上半と内面は胎筋。やや細かい買入が 見られる。磨鏡小皿。	①G。細かい砂粒。②やや硬質。③胎調は胎筋が褐色。 胎筋は緑色をおびた透明釉。断面灰白色。④瀬 戸・美濃。
38	陶器 甕	口(10.5) 底4.8 高6.0	4区・底面より46cm上、 胎筋若干、底部完全	足付き部は胎八片。外面下半は胎筋。外 面上半と内面は胎筋。やや細かい買入が 見られる。磨鏡小皿。	①G。砂質、黒色鉱物粒少量。②やや硬質。③胎調は 胎筋が褐色。胎筋は緑色をおびた透明釉。断面灰白 色。④瀬戸・美濃。
39	陶器 甕	口10.0 底5.2 高5.8	4区・底面より43cm上、 口縁3/4、底部完全	足付き部は胎八片。外面下半は胎筋。外 面上半と内面は胎筋。外面中位露出。や や細かい買入が見られる。磨鏡小皿。	①G。砂質、黒色鉱物粒少量。②やや硬質。③胎調は 胎筋は胎筋が褐色。胎筋は緑色をおびた透明釉。断面灰 白色。④瀬戸・美濃。
40	陶器 甕	口10.8 底5.2 高7.0	4区・底面より27cm上、 胎筋若干	足付き部は胎八片。胎筋灰筋流し。細か い買入が見られる。	①G。裏地緻密。白色鉱物粒少量。②やや硬質。③ 胎調は褐色。口縁は紫色味をおびた乳白色に発色。 露出部分は黄褐色。断面は灰白色。④瀬戸・美濃。
41	陶器 甕	口(11.4) 底5.6 高7.1	1区・中層から上層の3 片。 口縁1/2、底部完全	高台部露出。胎筋灰筋流し。口縁に細か い買入が見られる。	①G。裏地緻密。白色鉱物粒少量。②やや硬質。③ 胎調は褐色。口縁は紫色味をおびた乳白色に発色。 露出部分は黄褐色。断面は灰白色。④瀬戸・美濃。
42	陶器 甕	口(11.6) 底5.0 高7.1	3区・底面より41cm上の 3片。口縁1/2、底部完全	足付き部胎八片。○が2つ8の字状に割 削。外面下半胎筋。上半と内面胎筋。外 面に長石散らし。やや細かい買入が 見られる。底部の一部凹む。	①G。細かい砂粒。②やや硬質。③胎調は胎筋が褐色。 胎筋は緑色をおびた透明釉。長石は乳白色。 断面灰白色。④瀬戸・美濃。
43	陶器 甕	口(12.4) 底5.6 高7.3	3区・底面より41cm上。 はは完存	高台部露出。胎筋灰筋流し。表面に黒色 の染みが浮き出る。	①G。砂質、きめの細かい、黒色鉱物粒少量。②やや硬質。 ③胎調は褐色。露出部分は赤褐色。④瀬戸・美濃。
44	陶器 甕	口(10.0) 底(4.6) 高5.5	4区 1/2個体	内外面胎筋。口縁の輪はやや厚い。外底 と高台部は胎筋。	①G。裏地緻密。白色鉱物粒少量。②硬質。③胎調 はオリーブ黄の発色。露出部分や断面は灰白色。④ 瀬戸・美濃。
45	陶器 甕	口(9.8) 底(4.7) 高5.1	4区 体部1/8、底部1/2	足付き部胎八片。胎筋に斑状の長石粒。	①G。砂質、きめの細かい。②やや硬質。③胎調は胎 筋が胎筋に、長石は乳白色に発色。④瀬戸・美 濃。
46	陶器 甕	口(11.2) 底5.1 高7.0	4区・底面より39cm上の 3片。口縁1/2、底部完全	高台部露出。胎筋。見込にピン線。	①G。砂質、砂粒多い。②やや硬質。③胎調は黄褐 色に発色。露出部分は赤褐色。④瀬戸・美濃。
47	陶器 甕	口(10.0) 高[4.9]	4区 図示部の1/3	条件は簡略化された山水文。やや粗い買 入が見られる。御宝珠。	①G。砂質、やや粗い。黒色鉱物粒。②普通。③胎調は 胎筋をばらばらした透明釉。具柄は胎筋に藍色に発色。④瀬 戸・美濃。
48	陶器 甕	口(14.0) 高[6.1]	3区 図示部の1/4	高台部露出。細かい買入が見られる。	①G。裏地やや粗い。黒色鉱物粒少量。②普通。③ 胎調は緑色をおびた透明釉。光沢がある。④瀬戸・ 美濃。京焼風。
49	陶器 甕	口(10.6) 高[3.8]	1区 図示部の1/3	内外面胎筋。やや粗い買入が見られる。	①G。裏地緻密。白色鉱物粒少量。②硬質。③胎調 はオリーブ色の透明釉。断面は灰白色。④瀬戸・美 濃。
50	陶器 甕	底5.6 高[1.4]	1区上層。 高台部は完存	足付き部は剥落し不明瞭だが胎八片。 胎筋。	①G。砂質、砂粒多い。②やや硬質。③胎調は黄土 色に発色。断面は赤褐色。④瀬戸・美濃。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
51	陶器 碗	底5.8 高13.8	1区 体部1/4、底部完存	高台部露胎。細かな貫入が見られる。	①G。砂質、やや粗い。白色底物粒少量。②やや硬質。③胎調は緑色をおびた透明釉。露胎部分はやや赤味をおびた灰白色。④瀬戸・美濃。
52	陶器 碗	底(6.0) 高1.3	2区・底面より54cm上 高台部1/2	高台部露胎。灰釉。細かい貫入と気泡が見られる。高台貼り付け。底部回転糸切り磨し。	①G。砂質、黒色底物粒少量。②硬質。③胎調は緑色をおびた透明釉。露胎部分は灰白色。④肥前。
53	陶器 碗	底5.3 高16.2	3区・底面より54cm上と 西壁際の2片。 体部1/2、底部完存	高台部露胎。内外面灰釉。やや粗い貫入が見られる。見込のロク口痕明瞭。	①G。砂質、白色底物粒少量。②普通。③胎調は緑色味をおびた透明釉。④瀬戸・美濃。
54	陶器 皿	口11.5 底3.0 高4.4	2区 口縁1/2、底部完存	高台部露胎。見込に梅樹文。枝は具須絵。梅の花は鉄絵。細かな貫入が見られる。	①G。砂質、やや粗い。黒色底物粒含む。②普通。③胎調は僅かに緑色をおびた透明釉。具須は藍色。鉄絵は褐色に発色。露胎部分や断面は黄味をおびた白色。④瀬戸・美濃。京焼風。
55	陶器 碗	口11.6 底3.6 高4.1	4区・底面より60cm上 1/2個体	高台部露胎。見込に梅樹文。枝は具須絵。梅の花は鉄絵。細かな貫入が見られる。	①G。砂質、やや粗い。黒色底物粒少量。②普通。③胎調は僅かに緑色をおびた透明釉。具須は薄い藍色。鉄絵は褐色に発色。露胎部分や断面は黄味をおびた白色。④瀬戸・美濃。京焼風。
56	陶器 碗	口(10.8) 底4.2 高4.2	3区・底面より50cm上 1/3個体	高台部露胎。見込に鉄絵の山水文。極細かい貫入が見られる。	①G。実地薬漉。砂粒少量。②やや硬質。③胎調は黄褐色をおびた透明釉。鉄絵は薄い褐色に発色。④京都・信楽。
57	磁器 餅口	口(7.4) 底(4.8) 高5.6	6区 1/3個体	外底は露胎。胎付は外面に山水文。下端二重露胎。口縁。総ノ目高台か。	③胎調は僅かに青色味があった乳白色。具須はややくすんだ藍色に発色。④肥前。
58	陶器 碗	口(4.8) 底2.4 高4.8	3区・底面より50cm上 の2片。 口縁1/4、底部完存	畳付き部輪ハチ。灰釉輪縁割分け。灰釉部分に粗い貫入。	①G。砂質、黒色底物粒少量。②硬質。③胎調は灰褐色に発色。④瀬戸・美濃。柿絵は褐色に発色。④瀬戸・美濃。
59	磁器 碗	口(7.8) 底(3.8) 高3.8	4区・底面より36cm上 1/5個体	畳付き部輪ハチ。胎付は山水文。口縁外端に一家。下中に三重。高台部内面に一重露胎。細かな気泡が見られる。	③胎調は僅かに青色味をおびた乳白色。具須は明るい藍色に発色。④瀬戸・美濃。
60	磁器 碗	口(7.6) 底4.3 高6.3	2区 1/2個体	畳付き部輪ハチ。外面青釉。胎付は口縁内端に四方唐文。見込に二重露胎。コンニャク印判の五弁花文。細かい気泡が見られる。	③胎調は外面が明緑色。内面は青褐色をおびた乳白色。具須はややくすんだ藍色に発色。畳付き部は褐色が強い。④肥前。
61	磁器 盃	口(8.6) 底(3.2) 高2.9	10区 1/4個体	畳付き部輪ハチ。胎付は外面に鳥文か。内面口縁部に透流文。見込に二重露胎。見込文様。細かい気泡が見られる。	③胎調は青褐色がかった乳白色。具須は明るい藍色に発色。④肥前。
62	磁器 盃	口(9.6) 底5.0 高2.1	4区 口縁若干、底部完存	畳付き部輪ハチ。内面はコンニャク印判模文。外面は松葉文。	③胎調は僅かに青色味があった乳白色。具須は明るい藍色に発色。④肥前。
63	陶器 皿	底(7.8) 高11.6	1区 底部2/3	内外面長石釉。見込に鉄絵蘭竹文。二重露胎。やや粗い貫入が見られる。外底に目跡。志野野郎部。	①G。砂質、白色粒少量。②硬質。③胎調は灰白色。鉄絵は灰褐色に発色。④瀬戸・美濃。
64	陶器 皿	口(11.8) 底8.0 高2.3	1/2個上層。 北側面	内外面長石釉。見込にビン跡。被熱のため輪が縮れている。志野皿。	①G。実地薬漉。赤色底物粒少量。②やや硬質。③胎調は黄褐色をおびた乳白色。断面は灰白色。④瀬戸・美濃。二次被熱。
65	陶器 皿	口(11.4) 底(6.8) 高2.1	5区・底面より32cm上 1/2個体	内外面長石釉。内底と外底にビン跡。やや粗い貫入と気泡が見られる。志野皿。	①G。砂質、黒色底物粒少量。②普通。③胎調は僅かに緑色をおびた乳白色。断面は褐色の強い灰白色。④瀬戸・美濃。
66	陶器 皿	底(6.5) 高11.5	3区・底面より48cm上 底部1/4	高台部露胎。見込に鉄絵で増絵。ビン跡。	①G。実地薬漉。白色底物粒少量。②硬質。③胎調は緑色味をおびた透明釉。鉄絵は褐色に発色。④瀬戸・美濃。
67	陶器 皿	口(11.2) 底(3.8) 高2.3	6区 図示部の1/4	外底露胎。見込にビン跡。細かい貫入が見られる。灯明皿。口縁に黒色の付着物若干。	①G。砂質、砂粒多い。②普通。③胎調は僅かに緑色をおびた透明釉。光沢が強い。露胎部分は黄味の強い乳白色。④京都・信楽。
68	磁器 皿	口(14.6) 底11.0 高3.0	4区・底面より40cm上 1/4個体	畳付き部露胎。白磁。菊花形に彫り成型。	③胎調は青褐色をおびた乳白色。④肥前。
69	陶器 皿	口(11.8) 底(4.0) 高3.0	4区・底面より46cm上 口縁1/2、底部は1/2完存	高台部露胎。見込は総ノ目状に輪ハチ。外面灰釉。内面青緑釉。青緑釉輪割削し。	①G。実地薬漉。黒色粒少量。②硬質。③胎調は外面が緑色をおびた透明釉。内面は青色味をおびた緑色に発色。④肥前。
70	陶器 皿	口11.8 底3.1 高3.5	3区・底面より33cm上 ほぼ完存	高台部露胎。見込は総ノ目状に輪ハチ。外面灰釉。内面青緑釉。青緑釉輪割削し。	①G。実地薬漉。黒色粒少量。②硬質。③胎調は外面が緑色をおびた透明釉。内面は青色味をおびた緑色に発色。④肥前。
71	陶器 菊皿	底6.8 高12.4	9区 底部ほぼ完存	高台部露胎。黄瀬戸輪縁輪成し。細かい貫入が見られる。見込にビン跡。高台貼り付け。	①G。砂質、やや粗い。赤色底物粒含む。②普通。③胎調は黄褐色と緑色をおびた透明釉。露胎部分は淡黄。④瀬戸・美濃。
72	陶器 菊皿	底(7.5) 高2.6	2区 図示部の1/4	外底と高台部露胎。黄瀬戸輪縁輪成し。細かい貫入が見られる。高台貼り付け。底部回転糸切り磨し。	①G。砂質、やや粗い。②やや硬質。③胎調は黄褐色と緑色をおびた透明釉。露胎部分は淡黄。④瀬戸・美濃。
73	陶器 菊皿	口(12.6) 底(7.6) 高2.4	2区 1/2個体	畳付き部輪ハチ。長石釉。見込にビン跡。やや粗い貫入が見られる。志野皿。	①G。実地薬漉。黒色底物粒少量。②普通。③胎調は僅かに緑色をおびた乳白色。断面は淡黄。④瀬戸・美濃。
74	陶器 皿	口(11.5) 底5.8 高3.0	4区・底面より60cm上 口縁若干、底部3/4	高台部露胎。内外面灰釉。非常に細かい貫入。見込に菊花の押印文。	①G。砂質、黒色底物粒を少量。②普通。③胎調は緑色味をおびた透明釉。露胎部分や断面は黄味をおびた灰白色。④瀬戸・美濃。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
75	陶器 片口	口(20.0) 底(9.6)高[10.1]	3区・底面より35cm上と 4区埋没土の2片。 図示部小破片	高胸部露出。白泥刷毛目文。見込は白泥 の上に透明釉がかかっている。口縁折 り差し。	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他 ①G。砂粒・白色炭化物含む。②硬調。③釉調は薄 かに黄色がかかった透明釉。白泥は乳白色に発色。 露胎部分は赤褐色。④肥前。接合しない同一器体が4 区より出土。
76	陶器 鉢	口(21.8) 底(8.6) 高9.8	4区・底面より34cm上。 1/3個体	口縁露出と外底露出。白泥刷毛目。	①G。砂粒・白色炭化物含む。②硬調。③釉調は黄 色味がかかった透明釉。露胎部分は赤褐色。④肥前。
77	陶器 鉢	底(10.0) 高[3.3]	図示部の1/6	高胸部露出。輪は極薄く、外面はハケの 跡が見られる。白泥象嵌。見込に砂目積 み肌。三島手鉢。	①G。実地ややらい。砂粒多い。②硬調。③釉調は 黄色味がかかった透明釉。白泥は乳白色。露胎部分は 赤褐色。④肥前。
78	陶器 鉢	口(30.9) 高[5.6]	1区表層。 図示部の1/4	外面露出。白泥象嵌。三島手鉢。	①G。実地緻密。白色炭化物少量。②硬調。③釉調 は黄色味がかかった透明釉。白泥は乳白色。露胎部分 は赤褐色。④肥前。
79	陶器 大皿	口(29.8) 底(16.8) 高5.3	3区・底面より45cm上と 4区40cmの4片。1/5個体	置付き部は輪ハギ。見込にピン線。極細 かい気泡が見られる。白磁。	③釉調は青色味をおびた乳白色。④肥前。
80	陶器 鉢	口(16.6) 高[7.9]		灰釉。極細かい貫入が見られる。	①G。きの細かい。黒色炭粒少量。②硬調。③釉調は 黄色味をおびた透明釉。口縁は緑色の透明釉。断面 は淡黄。④瀬戸・美濃。
81	陶器 鉢	口(19.4) 高[10.2]	図示部の1/2	外面下半露出。内外面灰釉。細かい貫入 が見られる。こね鉢。	①G。砂粒、小粒の混入物が多い。②やや軟調。③ 釉調は緑色をおびた透明釉。露胎部分は黄味をお びた乳白色。④瀬戸・美濃。
82	陶器 仏飯器	脚下3.6 高[3.6]	2/3個体	脚底全面露出。外面の染付は草花文。	③釉調は薄かに青色味をおびた乳白色。貝原はやや 明るい藍色に発色。露胎部分は煙味をおびている。 ④肥前。
83	陶器 仏飯器	脚下(3.8) 高[3.3]	4区 図示部ほぼ完存	脚底露出。	③釉調は被熱のため、にごった乳白色。露胎部分は 煙色味強い。④肥前。二次被熱。
84	陶器 仏飯器	脚下4.4 高3.4	2区 図示部の3/4	脚底露出。やや粗い貫入が見られる。	①G。砂質、黒色炭化物含む。②硬調。③釉調は緑 色をおびた透明釉。露胎部分は淡黄。④瀬戸・美 濃。
85	陶器 仏飯器	脚下4.2 高[4.0]	3区 底部完存	置付き部は輪ハギ。白磁。	③釉調は乳白色。露胎部分は煙味をおびている。 ④肥前。
86	陶器 花生	脚下5.6 高[10.5]	4区表層。 図示部ほぼ完存	脚底露出。内面と外面上手灰釉。下手 灰釉。灰釉部分にやや粗い貫入が見られ る。脚底部回転軸切離し。唐草。	①G。砂質、きの細かい。②やや硬調。③釉調は灰釉。 ④瀬戸・美濃。上半は輪軸露出。下半は輪軸露出。 瀬戸・美濃。
87	陶器 香炉	口(10.0) 底6.1 高8.5	4区・底面より37~42cm 上の2片。 1/2個体	置付き部・見込露出。置付き部は砂粒付 着。青磁。細かい気泡が見られる。見込 に灰附着。蛇の目高台。	③釉調は明青緑色に発色。露胎部分は灰白色。④肥 前。
88	陶器 香炉	口(9.5) 底(8.8) 高5.5	図示部の1/5	輪は松文。口縁に四方文様。下縁に三 重線。細かい貫入が見られる。	③釉調は薄かに青色味をおびた乳白色。貝原はやや くすんだ藍色。④肥前。
89	陶器 香炉	底9.3 高[3.4]	4区・底面より35cm上。 底部1/3	底面露出。輪軸。細かい貫入が見られ る。3足。足は貼付け。指線有り。	①G。実地ややらい。砂粒多い。②普通。③釉調は 褐色に発色。露胎部分は淡黄。④瀬戸・美濃。
90	陶器 香炉	底(9.9) 高[3.7]	1区・底面より38cm上。 底部1/3	外底露出。外底灰釉。外面に半筒状のし のぼ。三足。足は貼付け。指線有り。	①G。砂質、赤色炭化物少量。②普通。③釉調は緑 色をおびた透明釉。露胎部分は淡黄。④瀬戸・美 濃。
91	陶器 香炉	底(13.0) 高[3.5]	3区 底部1/3	外底露出。外底輪軸。柳指文。三足。足 は貼付け。指線有り。細かい貫入が見 られる。	①G。砂質、赤色炭化物少量。②普通。③釉調は 黄土色。露胎部分は淡黄。④瀬戸・美濃。
92	陶器 香炉	底6.5 高[5.4]	5区・底面直上。 体部1/4、高台部完存	置付き部は露胎。砂粒附着。外面灰釉。染付 は草花文か。細かい貫入が見られる。	①G。実地ややらい。黒色炭化物多量含む。②やや 硬調。③釉調は緑色をおびた乳白色。貝原はくすん だ藍色に発色。露胎部分は赤褐色。④瀬戸・美濃。
93	陶器 五合徳利	口(3.8) 底8.2 高20.8	4区・底面より20~43cm 上の7片。 1/2個体	輪軸灰釉成し。ちっさよう形で口縁部薄 手の折り返し。肩部に柳指文。回転軸切 り離し。細かい貫入が見られる。	①G。砂質、黒色炭化物少量。黒色炭化物多い。② 硬調。③釉調は黄褐色。上半は乳白色。④瀬戸・美 濃。
94	陶器 徳利	口(5.6) 高[7.9]	3区・底面より35cm上。 口縁から頸部は12完存	口縁・頸部内外面灰釉。下底灰釉。	①G。砂質、きの細かい。②普通。③釉調は濃い褐 色。口縁と頸部下半は輪軸露出。灰釉はやや鈍 色味をおびた透明釉。④瀬戸・美濃。
95	陶器 徳利	高[9.5]	4区 図示部の1/3	輪軸。	①G。砂粒・白色炭化物多量。②硬調。③釉調は褐 色に発色。断面は淡黄。④瀬戸・美濃。
96	陶器 徳利	高[12.0]	4区・底面より36cm上。 図示部1/4	内外面輪軸。内面のワタロイ夜明燈。	①G。実地緻密。②硬調。③釉調はナリブ色の発 色。断面は灰白色。④瀬戸・美濃。
97	陶器 徳利	底(7.6) 高[4.9]	2区 図示部の1/2	置付き部露胎。外面厚い灰釉。	①G。実地緻密。砂粒少量。②硬調。③釉調はやや 赤色味をおびた黒色。露胎部分は淡黄。④瀬戸・美 濃か。
98	陶器 徳利	底7.5 高[14.0]	1区表層。 図示部ほぼ完存	外面輪軸。肩部に目録4ヶ所。体部に 2ヶ所凹みを持つ。べこかん徳利。	①G。やや砂質、混入物に小粒で少ない。②硬調で 焼き締まる。③釉調は赤褐色に発色。露胎部分は灰 色。④瀬戸・美濃。
99	陶器 徳利	高[14.9]	5区表層の3片。 図示部の1/2	外面輪軸。肩部に柳指文。体部に2ヶ所 凹みを持つ。べこかん徳利。	①G。やや砂質、混入物に小粒で少ない。②硬調で 焼き締まる。③釉調は褐色に発色。露胎部分は灰 色。④瀬戸・美濃。
100	陶器 水注	口(7.6) 底8.5 高8.9	6区・底面より26cm上。 1/2個体	外底露出。輪軸。注口貼付け。内底に 付籠。	①G。実地緻密。②硬調。③釉調は褐色に発色。④ 瀬戸・美濃。
101	陶器 土甌	口(10.8) 高[7.0]	1区上層。 図示部の1/3	輪軸。外面口縁と下縁に柳指文。内面口 タロイ夜明燈。細かい貫入が見られる。	①G。実地粗い。砂粒多い。②硬調。③釉調は黄土 色。断面は淡黄。④瀬戸・美濃。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
102	陶器 灯明皿	口(10.2) 底(7.2) 高2.2	3区 図示部の1/3	内外面鉄輪。外底近い回転ヘラ削り。	①G。裏地磁質、砂粒少重合む。②焼調。③釉調は褐色に発色。裏地部分は白い発色。④志戸呂。
103	陶器 灯明皿	口(8.4) 底(4.4) 高1.7	2区 1/3器体	内外面鉄輪。右回転ロタロ。底部回転糸切り磨し。口縁にスス付着。	①G。裏地磁質、砂粒少重合む。②焼調。③釉調は褐色に発色。裏地部分には白い発色。④志戸呂。
104	陶器 灯明皿	口(7.6) 底5.5 高2.7	4区・底面より46cm上、 完存	内外面鉄輪。外面体部～底部に深い回転ヘラ削り。立ち上がり部に3ヶ所の弧状の窓をあける。	①G。砂粒多い。②焼調。③釉調は褐色に発色。裏地部分には白い発色。④志戸呂。
105	陶器 灯明皿	口(8.0) 底5.8 高2.8	3区・底面より18cm上、 ほぼ完存。口縁一部欠	内外面鉄輪。外面体部～底部に深い回転ヘラ削り。立ち上がり部に一对の弧状の窓をあける。	①G。砂粒多い。②焼調。③釉調は褐色に発色。裏地部分には褐色。④志戸呂。
106	かわらけ	口(9.6) 底5.5 高2.1	1区・底面より67cm上、 3/4器体	左回転ロタロ。底部回転糸切り磨し。ロタロ痕は鋭いが明瞭。	①G。重曹、角閃石、砂粒重合む。②酸化焙。普通。③焼7.5YR5/6。④常滑。
107	かわらけ	口(9.8) 底(10.0) 高1.9	3区 図示部の1/3	厚手。左回転ロタロ。底部回転糸切り磨し。	①G。重曹、角閃石、砂粒重合む。②酸化焙。普通。③残黄緑10YR3/3。④常滑。
108	陶器 小皿	口(8.0) 高[1.0]	図示部の1/4	厚手。ロタロ痕不明瞭。	④志土呂か。
109	陶器 大甕		口縁部小破片	端部は薄い。	①G。1～3mm大の白色鉱物混入。②焼調。③器面は赤色味をおびる。薄く降灰粒。④常滑。
110	陶器 大甕		2区 口縁部小破片	口縁端部に降灰粒付着。	①G。裏地粗い。1～2mm大の白色の混入物。②焼調。③焼7.5YR4/3。断面は灰白色。④常滑。
111	恵比寿天	高15.3	4区・底面より32～44cm上 の3片、3/4器体	前後型合せ。背面穿孔3.5mm。	①F。裏地磁質、混入物は少ない。器體粉っぽい。②酸化焙。やや軟調。③焼7.5YR7/6。
112	大黒天	高[10.0]	4区・底面より40cm上、 背中のみ残存	前後型合せ。背面に孔が穿たれているが、貫通せず。内面に指痕有り。	①F。裏地磁質、混入物は少ない。器體粉っぽい。②酸化焙。やや軟調。③焼7.5YR7/6。
113	青白磁碗		8区下層 図示部小片	磁胎は淡灰色を呈す。青磁輪は薄く、青白磁色。外面に金線手毫弁文あり。	①磁胎。緻密。裏地磁質で閉す。②還元焼。③灰色色調。④釉は5G7/1。釉は鉄黒色。
114	青磁碗		7区上層 口縁部小片	磁胎は淡灰色を呈す。青磁輪は厚く、粘手を呈し上手。外面に花弁文あり。	①磁胎。緻密。裏地磁質で閉す。②還元焼。③灰色色調。④釉は明緑5G7/1より緑味強い。④電泉磁系。
115	陶器 鉢	口31.8 底15.4 高10.6	2区 図示部の2/3、底部完存	外底高脚。長石輪。発付は鉄輪。秋草文様か。空扉跡。	①G。やや砂質、混入物は小粒で少ない。②焼調で焼き締まる。③釉調は乳白色。鉄粒は褐色。断面は淡黄。④瀬戸・美濃。
116	陶器 播鉢	口(35.4) 底13.4 高[15.8]	4区・底面より15cm上、 図示部の1/4	おろし目は1単位9本。内底磨滅。	①G。砂粒。石英、3mm大の混入物。②やや硬調。③風輪10YR2/2。
117	陶器 播鉢	口(35.6) 高[13.1]	1区・底面より36～74cm上 の2片。内 図示部の1/4	右回転ロタロ。おろし目は幅大で1単位12本。残存部分では磨滅は少ない。内外面鉄輪。	①G。砂粒。石英、4mm大の混入。裏地粗い。12と同一。②やや硬調。③釉調は赤褐色の発色。断面は淡黄。④瀬戸・美濃。
118	陶器 播鉢	口(29.4) 底[7.8]	5区 口縁小破片	おろし目は1単位10本。残存部分では磨滅は少ない。	①G。砂粒。石英、3mm大の混入物。②やや硬調。③明赤焼2.5YR5/5。外底は明度高い。
119	陶器 播鉢	底(11.0) 高[7.1]	3区・底面より26cm上、 底部1/4	内外面鉄輪。おろし目は1単位14本。内底は著しく磨滅。底部回転糸切り磨し。	①G。砂粒。赤褐色の発色。3mm大の混入物。②やや硬調。③釉調は褐色の発色。断面は淡黄。④瀬戸・美濃。
120	陶器 播鉢	底(14.4) 高[7.9]	4区・底面より41cm上、 図示部の1/3	右回転ロタロ。底部回転糸切り磨し。おろし目は幅大で1単位13本。内外面鉄輪。	①G。砂粒。石英、4mm大の混入。裏地粗い。12と同一。②やや硬調。③釉調は赤褐色の発色。断面は淡黄。④瀬戸・美濃。
121	陶器 播鉢	底(15.0) 高[7.8]	1区・底面より35～67cm上 の10片。 図示部の1/4	右回転ロタロ。底部糸切り磨し。内外面鉄輪。おろし目は幅大で1単位11本。残存部分では磨滅は少ない。外面にハケ目状の磨痕。	①G。砂粒。石英、3mm大の混入。裏地粗い。②やや硬調。③釉調は褐色の発色。断面は淡黄。④瀬戸・美濃。
122	播鉢	底(12.0) 高[10.1]	6区 底部小破片	内面の磨滅著しい。おろし目は1単位6本。	①G。砂粒。黒色鉱物散見、4mm大の混入物。②酸化焙。やや硬調。③灰7.5YR3/1。
123	播鉢	底(12.0) 高[10.8]	8区 底部小破片	おろし目は鋭く、1単位6本。磨滅著しい。外面は面圧痕残る。	①G。重曹、角閃石、砂粒重合む。②酸化焙。普通。③残黄緑10YR5/2。
124	陶器 播鉢	底(15.0) 高[9.4]	5区・底面より15～37cm上、 図示部の1/4	おろし目はやや幅太く1単位10本。内底は著しく磨滅。	①G。砂粒。石英、3mm大の混入物。②やや硬調。③灰焼5YR4/2。赤色味の強いムラあり。④瀬戸・美濃。
125	罎	口34.5 底(19.4) 高11.9	1区・底面より60cm上の 19片。 図示部の1/2	口縁下平は深いヘラ削りで、型痕復・指痕復痕残る。	①G。角閃石、砂粒。小粒の混入物が多い。②酸化焙。やや軟調。③オリーブ黒5Y3/1。④外面にススが厚く付着。
126	罎	口(34.6) 底19.0 高13.3	1区・底面より28～80cm上 の19片。 図示部の1/2	厚手。器面の磨滅進む。外面体部下端は強いナデ。輪縁痕明瞭。	①G。角閃石、砂粒。小粒の混入物が多い。②酸化焙。やや軟調。③灰5Y1/4。④外面にススが厚く付着。
127	罎	口(33.0) 高[12.4]	4区 図示部の1/8	外面下端近いヘラ削りで、型痕状の無調整部分が残る。輪縁痕明瞭。小片からの復元で、径・幅不安。	①G。角閃石、砂粒。小粒の混入物が多い。②酸化焙。やや軟調。③灰2.5Y4/1。内面は明度高い。④外面にスス付着。
128	罎	口(36.4) 高[7.9]	1区・底面より55cm上、 図示部の1/4	外面指痕復痕残る。内面丁寧なナデ。輪縁痕明瞭。	①G。角閃石、砂粒。小粒の混入物が多い。②酸化焙。やや軟調。③灰5Y1/4。④外面にススが厚く付着。
129	内耳罎	口(24.0) 高[10.0]	9区・底面より40cm上、 図示部の1/5、耳欠損	外面ハケ目状の痕復痕明瞭。耳の取り付けは丁寧。上部に焼成後穿孔1ヶ所。	①G。角閃石、砂粒。小粒の混入物が多い。②酸化焙。やや軟調。③灰5YR4/4。④外面にスス付着。
130	火鉢	台下(20.8) 高[8.7]	2区 図示部の1/6	内外面とも器面の前後著しく整形痕不明瞭。台部に外方より焼成前穿孔。	①G。砂粒。小粒の混入物が多い。②酸化焙。やや軟調。③残黄2.5Y7/3。④外面にスス付着。

No	砂種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
131	大鉢	口(35.0) 底(29.2) 高12.8	1区 口縁1/4、底部1/2	3足。2ヶ所残存。足の取り付けは丁寧。内底に「池田屋」の刻印。	①G。角閃石、砂粒、小粒の混入物が多い。②酸化焙、やや軟調。③R7.5Y4/1。断面に灰白色の層あり。
132	大鉢	口(37.3) 高[8.3]	7区 口縁小破片	内面菊花文押印。焼成前に内面より穿孔。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焙、普通。③にぶい黄緑10YR5/3。
133	大鉢	口(36.2) 高[10.1]	2区・底面より34~45cm 上の2片。 図示部の1/8	外面は幅の広いヘラ磨き。	①G。角閃石、砂粒、小粒の混入物が多い。②酸化焙、やや軟調。③R7M/0。赤色味強いムラあり。断面に灰白色の層あり。④134と同一個体か。
134	大鉢	底(28.5) 高[7.6]	3区・底面より38~45cm 上の2片。 図示部の1/3	外面は幅の広いヘラ磨き。脚の取り付けは丁寧。3足か。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焙、普通。③黒10Y2/4。断面に灰白色の層あり。④133と同一個体か。
135	地埴	口39.2 底35.6 高6.0	1区上層の16片。 ほぼ完存	外面口縁下半は面いヘラ磨りで、型腐状の無調整部分が残っている。5対の焼成後穿孔。補修穴か。	①B。実地織書。輝石類やや含む混入物少ない。②酸化焙、普通。③R5Y6/1。一樣でない。④外面口縁にスス付着。
136	地埴	口37.2 底34.8 高4.1	1区・底面より26cm上の 9片。3/4全体	口縁下半のナデは弱く、型腐状の無調整部分が広く残る。耳の取り付けは丁寧。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焙、普通。③R5S/0。断面は灰白色。
137	地埴	口(41.0) 底(36.8) 高4.9	1区 図示部の1/4	口縁外面は丁寧なナデで、擦成明瞭。底部に焼成後穿孔。補修穴か。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焙、普通。③R5S/2.5Y7/3。黒色味強いムラあり。
138	地埴	口40.7 底35.2 高5.6	1区・上層の10片。 ほぼ完存	外面口縁下半は面いヘラ磨りで、型腐状の無調整部分が残っている。	①B。実地織書。輝石類やや含む混入物少ない。②酸化焙、普通。③R7.5Y5/1。一樣でない。④外面口縁にスス付着。
139	地埴	口(39.6) 底35.6 高5.5	5区・底面直上から28cm 上にかけての12片。 図示部の3/4、内耳欠損	口縁下半のヘラ磨りは弱く、型腐状の無調整部分が残る。耳の取り付けは丁寧。底部に5ヶ所焼成後穿孔。補修跡。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焙、普通。③にぶい黄緑10YR7/3。内面は黒色味強い。④外面口縁にスス付着。
140	地埴	口(39.1) 底(35.1) 高5.5	1区上層の6片。 図示部の1/3	器面の割差進む。耳の取り付けはやや雑。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焙、普通。③にぶい黄緑10YR7/2。口縁は黒色味強い。
141	地埴	口(40.7) 底(37.0) 高4.7	3区・底面より42cm上。 図示部の1/4	口縁下半に型腐状の無調整部分が若干残る。耳の取り付けは丁寧。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焙、普通。③灰白5Y7/1。口縁は黒色味強い。断面は赤色味おびる。④口縁外面にスス付着。
142	地埴	口(38.2) 底(34.2) 高5.1	2区 図示部の1/8	耳の取り付けははやや雑。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焙、普通。③にぶい黄緑10YR7/3。口縁は黒色味強い。④内外面にスス付着。
143	地埴	口(37.2) 底(35.2) 高5.5	4区 図示部の1/4	口縁下半に型腐状の無調整部分が広く残る。耳の取り付けは丁寧。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焙、普通。③黒10Y2/4。断面は灰白色。④外面口縁にスス付着。
144	地埴	口(40.6) 底(36.0) 高5.3	1区・底面より70cm上の 10片。 図示部の1/4	口縁下半のヘラ磨りはやや雑で、型腐状の無調整部分が残っている。内底に菊花文刻印。	①G。角閃石、砂粒、小粒の混入物が多い。②酸化焙、やや軟調。③にぶい黄緑10YR5/3。断面は明度高い。
145	地埴		1区 底部小破片	内面に刷印。「合左エ門」。	①G。角閃石、砂粒、小粒の混入物が多い。②酸化焙、やや軟調。③にぶい黄7.5YR7/4。
146	軒瓦	径8.8 厚2.4	9区 瓦当部ほぼ完存	端縁三巴文。8味。接合面にヘラによるカキヤブリが見られる。近世・近代の残瓦。	①G。きめの細かい砂質の實地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焙、やや硬調。③R7.5Y6/2。軟熱による灰色部分あり。
147	軒平瓦	長[3.7] 幅[3.0] 厚2.4	5区 瓦当部小破片	近世・近代唐草文。銀瓦光沢。	①きめの細かい砂質の實地に雲母多い。②還元焙、やや硬調。③R7.5Y6/2。軟熱による灰色部分あり。
148	軒平瓦	長[6.3] 幅[13.5] 厚1.9	9区 瓦当部小破片	近世・近代唐草文。傘に十の刷印あり。銀瓦光沢。	①きめの細かい砂質の實地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焙、やや硬調。③R5Y6/1。
149	軒平瓦	長[3.5] 幅[8.4] 厚2.0	9区 瓦当部小破片	近世唐草文。中心飾りは不明。銀瓦光沢。	①きめの細かい砂質の實地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焙、やや硬調。③R5Y6/1。
150	瓦	長[16.5] 幅[11.1] 厚2.5	9区 破片	凸面はヘラナデ。凹面はかすかに裏面目が見られる。近世・近代瓦。	①きめの細かい砂質の實地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焙、やや硬調。③R7.5Y6/2。
151	軒平瓦		10区・底面より42cm上。 小破片	接合面にヘラによるカキヤブリが見られる。加飾部欠損。近世・近代瓦。	①きめの細かい砂質の實地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焙、やや硬調。③R7.5Y6/1。
152	瓦	長[7.5] 幅[11.2] 厚2.2	7区・底面より40cm上。 破片	凸面はヘラナデ。凹面はかすかに裏面目が見られる。近世・近代瓦。	①きめの細かい砂質の實地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焙、やや硬調。③R7.5Y6/1。
153	平瓦	長[8.8] 幅[13.1] 厚1.7	6区・底面より43cm上。 小破片	ヘラナデ。凸面に髣髴文。面取り。銀瓦光沢。	①きめの細かい砂質の實地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焙、やや硬調。③R7.5Y6/1。
154	軒平瓦	厚1.3	10区 小破片	接合面にヘラによるカキヤブリが見られる。ヘラナデ。近世・近代残瓦。	①きめの細かい砂質の實地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焙、やや硬調。③R7.5Y6/1。
155	軒平瓦	長[4.2] 幅[7.1] 厚1.6	10区 小破片	接合面にヘラによるカキヤブリが見られる。銀瓦光沢。	①きめの細かい砂質の實地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焙、やや硬調。③R7.5Y6/2。
156	平瓦	長[4.4] 幅[5.8] 厚1.9	7区 小破片	ヘラナデ。面取りを施す。銀瓦光沢。	①きめの細かい砂質の實地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焙、やや硬調。③R5Y6/1。
157	喰い口	長[4.6] 径1.0	1区	磨化すすむ。合せ目がわずかに観察できる。	②還元焙。
158	喰い口	長[5.3]	4区上層。	扁平に潰れている。内部に竹と思われる木炭残存。	②還元焙。
159	銅鏡	径2.41 孔0.74 厚0.12 重1.96	完存	室和元寶。	④初編1054年。
160	銅鏡	径2.34 孔0.60 厚0.14 重2.17	完存	開元通寶。背文字「高」。高品。厚手。	④初編1054年。

No	群種	計画値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
161	銅鏡	径2.53 孔0.57 厚0.14 重3.04	完存	水素通質。	④初鑄1403年。
162	銅鏡	径0.58 重(1.77)	完存	水素通質。	④初鑄1403年。
163	銅鏡	重(1.34)	ほぼ完存	錆化すすみ文字不明瞭。水口通質。	④水素通質か。初鑄1403年。
164	銅鏡	径2.78 孔0.60 厚0.13 重4.24	完存	寛水通質・波鏡。	④1726年以降。
165	銅鏡	径2.72 孔0.70 厚0.12 重3.13	完存	文久水口・波鏡。	④初鑄1863年。
166	砥石	長[8.0] 幅3.7 厚1.9	両端欠く	両小口の欠損は旧時。表面使用痕顕著。裏面と側面に磨目状のタガネ痕あり。19世紀前半。中砥鏡。	①非砥石。
167	砥石	長[9.2] 幅3.1 厚2.1	片側欠く	片側小口欠損は旧時。使用痕1面のみ。裏面と側面に磨目状のタガネ痕あり。19世紀前半。中砥鏡。	①流紋岩(砥石)。
168	砥石	長[7.9] 幅2.5 厚1.8	片側欠く(旧時)	使用痕1面のみ。裏面・小口面と側面に磨目状のタガネ痕あり。19世紀前半。中砥鏡。右利きダセあり。中砥鏡。	①流紋岩。
169	砥石	長[9.0] 幅2.5 厚2.3	破片を再利用した後、完存	小口面に旧時研の磨き目あり。原型は置き紙か。使用痕は表面のみだが手持り砥。中央以降。合砥・仕上げ砥。	①頁岩(樹生の砥石)。
170	砥石	長[7.0] 幅3.2 厚1.5	片側欠く(旧時)	表面を主に使用し。裏面にも浅い使用痕あり。裏面・側面に磨目状タガネ痕あり。19世紀前半。中砥鏡。	①流紋岩。
171	砥石	長[7.0] 幅[2.8] 厚1.7	旧時欠損あり	表面2面使用。一面面に自然面を残し。他は欠損。表面の欠損は研磨時。裏面の欠損は後土か。中砥鏡。硬質。	①ゲイサイト質凝灰岩。
172	砥石	長[5.6] 幅5.0 厚2.1		自然円礫利用。砥石と断定はできない。完砥鏡。軟質。	①多孔質安山岩(緑石)。
173	砥石	長[5.0] 幅2.9 厚2.2	両小口欠損(旧時)	使用は表面を主とし。側面の使用痕は浅い。側面に磨目状タガネ痕がわずかに残り。19世紀前半。中砥鏡。	①流紋岩。
174	砥石	長[5.6] 幅3.4 厚2.4	両小口欠損(旧時) 1/2個体	使用は一面。両側面の磨目状タガネ痕。裏面は不明瞭だが削り面か。19世紀前半。中砥鏡。	①流紋岩(砥石)。
175	砥石	長[10.6] 幅2.9 厚2.7	片側小口欠く(旧時) 完存に近い	左側面のみ削り整形面。表裏面と右側面の三面使用。刃付き砥・中砥鏡。	①流紋岩。
176	砥石	長[5.4] 幅3.3 厚2.7	半欠品か(旧時)	残存する小口面は自然面。使用は図中の裏面を主に。表面も浅く利用。側面は削り面。	①流紋岩。④旧時欠損面を除き強い稜稜あり。
177	砥石	長[6.1] 幅5.4 厚1.3	両小口欠損(旧時)	両小口を除く四面使用。表面は揃って消滅しているが刃きダセは少ない。中砥鏡。	①流紋岩。
178	砥石	長[7.1] 幅[3.9]	片側小口欠損(旧時)	両側面の一面使用。他の三面は削り整形面。上小口は削り整形面。中砥鏡。	①流紋岩。
179	砥石	長[9.0] 幅2.5 厚2.3	片側小口欠損(旧時)	下小口面は磨理面を利用。砥面は小口を除く四面。表面に刃ならし傷・種ならし傷らしい欠損あり。完砥鏡。硬質。	①砂岩。
180	砥石	長[13.8] 幅6.4 厚[3.1]	旧時欠損多い	原型は自然円礫。欠損多く、不明瞭。中央以前。中砥鏡。軟質。	①流紋岩質凝灰岩。
181	砥石	長[11.9] 幅[6.1] 厚2.1	旧時欠損多い	右側面が旧時面らしい。砥面は表裏の二面。完砥鏡。硬質。	①砂岩。
182	砥石	長[4.5] 幅5.7	半欠	使用は4面。き目細かい完砥鏡。欠損は旧時。図上方は転石面。中央は研磨中凹み。	①砂岩。自然円礫使用。採集砥石。
183	砥石	長[8.8] 幅2.6 厚5.0	ほぼ完存	自然円礫利用。磨鏡は一面のみで非金属で使つか。完砥鏡。やや硬質。	①二ツ缶軽石。
184	砥石	長6.9 幅4.1 厚2.8	ほぼ完存	自然円礫利用。図の上面に削り面。研磨使用された後に刃ならし傷あり。完砥鏡。軟質。	①二ツ缶軽石。
185	砥石	長[11.8] 幅6.0 厚4.5	旧時欠損多い	両小口は旧時欠損で揃は削り整形上に研磨面。完砥鏡。軟質。	①多孔質安山岩。
186	砥石	長17.2 幅[10.8] 厚4.4	欠損は旧時	使用は裏面のみで扇状の刃ならし傷あり。他は削り整形面。置き砥。完砥鏡。硬質。	①砂岩。
187	砥石	長7.5 幅6.5 厚1.7	ほぼ完存	自然円礫利用。表面二面使用。研磨の主体は金属か。完砥鏡。軟質。	①二ツ缶軽石。
188	砥石	長6.5 幅5.1 厚2.1	完存	自然円礫利用。表面二面使用。側面は自然面。研磨の主体は金属か。完砥鏡。軟質。	①二ツ缶軽石。
189	砥石	長6.4 幅[5.0] 厚4.9	欠損は調査時	自然円礫利用の1面使用。完砥鏡。軟質。	①二ツ缶軽石。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
190	砥石	長6.4 幅[5.5] 厚4.0	旧時の欠損あり 2/3割体	自然円礫利用。表裏二面の研磨痕。研磨 主体は不明。	①二ツ岳軽石。
191	砥石	長[12.7] 幅[6.7]厚[5.3]	片割小口は欠損か打ち欠 きか不明	自然石利用。使用は一面ののみ。荒砥砥。	①二ツ岳軽石。
192	くばみ石	長12.6 幅10.2 厚5.3	ほぼ完存	自然円礫利用。表面中央に突出みにより 生じたい窪みあり。周囲に磨耗部 あり。裏面は削り痕か。	①二ツ岳軽石。
193	くばみ石	長4.7 幅4.2 厚2.1	ほぼ完存	自然円礫利用。裏面窪み内面は磨耗状態 にある。金属研磨を原因としたかは不明。 荒砥砥、軟質。	①二ツ岳軽石。
194	上白	径[8.9] 高[6.3]	底部小破片	径が比較的小さいと思われろえに目は 細かく、美白状の形態であろう。	①粗粒安山岩。
195	上白	径[10.5] 高[10.8]	10区 小破片	偏減り著しい。	①粗粒安山岩。
196	下白	径[5.9] 高[5.5]	小破片	はらざり基部が残存する茶臼形状の下白 である。	①粗粒安山岩。
197	狭器蓋 蓋	口[13.9] 径4.7 高[2.4]	9区 総部完存、口縁1/4	右回転クワロー天井一体部回転ヘラ削り 一ロクロ利用の積み取り付け。天井部内 面磨減。	①G。5mm大の片岩粒。黒色鉱物含む。②還元焰、 普通。③灰白7.5Y7/1。
198	土師器 杯	口[11.2] 高[3.1]	13区・底面より13cm上。器 底部の1/4	口縁粗いナデの擦痕。外底のヘラ削りは 強いが、やや雑。内面比較的水平。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬 調。③にぶい燈7.5YR7/4。外底に黒斑あり。
199	土師器 杯	口[13.4] 高[3.8]	11区 2/3割体	ナデの擦痕明瞭。外底のヘラ削りはやや 強い。黒色処理か。	①A。赤褐色鉱物、小粒の混入物が多い。②酸化 焰、普通。③にぶい燈7.5YR6/4。黒色のムラあり。
200	狭器器 杯	口[11.3] 高[2.9]	10区 口縁1/4、体部1/3、底部	右回転クワロー。底部回転ヘラ削り。内底 のクワロー痕強く、平滑さ欠く。	①G。混入物は少ない。②還元焰、硬調で焼き締まる。 ③灰10Y5/7。
201	狭器器 杯	高[3.7]	9区 底部完存	右回転クワロー。擦痕明瞭。底部手持りの 鋭いヘラ削り。	①G。5mm大の片岩粒目立つ。小粒の混入物が多い。② 還元焰、硬調で焼き締まる。③灰白5YR/2。
202	土師器 特異器台	高[4.4]	9区 受部下半1/4	器蓋厚減し整形痕不明瞭。受部に5ヶ所 穿孔。2ヶ所残存。外面上半に半ヶ目状 のナデ。下半へら磨き。内面へら磨き。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼 き締まる。③洗炭層10YR5/4。下部は赤色土、内面 は黒色処理強い。
203	狭器器 甕	高[5.2]	4区 口縁小破片	右回転クワロー。沈箱3条。間に4本1 条の縦状文。	①G。白色粒石、やや砂質含む。②還元焰、普通。 ③暗9G3/0。一樣でない。
204	狭器器 円面硯	高[7.9]	2区 脚部小破片	右クワロー回転。擦痕明瞭。方道かしは 10ヶ所か。外面下端に沈箱が1条走る。	①G。赤褐色土。混入物は少ない。器蓋滑らか。② 還元焰、硬調で焼き締まる。③黄灰2.5Y6/1。
205	土師器 甕	口[15.0] 高[6.6]	口縁小破片	外周丁寧なへら磨き。口縁下座の凸帯に 列在文を施す。内面上半は縦方向、下半 は横方向の丁寧なへら磨き。	①C。パミス、砂粒、小粒の混入物が多い。②酸化 焰、硬調で焼き締まる。③燈7.5YR7/6。
206	狭器器 甕	口[10.0] 高[3.7]	1区 脚部1/5	右回転クワロー。外面平行タタキの上に、 脚部のみナギ目が走る。	①F。混入物は少なく目の細かい。②還元焰、硬調 で焼き締まる。③黄灰2.5Y6/1。
207	土師器 甕	口[16.6] 高[7.2]	13区・底面直上。 口縁小破片	口縁半位に深い縦を持つ。内面脚部指張 気味の凹凸明瞭。	①E。赤褐色鉱物、粗砂の混入多い。②酸化焰、普 通。③燈5YR6/6。
208	狭器器 甕	口[22.0] 高[6.8]	口縁小破片	右回転クワローか。クワロー痕は強い。擦痕 明瞭。	①C。雲母、赤褐色鉱物、砂粒。②還元焰、やや軟 調。③焼2.5Y7/3。
209	土師器 大甕	口[29.4] 高[14.6]	9区・底面より11~23cm 上の5片、器底部の1/3	脚部外面鋭いヘラ削り。内面剛いナデ で、器面の凹凸顕著。	①D。赤褐色鉱物多い。やや大粒の混入物が多い。 ②酸化焰、やや硬調。③燈7.5YR6/6。
210	弱口	長[5.7]	小破片	器蓋厚減すすむ。欠損は旧時。	①G。

A1区 5号溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	陶器 壺形	底8.2 高[1.8]	4区 底部ほぼ完存	鉄軸。内面クワロー痕明瞭。	①G。まろぬい。砂粒・黒色粒多い。石英混入。② やや硬調。③胎調は褐色に灰色。断面は淡黄。④瀬 戸・美濃。
2	陶器 鉢	口[28.8] 高[6.4]	4区 口縁1/5	右回転クワローか。口縁端部やや肥厚。下 半鋭い磨減圧痕。	①G。5mm大の小石が少量。②還元焰、やや硬調。 ③灰7.5Y5/1。
3	銅	口[32.6] 底[24.0] 高7.2	4区 1/5割体	外周磨なナデで、型腐痕残す。口縁端部 に凹み。	①G。赤褐色鉱物、雲母の混入も多い。②酸化焰、普 通。③灰燈7.5YR4/2。内面色味おびる。④外面ス フ付着。
4	宝瓦印塔	高[13.1] 径10.8	上下両端を欠く	器蓋は平滑さやや欠く。蓮弁のレイフ はやや浅い。	①粗粒安山岩。
5	不明石製品	長8.4 幅7.5 厚4.6	旧時の小欠損あり	自然円礫。1面に削られた面あり。	①二ツ岳軽石。
6	砥石	長11.2 幅7.2 厚3.8	完存	自然礫利用。器右側面のみ合わせ砥として 金属研磨。表裏面は多様・多目的な材 質の研磨に利用か。	①硬質。
7	砥石	長[7.9] 幅4.7 厚3.9	両小口は旧時欠損	三層使用で一面は自然面。細かな研磨痕 多い。中世以前か。刃付砥・中砥砥。	①成紋岩。

板碑

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	石製 板碑	長28.0 幅7.5	4号溝埋土 遺留片	頂部右側部片で、下方に主尊梵字あり。その際の二重線なし。頂部は削り痕。磨耗少。	①片岩の類。④14・15世紀。
2	石製 板碑	長15.6 幅10.7	4号溝埋土 再利用品か	表面に梵字あり。器面磨耗あり。四圍は打ち欠かれ、転用、再利用品か。	①片岩の類。④14・15世紀。
3	石製 板碑	長27.7 幅16.5	14号溝底面直上	表面に主尊梵字と蓮台あり。下平部欠損。小形。器面磨耗あり。	①片岩の類。④15世紀。
4	石製 板碑	長42.0 幅19.0	14号溝埋土	表面に主尊梵字と蓮台あり。5片接合。器面磨耗あり。側部・頂部に割痕あり。裏面にノミ痕あり。	①片岩の類。④14・15世紀。
5	石製 板碑	長51.0 幅28.0	14号溝床面直上	表面に梵字あり。上半部欠損。器面磨耗あり。側部・基部端部は削り痕後、わずかな磨耗あり。	①片岩の類。④14・15世紀。
6	石製 板碑	長13.6 幅9.8	14号溝埋土	表面は割落気味であるが高橋邸の梵字一部見える。裏面にノミ痕あり。古様。器表面左は割部か。	①片岩の類。④13・14世紀。
7	石製 板碑	長21.2 幅12.1	14号溝埋土	上方欠損。小形品。表面割落。側部・基部に削り痕あり。	①片岩の類。④15・16世紀。

A1区その他の溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
13号溝	1 陶器 瓶	底7.0 高[8.7]	底面より30~40cm上の2 片。 胴部小破片、底部2/3	高台部露出。外面灰胎。底部回転ヘラ削り。粗い貫入が見られる。蛇ノ目高台。	①G。素地緻密、混入物は少ない。②焼調で焼き締まる。③軸調は緑色の透明釉。断面は灰白色。露胎部分は橙色味おびる。
21号溝	1 須恵器 鉢	口17.3 高[12.0]	底面より26cm上の10片、 2/3胴体	右回転クロコ。外面平行引き。胴部下位は弱い回転ヘラ削り。外底割落。	①G。黒色薬物施入。器面滑らか。②還元焰。焼調で焼き締まる。③灰白7.5Y7/1。

5 その他の溝

A1区の溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
8号溝-1	須恵器 杯	口[14.6] 底6.4 高4.0	1/4割体	右回転クワロ。底部回転床切り難し。ロクロ痕弱く、器面平滑。	①G。石灰、片岩混入。②還元焰、やや硬調。③灰白10Y5/1。
8号溝-2	土師器 杯	口[10.8] 底2.9	図示部の1/3	口縁やや強いナデ。外底強いヘラ削り。内底に工具の圧痕残る。	①A。黄地緻密、混入物は少ない。②還元焰、やや硬調。③灰7.5Y6/6。
8号溝-3	土師器 杯	口[13.8] 高[3.3]	図示部の1/5	口縁弱いナデ。下半に無調整部分広く残る。外底丁寧なヘラ削り。器面は比較的平滑。	①A。黄地緻密、混入物は少ない。②還元焰、やや硬調。③灰5Y6/6。
8号溝-4	土師器 甕	口[13.8] 高[5.5]	口縁1/3	口縁外面に比類2高直る。胴部外面は強いヘラ削り。胴部内面強いヘラ状工具によるナデ。	①B。黒色鉱物、角閃石の混入多い。②還元焰、普通。③にぶい焼7.5Y6/3。
15号溝-1	陶器 一升惣利	底11.9 高[21.6]	図示部の2/3	全面磨輪。3面に文字あり。鉄輪。1面は厚手か。内面クワロ痕明瞭。	①G。黄地緻密、粘土質。②硬調。③軸調は僅かに青色味をおびた透明釉。文字は黒色、一部褐色に発色。④瀬戸・美濃。
15号溝-2	羽口	径(5.4) 高[5.3]	埋没土 図示部の1/3	器面の磨減ややすすむ。大ききより磨輪磨の羽口。	①C。③にぶい焼7.5Y6/4。内面は赤色味をおびる。端部は灰色。④端部附近のガラス化はあまり顕著ではない。
17号溝-1	土師器 杯	口[13.4] 高[2.8]	図示部の1/3	ナデの磨痕明瞭。外底は弱い丁寧なヘラ削り。内外面とも器面は比較的平滑。	①B。黄地緻密、混入物は少ない。②還元焰、やや硬調。③にぶい焼7.5Y6/4。

B区の溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
10号溝-1	須恵器 杯	口12.0 底5.7 高2.9	埋没土3片 口縁1/6、底部1/2	右回転クワロ→回転床切り難し。きわめて薄手で軽量。ロクロ痕は弱い。外底にヘラ記号か。	①Bに近い。赤褐色鉱物の混入やや目立つ。②還元焰だが、酸化調の部分広い。③灰5Y6/1。褐色味の強いムラ広い。
11号溝-1	土師器 甕	底7.7 高[4.5]	埋没土上面の2片 図示部の1/3	高台状の底部で木炭痕が残っている。外面は幅広く息強いヘラ磨きで平滑に仕上げ、内面も丁寧なナデ。	①C。大粒の混入物が混じる。②還元焰、普通。③にぶい焼5Y6/4。外面にやや弱い黒直る。
16号溝-1	土師器 小甕	径(7.8) 高[15.6]高[10.7]	図示部の1/3 接合しない同一体破片あり。	外面は腕位のヘラ磨きだが、痕跡は不明瞭。内面ナデで下半のみ平滑に仕上げる。外面と口縁内面に赤影。	①C。混入物は細かい。②還元焰、やや軟調。③にぶい焼10Y7/2。外面黒直る。赤影にぶい赤焼2.5Y5/3。
13号溝-1	土師器 埴	口[17.2] 高[6.2]	埋没土上層の14片 図示部の1/5	薄手で丁寧な作り。口縁内外面と外底に斜射状の規則的なヘラ磨き。内底も同様の処理と思われるが不明瞭。	①C。混入物多い。②還元焰、やや軟調。③にぶい赤焼5Y6/4。断面は黒色味強い。内底と口縁内面にやや軟調。
13号溝-2	土師器 甕	口[23.0]	埋没土に周辺グラッドの3片接合 図示部の1/5	口縁外面二股の粘土粒上には指摺状の圧痕が規則的に並ぶ。胴部外面に継ぎ交差縦目目。内面は粗いヘラ磨き。	①C。②還元焰、やや軟調。③灰黄10Y6/2。外面・断面に黒色味の強いムラ多い。④口縁内面の磨減がすすむ。

C区の溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
2号溝-1	須恵器 杯	口[13.0] 底(9.0)高[3.8]	2片 図示部の1/3	右回転クワロ。底部下層に回転ヘラ削り。ロクロ痕は弱い。	①G。やや緻密な黄地に磁粉サイズの混入物を多量に含む。②還元焰、普通。③灰白5Y7/1。断面まで一様。
5号溝-1	須恵器 杯	口[13.6] 底7.2 高3.9	1/2割体	右回転クワロ→回転ヘラ切り難し。底部から底部下層に回転ヘラ削りだが切り難し痕を消しきれない。	①G。黄地やや粗く砂質。黒色鉱物を含む。②還元焰、やや硬調。③灰白7.5Y6/1。重ね焼き痕の黒色味おびるムラが口縁内面に高直る。④外底に降灰痕が厚くみられる。
5号溝-2	軟質陶器 博珠		埋没土 図示部の1/6	残存部分には3高の脚目が確認できるのみ。内面は使用による磨輪磨。	①やや砂質。黒色鉱物の多い粗砂サイズの混入物を含む。②中間的な焼調。③灰黄2.5Y7/2。外面は黒色味強い。④在胎直。
19号溝-1	土師器 杯	口[14.2] 高[5.2]	埋没土の9片 図示部の1/2	器面磨減し整形痕不明瞭。外面の削りは弱い。内面は比較的平滑。	①Bに近い。器母は少なからぬ混入物多い。②還元焰、やや軟調。③にぶい焼7.5Y6/4外面は赤色味の強い部分広い。断面やや黒色味をおびる。
19号溝-2	土師器 甕	口[22.0] 高[5.1]	埋没土の3片 図示部の1/5	器面磨減し整形痕は不明瞭。口縁内面に弱い沈線が走る。	①C。粒径は揃う。②還元焰、やや硬調。③粒径5Y6/6。内面は灰色味強い。
大溝-1	須恵器 甕	口[14.4] 高[1.8]	埋没土3片 図示部の1/2	右回転クワロ。天井部回転ヘラ削り。底の接合痕が残る。内面は比較的平滑。弱い重みあり。扁平。	①Cに近い。小型品としては粗大な黒色鉱物など混入物やや多い。②還元焰。③灰10Y5/1。やや赤色味をおびるムラあり。
大溝-2	須恵器 杯	口12.4 底6.9 高3.5	底面付近 完全	右回転クワロ→回転床切り無調整。ロクロ痕弱い。内底部に重ね焼き痕らしい痕あり。	①D。黄地は緻密だが、須恵器杯としては混入物粗大。②還元焰不十分で鉄分を含む混入物が赤色味をおびて発色。③灰5Y6/1。ほぼ一様。
大溝-3	土師器 杯	口12.1 高3.7	底面付近 完全	外面口縁は強いナデで平滑。内面も丁寧な仕上げで平滑。口縁外面の削りは未調整部分を残さない。口縁内面下半に斜射状の弱い暗文あり。厚手で重量。	①Bに近い。器母の混入は少なからず、パミスを見やすい。②還元焰、やや硬調。③にぶい焼5Y6/4。黒色味をおびるムラあり。④弱いローリングを受ける。
50号溝-1	土師器 杯	口12.0 高[3.8]	3片 図示部の1/4	外面の削りは粗く強い。無調整部分を残さない。内面は平滑。	①Bに近い。器母やや少ないが粗かな混入物やや多い。②還元焰、やや硬調。③にぶい焼5Y7/4断面は灰色味をおびる。

No	器種	計画値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
50溝-2	土師器 杯	□(12.8) 高[3.4]	7片 口縁1/8、底部3/4	口縁端部は外側に小さく肥厚。外面の削りやや鋭い。内面は平滑。	①Bに近い。雲母少なく黒石の混入やや多い。②酸化塩。③にぶい煙7.5YR7/4。ほぼ一様だが、断面若干灰色味をおびる。
50溝-3	土師器 杯	□12.1 高3.8	11片 口縁2/3、底部完存	口縁外周下平は無調整で肥厚状のヒビあり。外底中央に小さな窪みあり。	①Cに近い。混入物多いが微細。②酸化塩。③にぶい煙7.5YR7/4。ほぼ一様。④内面に1箇所淡いスス付着。
50溝-4	土師器 杯	□12.2 高3.8	9片 口縁上半1/3欠く、ほぼ完存	3に類似する。口縁上半一部で内側に肥厚する。底部中央外面に不規則に窪みあり。	①②③3に同じ。④内面付着するに灯芯状のススは部位や様相まで3に類似する。
50溝-5	土師器 杯	□12.0 高3.8	15片 ほぼ完存	3に類似する。口縁上半の肥厚は4に類似する。	①②③3に同じ。④欠損する部位の広さからこの土器にもスス付着の可能性はある。
50溝-6	土師器 杯	□12.0 高3.8	3片 ほぼ完存	3に類似するが、口縁内側の肥厚は全面に見られる。型腐状のヒビは弱い。	①②③3に近いが混入物やや少ない。④欠損わずかで、ススの付着するスペースはない。
44溝-1	土師器 杯	□(12.0) 高3.5	底面の6片 ほぼ完形	外底は息の長い削り。口縁下平の高調整部分広い。内底は平直で平滑。	①G。やや砂質で混入物少ない。②酸化塩。③煙7.5YR6/5でほぼ一様。④外底ほぼ中央に墨書あり。釈文不明。「中」か。

E区の溝

No	器種	計画値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
54溝-1	陶器 碗	台(5.4) 高[3.6]	図示部の1/2	輪は薄く、残存部分は全面に施釉し登付き部に転落否。	①灰焼き系らしい混入物の少ないややざつとした素地。③断面はやや橙黄色がかった灰白色。輪は黄色味をおびる。④輪には縦貫入が顕著。
54溝-2	陶器 皿	□(6.4) 高[1.6]	図示部の1/3	右回転ロタロー高台削り出し。外底は露胎。内底に重ね焼き時の高台が一部溶着している。輪は灰輪系。	①瀬戸土と思われる比較的緻密な素地。黒色の混入物を散見。②還元焰充分。③断面は灰白色。輪は灰緑色。

取付道C区の溝

No	器種	計画値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
3溝-1	磁口	長5.2 径3.9	横土 少々欠損あり	煙管の磁口部で胴部にロップケとその痕跡あり。全体に薄作りで凹みあり。	①瀬戸材。

取付道E区の溝

No	器種	計画値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
10溝-1	土師器 杯	□(11.4) 高3.5	埋没土7片 □1/3、底部ほぼ完存	薄手。口縁端部は弱く内傾。口縁下平に無調整部分広く、一部型腐状。外底の削り鋭い。	①G。粗砂サイズの混入物多く、器面はザラザラしている。②酸化塩。③にぶい煙10YR7/4でほぼ一様。
6溝-1	かわらけ	□(8.4) 底5.5 高2.4	1/3筒体	左回転ロタロー回転系切り無調整。ロタロ痕はきわめて弱い。口縁は全体に外反している。	①G。ザツクリした素地で、混入物は少ない。②酸化焰気味。③煙霞煙10YR6/4で一様。④口縁の割れ口は強く縦ぎこまれ、転用品の可能性。
6溝-2	軟質陶器 埴輪	埋没土 図示部小片		やや厚手で耳は小振り。外面下平にへう削り。内面は比較的平滑。	①G。素地やや粗い。②還元焰気味。③灰煙5.5YR4/2。外面は黒色味強い。④二次焼成の影響強く、外底一部剥落する。
6溝-3	軟質陶器 埴輪	□(32.0) 高[6.5]	図示部の1/8	外面下平に調整痕見られない。内面節目は1単位7条以上で、細く深い。	①G。砂質で赤褐色鉱物の混入やや多い。②酸化焰気味。③にぶい貴7.5YR6/3。灰色味をおびるムラあり。
6溝-4	軟質陶器 火鉢	□(36.0) 高[4.6]	図示部小片	小破片からの復元で径不安。上縁はきわめて平直。外周半球状の附文は型使用。	①G。砂質。黒色鉱物の目立つ粗砂サイズの混入物やや多い。②還元焰気味。③灰5.5Y6/1。外壁は黒色味をおびる。④在産地。

6 井戸出土遺物

A1区の井戸

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
2号井戸-1	磁石	長6.9 幅5.0 高さ1.5	埋没土 ほぼ完存	自然円筒形。研磨面は一面のみで金属研磨。突起線。軟質。	①二ツ面磁石。④欠損は旧時のもの。
3号井戸-1	かわらけ	口(10.4) 底(8.2) 高1.4	埋没土 図示部の1/3	右面転口クロコ。回転糸切り難し。内底に深い鋭い縁残り。あて具使用の水洗き。	①Bに近いが骨目あまり多くない。②酸化焙か。やや硬質。③にぶい黄褐色10YR5/4赤色味・黄色味をおびるムラあり。
4号井戸-1	磁石	長(9.1) 幅7.6 厚3.5	埋没土 一端を欠く	自然円筒形。研磨面は裏面の一面のみで金属研磨。突起線。軟質。	①二ツ面磁石。④欠損は旧時のもの。
5号井戸-1	かわらけ	口(15.4) 底8.1~8.6高4.0	3片 口縁1/6、底部完存	左面転口クロコ。回転糸切り難し。厚手で重量。口クロコ弱い。歪みあり。	①G。やや硬質。黄褐色。片割れの痕入は無くやや粗大なチート面が目立つ。②初期的な焙焼。③にぶい黄褐色10YR7/2。赤色味おびるムラあり。
6号井戸-2	土師器 天目茶碗	口(11.8) 高[6.2]	図示部の1/8	右面転口クロコ。輪はあまり厚くないが胎土が見られる。	①細粒な黒色胎土を散見するややガヤガヤの土。胎土黄褐色。②R10YR7/1。輪周は透明感のない黒色。
6号井戸-3	土師器 台付鉢	台(8.0) 高[4.9]	縁部除き図示部はほぼ完存	底部厚手で重量。外面は細かくやや粗い削り。台部内面も丁寧なナデで平滑。	①E。②酸化焙。③にぶい橙7.5YR5/4。台縁部は内外面とも灰色味をおびる。④内底部やや剥落すむ。

A2区の井戸

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1号井戸-1	土師器 壺	口(15.4) 高[5.6]	図示部の1/3	口縁外面は沈線によって有段状に区切る。胎土目は粗い。肩部内面にも胎土目あり。口縁上半は刷毛目の上ナデ。	①Aに近い。混入物は少ない。②酸化焙。③にぶい黄褐色5YR5/4。内面は灰色味おびるムラあり。
1号井戸-2	土師器 甕か	口(8.0) 高[2.7]	底面の2片 図示部の1/3	底面は刷毛工具の押圧。口縁外端で鋭く、頸部粘土帯上で強い。粘土帯下には刷毛目が観察できる。	①C。②酸化焙。きわめて硬質で焼き締まる。③にぶい橙7.5YR7/4。内面と外面は赤色味強い。
4号井戸-1	土師器 小型壺	口(7.4) 底3.5 高5.8	埋没土 口縁1/2、底部完存	手捏ね。外面は意の短い粗な刷毛目。内面のナデも端で磨面は平滑さ欠く。口縁端部不整。	①C。赤褐色胎土の混入が目立つ。②酸化焙。やや硬質。③にぶい黄褐色10YR7/3。内外面とも赤色味強いムラあり。
4号井戸-2	土師器 小型壺	口(8.6) 高[4.0]	埋没土2片 口縁1/3	1にほぼ同功。手捏ねと思われるが骨手では多少少ない。体部外面と口縁内面に刷毛目の残存。体部内面はごく弱いナデが比較的平滑。	①C。1に同じ。②酸化焙。やや硬質。③にぶい黄褐色7.5YR6/3ではぼへ強い。内面はやや灰色味をおびる。
4号井戸-3	土師器 壺	口(13.6) 頸8.4 胴25.7 底8.2 高26.2	口縁1/3、頸部以下3/4	外面は縦位のへら磨きを施すが磨面平滑さに不明瞭。口縁内面赤彩の可能性。	①Cに近い。やや硬質。②酸化焙。やや軟質。③にぶい黄褐色10YR7/3黒色味・赤色味の強いムラ多し一様でない。
4号井戸-4	土師器 壺	胴24.3 底7.7 高[18.5]	胴部上半1/4、胴部下半完存	外面は上半で縦位・下半で横位の丁寧なへら磨き。内面も比較的平滑。外底に木製痕あり。	①G。ややゴツゴツとした裏地で赤褐色胎土の混入が目立つ。②酸化焙。③にぶい黄褐色10YR7/3。やや赤色味おびるムラあり。内面は灰色味強い。
4号井戸-5	土師器 器台	口(9.4) 高[3.3]	図示部の内上半1/2を欠く	へら磨きは意図かく、内外面とも強く粗い。	①Cに近い。混入物は赤褐色胎土や目立つ。②酸化焙。③赤彩は赤褐色10R8/4。胎土も赤色味きわめて強い。
4号井戸-6	土師器 台付鉢	台下10.0 高[6.6]	埋没土 図示部完存	やや厚手。刷毛目はやや粗い。内面に指痕状の圧痕が残る。	①C。やや粘性のある裏地。混入物は細かく。②酸化焙。普通。③にぶい黄褐色7.5YR7/3。断面は白色味強い。外面は広い黒斑あり。
5号井戸-1	土師器 埴	口10.3 底2.2 高6.5	ほぼ完存	外底はやや上げ底状。底径著しく小さいが、底部厚く安定している。内外面にへらへら磨きで内面のみ丁寧。	①Cに近い。混入物は小粒で石灰の微細片や目立つ。②酸化焙。③にぶい黄褐色10YR7/3。赤彩は暗赤10R8/6付近で内面で強い。④内底付近と口縁端部が剥落すむ。外底は磨き締まる。
5号井戸-2	土師器 器台	口7.0 台下10.2 高8.2	台縁部1/3欠く	胴部の3意は高さが揃わない。外面へら磨きは総輪があまりすまない段階で行う。	①Cに近い。混入物は小粒で少ない。②酸化焙。③にぶい黄褐色5YR5/4赤色味・黒色味の強いムラ多く、一様でない。④口縁上端やや変色。
5号井戸-3	土師器 口吹か	口10.6 高[7.0]	埋没土4片 天井部欠く	厚手だがあまり重量ではない。外面に鋭い刷毛目。口縁内端付近にもやや強い刷毛目あり。	①Cに近い。きわめて骨質で粗粒の混入も多い。②一次被熱の影響強い。③にぶい黄褐色7.5YR5/4。ムラ多し一様でない。
7号井戸-1	土師器 壺	口14.7 頂(10.6) 高[3.6]	埋没土2片 口縁1/2	厚手で重量。内外面とも強いナデで、強い縁痕が残る。	①Cに近い。胎土は細かく。②酸化焙。硬質。③にぶい黄褐色10YR6/3。内面はやや灰色味をおび、断面は黒色味強い。④口縁端部の剥落すむ。
8号井戸-1	土師器 壺	口7.2 高[4.3]	埋没土2片 図示部の1/2	内外面とも横位のへら磨き。外面には刷毛目がわずかに残る。残存部分には全面に赤色胎土。	①C。赤褐色胎土を混入。②酸化焙。普通。③断面にぶい黄褐色10YR7/3。赤彩は赤褐色10R8/6。
8号井戸-2	土師器 小型壺	口(8.8) 底3.6 高6.1	ほぼ完存	手捏ね。外面は縦位、口縁内外面は横位の鋭い刷毛目。口縁上端まで刷毛目が入る。体部内面は弱いナデだが磨面は比較的平滑。	①C。混入物はきわめて細かく。②酸化焙。やや硬質。③にぶい黄褐色。内底付近は黒斑強い。外面にも小黒斑あり。④口縁端部のみはかな剥落が見られる。
8号井戸-3	土師器 壺	頸8.6 胴22.3~22.9 高[23.0]	口縁1/3、胴部以下完存	外面は丁寧な縦位へら磨き。胴部を除き内面は比較的平滑。	①G。ややゴツゴツとした裏地で混入物は少ない。②酸化焙。③にぶい黄褐色10YR7/3。黒斑や赤色味おびるムラあり。

7 土坑出土遺物

A1区の土坑

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
4土坑-1	土師器 鉢	口(18.0) 高[5.4]	埋没土中の6片 図示部1/4	外面の削りは幅広く息長い。口縁下に無調整部分をほとんど残さない。内面は平滑に仕上げられる。	①Cに近い。混入物は小粒で少ない。②酸化磁、普通。③焼7.5YR6/6。断面まではほぼ一様。
4土坑-2	土師器 杯	口(10.8) 高3.9	埋没土下層 2/3留体	全体に平滑。外面の削りは弱いが無調整部分をほとんど残さない。内面のナデはやや強い。	①G。裏地黒磁で混入物少ない。②酸化磁、土師器としてはきわめて硬調。③焼7.5YR6/6。断面まではほぼ一様。
4土坑-3	土師器 杯	口(11.4) 高[2.8]	図示部の1/5	歪みある小片で、後・傾きとも不安。外底の削りは弱い丁寧で無調整部分を残さない。内面平滑。	①Cに近い混入物は小粒で少ない。②酸化磁、硬調。③にぶい焼7.5YR6/4。ほぼ一様。
4土坑-4	土師器 甕	口(23.0) 高[9.4]	図示部の1/4	やや厚手。口縁外面のナデは強い擦痕を残す。外面の削りは弱い丁寧。体部内面は無調整部分が広く残る。	①C。混入物は小粒。②酸化磁。甕としてはやや硬調。③にぶい焼7.5YR5/3。外面は黒色味をおびたムラあり。
4土坑-5	土師器 甕	口(22.0) 高[17.2]	13片 図示部の1/6	外面のへら磨きは部分的で器面は平滑さ欠く。内面も不整。	①D。裏地ボツボツ。チャート等の混入ややや目立つ。②酸化磁。③にぶい焼7.5YR6/4。内面暗い。
7土坑-1	銅鏡	重[0.92] g	1/2留体	下にある「元」しか読めない。北宋鏡であろう。	②欠損は旧時。
10土坑-1	須恵器 蓋	口(12.0) 径(4.8) 高2.5	図示部の1/6	右回転ロクロ。回転利用能取付け。ロクロ痕きわめて弱い。	①G。やや砂質な裏地。混入物は少ない。②還元磁、普通。③灰青5Y7/2。口縁部は内外面とも着色したように青灰色をおびる。
10土坑-2	須恵器 杯	底(5.6) 高(1.5)	埋没土 図示部の1/3	右回転ロクロ一回転切削り難し無調整。器面磨成する。	①G。砂質。土質が混じる。海苔粉針入か。②還元磁、やや軟調。③灰5Y4/1。断面まで一様。
11土坑-1	土師器 鉢	長(8.8) 幅(6.7) 厚(2.8)	埋没土	自然石目。上面に削り面あり。裏面大きく欠座。	①二ツ岳新石。④割れは旧時のもの。
14土坑-1	須恵器 鉢	口(14.8) 高[5.2]	胴下半1/8、底部1/3	厚手。左回転ロクロ一回転へら削り。口縁外面に弱い磨き痕あり。外底にへら磨きあり。	①Cに近い。②還元磁、やや硬調。③灰10YR/1。断面まではほぼ一様。
14土坑-2	土師器 鉢	口(11.8) 高[3.7]	埋没土 図示部の1/6	外面の削りは薄で、無調整部分を広く残す。内面の磨きは斜射状で細かく、やや丁寧。	①C。②酸化磁、普通。③にぶい黄緑5YR5/3。断面一部黒色味強い。
14土坑-3	土師器 高杯	脚(14.0) 高[5.8]	図示部の1/4、接合できない同一個体片あり	摩滅すすみ整形不明確。脚部内面の輪縁状凹凸痕。酸化磁。脚部は外反へら削りしれない。	①F。赤褐色磁物を少量含む以外混入物少ない。②酸化磁。③焼7.5YR6/6。断面まで一様。
14土坑-4	土師器 甕	口(20.0) 径(10.0)高[6.2]	図示部小片	外面はナデの上に縦位の細かなへら削りで、磨きに近い。内面ナデは工具痕が圧痕状に残る。	①C。②酸化磁。③にぶい焼5YR6/4。断面は黒色味強い。
14土坑-5	土師器 甕	底(5.7) 高[4.3]	図示部の1/2	厚手で重厚。外面の削りは薄。底部にも弱い削りを実施。内面ナデも無調整部分が残る。	①C。②酸化磁。やや硬調。③にぶい黄10YR6/3。内外面とも底状のムラあり。
14土坑-6	甕		基部小片	削りさの窪と思われるが、刀部は明確でなく、離以外の可能性あり。	④敷製品。⑤欠損は旧時。
15土坑-1	須恵器 高杯	高[5.6]	埋没土 図示部の1/2	長脚二段通しの脚部片。通かしは1対で幅6mm以上。器面磨成しロクロ痕不明確だが、かき目上の擦痕が一部に残る。	①Fに近い。混入物少ない。②還元磁、普通。③灰10YR/1で断面まではほぼ一様。④器面磨成。
20土坑-1	土師器 杯	口(11.4) 高[3.5]	埋没土 図示部の1/6	やや厚手。口縁端部が外反する。外底の削りは弱い。内面は平滑に仕上げられる。	①Cに近い。混入物少ない。管帯物を少量含む。②酸化磁、普通。③にぶい赤褐5YR5/6。断面まではほぼ一様。
32土坑-1	須恵器 有台杯	台(9.8)	埋没土 図示部の1/6	盤状品。右回転ロクロ。外底回転へら削り。内面にかき目状の整形痕。内底には裏地黒磁の台高体あり。	①Cに近い。混入物は小粒。②還元磁、普通。③灰7.5Y6/1。外面一部青灰色をおびる。④高台基部に焼成時の割傷あり。
32土坑-2	土師器 有台杯	台(16.0) 高[4.7]	埋没土 図示部小片	残存部上端に凹凹がかかる。外面は縦位のへら磨きで平滑に仕上げられる。内面も縦位のへら磨きで比較的平滑。	①B。②酸化磁、普通。③にぶい焼7.5YR5/4。外面に黒炭灰。
41土坑-1	白玉	径6.6厚[0.35] 孔0.2 重0.2g	埋没土 一部を欠く	断面台形状に一方へ広がる。側面に磨痕残る。	①磨石。
42土坑-1	土師器 杯	口(11.2) 高[3.0]	図示部の1/6	外底のへら削りは強い。口縁下側に無調整部分が残る。内面は縦位の強いナデで比較的平滑。	①Cに近い。混入物は細い。②酸化磁、普通。③にぶい焼7.5YR5/4。断面まではほぼ一様。
46土坑-1	須恵器 杯	口(11.2) 高[3.3]	埋没土4片 図示部の1/6	薄手。右回転ロクロ。外面でロクロ痕強く強い。	①G。小型品としては裏地黒い。砂粒の混入やや多い。②還元磁、普通。③灰10YR/1。ほぼ一様。
50土坑-1	土師器 杯	口(11.8) 底6.3 高4.1	口縁1/4、底部完存	底部のみやや厚手。外底と口縁下半は磨成のような細かなトビの上に弱いへら削り。内面は強く丁寧なナデで、内底中央に駒毛目状の擦痕残る。	①Bに近いが管帯の混入は少ない。②酸化磁、やや軟調。③にぶい黄緑10YR5/3内面は赤色味・外面は黒色味をおびるムラあり一様でない。
50土坑-2	須恵器 有台杯	台5.9 高[3.4]	体部1/3、底部は完存	右回転ロクロ一回転切削り難し一回転利用高台取付。ロクロ痕強い。高台部に杖状の圧痕あり。	①Bに近い。片割れ散見。②還元磁、普通。③灰10YR/1。断面まではほぼ一様。
53土坑-1	土師器 杯	口(12.0) 高[3.1]	埋没土 図示部の1/5	外底の削りは弱い。口縁下に無調整部分が凹痕状に残る。内面のナデの下に工具痕状の圧痕が残る。	①Cに近い。混入物は細かく少ない。②酸化磁、やや硬調。③にぶい焼5YR6/4。断面は灰色味強い。外面に黒炭灰。

A1区土坑

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
53土坑-2	土師器 小壺	口(10.8) 高[5.8]	埋没土 図示部の1/8	口縁端部は外方に丁寧な彫り。外面の削りは横位でやや強く、無調整部分を残さない。	①G。素地緻密で混入物少ない。②酸化塩、硬調。③焼7.5YR6/6。断面は灰色味をおびる。
55土坑-1	土師器 杯	口(11.2) 底(8.9) 高3.1	1/2個体	厚手。外面口縁下半は無調整。成形時の穴を補修したような粘土貼り付け部分あり。内面は丁寧なナデで平滑。	①B。②酸化塩。③にぶい焼7.5YR5/4。外面に淡い黒灰状のムラあり。
55土坑-2	土師器 杯	口(11.4) 底(6.4) 高3.4	図示部の2/5	本土坑1の外に傾斜する。口縁端部の外反強い。外底の削り弱い。口縁外面下半の磨状とじ著者。	①B。素地は緻密。②酸化塩やや軟調。③にぶい焼5YR5/4。ほぼ一様。
55土坑-3	須恵器 香合杯	口14.9 高[5.3]	図示部の3/4	厚手。右回転ロクロ。底面彫削未切り離し。口口痕強い。高台剥落面がやや連続している。	①A。②還元塩、やや軟調。③灰5Y7/1。底面付近に黄色味をおびるムラあり。④高台が剥落したまま使用か。
56土坑-1	須恵器 杯	口(12.2) 高[2.8]	図示部の1/3	右回転ロクロ。回転ヘラ削り。ロクロ痕やや強い。	①Bに近いが雲母の混入は少ない。②還元塩。③灰白7.5Y7/1。黒灰状の淡いムラあり。
56土坑-2	土師器 杯	口(11.4) 高[2.9]	埋没土 図示部の1/2	器面磨減し整形痕はやや不明瞭。外面削りは無調整部分を残さない。内面は比較的平滑。	①A。②酸化塩、土師器としてはきわめて硬調。③焼7.5YR6/6。断面まで一様。
56土坑-3	土師器 壺	口(24.0) 高[4.8]	埋没土 口縁部小破片	折り返し口縁。外面は細かな刷毛目の上に数な横位のヘラ磨き。内面にも刷毛目あり。	①Dに近い。片割の混入は少ない。赤褐色底物の混入目立つ。②酸化塩。③にぶい黄褐色10YR6/4。内面はやや強い。
62土坑-1	須恵器 杯	口(11.8) 高[3.4]	埋没土 図示部の1/8	右回転ロクロか。ロクロ痕弱い。外底に手押へら削りか。	①G。緻密な混入物多いが素地は比較的緻密。②還元塩、硬調。③灰7.5Y7/1。内面は降灰状で白色味が強い。
64土坑-1	土師器 甕	口(21.0) 高[4.6]	図示部小破片	外面の削りは強い。胴部内面は横位の強いナデでヘラ状の工具仕込が残る。	①Bに近いが混入物が多い。②酸化塩、硬調。③にぶい黄褐色10YR6/4。口縁部赤色味をおびる。④カマ下粘土付着。
71土坑-1	土師器 壺	底(9.4) 高[18.2]	図示部の1/4	胴部径70cm前後と推定される大型土器としてはきわめて厚手。外面は弱いナデで中心部顯著な整形痕見られぬ。内面は比較的平滑。	①B。素地緻密でやや粗い。②酸化塩。③にぶい焼7.5YR5/4。赤色味の強いムラや黒灰あり一様でない。内面はやや灰色味をおびる。
76土坑-1	土師器 鉢	口(23.0) 高[8.0]	埋没土。 図示部小破片	外面の削りは横位で弱い。内面は丁寧なナデ。窪みのある小片からの復元で、径・傾き不安。	①C。粗砂や灰色味で少ない。②酸化塩、やや硬調。③焼5YR6/6赤色味に濃淡あり一様でない。
77土坑-1	土師器 杯	口10.8 高[2.8]	1/2個体	器面磨減し整形痕は不明瞭。外底のヘラ削りは無調整部分を残さない。内面は比較的平滑。	①Cに近い。混入物は微細。②酸化塩、土師器としてはきわめて硬調。③にぶい焼7.5Y7/6。断面は灰色味をおびる。外底に黒斑強い。
77土坑-2	土師器 杯	口13.7 高4.3	2片。 口縁1/4欠く	外底の削りは丁寧で強く、足が強い。また、無調整部分を残さない。内面ナデも比較的丁寧。	①Bに近いが雲母の混入は少ない。②酸化塩、普通。③にぶい赤焼5YR5/4。外底に淡い黒灰状のムラあり。
77土坑-3	土師器 鉢	口(22.6) 高[4.7]	図示部小片	外面の削りは強い。内面は丁寧なナデで平滑に仕上げられる。小片からの復元で、径・傾き不安。	①C。粗砂サイズの混入物多い。②酸化塩。③にぶい焼7.5YR6/3。内面は黒色味、断面一部で灰色味をおびる。
79土坑-1	土師器 高杯	高[7.8]	図示部1/3	外面は磨減し不明瞭だが、底位のヘラ磨きで比較的平滑。内面は斜り目上は無調整。	①Cに近い。混入物は少なく細かい。②還元塩、普通。③にぶい赤焼5YR5/4。断面は一部で黒色味強い。
79土坑-2	土師器 甕	底[6.0]	底破片。	底面に、径1.8cmの板穴あり。断面におさまかな研削あり。内面無調整。割れ口に接合あり。	①緻密。白色小粒多い。②酸化塩。③焼7.5YR7/6。
79土坑-3	土師器 甕	口(23.0) 高[6.3]	図示部小片	口縁は内外面とも丁寧なナデ。小片からの復元で径・傾き不安。	①C。混入物は微細なものが大半。②酸化塩。③にぶい焼7.5YR6/4。内面は形度低い。
86土坑-1	手取ね	底3.9 高[3.5]	埋没土 図示部の2/3	外底は平坦で厚い。外面は縦位の強なナデ。内面は指痕状の凹凸が多い。	①G。素地やや粗いが混入物少ない。②酸化塩、やや硬調。③にぶい黄2.5YR6/3。外底に淡い黒灰あり。
86土坑-2	須恵器 杯か	口(14.0) 高[3.8]	埋没土片が94号土坑の破片と接合。 図示部の1/5	厚手。右回転ロクロ。ロクロ痕は強い。口縁上縁は広く、中央が窪む。鉢状になる可能性。	①Cに近い。混入物は少ない。②還元塩、やや軟調。③灰白10Y7/1。断面ではほぼ一様。
87土坑-1	砥石か	長(6.7) 幅(3.4) 厚1.5	埋没土 両端欠く	破片の両用品。裏・裏・一側面の三面使用。瓦磁焼。硬質。	①砂岩。
88土坑-1	土師器 杯	口(12.6) 高[3.3]	埋没土中の2片 図示部の1/3	外底の削りは強いが丁寧。内面に斜射状のヘラ磨きが見えようしたが、不明瞭。	①Cに近い。②酸化塩、普通。③にぶい焼7.5YR6/4。断面は黄色味強い。
88土坑-2	土師器 壺	口(11.2) 高[4.8]	埋没土 図示部の1/6	口縁内面に強い磨痕残る。外面削りは丁寧だが弱い。内面へら磨きは斜射状で比較的丁寧。	①C。混入物は微細。②酸化塩。③明赤焼5YR5/6で断面まではほぼ一様。
90土坑-1	土師器 台付壺	台上6.5	埋没土 図示部ほぼ全存	底面は広く平坦。外面は平滑で刷毛目はやや強い。台部内面は指痕のナデで灰が残るが比較的平滑。	①Cに近いが混入物やや多い。②酸化塩。③にぶい黄褐色10YR6/3。一様でない。断面は灰色味をおびる。④二次焼。外面は灰付着。
94土坑-1	土師器 小壺	口(8.0) 高[3.2]	埋没土 図示部の1/4	外面胴部下半に接合痕が部分的に残る。外面のヘラ磨きは弱く不明瞭。内面のナデはやや粗い。	①Cに近い。小形品としては粗悪。②還元塩、やや軟調。③にぶい黄褐色10YR5/4。断面は一部で黒色味強い。
99土坑-1	土師器 鉢台か	高(8.3)	脚破片	内面に足指磨。内面に紋目あり。外面に円形の遺あり。単位不明。	①やや硬。底物粒微。②酸化塩。③焼7.5YR6/6。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
100土坑-2	土師器 甕	口(19.0) 底7.1 高31.3	堆積土の29片 1/2個体	やや厚手で底部特に厚い。外面は磨滅す すみ整形不明確。内面は平滑さ欠く。	①C。器面は平ラザラしている。②酸化磁。やや軟 調。③にぶい灰色10YR6/4。黒黒広い。内面は灰色 味をおおる。④二次被膜。
100土坑-3	土師器 甕	口18.0 高[23.6]	堆積土の約50片 口縁ほぼ完存、胴部1/2	厚手だが、口縁部のみ厚い。外面の削り は幅太で意気い。内面はやや平滑さ欠く。	①C。ザツリした素地。②酸化磁。③にぶい橙 7.5YR7/4。外面赤色味の強いムラ広く、黒底もあり 一様でない。
100土坑-4	土師器 杯	口(13.2) 高3.9	堆積土中の8片 口縁1/3、底部1/2	全体に厚手。外面の削りは乾漣状態で行 い、器面に光沢が出る。内面のナデは比 較的丁寧。	①C。素地は乾漣の密着で、混入物を少量含む。 ②酸化磁。普通。③暗7.5YR4/3。外面に黒底状のム ラあり。断面は灰色味をおおる。
100土坑-5	土師器 甕	底(9.2) 高[16.1]	図示部の1/3	外面の削りは層で意気い。下端の面取り は不整。内面はへら磨き状に棒先工具の 跡が残り。接合痕が残る。	①C。ザツリした素地。混入物も多い。②酸化 磁。③残黄2.5Y7/3。黒底状のムラあり。
101土坑-1	土師器 有台杯	台下(9.2) 高[16.1]	図示部の1/5	右回転ロクロか。器面の磨滅著しく、ロ クロ痕はほとんど観察できない。	①Bに近いが器面の混入物は少ない。②還元磁。やや 軟調。③灰黄2.5Y6/2。黒色味をおおるムラあり一 様でない。
101土坑-2	土師器 杯	長(8.6) 幅4.4 厚3.2	ほぼ完存	表・裏・両面用の両面使用。両小口はし 前面。各面角部は鈍く、おとりした使 用で中世以前か。	①流紋岩(砥石)石。
107土坑-1	陶形残片	長4.75 幅2.0 厚0.35 重6.5g	堆積土 基部付近を欠く	一孔が確認できる。図示部の裏面は平 坦。表裏両面相当部分は打ち欠きあ る。研削痕は縦と横の方向に見られる。	①乾紋岩。④欠損は旧時。
109土坑-1	土師器 杯	径2.51 孔0.65 厚0.13 重2.12g	堆積土 一部欠く	歴史元寶。北宋末、初編1068年。	
117土坑-1	土師器 杯	口(10.6) 高[2.5]	図示部の1/4	ぬじれるような歪みあり径・傾き不安。 外底の削りは面が削り無調整部分を残 さない。	①G。素地普通だが、混入物少なく良好。②酸化 磁。③橙7.5YR6/6。黒色味をおおる淡いムラあり。
135土坑-1	土師器 杯	口(13.4) 高[2.4]	図示部の1/6	口縁内面は僅かに肥厚する。外面の削り は細かい。小片からの復元で怪不安。	①E。混入物は小粒。②酸化磁。③橙7.5YR6/6。断 面一部灰色味をおおる。
135土坑-2	土師器 有台杯	口(13.4) 台(6.8) 高[5.6]	図示部の1/3	右回転ロクロ一回転糸切り磨し。ロクロ 痕は外面で強く、内面はほとんど見え ない。内底に重ね焼き痕。	①G。素地はあまり緻密ではないが、混入物は少な い。②還元磁。やや軟調。③灰5Y7/1。底面付近は内 外面とも黒色味をおおる。
135土坑-3	土師器 有台杯	口(13.0) 高[2.6]	図示部の1/4	網目目は丁寧。肩部内面は指摺圧痕状の 凹凸が残る。	①Bに近い。器面の混入物は少ない。②酸化磁。③に ぶい橙7.5YR5/3。外面赤色味の強いムラあり。断面 一部黒色。④口縁部が残り。
135土坑-4	土師器 有台杯	口(24.2) 高[15.7]	図示部の1/6	口縁内面外方にわずかに肥厚。外面の 削りは横状で強い。内面体部のナデは 削りに近い。	①Bに近いが混入物はやや多い。②酸化磁。やや軟 調。③橙7.5YR6/6。内面は彩度低い。
135土坑-5	土師器 有台杯	長(25.2) 幅16.5 厚8.3	上層 両端欠く	被熱・カマド粘土の付着よりカマド粘土 と分かる。表面陶質化し、ハツリ痕等 は観察できない。	①凝灰岩。②被熱著しい。
139土坑-1	土師器 甕	口(21.0) 高[15.75]	堆積土 図示部の1/6	器面やや磨滅し整形痕は不明確。口縁上 端は平底で外方は小さく肥厚。外面胴部 の削りは弱い。	①Eに近い。混入物はやや少ない。②酸化磁。土師 器としてはきわめて純粋。③橙7.5YR7/6。断面は灰 色。
140土坑-1	土師器 小笠甕	口(9.0) 高(5.3)	堆積土 図示部の1/4	胴部中ほどが著しく薄い。器面の磨滅す すみ整形不明確。外面はやや傾斜状の削り。	①C。輝石・ハミスがやや目立つ。②酸化磁。硬 調。③橙7.5YR。断面は灰色。
141土坑-1	土師器 有台杯	台(6.9) 高[2.2]	図示部の2/3	右回転ロクロ一回転糸切り磨し。外面の ロクロ痕は強い。	①B。混入物も少量含む。Eとの中間的な胎土。④ 遠北不十分で濃し気味の焼成か。③オリブ黒 7.5Y3/1。断面は黄灰色。
141土坑-2	土師器 甕	口(21.0) 高[4.7]	図示部の1/6	外面胴部は無調整。肩部の削りは無調整 部分を残す。	①Bに近い。粗粒のハミスを含む。②酸化磁。差 調としては純粋。③にぶい橙7.5YR6/4。外面に黒黒 広い。
142土坑-1	土師器 甕	口(15.0) 高[4.5]	堆積土 図示部の1/6	やや厚手。口縁内面がわずかに歪む。内 面のへら磨きは斜紋状で、やや強弱不 明確。	①典型的なB。ザツリした胎土。②酸化磁。普 通。③橙5YR6/6。断面までほぼ一様。
145土坑-1	土師器 甕	口(24.6) 高[16.5]	図示部の1/6	やや厚手。外面は頸部のナデ、肩部の削り ともに強い。内面のナデも強く、粗い 接合痕が残る。	①B。混入物やや多く、Eとの中間的な胎土。③に ぶい橙7.5YR5/4。赤色味の強いムラあり、一様で ない。
146土坑-1	土師器 甕	口(17.0)	堆積土 図示部小片	右回転ロクロ。天井部にやや弱い面へ ら削り。天井部内面は平滑で、転用痕 の可能性あり。	①C。素地緻密でやや砂質。②還元磁。やや軟調。 ③灰10Y6/1。断面はやや灰色味をおおる。外面に わずかに白色の降灰輪が見える。
146土坑-2	土師器 杯	口(13.0) 高3.6	堆積土 1/3個体	外底の削りはやや強で、口縁下は無調整 部分あり。内面のナデは強い。	①Cに近い。混入物は少ない。②酸化磁。③にぶ い橙7.5YR6/4。ほぼ一様。
150土坑-1	土師器 甕	口(16.0)	堆積土 図示部小片	右回転ロクロ。天井部の回転へら削りは やや強い。天井部内面は平滑で、転用痕 の可能性あり。	①G。素地緻密でやや砂質。黒色成分目立つ。②還 元磁。③灰白7.5Y7/1。口縁部やや黒色味をおお る。
150土坑-2	土師器 杯	口(12.1) 高3.4	堆積土4片 2/3個体	外面はやや強く丁寧な削りで無調整部分 を残さない。内面のナデは強く、平滑に 仕上げられる。	①B。器面は少ない。②酸化磁。普通。 ③橙7.5YR6/6。断面までほぼ一様。
150土坑-3	土師器 杯	口(13.2) 高3.7	堆積土 図示部の1/4	口縁部は内側にわずかに肥厚させる。 外面の削りは横状でやや強。内面のナデ は比較的丁寧。	①C。器面はやや少ない。②酸化磁。普通。③にぶ い橙7.5YR6/4。外底に黒黒あり。

A～C区の土坑

A2区の土坑

No	部種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
22土坑-1	土師器 高杯	脚上(11.8) 高[9.8]	図示部の3/4	脚下半に3孔を外側より穿つ。脚内面には絞り目顯著。外面はヘラ磨きと思われが器面磨滅し不明瞭。	①Bに近いが雲母の混入少ない。②酸化焰、やや還元焰。③焼5YR6/6。灰色をおびるムラあり一様でない。
22土坑-2	土師器 小型壺	胴(8.9) 高[5.4]	図示部の3/4 約20片小破片を接合	外面は細かなヘラ削りで磨きに近い。内面の整形は雄。口縁内面のみ胡毛状の整形痕。	①G。素地はあまり緻密でないが混入物少ない。②酸化焰。軟調で樽まり欠く。③にぶい貫霞10YR5/3。内面と外底は黒色味をおびる。
22土坑-3	土師器 台付甕	口15.0 高[7.8]	9片 図示部の2/3	脚毛目は鋭く深い。肩部内面には指痕痕跡の窪みが深。	①G。素地比較的緻密で粗砂の混入多い。②酸化焰。③にぶい貫霞10YR7/3。断面は黒色味強い。
26土坑-1	土師器 壺	胴(14.0) 高[11.2]	2片 図示部の1/3	外面肩部の磨きの下に、細かな脚毛目が残る。内外面とも平滑。外面と口縁内面に赤彩。	①Bに近いが雲母はわずか。混入物は少ないがやや大粒。②酸化焰。③にぶい貫霞10YR7/2。赤彩部の色調は一定でない。黒炭あり。
26土坑-2	土師器 壺	口13.6 胴22.8 底8.2 高34.8	約40片 3/4個体	外面のヘラ磨きは幅太工具使用。内面は口縁から肩部上端まで磨く。	①G。ややボンボンした素地。バミス細粒の混入やや目立つ。②酸化焰。③にぶい貫霞7.5YR6/4。胴部外面に黒炭広。
27土坑-1	土師器 埴	口(14.0) 高5.6	埋没土10片 口縁1/8、底部1/3	薄手。口縁端部はわずかに上方へ肥厚。	①G。ややボンボンした素地。バミス細粒の混入やや目立つ。②酸化焰。③にぶい貫霞10YR7/2。断面までは2一様。
33土坑-1	土師器 台付甕	台下8.1 高[8.3]	図示部ほぼ完存	脚毛目は雄。体部内面はヘラ状工具の圧痕が残るナア。台部内面は指痕圧痕残るが大半で無調整。	①Bに近い。混入物の粒径は粗砂サイズで揃う。②酸化焰。軟調。③にぶい赤褐5YR4/4。黒色味の強いムラがある。④二次焼熱。
41土坑-1	土師器 杯	口12.3 高3.9	完形	薄手。外面は磨いが丁寧な削りで無調整部分を残さない。内底のみ薄い削磨がわずかな。	①Bに近いが雲母は少ない。赤褐色鉱物の混入目立つ。②酸化焰。③細7.5YR4/3。断面は明度はるかに高い。
49土坑-1	土師器 杯	口13.0 高3.6	2/3個体	肩部やや尖り丁寧な造り。外底のヘラ削りは鋭い。内面も比較的平滑。	①G。素地緻密で赤褐色鉱物の混入目立つ。②酸化焰。普通。③焼5YR6/6。黒色・黄色味をおびるムラあり一様でない。

B区の土坑

No	部種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
8土坑-1	土師器 器台	口(7.8) 高[6.2]	口縁部1/6、台部上半はほぼ完存	器面磨滅し整形痕不明瞭。台部外面の磨きは粗くて削りに近い。残存部分に窓の痕跡はない。	①G。やや砂質で赤褐色鉱物目立つ。②酸化焰。③にぶい。④焼7.5YR7/4でほぼ一様。⑤割れ口まで磨滅すむ。

C区の土坑

No	部種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
25土坑-1	須恵器 杯	口(12.4) 底(7.0) 高3.5	埋没土 1/4個体	右回転ロタロー回転ヘラ切り難し。底部無調整か。ロクロ復や強い。	①G。素地やや緻密。泥粒が混入するが、他の混入物少ない。②還元焰。③明青灰5YR7/1。断面まではほぼ一様。
32土坑-1	須恵器 杯	口(14.4) 底8.5 高4.4	埋没土 口縁1/4、底部1/2	右回転ロタロー回転ヘラ切り難し。底部無調整。ロクロ復や強い。底部厚手。	①G。やや砂質で黒色鉱物の混入目立つ。②還元焰。③灰白7.5Y7/外周に黒色味の強いムラあり。④外底付着に降灰輪あり。焼台の可能性。
36土坑-1	須恵器 杯	口(13.2) 底(8.4) 高3.3	埋没土2片 図示部の1/3	右回転ロタロー回転ヘラ切り難し。底部無調整。体部下端にのみ鋭い手持ちヘラ削り。ロクロ復外面で鋭い。	①G。やや砂質で黒色鉱物が少量混入する。②還元焰。③灰白5Y7/1。やや黒色味をおびるムラがない外面にある。
46土坑-1	土師器 甕	口21.0 高[7.8]	埋没土2片 図示部の1/4	口縁のナデは雄で、外面頸部に指痕痕跡の窪みが見られ、接合痕が残る。外面の削りは強い。	①B。赤褐色鉱物が混入する。②酸化焰。やや軟調。③にぶい赤褐5YR5/4。内面は彩度低い。

8 その他

A1区

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 杯	口(6.8) 底(4.8) 高2.6	図示部の1/4	右回転ロクロ→底部から体部下端回転へ 削り。ロクロ痕弱い。	①G。比較的緻密で小粒の黒色炭物を含む。②還元 焼、やや軟調。
2	須恵器 杯	口(12.0) 底7.3 高4.3	850-795グリッド2片 図示部の2/3。底部完存	底面厚手で重直。右回転ロクロ→回転赤 無調整。ロクロ痕弱い。	①A。砂質。②還元焼、やや硬調。③灰白7.5Y7/2 で断面まではほぼ一様。④全体が乾いたに乾いたような摩滅。
3	須恵器 有台杯	口(16.0) 台(10.6)高[4.2]	855-800グリッド 図示部小片	右回転ロクロ→高台削り出し。高台はこ ぐ低い。ロクロ痕弱い。小破片からの復 元で様不明。	①G。細砂の混入多いが他の混入物はほとんど ない。②還元焼、普通。③灰白5YR7/1で断面まで一 様。
4	須恵器 杯	口(13.6) 底(7.2) 高3.8	850-796グリッド2片 図示部の1/3	右回転ロクロ。ロクロ痕は弱い。体部下 端と底部残存部分は回転へ削り。	①G。素地緻密。黒色炭物混じりの砂粒を少量含 む。②還元焼、やや硬調。③暗青5Y3/1。断面は セピア色味をおびる。④外面に降灰焼。
5	須恵器 杯	口(12.6) 底5.8 高(4.2)	850-800グリッド 口縁1/3。底部2/3	右回転ロクロ→回転赤切り無調整。ロク ロ痕弱い。	①Dに近い。青帯やや目立つ。②不十分な還元 焼。③灰黄2.5Y7/2。内底に重ね焼き痕が黒色の色 ムラとなっている。
6	須恵器 有台杯	口(13.4) 台5.3 高5.3	845-800グリッド2片 口縁1/4。底部1/2	右回転ロクロ→回転赤切り→回転利用高 台取り付け。器面摩滅。	①G。砂質で時色。舞石・パミス等の混入やや多 い。②還元焼、軟調。③灰白5Y7/1。内外表面に黒 色の重ね焼き跡もみらる。
7	須恵器 杯	口15.5 底5.1 高3.9	845-800グリッド4片 口縁2/3。底部完存	右回転ロクロ→回転赤切り無調整。ロク ロ痕弱い。	①Bに近い。砂質。②還元焼。③灰白5Y7/1で黒 色の強い色ムラがある。
8	須恵器 有台杯	口14.9 台7.3 高6.9	850-795グリッド7片 口縁2/3。底部完存	左回転ロクロ→回転赤切り磨し。ロクロ 痕は細かく、内底では渦巻状。	①Aに近い。砂質だが他の混入物は少ない。②還元 焼、やや軟調。③灰7.5YR5/1で外面一部青色味をお びる。
9	須恵器 有台杯	口(13.6) 台5.8 高5.9	850-800グリッド2片 口縁1/4。底部1/2	右回転ロクロ→回転赤切り。ロクロ痕は 外面で強い。	①G。素地やや緻密。細砂少量含む。②還元焼。 ③灰7.5YR/1。内底に重ね焼き痕が黒色の色ムラに なっている。
10	須恵器 有台杯	口(15.8) 台8.4 高7.4	850-795グリッド3片 図示部の1/3	右回転ロクロ→回転赤切り磨し。内面は ロクロ痕がよめて弱い。	①Cに近い。細砂多くやや弱い。チャート粒少量含 む。②還元焼、やや軟調。③灰黄2.5Y6/1で断面ま ではほぼ一様。
11	須恵器 ハソウカ	口(11.4) 高2.9	925-775グリッドと北東 舞石を含む3片 図示部の2/3	薄手。外面の凸舌はきわめて細く、縁割 れつくり。ロクロ痕不明。	①粗砂やや多いが軟調。②還元焼、硬調で磨ら ない。③青黒5YR2/1。断面はセピア色味をおびる。白色 味をおびた降灰焼。
12	須恵器 長頸壺	口(18.4) 高[10.5]	845-795グリッド 図示部の1/3	右回転ロクロ。ロクロ痕やや弱い。	①G。やや砂質で底部粒が比較的多。泥粒も見られ 緻密さ欠く。②還元不十分だが色の硬調。③青黒 5B2/1。断面は赤色味強い。
13	須恵器 長頸壺	口12.8 高[5.2]	845-800グリッド6片。 図示部ほぼ完存	右回転ロクロ。外面はあて具状のロクロ 痕で削りのように見える。器物としては 内面のロクロ痕は弱い。	①B。やや緻密。微細な片や黒色炭物を含む。② 還元焼、やや軟調。③灰5YR6/1。外面は明度低 い。④内底に口縁部から降り落ちた灰緑色の釉が厚 く付く。
14	土師器 杯	口(14.0) 高(4.8)	3号住居層方2片 図示部の1/6	やや薄手。外面の削りは弱いが比較的丁寧 で削り残し部分は少ない。内面にへ り過ぎがあると思われるが不明。	①Bに近いが青帯の混入はわずか。②還元焼、普通。 ③灰白5YR5/3。外底は黒色味強い。④口 縁部中心に内面やや摩滅する。
15	土師器 杯	口11.3 高4.1	900-795グリッド 1/2個体	口縁外面の縁は沈没状。口縁端部はわず かに外側へ折れる。器面摩滅すずみ整形 痕は不明。	①F。混入物少ない。②還元焼、胎土に風固するよう だが磨り足りない。③灰7.5YR5/6。赤色味の強い ムラあり。
16	土師器 杯	口(12.6) 高[3.8]	845-800グリッド 図示部の1/6	薄手で底部中心付近が特に薄い。外底の 削りは強く丁寧。内面のナデも比較的丁寧 で平滑に仕上げる。	①B。混入物は少ない。②還元焼、やや硬調。③暗7. 5YR5/6で断面まではほぼ一様。
17	土師器 杯	口(11.0) 高[3.1]	3号住居層辺を含む 図示部の1/5	外面の削りはやや弱い。内面は比較的平滑。	①BとFの中間的な胎土。混合物はやや少ない。② 還元焼。③暗7.5YR5/6で断面まで一様。
18	土師器 杯	口(10.8) 高[3.0]	850-795グリッド 図示部の1/3	口縁は内湾し、内端は僅かに肥厚して縁 割れ込みである。外面削りはやや細くで指 頭状の窪み部分に削り残しあり。	①Bに近いが青帯の混入は少ない。②還元焼。 ③にふい焼7.5YR5/4ではほぼ一様。
19	土師器 杯	口(10.6) 高3.4	850-795グリッド 1/4個体	小ぶりの杯としては比較的底部平滑。器 面摩滅し整形痕不明。外底の削りはやや 強か。	①B。②還元焼。③暗7.5YR5/6で外底は明度低い。 ④焼成後に設けた片口状の窪みあり。
20	土師器 杯	口(12.8) 高3.7	850-795グリッド2片 1/3個体	外底の削りは乾草が混入した状態で十分な 息長い。内面は比較的平滑。口縁部の仕 上げはやや強。	①B。パミス数見する。②還元焼、硬調。 ③暗7.5YR5/6。灰色味をおびる小範囲の色ムラあり。
21	土師器 杯	口(12.0) 底7.8 高3.3	865-795グリッド 1/2個体	口縁内端は僅かに折れる。口縁外面下半 は無調整だが器面の乾れは少ない。外底 の削りは弱い。	①B。青帯の混入は少ない。②還元焼。③にふい焼 7.5YR5/4ではほぼ一様。
22	土師器 杯	口(13.6) 高[3.2]	850-790グリッド 図示部の1/5	やや薄手。口縁部は小さく流状の窪み様 存在。外底の削りは弱く細かい。	①Bに近い。青帯の混入は少なく、Fにも近い。② 還元焼、やや軟調。③にふい焼7.5YR5/4ではほぼ一 様。
23	土師器 杯	口(14.6) 高[4.0]	855-800グリッド2片 図示部の1/8	口縁内端は小さく肥厚する。外底の削り は細かい。内面は強いナデで平滑に仕 上げる。	①Bに近い。素地緻密で混入物は微細で少ない。② 還元焼、やや硬調。③暗7.5YR5/6で断面は灰色味を おびる。④口縁上端のみ磨滅した。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
24	土師器 杯	口13.1 高3.5	850-800グリッド 1/2個体	口縁内縁は部分的に僅かに肥厚する。外底の削りは息長いやや粗い。口縁外縁下半は無彫装飾が平滑。	①Bとやや中間的な胎土で混入物は少ない。②酸化色。③にぶい焼7.5YR5/4。内面は明度高い。④内底は細かなキズや彫痕が多い。
25	土師器 杯	口(12.6) 高[3.0]	850-795グリッド3片 図示部の1/4	口縁外縁は不規則だが沈み状に小さく窪む。外底の削りはやや強く息長い。内面ナデも強く、布目状の擦痕残る。	①B。赤褐色彫痕散見。他の混入物も少ない。②酸化色。③にぶい焼7.5YR6/4で内面は明度高い。
26	土師器 杯	口13.9 高3.6	845-795グリッド10片 ほぼ定存	外底の削りは決るよう強い。内面は比較的平滑。	①Bに近いが雷母の混入は少ない。②酸化色。普通。③にぶい焼7.5YR5/4。④口縁上部の一部に削り口までスス付着。
27	土師器 杯	口(11.6) 底7.9 高3.0	850-800グリッド4片 1/2個体	薄手で軽量。器面磨減し整形痕は不明瞭。外面の削りは底部のみか。	①Fにやや近い。粗砂含む。②酸化色。軟調。③にぶい焼7.5YR7/4。スス付着部分付近は灰色味をおびる。④口縁の一部にスス付着。
28	土師器 杯	口(13.8) 底(9.0) 高[4.2]	850-800グリッド2片 図示部の1/3	口縁部内面に働かない放射状の腐文。内底には腐文はなさそう。外面のヘラ削りは乾地が進んだ段階で行なう。	①G。素地粒径じりの細砂が多い。他の混入物なく磨減。②酸化色。普通。③にぶい焼7.5YR6/4ではほぼ一様。
29	土師器 杯	口(14.6) 高[4.8]	850-795グリッド3片 口縁1/6、底部1/2	口縁内縁は小さく内折れする。外面の削りはやや丁寧で、削り残しがない。内面は比較的平滑。	①Bに近い。雷母の混入は少ない。②酸化色。③にぶい焼7.5YR5/4ではほぼ一様。
30	土師器 杯	口(11.0) 高4.5	850-795グリッド2片 1/2個体	口縁外縁中位は無彫装飾で指痕状の窪みが残る。内面は強いナデで布目状の擦痕が通っている。	①Bに近い。混入物は少ない。②酸化色。③にぶい焼7.5YR6/4。灰色味をおびるムラあり一様でない。
31	土師器 高杯	口20.5 高[7.3]	925-770グリッド36片 杯部のみ5/6	磨削り付け部分はソケット状。外底部の削りは細かい。内外面のナデは鋭い擦痕が残る。	①E。赤褐色底物の混入やや多い。②酸化色。やや軟調。③明赤味やYR5/6。黒色味の強いムラ広い。④二次焼成により器面は黒い。
32	土師器 埴	口9.8 高5.8	845-810グリッド5片 ほぼ定存	薄手。内底にヘラ状工具の強いナゲの痕が残る。外底付近は細かく丁寧な削りで比較的平滑に仕上げられる。	①G。粗砂サイズの細多量混入物多い。②酸化色。軟調。③にぶい焼7.5YR5/4。黒色味、赤色味の強いムラあり。断面は黒色味強い。
33	土師器 埴	口(10.0) 高(5.8) 高[4.8]	920-770グリッド3片 図示部の1/4	外縁のナデ強く、小さな稜ができる。肩部内面に指痕状の窪みが高まる。	①Bに近い。混入物は細粒で少ない。②酸化色。③にぶい焼7.5YR5/4。内面は赤色味をおびる。
34	土師器 埴	胴(9.0) 底2.8~3.1	920-775グリッド10片 体部1/3、底部定存	内底は上げ底状。外面胴部下半に僅かな削り、肩部付近は平滑。内面は指痕による斜位の強いナゲで圧痕状。	①③Cにきわめて近い。同一個体の可能性あり。③外面に小黑点あり。
35	土師器 瓶	口19.3 高[9.8]	910-790グリッド8片 図示部の1/2	口縁上部は外方へ小さく肥厚している。外面の削りは細かく弱い。	①G。ザックリした素地で粗砂サイズの混入やや多い。②酸化色。③にぶい黄焼10YR7/3。断面まではほぼ一様。
36	土師器 壺	口(13.0) 高(11.4) 高[15.7]	865-800グリッド7片 図示部の1/3	外面の削りは規則的で、口縁部は磨きに近い。口縁内面にのみ横位のヘラ磨きが見られる。	①C。混入物は少ない。②酸化色。普通。③焼7.5YR5/6。黒色味の強いムラ多い。④二次焼成あり。外面はほぼ全面にスス付着。
37	土師器 甕	口(22.2) 高[6.3]	855-795グリッド2片 図示部の1/5	器面磨減し整形痕不明瞭。削りは砂粒の移動はあまり見えない。内面は削り付近も平滑に仕上げられる。	①Fに近い。細砂の混入も多い。②酸化色。やや軟調。③にぶい焼7.5YR6/4で断面まではほぼ一様。
38	土師器 甕	口(21.4) 高[6.0]	850-800グリッド 図示部の1/6	口縁上部はわずかにつまみ上げる。外面の削りは口縁下半まで達する。	①G。やや砂質で細かな混入物含む。②酸化色。硬調。③焼7.5YR5/6ではほぼ一様。
39	土師器 甕	口(23.6) 高[6.2]	850-795グリッド 図示部の1/5	やや厚手。口縁上部は弱く肥厚する。外面の削りはやや強。	①Bに近いが雷母の混入はわずか。②酸化色。変型としてはやや硬調。③にぶい焼7.5YR6/4で断面まではほぼ一様。
40	土師器 甕	口(24.2) 高[5.6]	850-800グリッド 図示部の1/6	口縁内縁に窪みが高まる。口縁外縁は弱い稜ができる。外面の削りは強い。内面は肩部付近も平滑。	①Bに近いが雷母の量は少ない。②酸化色。変型としてはやや硬調。③にぶい焼7.5YR6/4。外面に黒色味をおびるムラあり。
41	土師器 台付壺	口22.0 高6.5	850-795グリッド 図示部の1/5	口縁部に認められ、厚さも一定でない。外面の削りはやや強で、不規則に口縁部まで達している。	①A。②酸化色。③にぶい焼5YR6/4。外面灰色味をおびるムラあり。
42	軟質陶器 甕	口(21.2) 高[4.1]	850-800グリッド 図示部の1/4	右回転クワロカ。クワロ痕強い。厚手だが比較的軽量。	①Bに近いが雷母の混入は少ない。②還元不足充分。硬調。③黄赤2.5Y5/1-にぶい黄焼10YR6/4-一様でない。
43	土師器 甕	口14.5~17.1 高[9.9]	915-780グリッド7片 口縁ほぼ定存、肩部1/2	外面の削り弱い。内面の整形痕で、接合部が明瞭に残る。	①C。②酸化色。やや軟調。③にぶい焼7.5YR5/4。断面は灰色味をおびる。
44	土師器 台付壺	口(13.8) 高[15.7]	845-800グリッド14片 口縁1/6、胴部1/2、台部ほぼ定存	接合しない破片からの復元。器面磨減し整形痕不明瞭。内面のナデは斜目状の強い擦痕が残る。	①Bに近いが雷母の混入は少ない。②酸化色。③にぶい焼7.5YR5/3。赤色味おびるムラあり。④二次焼成の影響あり。カマド粘土付着する。
45	土師器 台付壺	台(9.0) 高[2.8]	850-800グリッド 断面3/4欠	器面磨減し整形痕不明瞭。外面中位に指痕状の規則的に並ぶ。	①Bにやや近いが混入物は不純で少ない。②酸化色。③にぶい焼7.5YR7/4で断面まではほぼ一様。
46	土師器 台付壺	台(10.2) 高[5.3]	5号住居 図示部の1/3	比較的厚手で接地面が平坦で、どしりしている。刷毛目は弱く不規則的。	①Bにやや近いが混入物は少ない。②酸化色。③にぶい焼7.5YR6/4。内面は明度低い。
47	土師器 台付壺	台[8.4] 高[7.0]	8号住居 図示部のうち台側部1/3欠	台部内面上半には指痕状が規則的に並ぶ。刷毛目はやや細かい。	①G。素地は緻密で粗砂サイズの混入物やや多い。②酸化色。やや硬調。③にぶい焼7.5YR7/3。断面は灰色味をおびる。④二次焼成の影響あり。
48	土師器 手取ね	口3.8 底4.0 高2.1	965-800グリッド 完形	手づくねとしては丁寧なつくりで外面は平滑。口縁部は意図的に波状にした可能性	①G。素地やや緻密で粗砂サイズの混入物やや多い。②酸化色。③にぶい焼7.5YR6/4。黒色味・赤色味おびるムラあり一様でない。

A 2区

No	器種	計量値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
49	須臾器 有台杯	□(14.2) 台(7.0) 高6.6	020-775グリッド6片。 口縁・高台は1/4、底部 ほぼ完存	右回転クローロー回転糸切り一回転利用高 台付け付け。内面のクローロー状に弱い。	①薄地やややく大粒の黒色鉱物の混入が目立つ。 ②還元焼、やや軟調。③灰7.5YR/1で断面白色味強い。 内底は重ね色味強いが赤色味おびる。
50	土師器 鉢台	□(7.1) 高7.0	965-765グリッド3片 脚部5/6を欠く	台部の孔は3箇所。底部の孔は中心を逃 れる。台部外面は強く丁寧なヘラ磨き。 内面も比較的平滑で裾部付近は刷毛目状 の痕跡。台部内面を除去赤彩。	①G。ややゴツゴツした裏地で混入物少ない。② 酸化焼。③にぶい黄褐色10YR/7。赤彩部は2.5YR 4/6。④口縁部底の剥落や摩滅顯著。
51	土師器 甕	□(13.2) 高[7.1]	960-775グリッド10片 口縁1/6、肩部1/3	厚手。外面の刷毛目は弱く、不明瞭な部分 も多い。肩部内面に見られる刷毛目状 のナダ痕のほうが明瞭。	①B。混入物は細粒で少量。②酸化焼。③にぶい黄 褐色10YR/6。外面は黒色味強い。
52	土師器 台付甕	台下9.0 高[6.6]	945-785グリッド9片 底部完存、台部1/2	厚手。接地部分が幅広く平坦。刷毛目は 強い。	①G。裏地は軽量。大粒の赤褐色鉱物の混入が目立 つ。②酸化焼。③にぶい黄7.5YR/3。赤色味・灰色 味おびるムラあり一様でない。
53	土師器 台付甕	台下8.2 高[7.1]	940-775グリッド5片 図示部の3/4	外底部に補強のための粘土貼り付け。刷 毛目は弱い。	①G。粗砂サイズの黒褐色鉱物が多い。②酸化 焼。③黒褐色10YR/2で断面は明度高い。④強い二次 焼成を受ける。
54	土師器 台付甕	台下(6.3) 高[5.0]	18号住居層改土内 台部1/2	外面刷毛目。台部の折り返し丁寧。内面 指痕の凹凸明瞭。内底と台部天井に砂 粒を多く含む粘土貼り付け。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焼。硬調で焼 き過ぎ。③にぶい黄褐色10YR/3。断面は黒色味 強い。

B区

No	器種	計量値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
55	土師器 特殊鉢台	□(19.8) 高[7.0]	050-770グリッド11片 V層土内 底部完存、口縁部1/2	厚手で重量。内面のナダには一部へら状工 具の擦痕が残る。内底の穿孔は中心をや や透れる。	①CとDの中間的な粘土。②酸化焼。③にぶい黄 褐色10YR/7。灰色味・赤色味をおびるムラあり。
56	土師器 鉢台	□9.1 台下(12.0) 高[9.8]	040-780グリッド3片 上半完存、台部1/3	やや厚手。台部3孔と底部孔いずれも径 広い。台部外面の縮み磨き下に細かな刷 毛目状痕跡が明瞭に残る。内面も比較的 平滑で裾部付近は刷毛目状痕跡。	①G50の器台に類似する。②酸化焼、やや硬調。④ 口縁上端のみやや摩滅する。
57	土師器 甕	□16.6 口(2.2) 高9.3	045-780-785グリッド C混土内22片 上半完存、孔徑は残存各 寸で不確実	外面縦位・内面は縦位で口縁部付近のみ 横位の、ともに丁寧なナダで平滑に仕上 げられる。	①Bに近い。混入物はやや粗粒。②酸化焼。③にぶ い黄褐色10YR/6。内面は明瞭で強い。④外面口 縁上半に剥落の多い部分があり、強として重ね の痕跡と思われる。内面スチ付着物。
58	土師器 埴	□(13.6) 高10.2	070-760グリッド C混土内3片 口縁部1/4、底部完存	外底は不規則に窪む。外面下半の削りや や摩。器面摩滅し整形痕不明瞭。	①D。②酸化焼。③黄7.5YR/6。赤色味・灰色味 の強いムラあり、一様でない。④内面下半に剥落 顯著。
59	土師器 小型甕	□(8.4) 底3.7 高9.5	045-780グリッド C混土内22片 口縁1/6、底部2/3	外底はわずかに上げ底状。外面のやや縮 み磨きの下に、粗い刷毛目が残る。内面 のナダは丁寧なナダで底部にへら痕が残る。	①Bに近い。器母は少なく、赤褐色鉱物目立つ。 ②酸化焼、やや軟調。③にぶい黄7.5YR/6。外面に黒 色味おびる。
60	土師器 小型甕	□10.2 脚15.7 高[15.2]	045-780グリッド C混土内23片 底部を除去しは完存	やや厚手で底部は特に滑り。口縁の内面 には縮みナダ、外部外面は縮みナダ削り で比較的平滑に仕上げられる。	①G。裏地やややく混入物も比較的少ない。 ②酸化焼。③にぶい黄褐色10YR/4。④ 破損後に一部の破片が二次焼成。
61	土師器 甕	底(4.8) 高[3.0]	050-780グリッド C混土内の2片 図示部の1/2	外面下層に縮みへら磨き、外底には丁寧 なヘラ削り。内面一部に刷毛目状のナダ 痕がわずかに残る。	①G。裏地やややく混入物も比較的少ない。 ②酸化焼。③にぶい黄褐色10YR/4。④ 破損後に一部の破片が二次焼成。
62	土師器 甕	脚(25.4) 高[20.3]	045-780グリッド C混土内15片 図示部の1/3	口縁・底部ともに欠き、極き不安。外面の 縮み縦位へら磨きの下に、粗い刷毛目が 明瞭に残る。内面は比較的平滑。外面と 口縁内面に赤彩。	①G。ややザツザツした裏地に粗砂サイズの混入物 は少量含む。②酸化焼。③にぶい黄褐色10YR/2で断 面は黒色味をおびる部分あり。赤彩部は10R4/4。 ④破損後に一部の破片が二次焼成。
63	土師器 甕	□(24.0) 高[6.6]	070-770グリッド C混土内 図示部の1/6	器面摩滅し整形痕やや不明瞭。口縁削り 返しで口縁と断面に指痕改状工一単位 を以上上。肩部は縦位状か。内面も比較 的平滑。	①Aに近い。混入物はあるがあまり多くない。②酸化 焼や硬調。③にぶい黄7.5YR/3で、灰色味・黄色味 おびるムラあり一様でない。④二次焼成の可能性。 口縁内面下半に剥落多量。
64	土師器 甕	□(17.4) 高[6.1]	045-780グリッド C混土内2片 図示部の1/6	口縁外面は折り返しの上に縮みナダで 丁寧に痕跡を消す。外面肩部は縦位の強く 丁寧なナダが、頸部付近に刷毛目が残 る。内面は縦位の丁寧な磨き。	①G。裏地ややザツザツしているが、混入物少 ない。②酸化焼。③にぶい黄7.5YR/3で内面は やや赤彩強い。
65	土師器 甕	□(12.0) 高[3.9]	050-785グリッド 図示部の1/4	口縁部は外方へ折り返し。外面には縦位 の縮みへら磨きが部分的に見られる。内 面は比較的平滑。	①G。砂質や赤褐色鉱物の混入が目立つ。②酸化 焼。③灰褐色7.5YR/4/2で断面一部黒色味強い。④二次 焼成。
66	土師器 甕	□(18.2) 高[13.3]	040-780グリッド C混土上の9片 図示部の1/6	やや厚手。外面および口縁内面に粗い刷 毛目の上に縮みへら磨き。頸部内面は粗 い刷毛目が残る。	①G。裏地やややく、赤褐色鉱物等の粗い混入目 立つ。②酸化焼。③にぶい黄褐色10YR/3で灰色味 おびるムラあり。④破損後二次焼成の破片あり。
67	土師器 台付甕	□(12.2) 脚(15.8) 高[8.7]	040-775グリッド6片 図示部の1/4	厚手。小ぶりの土器としては幅広い刷毛 目となる。内面はへら状工具使用のナダ 痕がわずかに残る。	①C。石炭灰や目立つ。②酸化焼、やや硬調。③ にぶい黄褐色10YR/3。内面は赤色味、断面は灰色 味をおびる。
68	土師器 台付甕	□(11.0) 高[3.3]	045-050-780グリッド C混土内の3片 図示部の1/3	外面の刷毛目はきわめて細かく、単位は 不明瞭。粘土の硬調がほとんど消す。内 面整形痕不明だが比較的平滑。	①Bに近いが器母の混入は少ない。②酸化焼。 ③にぶい黄褐色10YR/6。断面は黒色味強い。

B・C区・取付道のその他の遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
69	土師器 土付甕	□(14.8) 高[4.3]	045-780グリッド C 覆土内の7片 図示部の1/4	胴毛目は細かく1単位9本以上。内面は指頭状の窪みがあり平滑さ欠く。	①Bに近いが器中の混入物少ない。②酸化焼。③にぶい黄2.5Y6/6。外周下半は灰色。断面は黒色味強い。
70	土師器 土付甕	□(13.0) 高[5.7]	045-780グリッド C 覆土内の10片 図示部の1/4	口縁内面に沈線状の窪み。胴毛目は粗く重なり多く単位不明。内面は指頭状の窪み凹凸あり。	①G。混入物少なく緻密。②酸化焼。③灰黄褐10YR6/2。断面黒色味強い。
71	土師器 土付甕	□17.8-16.7 高[5.3]	020-755グリッド C 覆土内の8片 口縁完存。肩部1/3	肩部に2単位以上の横線あり。胴毛目は間隔長いが比較的均等に並び1単位8本。内面は比較的平滑。	①C。黒黄やや黄褐色。白色薄片の混入目立つ。②酸化焼。③にぶい黄褐10YR7/3。灰色味・赤色味おびるムラあり一様でない。内面灰色。④二次焼熱の影響強い。
72	土師器 土付甕	□(17.4) 高[6.2]	045-780グリッド C 覆土内の1/6	胴毛目は細かく1単位9本以上。肩部内面はヘラ状工具のナデが残る。平滑さ欠く。	①G。粗多量。②酸化焼。③にぶい黄褐10YR5/3。外周は黒色味の強いムラあり。断面は黒色。
73	土師器 土付甕	台(9.4) 高[6.8]	050-780グリッド C 覆土内 底部完存。台部1/2	内底部分には割いへう磨きで変態としてはきわめて平滑に仕上げられる。台部外面に残る胴毛目はごく僅か。	①Bに近いが器中の混入物やや少ない。②酸化焼。③にぶい黄5YR6/6。形度の低いムラあり。④二次焼熱。
74	土師器 土付甕	台9.1 高[5.3]	070-770グリッド C 覆土内の7片 図示部はほぼ完存	胴毛目は弱く細かい。台部に胴毛目はほとんど残らず、台部に内側に折り返し、指頭痕が残る。	①C。混入物の粒径やや粗い。②酸化焼。③にぶい黄7.5YR6/3。断面は黒色味強い。④内底部分の剥落進む。
75	土師器 高杯か	脚7.0 高[5.1]	050-780グリッド C 覆土内の3片 図示部の2/3	器面磨滅し整形痕不明瞭。杯部とはツケアットの接合をしたものと思われる。脚部外面に横線のヘラ磨き。	①BとDの中間的な粘土。赤褐色底物やや目立つ。②酸化焼。③黄5YR5/6で一部に黄色味おびたムラあり。

C区

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
76	須恵器 杯	□(12.0) 高[3.7]	177-178グリッド7片 図示部1/3	歪みあり。右回転クローカー回転ヘラ切り難し後縁辺に回転ヘラ削り。内底に渦巻巻きのクローカー痕。	①G。長石らしい薄片以外混入物少ない。②還元焼。やや硬質。③灰白5Y8/1で断面まで一様。
77	須恵器 短頸甕	□(10.8) 高[10.5]	135-760グリッド11片 図示部の1/3	有蓋の甕で外面肩部に焼成時の蓋の痕跡が残る。高台は「ハ」の字状に開く。右回転クローカー高台取り付け。内面にクローカー痕強い。	①G。底物部としてはややザラリした高台だが混入物少ない良好。②還元焼。③灰10Y4/1。内面は明度黄褐色、断面ではセピア色味強い。肩部でわずかに見られる降伏状は白色味をおびる。
78	かわらけか	□7.6 底4.8 高2.1	180-750グリッド B 覆土下 図示部はほぼ完存	厚手で内底平坦。付着物のため回転方向や切り難し手法が観察できない。	②削削れ目まで覆い付着物のため観察できない。④付着物で全面光沢のある黒色を呈している。一部で燈台痕状に見える。
79	かわらけ	底6.0 高[1.9]	110-755グリッド Aa-B 覆土内(C区) ほぼ完形	左回転クローカー回転切り無調整。クローカーはきわめて弱い。	①Bに近い。混入物は細かい。②やや酸化気味。③黄灰2.5Y。内面やや黄色味をおびる。④口縁部に燈台痕状のス付着箇所多量。
80	土師器 杯	□(12.0) 高[3.7]	177-178グリッド 泥流堆内3片 図示部1/3	口縁の内面の形状は一定していない。器面ややや痒。外底の削りは細かい。	①Aに近い。やや硬質で片割の混入はわずか。②酸化焼。土師器としては硬質。③黄5YR6/4。外周一部は赤色味さらに強い。
81	土師器 杯	□(11.8) 高[4.0]	23号溝12片 ほぼ完形	口縁上縁は内側に折れる。口縁外周下半は無調整だが比較的平滑。外底の削りは弱い。	①G。黒黄やや黄褐色。混入物は細粉サイズで比較的緻密。②酸化焼。③にぶい黄7.5YR7/4。断面はやや黄色味をおびる。
82	土師器 杯	□(13.2) 高3.3	190-755グリッド2片 口縁1/6。底部3/4	やや薄手。口縁端部は前内折れしている。内底中央窪む。口縁外面は無調整。外底の削りは弱い。	①G。比較的緻密。輝石・チート等の混入やや目立つ。②酸化焼。やや硬質。③にぶい黄7.5YR6/4で断面まで一様。
83	土師器 杯	□(15.6) 高3.8	14ピット内6片 口縁若干。底部1/2	口縁端部ややや実。外底の削りは強い。内底中央やや窪むが、全体は平滑。	①G。比較的緻密。赤褐色底物・パミス等の混入やや多い。②酸化焼。③にぶい黄5YR6/4。断面は黄色味強い。
84	土師器 杯	□(12.2) 高3.6	190-755グリッド2片 口縁1/6。底部3/4	薄手。口縁内面は一部で肥厚している。内面は指頭状の凹凸あり。外周口縁下半も無調整。外底端部は弱い。	①G。比較的緻密。輝石・パミス等の混入物は小粒でやや多い。②酸化焼。やや硬質。③にぶい黄7.5YR6/4で断面まで一様。
85	土師器 甕	□(17.4) 高[8.8]	C 覆土内の5片 図示部1/3	外底の削りは強く細かい。内面のナデは幅広い工具痕が残る。	①G。粗粒の混入物も散見できる。②酸化焼。③にぶい黄7.5YR5/3。外周に赤色味・黒色味をおびるムラあり。
86	土師器 甕	□(18.2) 高[7.8]	125-760グリッド3片 図示部1/6	薄手。口縁上縁は外方へわずかに肥厚している。	①G。器質が他の混入物も少ない。②酸化焼。③にぶい黄7.5YR7/4でほぼ一様。
87	土師器 土付甕	□9.4 台7.3 高14.2	C区125-765グリッド C 覆土内29片 ほぼ完形	口縁部は「コ」の字に近いような形。口縁内面に近い沈線が部分的に覗いている。胴毛目は細かく1単位6本以上。	①G。器質が他の混入物少ない。ための指輪合針が1本だけ観察できる。②酸化焼。③にぶい黄7.5YR6/4で断面まで一様。④二次焼熱の影響が外周下半にあり。
88	土師器 平埴	□7.3-7.8 底3.6 高[6.3]	125-765グリッド C 覆土内20片 底部除去はほぼ完存	口縁部外面に折り返し。外面弱く短い胴毛目。内面は上半に胴毛目あり。	①G。ザラリした高台で混入物は少ない。②還元焼。③灰2.5Y7/2。断面は黄色味をおびる。④内面にスス状の付着物あり。

取付道E区

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
89	須恵器 短頸甕	□(10.6) 高[4.3]	口縁若干。肩部1/2	右回転クローカー。径・傾き不安。肩部にわずかに波状文が見える。	①G。比較的緻密な高台に砂粒の混入やや多い。②還元焼。やや硬質。③灰10Y6/1でほぼ一様。灰黄色の降伏状がわずかにかる。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
90	土師器 壺	□11.8 高[6.8]	取付道E区V層土8片 口縁完存、胴部1/3	口縁部内面には積位の丁寧なへう磨き。外面は総位主体のへう磨きの下に一部細かな砺毛目が残っている。	①G。裏地の緻密さは欠くが、混入物は少ない。②酸化塩。やや軟調。③にぶい黄褐色10YR7/2で断面まで一様。
91	土師器 台付甕	□(13.6) 高[5.0]	取付道E区V層土4片 胴部1/3	砺毛目は1単位10本以上。胴部内面は工具使用のナデでへう磨りのような極微が残る。	①G。緻密で混入物少なく粒径も小さい。②酸化塩。③にぶい黄褐色10YR7/3で断面ほぼ一様。断面中央に黒色味の強い部分あり。
92	土師器 台付甕	□(17.0) 高[7.2]	取付道E区CⅡ土内4片 胴部1/3	砺毛目幅太で1単位9本以上。横刷毛は狭く、胴部上位に高る。	①G。磨粉サイズの混入物を多量に含む。②酸化塩。③にぶい黄褐色10YR7/2。断面一部で黒色味をおびる。

9 上滝覆町北Ⅲ遺跡

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師質土器 甕	□(10.6) 高2.2	Aa-BⅡ混下 1/3胴体	底面糸切りと縦目圧痕あり。体部の縦刷目深い。口縁部外面に、吸灰小斑あり。	①酸化小粒・鉱物含む。②酸化塩。③浅黄褐色7.5YR8/4。④15世紀。
2	陶器 燈火皿	□(12.4)	1号溝埋土 1/4胴体	体部外面下方を除き軟輪。体部外面下方回転磨削り。外面に一部吸灰付着。	①緻密。②陶質層還元。外面酸化塩。③暗褐色10YR3/3。④18世紀。
3	陶器 甕	最大径(8.9)	5号溝埋土 体部片	外面に茶味の強い鉛輪跡され、部分的に糸線施文あり。内面上方縦刷目あり。	①緻密。②陶質層還元。外面酸化塩。③にぶい黄褐色10YR4/3。④18世紀。
4	磁器 小碗	□(8.8) 高3.6	4号溝埋土	高古瀬を除き白磁輪。磨う輪下に染付施文あり。高台端部鉄足状に酸化。	①緻密。②還元塩。③暗灰白7.5YR7/1。④18世紀。
5	土師器 杯	□(12.9)	4・5号溝埋土	内面刷文状縦磨あり。外面下半に細かな磨削り。	①鉱物含む。②酸化塩。③褐色7.5YR6/6。④全体に消脱気味。
6	土師器 高杯	□(17.6) 高14.8	15号溝埋土	全体に漂白化。胎面消脱気味。杯部下面に磨削り。杯部は出納接合。胴部上方紋目。	①鉱物含む。②酸化塩。③浅黄褐色7.5YR8/4。
7	石製 石鉢	長13.2	Aa-AⅡ混 ほぼ完成形	全体に打ち欠き面と稜部は消脱気味。やや肉厚。	①黒色安山岩。

写 真 图 版



1 南側から眺めた下滝天水道跡周辺



2 上空から眺めた下滝天水道跡 (D)

PL-2 遠景・陥穴状土坑



1 北側から眺めた下滝天水道跡 (A区)



2 91号土坑 (東から)



3 47号土坑 (西から)



4 48号土坑 (西から)



5 82号土坑 (南から)



1 1号方形周溝墓(南から)



2 1号方形周溝墓遺物(2)出土状態



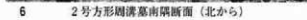
3 2号方形周溝墓(東から)



4 2号方形周溝墓遺物出土状態(西から)



5 2号方形周溝墓立ち上がり状態



6 2号方形周溝墓南隣断面(北から)



7 2号方形周溝墓南隣遺物(5・6・7他)出土状態

PL-4 A1区の竪穴住居



1 1号住居 全景 (南西から)



2 1号住居 遺物出土状態 (南から)



3 1号住居 カマド断面 (東から)



4 1号住居 床下土坑断面 (南から)



5 2号住居 全景 (西から)



6 2号住居 カマド (西から)



7 3号住居 遺物出土状態 (西から)



8 3号住居 掘り方 (西から)



1 4号住居 全景 (南東から)



2 5号住居 全景 (東から)



3 6号住居 全景 (東から)



4 6号住居 カマド遺物(3)出土状態 (西から)



5 7号住居 全景 (東から)



6 7号住居 遺物出土状態 (東から)



7 7号住居 カマド断面 (南から)



8 7号住居 カマド遺物(7・8・14・16・17)出土状態 (西から)

PL-6 A1区の竪穴住居



1 8号住居 全景 (南から)



2 8号住居 カマド遺物(1~3個)出土状態 (南から)



3 9号住居 全景 (西から)



4 9号住居 カマド断面 (南から)



5 10号住居 全景 (北から)



6 10号住居 遺物出土状態 (北から)



7 10号住居 貼床断面 (南西から)



8 10号住居3号ピット断面 (南から)



1 11号住居 全景 (東から)



2 11号住居 掘り方 (東から)



3 12号住居 全景 (南西から)



4 13号住居 全面 (東から)



5 13号住居 遺物出土状態 (東から)



6 13号住居 断面 (南から)



7 14号住居 全景 (北西から)



8 14号住居 カマド断面 (西から)

PL-8 A1区の竪穴住居



1 15号住居 全景(西から)



2 15号住居 カマド(北から)



3 15号住居 断面



4 16号住居 全景(南西から)



5 17号住居 遺物出土状態(北東から)



6 17号住居 カマド(南西から)



7 18号住居 遺物(10)出土状態(西から)



8 18号住居 カマド全景(西から)



1 20号住居 掘り方全景(東から)



2 20号住居 遺物(5・8)出土状態(南から)



3 21号住居 使用面(北東から)



4 21号住居 床下土坑断面(西から)



5 22号住居 全景(西から)



6 23号住居 全景(南から)



7 24号住居 全景(西から)

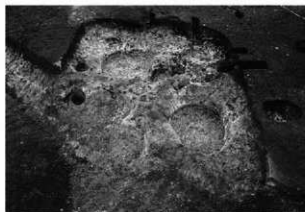


8 24号住居 カマド断面り全景(南から)

PL-10 A1区の竪穴住居



1 25号住居 遺物出土状態 (西から)



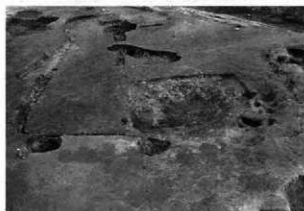
2 25号住居 掘り方全景 (西から)



3 25号住居 カマド断割り断面 (西から)



4 25号住居 南壁際出土遺物(1~5他)(西から)



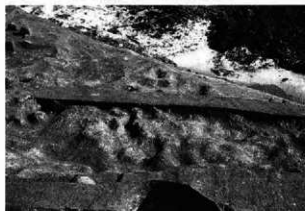
5 26号住居 全景 (西から)



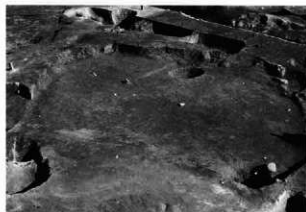
6 27号住居 カマド断面 (南から)



7 28号住居 全景 (北から)



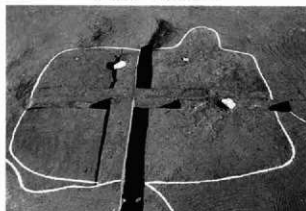
8 28号住居 床下断面 (西から)



1 29号住居 全景 (西から)



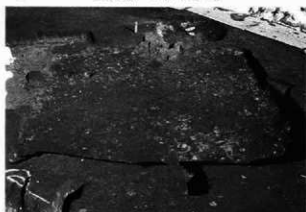
2 29号住居 カマド遺物(9)出土状態 (西から)



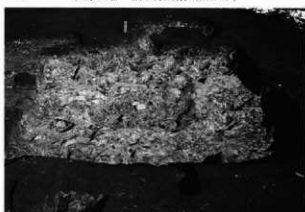
3 30号住居 全景 (西から)



4 30号住居 掘り方全景 (西から)



5 31号住居 全景 (西から)



6 31号住居 掘り方全景 (西から)

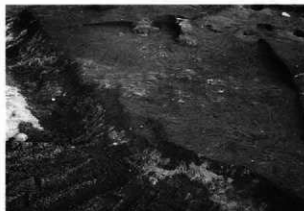


7 32号住居 全景 (西から)



8 33号住居 全景 (西から)

PL-12 A1区の竪穴住居



1 34号住居 全景 (西から)



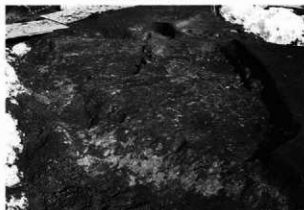
2 34号住居 カマド前遺物(1~5)出土状態 (西から)



3 35号住居 全景 (南から)



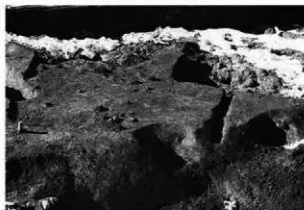
4 35号住居 掘り方全景 (東から)



5 36号住居 全景 (西から)



6 36号住居 カマド掘り方断面 (南から)



7 37号住居 遺物出土状態 (南から)



8 37号住居 掘り方全景 (北から)



1 38号住居 全景 (西から)



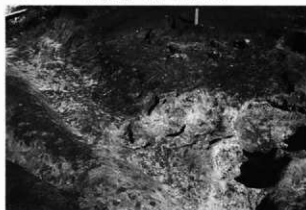
2 38号住居 掘り方全景 (西から)



3 39号住居 床面 (南西から)



4 39号住居 北西隅床上粘土 (北から)



5 40号住居 全景 (西から)



6 40号住居 掘り方全景 (西から)

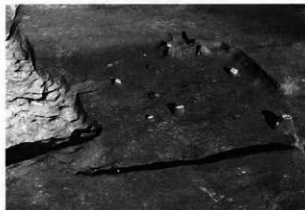


7 41号住居 全景 (南西から)



8 41号住居 掘り方全景 (南西から)

PL-14 A1区の竪穴住居



1 42号住居 全景 (西から)



2 42号住居 掘り方全景 (南から)



3 42号住居 カマド遺物(3)出土状態 (西から)



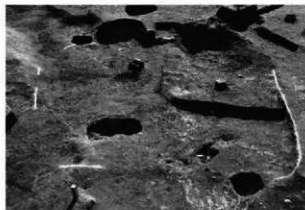
4 43号住居 全景 (西から)



5 43号住居 掘り方断面 (北から)



6 43号住居 遺物(4・5・20)出土状態



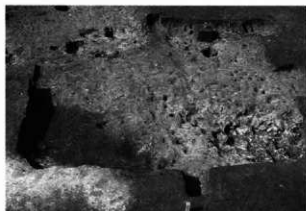
7 44号住居 全景 (北から)



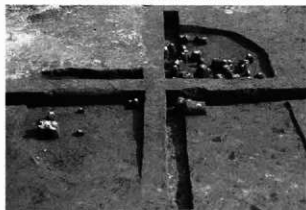
8 45号住居 全景 (北西から)



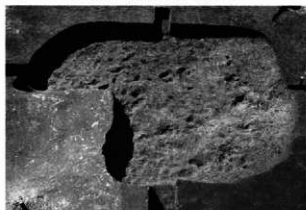
1 1号住居 断面と遺物(5)出土状態(南から)



2 1号住居 掘り方全景(東から)



3 2号住居 遺物出土状態(北東から)



4 2号住居 掘り方全景(北東から)



5 3号住居 全景(西から)



6 3号住居 貯蔵穴遺物(5・6)出土状態(北から)



7 4号住居 遺物出土状態(西から)



8 4号住居 掘り方全景(西から)

PL-16 A2区の竪穴住居



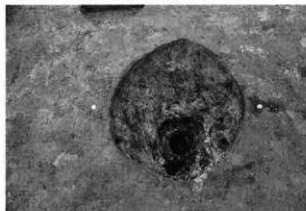
1 5号住居 伊断面 (西から)



2 6号住居 撮り方全景 (南東から)



3 7号住居 全景 (南から)



4 7号住居 P3 (南から)



5 8号住居 遺物出土状態 (南から)



6 8号住居 全景 (西から)



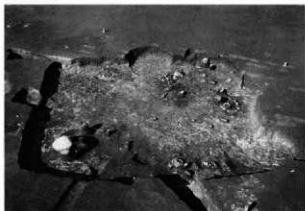
7 9号住居 遺物出土状態 (南から)



8 9号住居 全景 (南から)



1 9号住居 掘り方全景 (南から)



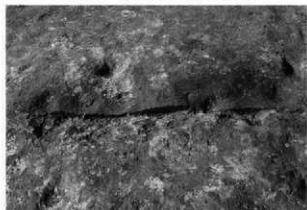
2 10号住居 遺物出土状態 (南から)



3 10号住居 遺物 (1・3他) 出土状態



4 10号住居 全景 (南から)



5 10号住居 炉断面



6 11号住居 全景 (南から)



7 11号住居 掘り方断面 (東から)



8 12号住居 遺物出土状態

PL-18 A2区の竪穴住居



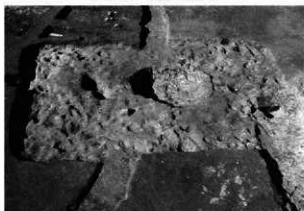
1 12号住居 カマド断面



2 12号住居 全景(西から)



3 13号住居 P3遺物(1~3)出土状態



4 13号住居 掘り方全景(南から)



5 14号住居 掘り方全景(南から)



6 15号住居 遺物出土状態(東から)



7 15号住居 掘り方全景(東から)



8 16・17号住居 全景(東から)



1 18号住居 全景 (南から)



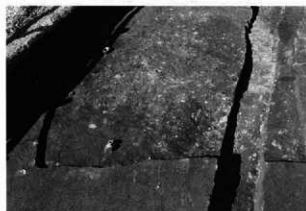
2 18号住居 掘り方全景 (西から)



3 18号住居 カマド (西から)



4 18号住居 遺物出土状態



5 19号住居 全景 (南から)



6 19号住居 掘り方全景 (東から)



7 20号住居 全景 (東から)



8 20号住居 遺物 (4・7・11) 出土状態

PL-20 A2区の竪穴住居



1 21号住居 遺物出土状態 (南から)



2 21号住居 掘り方全景 (南から)



3 22号住居 全景 (西から)



4 22号住居 遺物 (1・3・5) 出土状態



5 23号住居 掘り方全景 (東から)



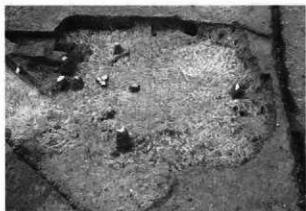
6 25号住居 全景 (東から)



7 26号住居 全景 (西から)



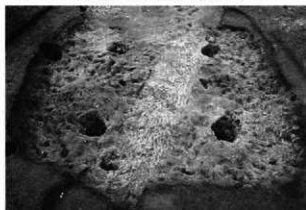
8 26号住居 カマド遺物 (12~14他) 出土状態



1 27号住居 掘り方全景 (北東から)



2 28号住居 全景 (南から)



3 28号住居 掘り方全景 (南から)



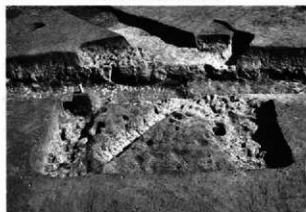
4 29号住居 掘り方全景 (東から)



5 31号住居 全景 (東から)



6 32号住居 全景 (東から)



7 32号住居 掘り方全景 (西から)



8 33号住居 全景 (南から)

PL-22 B区・C区の竪穴住居



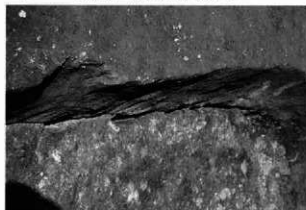
1 B区1号住居 全景 (南から)



2 1号住居 掘り方全景 (南から)



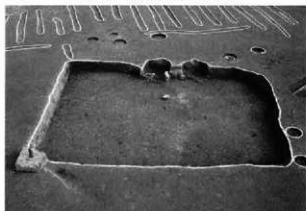
3 1号住居 焼土出土状態 (南から)



4 1号住居 矢板直西壁 (南から)



5 C区1号住居 断面 (西から)



6 2号住居 全景 (西から)



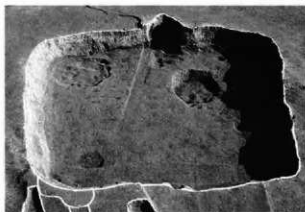
7 2号住居 掘り方全景 (西から)



8 2号住居 カマド (西から)



1 C区3号住居 遺物出土状態 (西から)



2 3号住居 掘り方全景 (西から)



3 6号住居 掘り方全景 (東から)



4 7号住居 掘り方 (東から)



5 取付F区1号住居 掘り方全景 (東から)



6 2号住居 全景 (南から)



7 2号住居 カマド断面 (南から)



8 3号住居 北壁断面 (南から)



1 1号溝 (東から)



2 1号溝断面 (西から)



3 1号溝1区遺物出土状態 (西から)



4 1号溝3区遺物出土状態 (東から)



5 1号溝3区刷形石製品出土状態 (南東から)



6 1号溝5区上層遺物出土状態 (南東から)



7 1号溝5区下層遺物出土状態 (東から)



1 2号溝 (北東から)



2 2号溝断面 (西から)



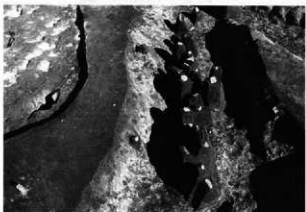
3 2号溝1区遺物出土状態 (東から)



4 2号溝2区遺物出土状態 (東から)



5 2号溝3区遺物出土状態 (西から)



6 2号溝4区遺物出土状態 (南西から)



7 2号溝4区 (50・51) 出土状態 (南から)

PL-26 A区古墳時代の溝



1 A 2区13号溝 (南から)



2 13号溝遺物出土状態 (北から)



3 A 2区16号溝 (南東から)



4 A 1区16号溝遺物出土状態 (南から)



5 A 1区111号土坑断面 (南から)



6 111号土坑 (南西から)



7 A 2区1号溝 (南東から)



1 4号溝 (北から)



2 4号溝1区 (西から)



3 4号溝2区 (北東から)



4 4号溝5区上層遺物出土状態 (北から)



5 4号溝5区下層遺物出土状態 (南から)



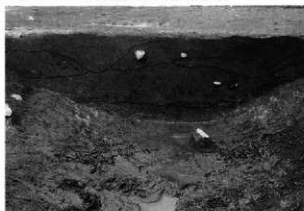
6 4号溝南隅 (西から)



1 4号溝7・8区(北から)



2 4号溝C-C'断面(南から)



3 4号溝G-G'断面(南から)



4 5号溝上層遺物出土状態(南から)



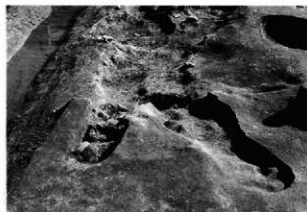
5 5号溝下層遺物出土状態(北から)



6 5号溝B-B'断面(南から)



7 5号溝E-E'断面(西から)



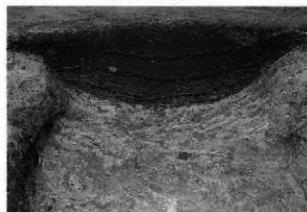
1 3・8号溝 (東から)



2 3・8号溝断面 (東から)



3 6号溝断面 (南東から)



4 7号溝断面 (南西から)



5 7号溝 (東から)



6 9号溝断面 (西から)



7 14号溝板碑出土状態 (西から)

PL-30 その他の溝2 A1区の溝



1

11・12号溝 (北から)



2

13号溝 (西から)



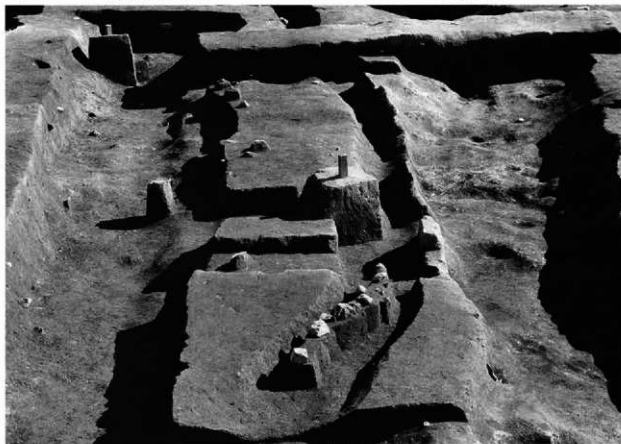
3

14号溝断面 (西から)



4

15号溝断面



5 14・15・9号溝 (西から)



1 A1区17号溝 (北から)



2 18号溝 (東から)



3 20号溝断面 (南から)



4 20号溝 (南から)



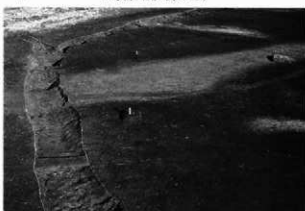
5 A2区2号溝 (北西から)



6 2号溝西側 (東から)



7 3号溝 (東から)



8 3号溝 (西から)

PL-32 その他の溝 4 A2区の溝



1 4号溝 (南東から)



3 4・5号溝 (南東から)



2 5号溝 (南東から)



4 6号溝断面 (南東から)



5 6・7号溝 (北西から)



6 7号溝断面 (南東から)



7 8号溝 (西から)



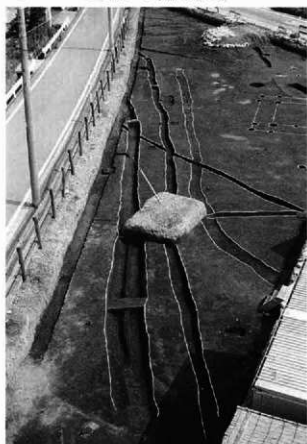
1 A2区北隣の溝群断面（南から）



2 B1区3・2号溝（西から）



3 5・4・3号溝（南西から）



4 12・7・14・13号溝（北から）



5 12号溝断面（南から）



6 15号溝断面（東から）



1 B1区11・16号溝 (南東から)



2 24号溝 (南から)



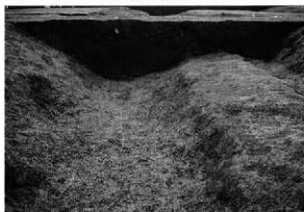
3 C区1号溝 (西から)



4 2号溝 (東から)



5 4・6号溝断面 (東から)



6 5・5'号溝断面 (東から)



1 11号溝 (南東から)



2 14号溝断面 (西から)



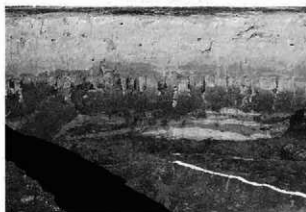
3 16・15号溝 (南から)



4 17号溝 (西から)



5 19・36号溝 (南から)



6 34・35号溝断面 (南から)



7 34・35号溝 (北西から)

PL-36 その他の溝 8 C区・取付道D区の溝



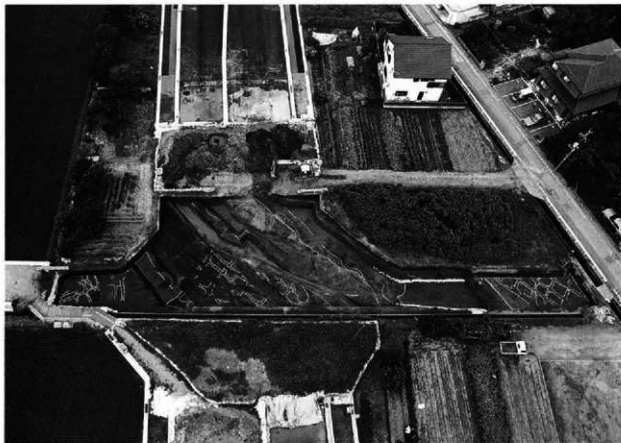
1 C区33号溝 (東から)



2 38号溝断面 (東から)



3 大溝 (南東から)



4 C区・取付道D区の泥流下溝群 (北上空から)



1 1～3号溝 (西から)



2 4号溝断面 (東から)



3 5号溝 (南から)



4 7・8号溝 (西から)



5 14・19号溝 (南から)



6 24・11・20・12・12B・13号溝 (北東から)

PL-38 その他の溝10 D区・E区の溝



1 D区29・30・28・27号溝 (南上空から)



2 31号溝



3 32・33号溝 (東から)



4 34・35号溝 (南から)



5 E区54～57号溝 (東から)



1 取付道A区2～5号溝 (北西から)



2 7・9・10・14号溝 (北西から)



3 11～13号溝 (西から)



4 23号溝断面 (東から)



5 取付道B区1号溝 (南から)



6 2号溝断面 (南から)



7 取付道C区1号溝 (西から)



8 2号溝 (西から)

PL-40 その他の溝11 取付道C・E区の溝



1 取付道C区3・5・6号溝(南から)



2 4号溝(東から)



3 取付道E区3・10・12号溝(南から)



4 4号溝(南から)



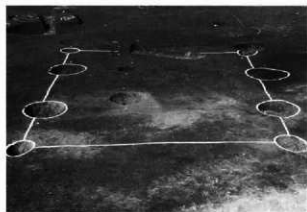
5 7号溝断面(北から)



6 6号溝(北から)



7 17号溝断面(南から)



1 A1区1号掘立柱建物 (南から)



2 A1区3号掘立柱建物 (南から)



3 A1区1号柱列 (南東から)



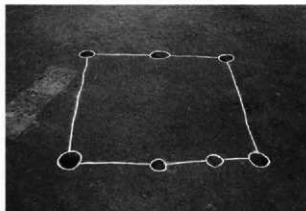
5 A2区1号掘立柱建物 (南から)



4 A1区875-795グリッド付近 (西から)

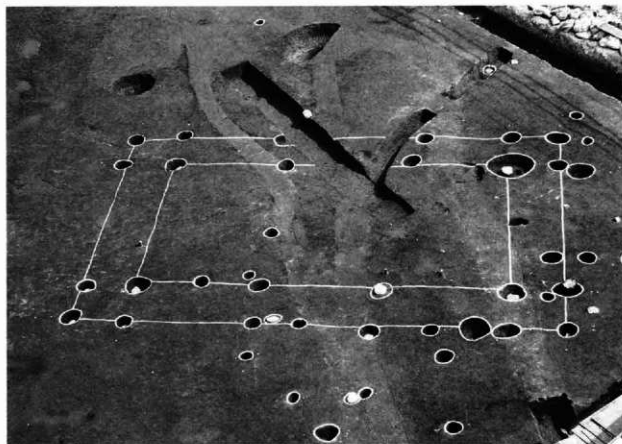


6 C区1号掘立柱建物 (東から)



7 C区2号掘立柱建物 (南から)

PL-42 B区1号掘立柱建物



1 B区1号掘立柱建物 (北から)



2 P 4断面 (南から)



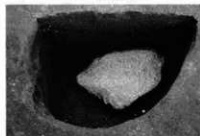
3 P 5 (南から)



4 P 6断面 (南から)



5 P 9断面 (南から)



6 P 14断面 (南から)



7 P 15断面 (南から)



8 P 17 (南から)



9 P 18 (南から)



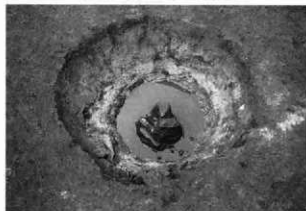
10 P 22 (南から)



1 A1区1号井戸断面（南東から）



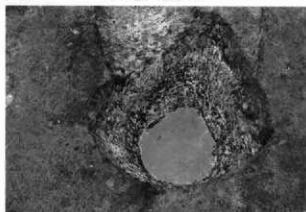
2 2号井戸断面（東から）



3 2号井戸（北から）



4 3号井戸礫出土状態（東から）



5 3号井戸（北から）



6 4号井戸上層礫出土状態（北から）



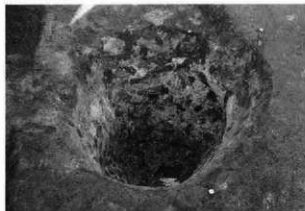
7 4号井戸下層石組み状態（北から）



8 4号井戸底面（北から）



1 A1区5号井戸断面(北から)



2 5号井戸(東から)



3 6号井戸(北から)



4 6号井戸掘出土状態(北から)



5 7号井戸断面(南西から)



6 7号井戸(北から)



7 A2区1号井戸下層断面(南西から)



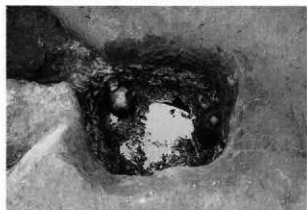
8 1号井戸(南から)



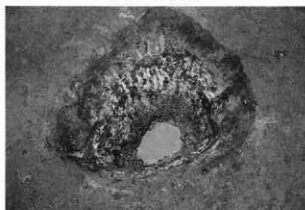
1 A2区2号井戸発出土状態(西から)



2 2号井戸(西から)



3 8号井戸遺物出土状態(東から)



4 4号井戸(南から)



5 5号井戸遺物出土状態(東から)



6 5号井戸(東から)

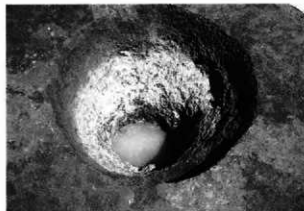


7 6号井戸(西から)

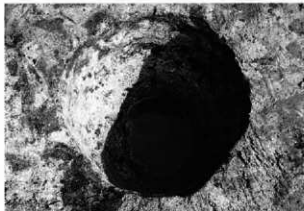


8 7号井戸(北から)

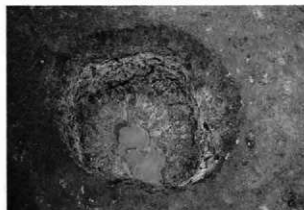
PL-46 井戸4・粘土探掘坑



1 B区1号井戸 (西から)



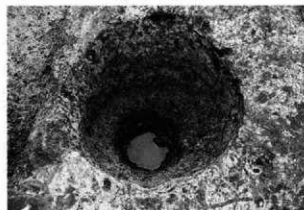
2 2号井戸



3 3号井戸 (南から)



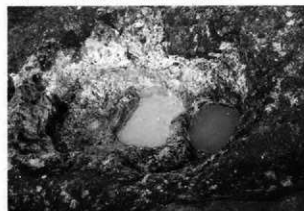
4 4号井戸断面



5 取付道E区1号井戸 (北東から)



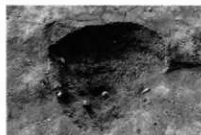
6 1号井戸上面礫出土状態 (北東から)



7 A1区粘土探掘坑 (西から)



8 粘土探掘坑断面 (南西から)



1 1号土坑



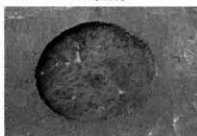
2 2号土坑



3 3号土坑



4 4号土坑



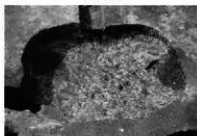
5 5号土坑



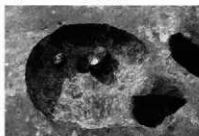
6 6号土坑



7 8・7号土坑



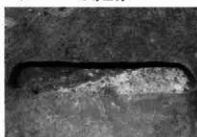
8 9号土坑



9 10号土坑



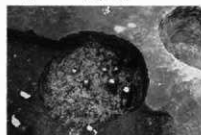
10 11号土坑



11 12号土坑



12 13号土坑断面



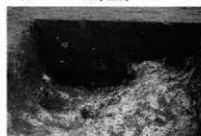
13 14号土坑



14 15号土坑断面



15 16号土坑



16 17号土坑断面

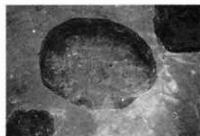


17 18号土坑

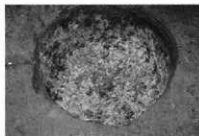


18 19・20号土坑

PL-48 土坑2 A1区の土坑



1 21号土坑



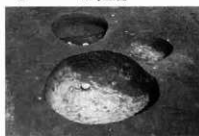
2 22号土坑



3 23号土坑



4 24号土坑



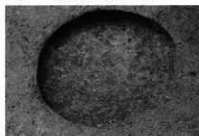
5 24・25・26号土坑



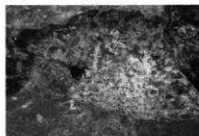
6 27号土坑



7 28号土坑断面



8 29号土坑



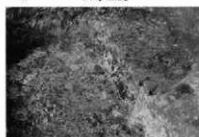
9 30号土坑



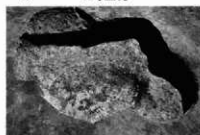
10 31号土坑



11 32号土坑



12 33号土坑



13 31・32・33号土坑



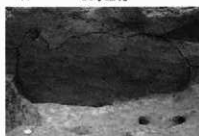
14 34号土坑



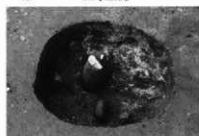
15 35号土坑



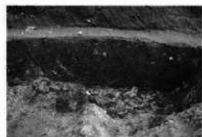
16 36号土坑断面



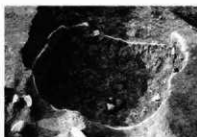
17 37号土坑断面



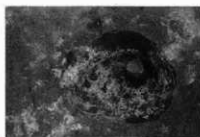
18 38号土坑



1 39号土坑断面



2 40号土坑



3 41号土坑



4 42号土坑



5 43号土坑



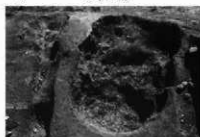
6 44号土坑



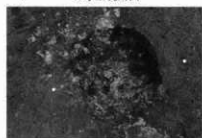
7 45号土坑断面



8 46号土坑断面



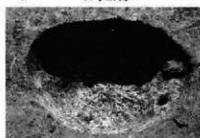
9 50号土坑



10 51号土坑



11 52号土坑



12 53号土坑



13 54号土坑



14 55号土坑



15 56・57・58号土坑



16 59号土坑

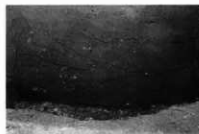


17 60号土坑

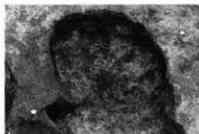


18 61号土坑

PL-50 土坑4 A1区の土坑



1 62号土坑断面



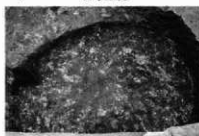
2 63号土坑



3 64・65号土坑



4 66・67号土坑



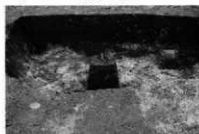
5 68号土坑



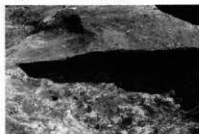
6 69号土坑



7 71号土坑断面



8 72号土坑断面



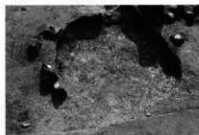
9 73号土坑断面



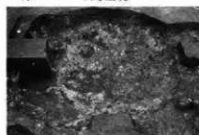
10 74号土坑



11 75号土坑



12 76号土坑



13 77号土坑



14 78号土坑



15 79号土坑



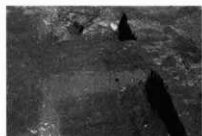
16 80号土坑



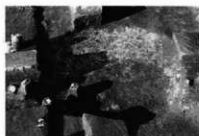
17 81号土坑



18 83・84号土坑



1 85号土坑断面



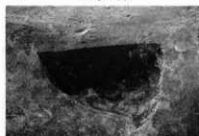
2 86号土坑



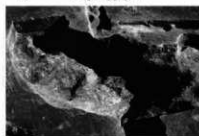
3 87号土坑断面



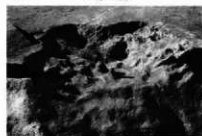
4 88号土坑



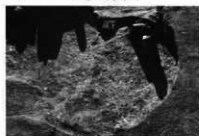
5 89号土坑断面



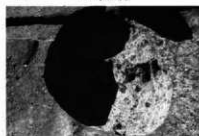
6 90号土坑



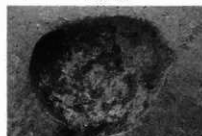
7 92号土坑



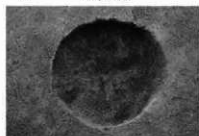
8 93号土坑



9 94号土坑



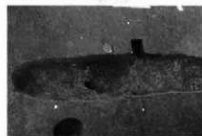
10 95号土坑



11 96号土坑



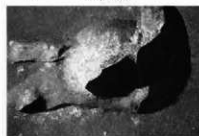
12 97号土坑



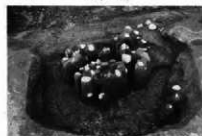
13 98号土坑



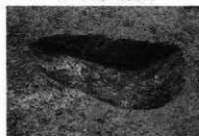
14 99・100号土坑断面



15 99・100号土坑



16 101号土坑



17 102号土坑断面

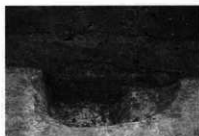


18 103号土坑断面

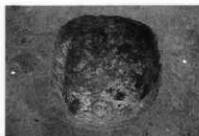
PL-52 土坑6 A1区の土坑



1 104号土坑断面



2 105号土坑断面



3 106号土坑



4 107号土坑



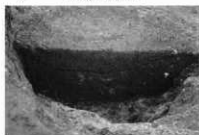
5 108号土坑断面



6 109号土坑



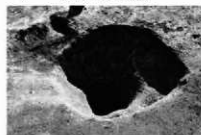
7 110号土坑 (墓坑)



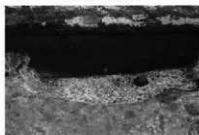
8 112号土坑断面



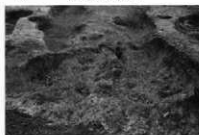
9 113号土坑断面



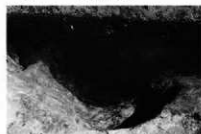
10 115号土坑



11 116号土坑



12 117号土坑



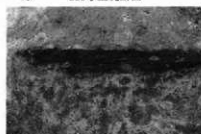
13 118号土坑断面



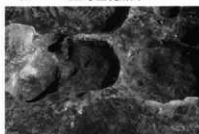
14 119号土坑断面



15 121号土坑断面



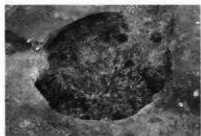
16 122号土坑断面



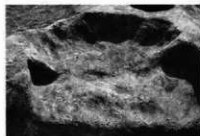
17 122・123号土坑



18 125号土坑断面



1 127号土坑



2 128号土坑



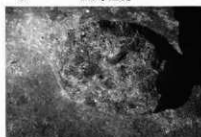
3 129号土坑



4 130号土坑断面



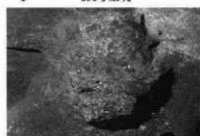
5 131号土坑



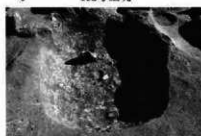
6 132号土坑



7 133号土坑



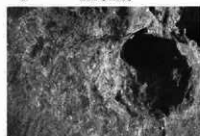
8 134号土坑



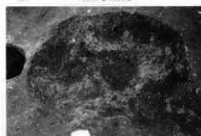
9 135号土坑



10 136号土坑



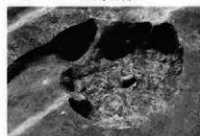
11 137号土坑



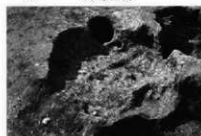
12 138号土坑



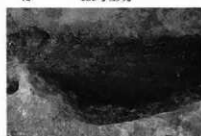
13 139号土坑



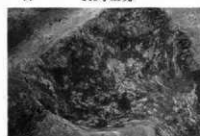
14 140号土坑



15 141号土坑



16 143号土坑断面



17 144号土坑

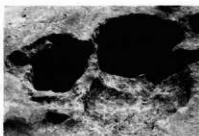


18 145号土坑断面

PL-54 土坑8 A1区・A2区の土坑



1 A1区146号土坑断面



2 147号土坑



3 148号土坑断面



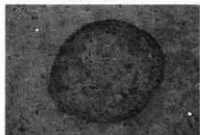
4 149号土坑断面



5 150号土坑断面



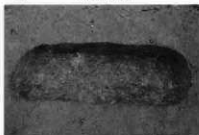
6 152号土坑



7 A2区1号土坑



8 2号土坑



9 3号土坑



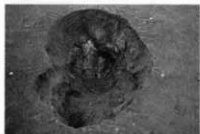
10 5号土坑



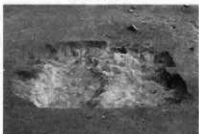
11 6号土坑断面



12 7号土坑



13 8号土坑



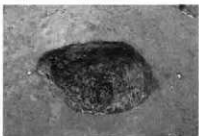
14 9号土坑



15 10号土坑



16 11号土坑



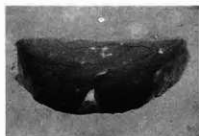
17 12号土坑



18 13号土坑・3号ピット断面



1 14号土坑



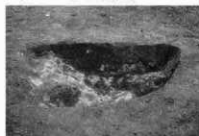
2 15号土坑断面



3 16号土坑



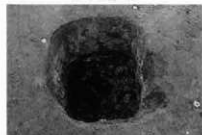
4 17号土坑断面



5 18号土坑断面



6 19号土坑断面



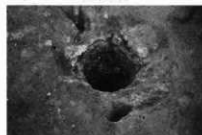
7 19号土坑



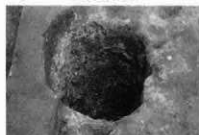
8 20号土坑断面



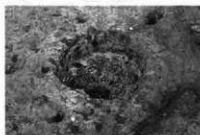
9 21号土坑



10 22号土坑



11 23号土坑



12 24号土坑



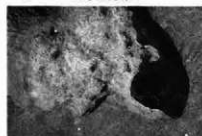
13 25号土坑断面



14 26号土坑



15 27号土坑



16 28・29号土坑



17 29号土坑



18 30号土坑断面

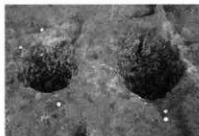
PL-56 土坑10 A2区の土坑



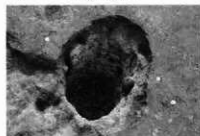
1 31号土坑断面



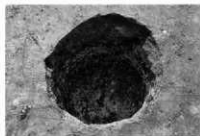
2 32号土坑



3 33・35号土坑



4 34号土坑



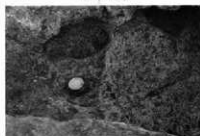
5 36号土坑



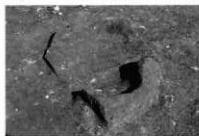
6 37号土坑



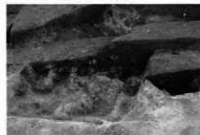
7 38号土坑断面



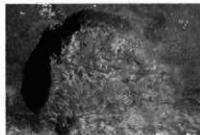
8 41・40号土坑



9 42号土坑



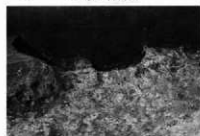
10 43号土坑断面



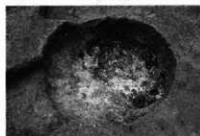
11 44号土坑



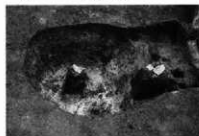
12 45号土坑



13 46号土坑断面



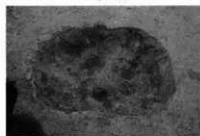
14 47号土坑



15 48号土坑



16 49号土坑



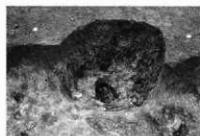
17 50号土坑



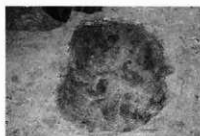
18 51号土坑断面



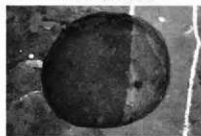
1 A 2区52号土坑断面



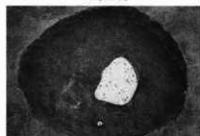
2 53号土坑



3 54号土坑



4 B区1号土坑



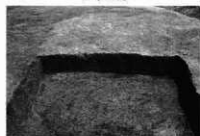
5 3号土坑



6 4号土坑断面



7 5号土坑



8 7号土坑断面



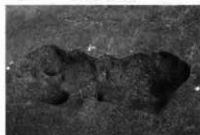
9 8号土坑断面



10 C区15号土坑



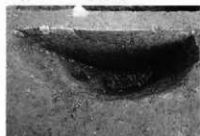
11 20号土坑



12 21号土坑



13 22号土坑



14 29号土坑断面



15 39号土坑断面



16 40号土坑断面



17 42号土坑



18 44号土坑

PL-58 土坑12 C区・E区・取付道の土坑



1 C区46号土坑断面



2 47号土坑断面



3 49号土坑



4 50号土坑



5 58号土坑断面



6 64号土坑



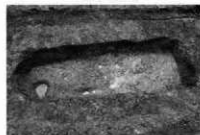
7 E区67号土坑



8 69号土坑



9 70号土坑



10 71号土坑



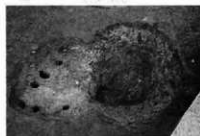
11 74号土坑



12 75・76・77号土坑



13 取付道C区1号土坑



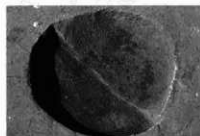
14 6・7号土坑



15 8号土坑断面



16 取付道E区1号土坑断面



17 2号土坑



18 5号土坑



1 D区北側のAs-B下水田 (上方が東)

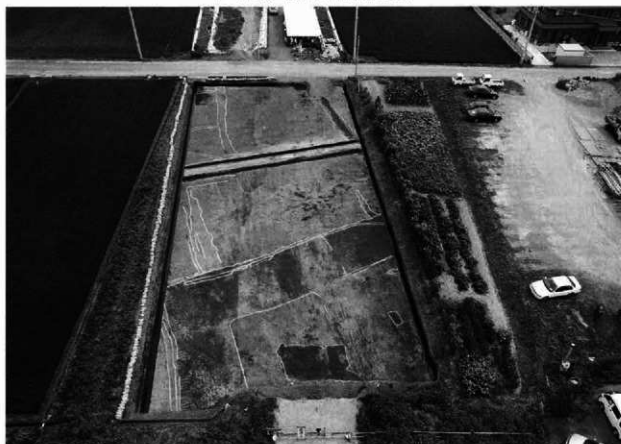


2 D区As-B下水田 (北側上空から)

PL-60 D区・E区As-B下水田



1 D区As-B下水田 (南側上空から)



2 E区As-B下水田 (北側上空から)



1 東隣の畦と田面（北から）



2 第7区画足跡列（西から）



3 畦沿いの足跡列（西から）



4 9号畦と水口（北から）



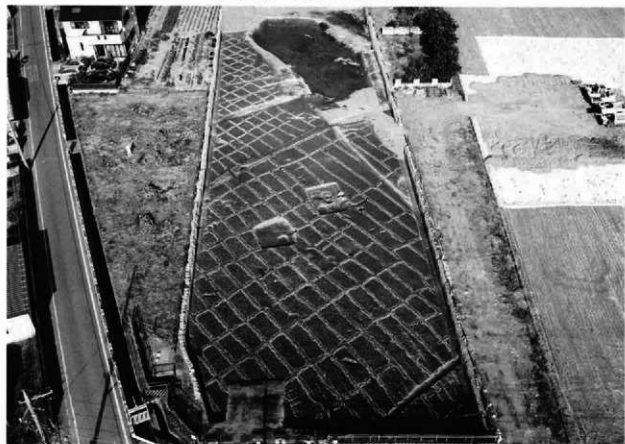
5 足跡確認状態



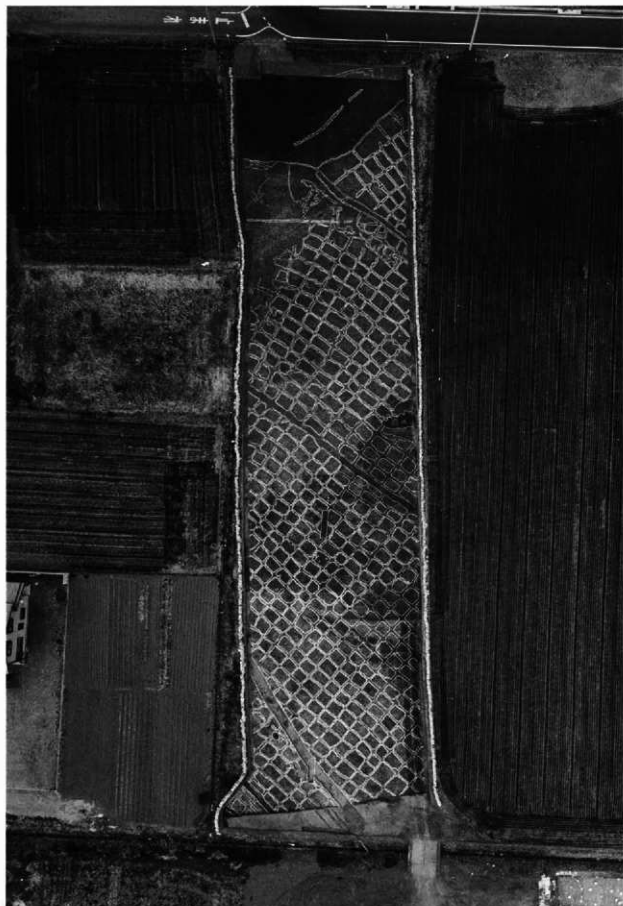
1 C区Hr-FA下水田 (上方が北)



1 C区Hr-FA下水田遠景 (南から)



2 C区Hr-FA下水田全景 (南から)



1 D区Hr-FA下水田 (上方が北)



1 C区南側Hr-FAT水田 (東から)



2 C区北側Hr-FAT水田 (東から)



1 D区Hr-F A下水田作業風景(南から)



2 D区Hr-F A下水田と北隣高地(北から)



1 D区Hr-FA下水田全景 (南から)



2 D区Hr-FA下水田全景 (北から)



3 D区Hr-FA下水田 降雨後の水没状況 (南から)



1 C区1号畦と水口(東から)



2 D区2号大畦(北西から)



3 C区畦区画(北から)



4 D区畦区画(北西から)



5 C区畦区画と水口(北西から)



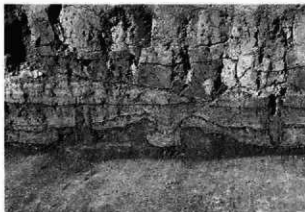
6 D区北西隅微高地と水田(北東から)



7 C区畦区画と水口(北西から)



8 C区水口(北西から)



1 C区140-770グリッド付近土層断面 (東から)



2 D区285-755グリッド付近畦断面



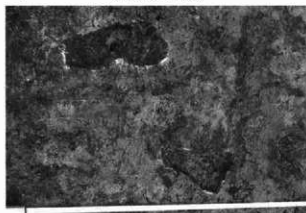
3 C区耕土断面



4 C区足跡確認状態



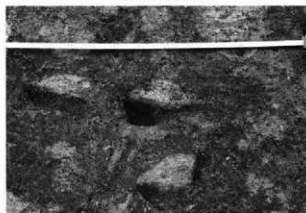
5 C区ヒト足跡確認状態



6 D区ヒト足跡



7 C区馬跡確認状態



8 D区馬跡



1 D区As-C混下水田全景 (北から)



2 C区As-C混下水田 (北から)



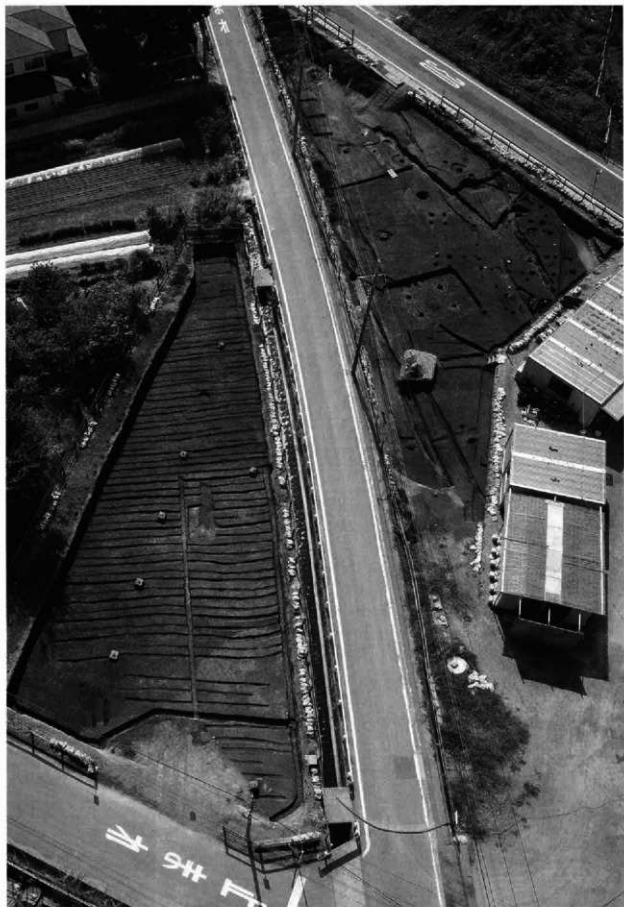
3 C区As-C混下水田 (北から)



4 D区As-C混下水田とFA下水田 (北西から)



5 D区As-C混下水田とFA下水田 (南東から)



1 B2区泥流下耕作痕全景（北から）



1 C区泥流下高全景（上方が北）



1 C区南隅泥流下耕作痕（北から）



2 B2区泥流下耕作痕（東から）



3 C区耕作痕内の掘削工具痕



4 B2区東壁断面



5 C区耕作痕内の掘削工具痕

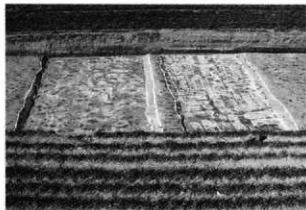
PL-74 C区・取付道A区泥流下耕作痕



1 C区北側泥流下耕作痕(南から)



2 取付道A区泥流下耕作痕(北から)



1 取付道C区275-675グリッド付近 As-A復旧前確認状態(東から)



2 同左 復旧痕



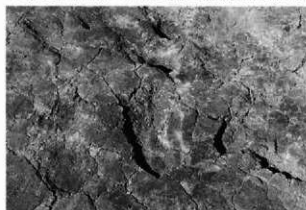
3 同上 復旧痕 鋤跡



4 取付道C区245-678グリッド付近 As-A復旧前確認状態(南東から)



5 取付道C区As-B下水田(南から)



6 取付道C区As-B下水田 ヒト足跡



7 取付道B区Hr-FA下水田(西から)



8 取付道A区Hr-FA下水田(北から)



1 A区道跡側溝 (西から)



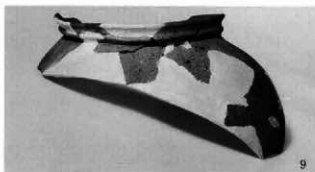
2 A区道跡側溝断面 (東から)



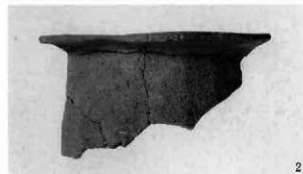
3 取付道F区道跡 (西から)



4 取付道F区道跡 (東から)

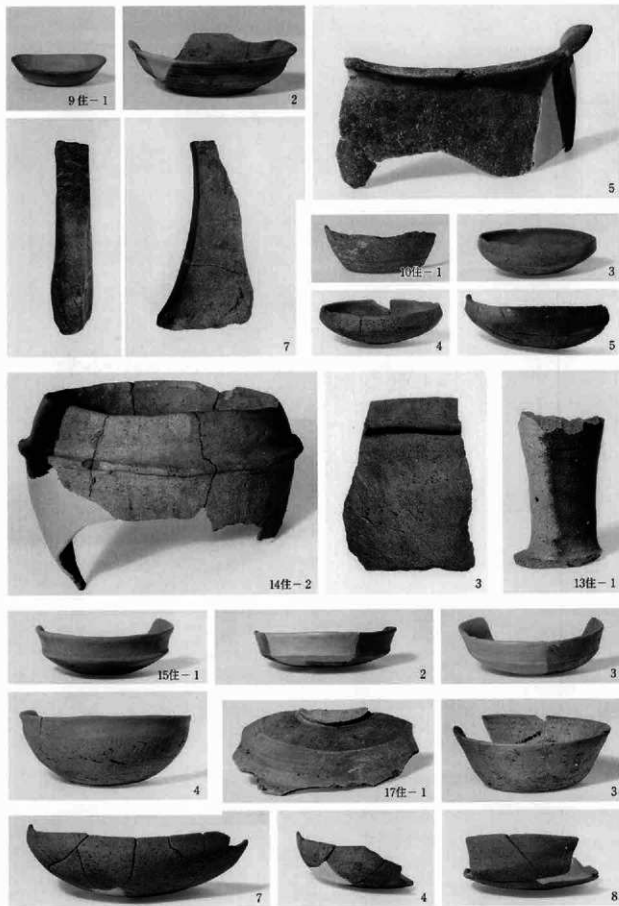


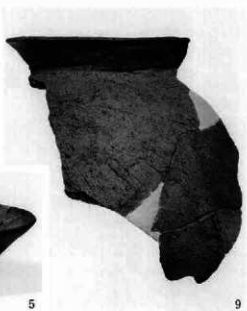
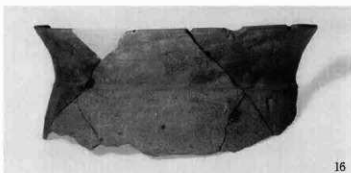
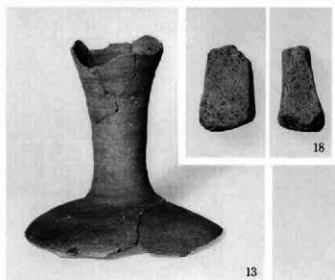
PL-78 A1区1~4・6・7号住居出土遺物



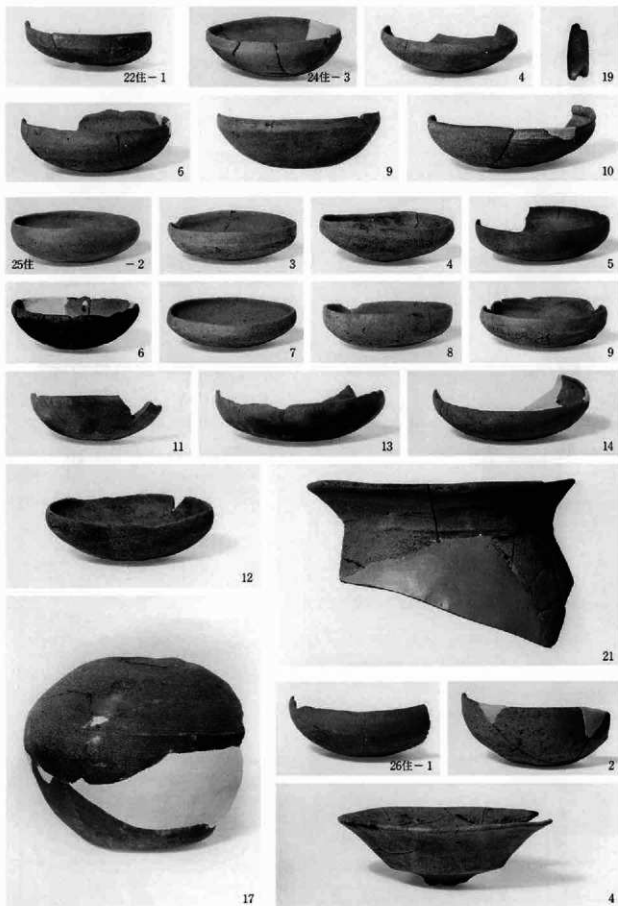


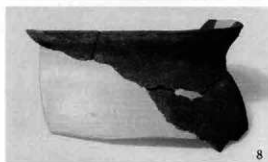
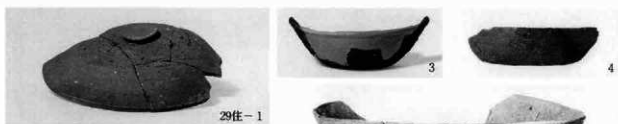
PL-80 A1区9・10・13~15・17号住居出土遺物



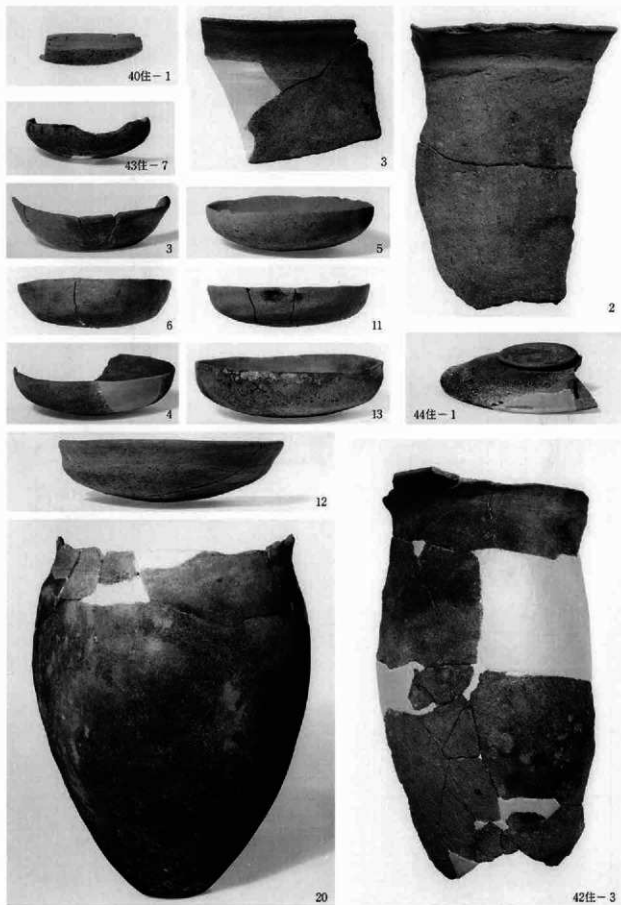


PL-82 A1区22・24~26号住居出土遺物

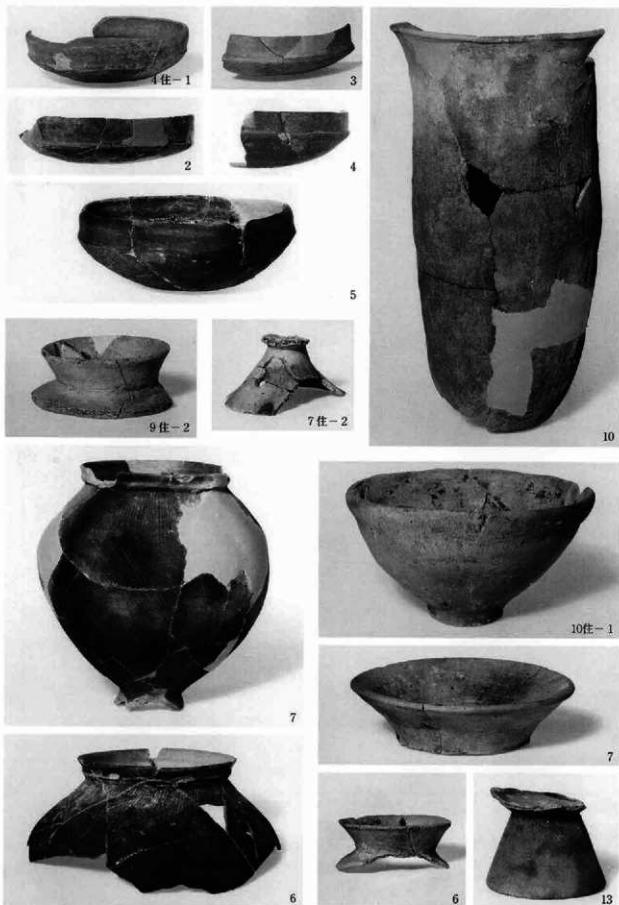














4



3



11



12



12住-1



9



3



6



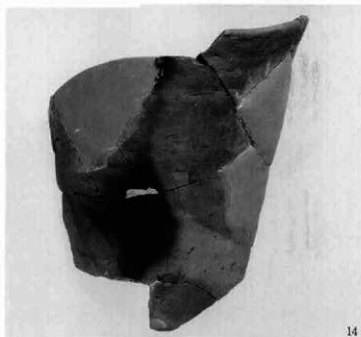
4

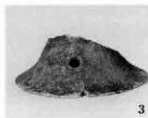


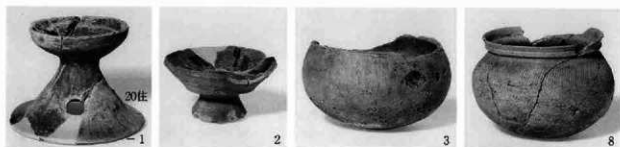
2



7









26住-2



1



3



5



7



12



13



14



11



15



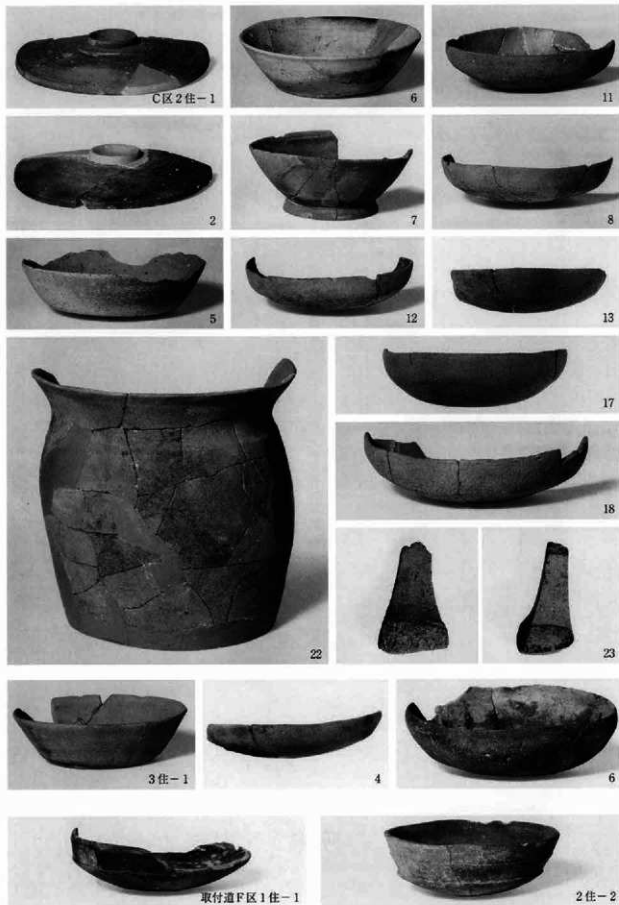
17



4



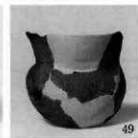
PL-94 C区・取付道F区住居出土遺物

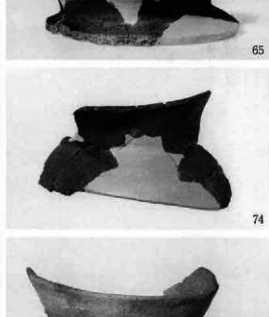








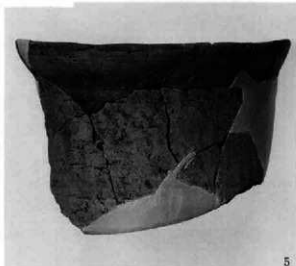
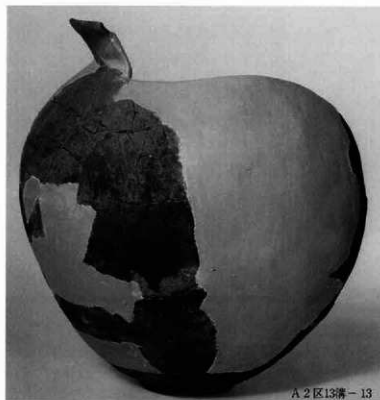


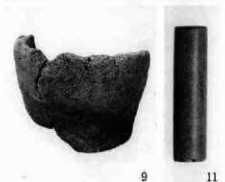


PL-100 A1区2号清出土遺物(4)

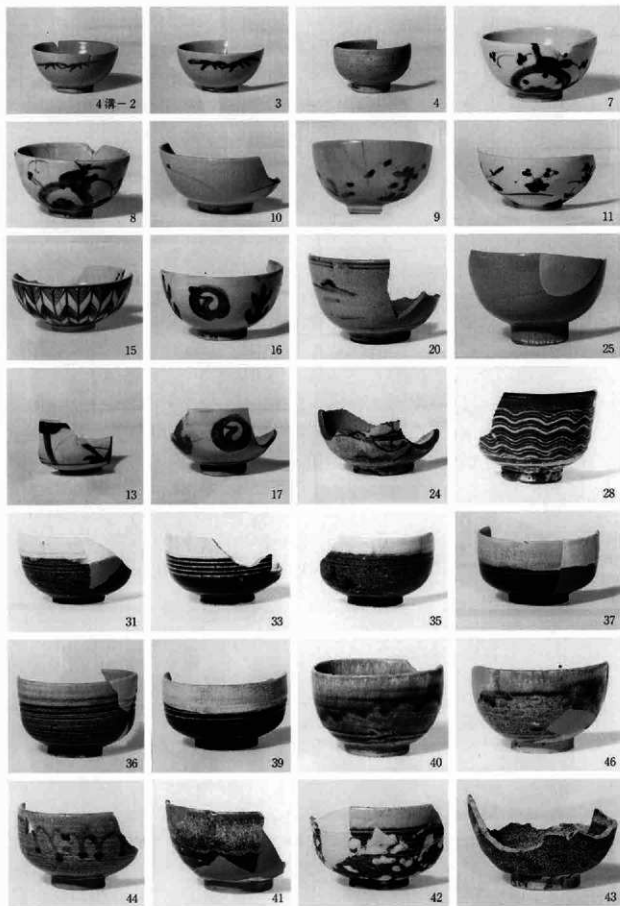


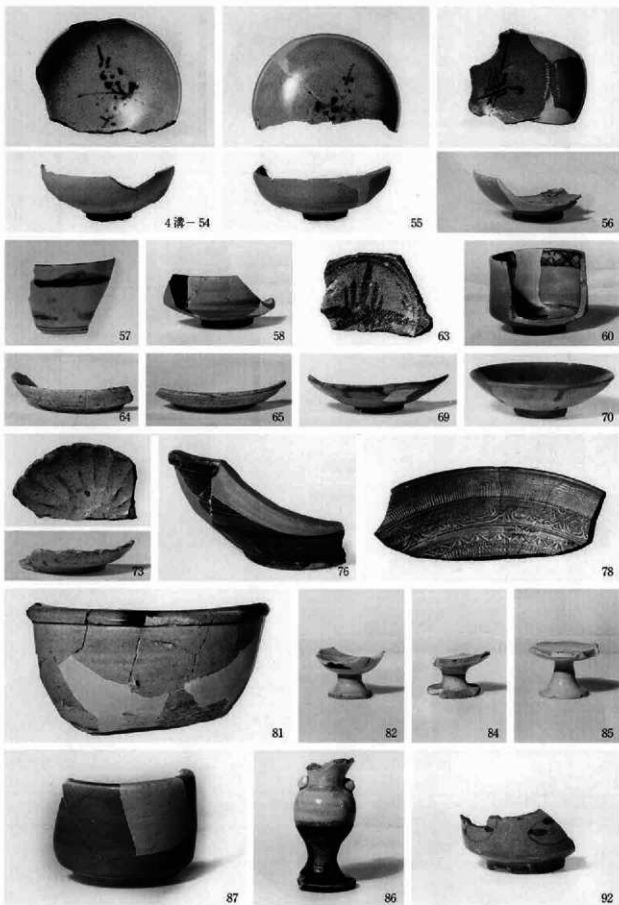


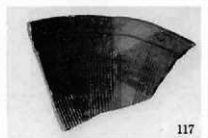




PL-104 A1区4号清出土遗物(1)









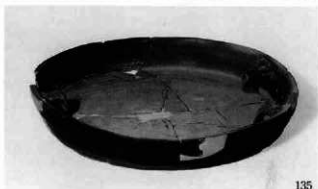
4溝-126



125



131



135



136



138



140



139



130

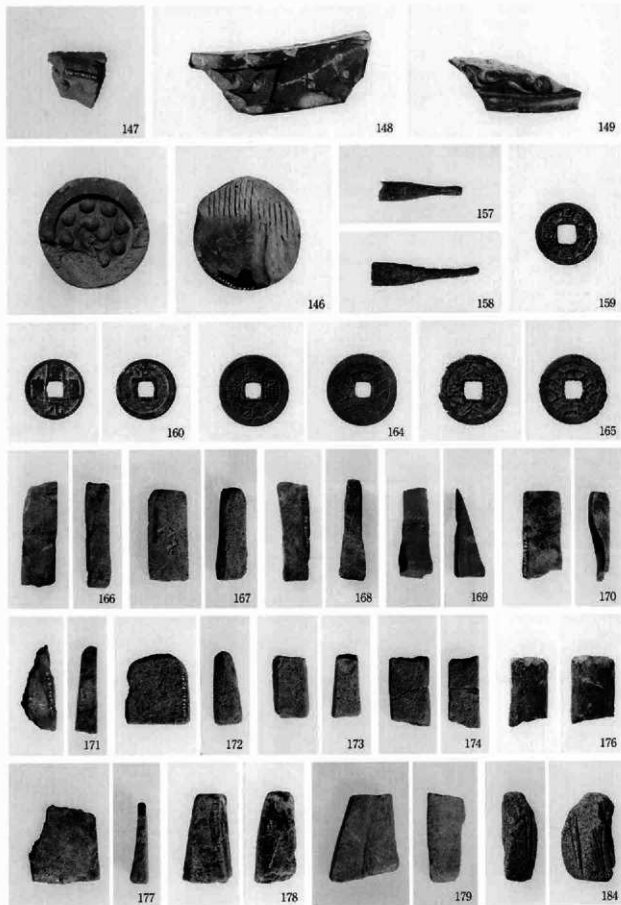


141



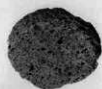
143

PL-108 A1区4号清出土遺物(5)





183



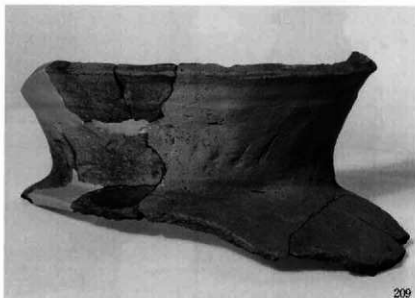
180

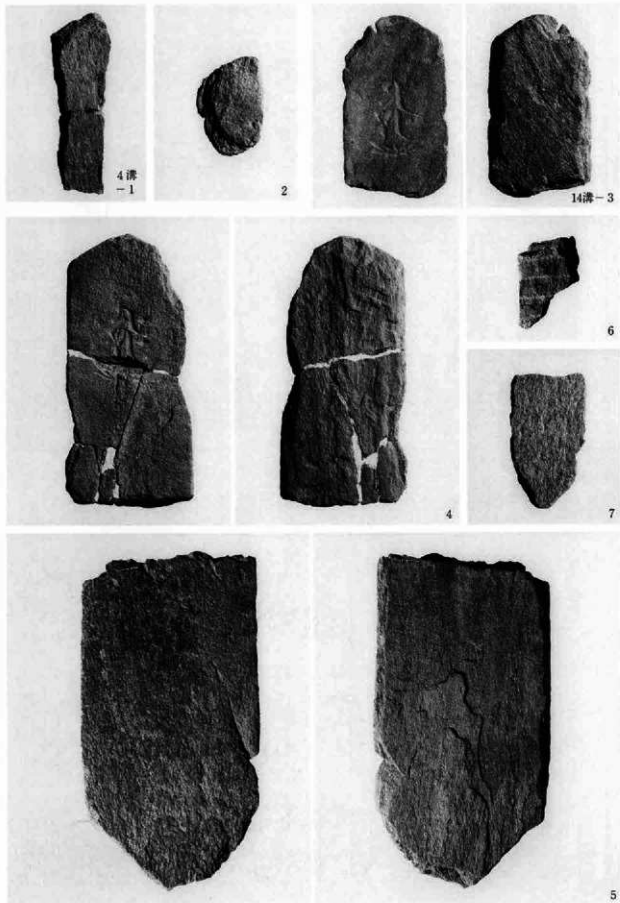


181



186







A 1区21溝-1



B 1区13溝-1



2



A 1区15溝-1



取付道
A区18溝-1



取付道C区3溝-1



C区5溝-1



19溝-1



44溝-1



大溝 2



3



50溝-3



4

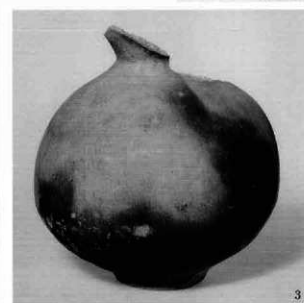
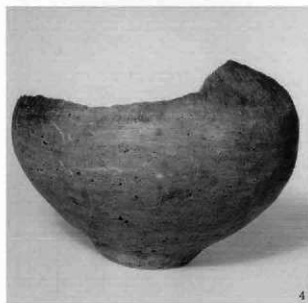


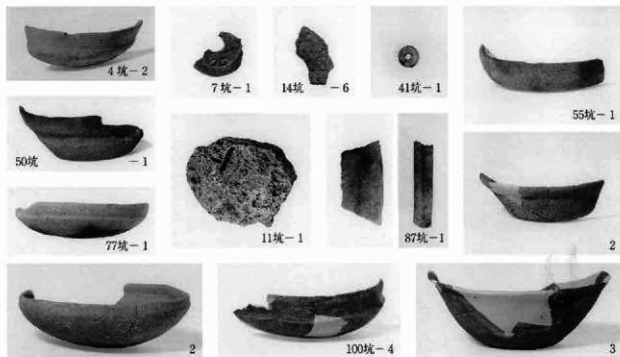
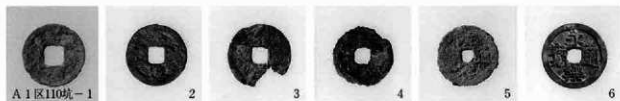
5



6

PL-112 井戸出土遺物





PL-114 土坑出土遺物(2)

A1区101坑-3



107坑-1



109坑-1



135坑-5



135坑-2



150坑-1



146坑-2



3



A2区22坑-1



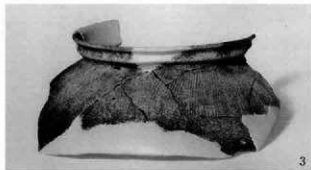
77坑-1



2



26坑-2



3



33坑-1



41坑-1



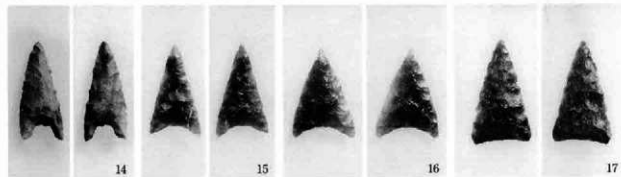
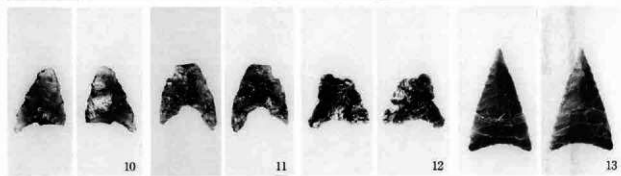
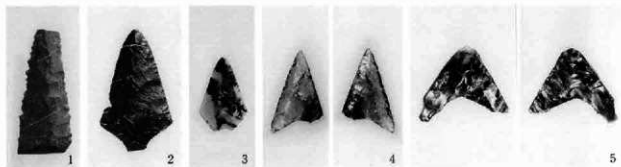
C区32坑-1

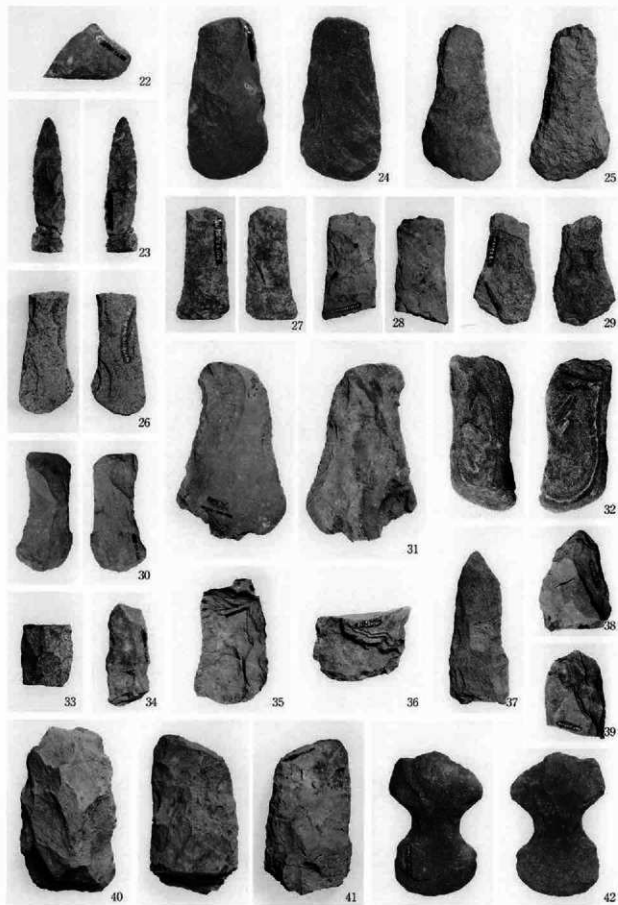


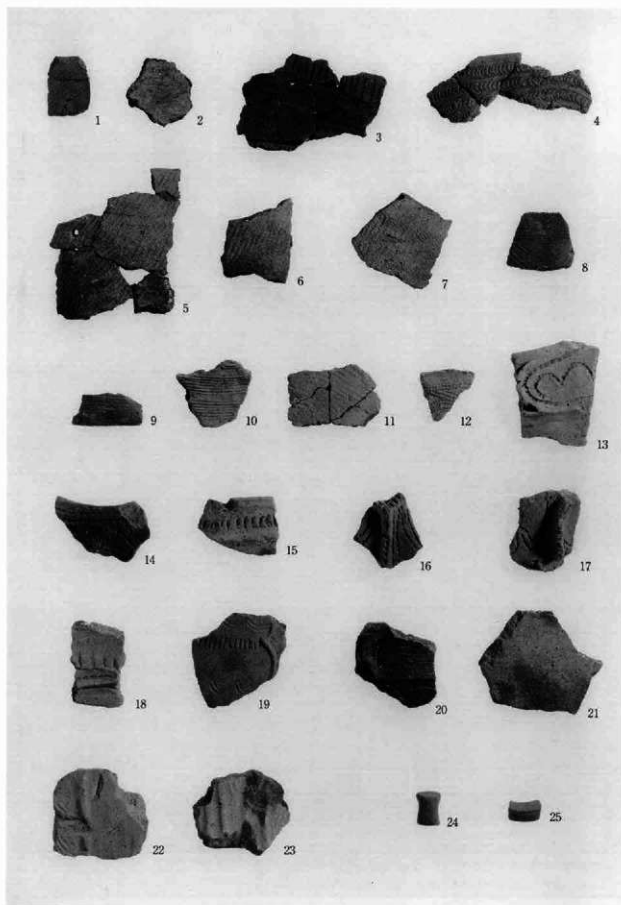
49坑-1

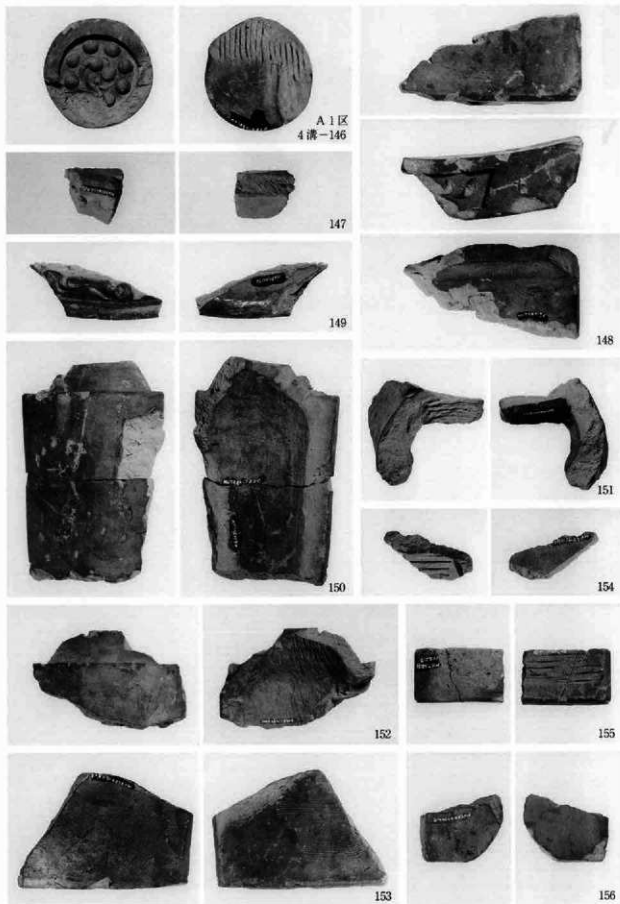


36坑-1



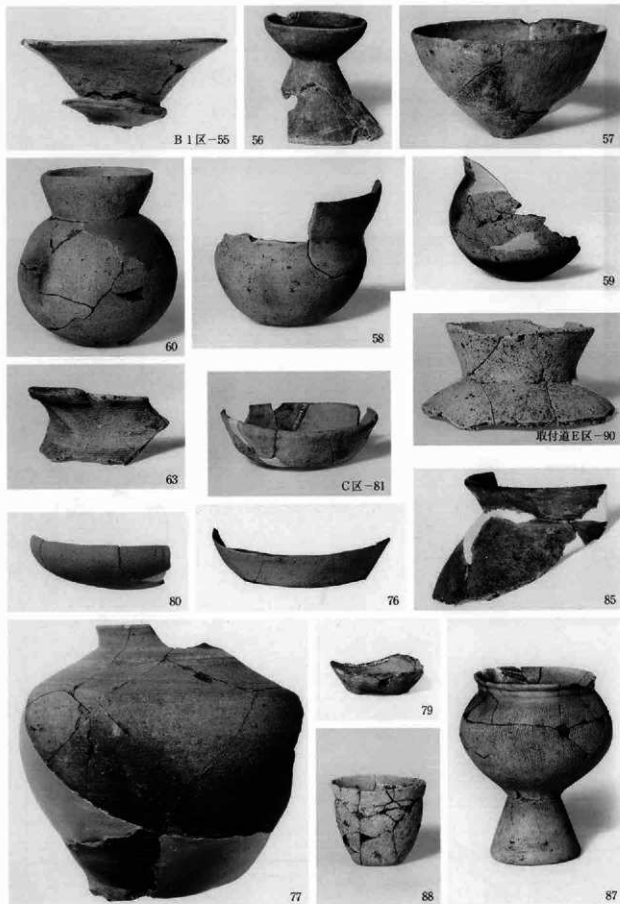








PL-120 その他の遺物(2)





1 As-A下およびAs-A混土面 (西から)



2 As-B下面 (西から)

PL-122 櫻町北Ⅱ遺跡 (2)



1 3号溝の新古状態 (北東から)



2 Aa-B下水田畦と9・10号溝 (東から)



3 池跡 (北西から)



4 池跡 (南から)



5 Hr-FA下水田 (西から)



1 Hr-FA下水田 (北から)



2 Hr-FA下面14号溝 (南東から)



3 Hr-FA下面14号溝 (東から)



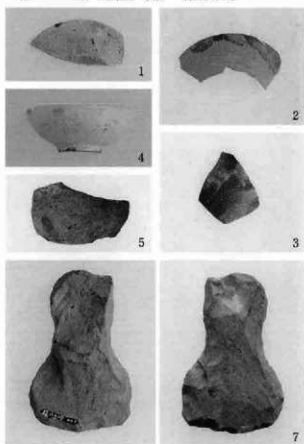
4 15・16(右)号溝 (北西から)



5 15号溝土層断面 (西から)



6



出土遺物



財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発掘調査報告第329集

下流天水遺跡（遺物観察表・写真図版編）

平成16年（2004年）3月10日印刷

平成16年（2004年）3月15日発行

編集／財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県勢多郡北碓村下箱田784番地の2

電話 0279 (52) 2511 (代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷 株式会社 関文社印刷所